

とこれを通る五人の店員の  
努力は遂に立派な實を結ん  
で大和噴霧店現在の隆盛を  
築いたのだ。

権利と義務を超越した恩  
愛の花は馥郁たる清香を放  
つて今ぞ父歸る日を待つて  
ゐるのである——

### 一番町の老婆殺に

## 無期懲役を求刑

數寄なる運命に弄ばれた彼

### 犯行の一切を白狀

(十、七、二十三掲載)

去月二十七日夜岡山市一  
午前九時二十分岡山地方裁  
審町四四煙草店伊澤ミヨさ  
判所小林裁判長係り村山檢  
事立會、花房辯護人列席で  
久米郡神目村、長瀬豊(二  
二)にかゝる強盜殺人事件  
はスピード審理で二十二日  
しかけた傍聽人數百、遂に

二百枚の傍聽券を發行して  
傍聽席は超滿員、半數以上  
は婦人で、入れなかつた多  
數は法廷の周圍に或は窓に  
ぶら下り柵に登つて最後ま  
で立ち去らうともしなかつ  
た

買部の金百二十圓ミ學友  
の品を窃取して檢舉され  
起訴猶豫となつて學校を  
追はれ郷里に歸り十八歳  
の時朝鮮龍山歩兵七十九  
聯隊に現役志願し上等兵  
にまでなつたものゝ常に  
舊惡の惡夢に追はれ退營  
後家に歸つて見ると父は  
自分より僅か五歳上の女  
ミ結婚してゐた、その後  
ミ巡查を志して勉強した事  
もあるがやはり古傷が心  
の奥にわだかまり土地で  
自轉車を窃取して六月上  
旬來岡した事を詳細に陳  
述

こゝからいよゝ、被害者  
伊澤ミヨさんとの關係が生

じる裁判長は更に語をつぎ  
ミヨとの關係を訊問  
その時は父親に二十圓貰  
つて自轉車で來岡し岡山  
で家を借る積りで番町方  
面を歩きミヨ婆さんの家  
によつて始めて同人を知  
り同女の世話で上出石の  
山口某の借家を見、その  
夜東中島遊廓寶來樓に登  
樓娼妓一彌を揚げて十七  
日いつたん郷里に歸つた  
事情を述べ  
盗んだ自轉車を金に替へ  
て同廿六日再び來岡、前記  
の借家の保證人になつて貰  
ふ爲め義理の伯母市内上伊  
福杉本房子さんを訪うたと  
ころ承諾されず上石井驛前

頃そのトランクを受取り、  
驛前吉田屋旅館に再び預け  
替へた、時に懷中僅か二錢  
しかなく、空腹になるし歸  
るに旅費なく思案に餘つて  
ミヨ婆さん方に忍び込む事  
を決心したと自供した  
始めは金を窃取する積り  
だつた時間が早いので鶴  
見橋邊を一時の間ばかりぶ  
らゝし色々考へたがそ  
の一時の間止め様か  
忍び込まうか善惡二つ  
の考が腦裡で争つた結果  
やはり『入らう』と遂に決  
心し婆さん方附近で時間  
待ちの上土塀を越えて侵  
入、店の間を探したが僅  
に四錢しかなく眞暗の爲

め二度机と板戸に突き當  
り音をたてたので婆さん  
が眼を醒したやうだつた  
そこであとは夢中でした  
と恐ろしい兇行を敢行し  
た當時の状況を語りこゝで  
捕へられては困ると始めて  
殺意を生じた事を述べる  
南枕で寝てゐた婆さんに  
馬乗になつて短刀で五六  
回咽喉部に斬りつけた上  
炊事場で暫くじつとして  
ゐたがこの時取り返し  
つかぬ事をしたと氣づい  
た、豫審ではいろゝ、詳  
細に兇行の模様を述べて  
ゐるが實際は夢中で殺意  
を決心する暇もなくやつ  
た後始めて『自分は人を

殺したのだ』とはつきり判つた  
こその夜の事を想起して顔面一層蒼白に満延また慄然となる

手を洗ひ短刀を床下に投げ込み跡始末をした上再び金を探して手提金庫在中の七圓を懐中に同家を出た、時に東天既に紅くなつて驚いて驛前に出、血染のシャツを便所に捨て自動車で郷里に歸つたが廿七日午前九時過ぎ、誰もゐなかつたので寢ようとしてゐた、午前十一時頃早くも警察の手に檢舉された経緯を、こ切れ、と切れに陳述、

一番町理髮店川相市人氏を證人として取調べた後立會村山檢事は  
被告の犯行については一點同情の餘地なし然も強盜殺人は最も惡質で殺人よりも重く一般に不安を與へたる事は重大だ、被告は十九歳の時窃盜を働きたる後、やはり窃盜をしてゐるので盜癖を認められる、被告が教育ある者だけにその責任は重くまた最も悪いのはつくつた金を遊廓で費消しその揚句金に困つてやつた犯行である、しかし、改過還善の餘地はあると認めるとして無期懲役を

求刑した、これまで全く土色をしてゐた被告はこの時さつと顔面を紅潮させさん然と喜びの涙拭いもあえず最後に何かと裁判長から聞日

### 若き小學女訓導

### 服毒、自殺をはかる

妻ある訓導の胤をやぎして  
差迫る新學期を前に  
(十、九、三掲載)

岡山縣吉田郡加茂町大字でカルモチンを多量嚙下自殺を計つたが家人に發見され同市田町林病院で應急手当の結果、蘇生一日退院して引續き前記親族で静養

### 六十一の退役伍長

### 岡山工兵隊へ入隊

見事三週間特別勤務  
非常時日本  
の心意氣を 身をもつて立證  
〔十、八、七掲載〕

中である、彼女が何故自殺を計つたかその裏面には次のやうな教壇の影に咲く邪戀が秘められてゐる、政子さんは昨年三月岡山女子師範を卒業新野校に奉職したが何時しか同校に同じく教鞭を執る吉田郡東加茂村大字桑原久松義一(二八)君といふ妻ある人との戀愛に陥り漸次深みに入つて遂に懷妊夫婦になることは出來ずお腹は大きくなる二學期は迫るで思ひ餘つた揚句過去の邪戀を一切死によつて清算せんとこゝに至つたものであると言はれる、なほ同校ではこの程兩名の辭表を縣當局へ送付した

軍國日本の非常時に際し日本男兒は幾歳まで兵役に服し得るかといふことを身をもつて證明した老勇士がある、この老勇士は本紙に既報した岡山縣都窪郡茶屋町生れ當時同郡

論たる兵役義務年限の四十七歳は短過ぎる五十歳位ひまでは充分兵役に服し得られるといつて實際に試験するため去る三月十日の記念日に入隊願書を岡山聯隊區司令官に差出し特に旅費日當を自費と覺悟致居候また外泊、腰辨の参加にても苦しからずといふ断はり書まで添え

感謝状をうけた、この非常時日本の心意氣を身をもつて立證した藤原翁は若いころ北清事變、日清、日露兩役に出征した老勇士である

右藤原氏の工兵第十大隊における動靜について、當直士官は次の如く語る

夏の兵營生活はとても苦勞が多いので、最後まで頑張るかさうか疑問に考へてゐたが、本人は至極熱心で遂に無事至難なわざをやつてのけたのには我々一同敬服してゐる在營中も老人とは思へない程の元氣で早朝から夕暮まであらゆる軍務に精勵

してゐた努力は大したものだ、非常時の際、老人のかうした赤心と元氣

### 「醫は仁術」を文字通り

## 青年團に田畑提供

年貢米五十二俵を無條件で

豊野村開業四十年の小出醫師

(十、五、三十二掲載)

「醫は仁術」をそのまゝにけふ危機に瀕せる農村に起死回生のカンフル注射を試みるべく、私財の一部を割いてそれから生ずる収入(約時價五百圓)を毎年居村の青年團に提供、以て寂びれゆく農村に一脈の生氣を

あたへまた農村更生への力強い原動力たらしめようとする、今時の世に珍らしい奇篤な醫師がある、話の主は岡山縣上房郡豊野村醫師小出謹一郎氏で

最初の思付は昭和八年秋頃から居村の青年男女

は若いものによいお手本だ

がともすれば都會に去り離村する者激増するので農村より青年男女を失ふことは村を滅亡に導くものであると非常に憂慮しこれは先ず農村の無味乾燥が原因してゐるのではないかとの見地から主として娛樂機關に使用し又一面修養方面の名士の講演會場なきにも利用する目的から自費で村の中央に公會堂建設を思ひ立ち村民の賛同を求めたところ一部の反對にあつたのでこれを断念して今日におよんでゐた

然るに氏の愛郷心はそのまゝでは納まらず過般青年

團幹部を自宅に招致して一切を無條件で私財の一部同郡下竹莊村湯山にある田地一町九段五畝二十二歩、畑地二段八畝十七歩町山林六畝二十五歩、溜池四畝二十歩から生ずる小作米五十二俵を今秋からそつくりそのまゝ青年團に提供するから如何様とも利用して欲しいと申出でたので喜んだのは青年團で全く棚からボタ餅の夢の様な話に早速幹部會を開いて快く受理することにした決定その利用方については更に會員協議會を開き財團法人組織となすべく目下その筋へ認可申請中である小出氏は當年六十三歳、

同地方での素封家で明治廿六年一月現地に醫業を開き爾來四十餘年間診療に盡した人で醫業を次男(大阪帝大醫學部出身)にゆづり餘生を農村問題特に青年男女の教化指導に捧げるべく決意したものである

### 郷土へ報恩の意味で

小出醫師語る

小出醫師を豊野村に訪へば次ぎの如く語る

誠に寸志でとや角云つてもらふ様なことではないのですが……開業以來四十餘年間山村の移りゆく様

をながめて全く感慨無量です、農村も今がほんとうに文字通りの危機です何とかしてこれを切抜けなければなりません

が活動しなければならず、所が現在の農村にはこの青年を自由に活動させる餘地すらありません

或者は都會に憧れ、又成者は生活のため止むなくさんさん離村する青年男女を見ることは郷土の老生として限りなく寂しいことです、何とかしてこれを引とめ又活動せしむべく活路を開くことは目下の急務です、多年安住

### 濁流に

## 飛込み

二少女を救ふ

(十、七、一掲載)

岡山縣英田郡讚甘村今岡多三郎氏孫小原貞子さん(一〇)と同所今岡孫造氏長女新逸清子さん(一〇)の二少女は二十九日午後四時ごろ同村字下の庄の吉井川板橋を渡つてゐた際、誤つて轉落、折柄の濁流に押し流されてゐるのを附近にゐた同村字下の庄藤本庄一さん

(二一)と同所の大塔二郎さん(三三)の二人が前記二少女を救助した、所轄林野署では兩人を人命救助として表彰方をその筋へ具申した

### 長命は女に多い

九十以上は男の五倍  
岡山市社会課の調で判る  
(十、十、二掲載)

岡山市社会課では敬老会開催のため全市にわたり八十歳以上の高齢者について實地調査を行ったがそれによれば男二百七十七名、女五百五十三名、計七百七十名であるが女子が断然多く二倍の比率となり更に九十

歳以上の高齢者に限定するときは男の六名に對し女二十九名でおよそ五倍といふ数字を表はしてゐる、なほ八十歳以上の高齢者を年齢別とすれば次の如くで『長命は女に多い』といふことがわかる  
八十歳男五八、女九八人  
八十一歳、男四一、女七九  
八十二歳男四一、女九四  
八十三歳男二八、女六五  
八十四歳男一七、女五七  
八十五歳男一一、女三〇  
八十六歳男三、女三四  
八十七歳男三、女一九  
八十八歳男六、女三一  
八十九歳男三、女一七  
九十歳男三、女六

### 久遠に輝く

## 愛の輸血

### 瀕死の教へ子を

### 救った學園美談

師の愛は死よりも強し——田小學校尋常五年生山本光主治醫より死の宣告を受け一學童が、受持教師の温い愛の輸血に蘇らされ死の一步手前から朗らかに廻れ右ツ!!病魔を見事K.Oしたといふ感激の學園美談がある——  
この學童は岡山縣兒島郡藤

院させることになつた  
痛々しい許りに瘦せ衰へた光男君を乗せた自動車は轍の音も心して此の日遂に病院へ向つた

恰度光男君を乗せた自動車が學校附近を通り合せて折圖らず出合つたのが尋常三年生當時より光男君の受持指導を續けてゐる同校訓



導津下要氏及びこれも尋常一、二年當時受持先生であつた岡部美佐香さんであつた二人の先生が思はず覗き

込んだ車の中には忘れることのできない教へ子光男君が寒れ果てた姿を横たへてゐるのである

「光チャン!!」ウィンドグラスを隔て、六つの視線が空間に絡み合つた

教へ子のこの危急を前にして先生達は氣が氣ではなかつたのだ、一先づ自動車をやり過した津下、岡部の兩指導は即夜相携へて大學病院へ光男君を見舞つた

田舎から附添つて來た光男君の母と叔父が勝手知らぬ病人介抱に狼狽してゐた場合兩先生の來訪は百萬人の味方よりも氣強かつた。然し光男君の病狀は豫想

してゐたより余程重態で診斷した主治醫は意外にも「既に手遅れです、手術を行つても見込みはないが、せめて手術でもせねば生命はない」といふ宣言を下した

皆んなが微か乍らつないでゐた希望は茲にブスリと断ち切られたのである

手術臺上の光男君、カチカチ、金屬の觸れ合ふ音、先生達は堪らなかつた  
手術は終つた——然し光男君の衰弱は一段と増して主治醫は最後の一策として三〇〇グラムの即時輸血を進めたのである

醫師は家人の血液型を調べたが不幸にも同型のそれ

は得られなかつた、然し、然し最後に検査した津下先生の血液が光男君のと同型であらうとは……「光チャン元氣を出せ、先生の血を送るよ、先生の血でキツト治して見せるぞ!!」今は言葉すら出ない光男君の口許に感謝の微笑がほのかに浮んだ輸血は終つた、絶望か? 起死回生か? 蒼白な顔に涙を流して津下先生は靜かに教へ子を見守つた  
死を超越した麗はしの師弟愛はかくて遂に死をK.Oし光男君の顔に微かながらも紅がきして來た  
「光チャン!!先生が見へるか!!」

それから光男君の容態は次第に快方に向ひ今日此頃では最早完全に全快に向つてゐるとのことだ  
 仰げば尊し我が師の恩、ドス黒い死の觸手に奪はれんとした光男君はかくて恩師の限りなき愛に救はれて

(寫眞は—津下訓導)

凱歌を奏した

心の二人三脚

琴浦紹介所の朗話

失業者の慈父として颯爽と更生の足取も軽く人生戦求職第一線に活躍する職業紹介所長が眞摯な一失業者青年に同情して自ら大阪に乗出し見事適当な仕事を與へ

朗らかに退院の春を待つてゐる愛の輸血で救はれた光男君は先生達にさてごんな御恩返しをしていゝものかと病院のベットで今しきりに頭を揉んでゐる——

實氏で、最近同氏の在勤する琴浦職業紹介所を飄然として訪れた一失業者青年があつた世智辛い人世の旅路に疲れた若者、失業者の誰でもが隠し掩せない隠惨な蔭がこの青年の面にもアリアリと刻まれてゐたのである

「何か仕事はないでせうか？」余りにも氣毒なこの若者を前にしては流石の所長もムゲには謝り切れなかつた慄へる指先で求職カードに入記されたものを見た時思はず所長もハットした

「君は妻子があるんだな」小野所長の面上には心からなる同情の色が流れた

「求人側にカードを廻しておくから改めて来て見なさい」

小野所長の温い言葉に僅かに慰めを感じた青年はかくて一先づ歸宅したが——

さて翌日もその翌日も「労働求真」の若者の懇へは眞剣に、根強く續けられた「人生意氣に感ず」だ眞摯なこの失業者の熱と意氣はまもなく小野所長の心の琴線に觸れることができ失業者の不幸な半生記を中心二人の氣持はガツチリと結ばれた……そして……

失業者といふのは井口一君(二五)——假名——で井口君は數年前までは大阪で妻

子と共に漸く生活を續けていたが不幸にも先年の關西大風水害に遭つて家財を全部矢ひ全くの身一つこなつてしまつた一望無限の泥土を眺めて井口君は妻子を抱へて心ならずも一先づ琴浦町の叔母を頼つて來岡現在まで同家に寄食してゐたが義理と人情に隔てられて最早一刻の猶豫も許されない窮境にあつたのだ「宜しい」小野所長は大きく肯いた、仁俠義に勇む小野氏は自覺を以つて遙々大阪市に赴き知人を頼つて必死な求職運動をつづけたのだしかもこの百折たゆまぬ小野所長の眞心は遂に酬はれて同

人の知人である大阪一流の畫商と契約なり莫大な保證金まで納めて同店の畫を販賣させるとに成功した、特急ツバメももごかしい思ひで歸岡した小野氏は早速このことを井口君に話し同君と共に嬉し泣きに泣いたそれから數日後——自轉車に畫をつけた井口青年の朗らかな姿が兒島の町を村を折柄の冬の陽に銀輪を輝かせ乍らいと愉快に突進してゐた

一青年救済に投じた小野氏の私財が全部で五百餘圓、背負ふことのできたこの「生き効ある負擔」を双肩に井口青年は今日もまた汗に

まみれて恩愛のペタルを力一強く踏むのだつた

「おらが春」を謳歌する浮かれ鼠が、ペラ棒にも百圓紙幣九枚——大枚九百圓也を微塵に噛み切つて菓子屋さんを男泣きさせたといふ初春珍談がある。

この菓子屋さんは岡山縣小田郡笠岡町大字濱田三原直吉さんで、同人は去る十日舊歳末資金にと、かねて出入の同町某銀行から手の切れる様な百圓紙幣二十枚(二千圓)を引出して自宅に歸り忙しさに紛れてツイ自宅店の間の菓子棚の壁際に押し込んで吞氣にもその夜はぐーツと寝てしまつたものだ。

失敗つた!! 曉の夢を破られた例の直吉さんは翌十二日早朝始めてそれ迄氣付いて早速店へ飛出し件の壁際へちツと手を差入れて見た

愛の巢も百圓札

浮れ鼠の行狀記

ところがきのふ確かに入  
れておいた百圓紙幣二十枚  
の内九枚だけがさうしても  
見つからぬ、さては女房の  
奴め、永年苦勞を共にして  
來ながら臍繰りの謀叛氣を  
起したなとそれとなく顔色  
を讀んで見たがさうもそん  
な氣配が見へない。

さてはギヤングが、直吉  
さん飛でもない處にまで氣  
を廻して見たが結局これも  
容疑薄弱だぞ知れるとガツ  
カリ店の間へ座つてしまつ  
た。

矢も循も堪らなくなつて早  
速女房にこのことを打明け  
舉國一致の捜査陣に更に近  
所の應援隊まで繰り出して  
共産黨のアジト顔負けの一  
大家宅捜査を開始した。  
素人探偵必死の探索は努  
力一時間にして見事奏功  
あつたぞ!!と叫ぶ聲に一  
同は思はず駈りよつて見る  
と犯人は意外にも壁裏の鼠  
であつた。

さてはこの鼠め、初春の  
屠蘇に浮かれて大それた心  
得違ひを仕出かしたなど、  
よく／＼見れば例の百圓紙  
幣九枚はズタ／＼に噛み裂  
かれてその面影さへなくそ

の上にはぬく／＼と子鼠五  
匹が巢喰つてゐたので直吉  
さんは二度吃驚  
しかし犯人がこれでは警  
察署につき出すわけにもい  
かず、さりましてこのまゝで  
はわしや年の瀬が越せんわ  
い直吉さん、ワーン／＼  
聲を立て、男泣きしだした

氣毒なこの様子を見るに  
見かねた近所の人達は日本  
銀行岡山支店へ行けば大低  
引換へて貰へるから……  
と直吉さんを激勵して一先  
づその場は納つた

を乗せた列車は冬空にビー  
ツと汽笛を響かせて鐵路ま  
つしぐらに岡山へ急いだ、  
直吉さんの掌へズタ／＼の  
百圓紙幣が固く握られてる  
たのはいふまでもない

浮かれ鼠描く舊歲末の笑  
へぬナンセンスはかくて朗  
らかにヂ・エンド

端麗ナル調影友ハ  
近代人ノ誇リ  
秋山理髮館  
岡山・電車終点立前

### 仇な邂逅罪の握手

## 故郷岡山の話から

四十年前のおさな友達

手錠まで仲よしに――

(十、六、十四掲載)

四十年振りに再會した幼  
友達ではあつたが相寄る悪  
の魂から同居僅かに四ヶ月  
にして二人は暗い留置場へ  
！十二日午前一時ごろ大阪  
住吉署森本、田中兩刑事が  
住吉區安立町五丁目の空地  
附近で怪しい男を取調べた  
ところ浪速區東谷町二丁目  
屑物商、橋本えい方岡山市  
生れ岡崎善次郎(四八)で去

る二月中旬天王寺公園で一  
人の老婆に合ひ、世間話か  
ら懐しい故郷の話にまで進  
んで行くうちこの老婆こそ  
善次郎が八歳のころ兩親の  
手元で楽しく暮してゐる際  
近所に住んでゐた當時十三  
歳の可憐な少女えいである  
ことが判り  
二人は夢かとはばかり喜び  
そのままえい方に暮して

ゐたが前科六犯を重ねて  
ゐる姐御えいとこれも刑  
務所を出たばかりの善次  
郎との間に老先短い身を  
たく短く暮さうと相談一  
決  
善次郎が泥棒稼業をつゞ  
けることになり、えいが贓  
品賣捌きを引きうけて二月  
二十五日夕浪速區南日東町  
一丁目の街路で日本橋筋二  
丁目梅本帝隆君が自轉車に  
積んでゐた南京錠三十個を  
自轉車諸共搔拂つたのをき  
つかけに二十數回にわたり  
窃盜をはたらき幼な馴染が  
仲よく生活してゐたことが  
判つたので同日朝えいも檢  
舉され、四十年前仲よしだ

つた少年と少女は恐ろしい  
罪名と、もに留置取調べを  
うけてゐる

## 過褶曲

珍しい  
發見

文部省の依頼で

委員が實地調査

その結果注目さる

(十、十一、十掲載)  
岡山縣川上郡大賀村内成  
羽川上流の河底の地層が逆  
轉し、所謂『過褶曲』が形  
成されてゐるこゝが發見さ  
れ、このほゞ文部省及び地  
質學者から岡山縣史蹟名勝  
天然記念物調査會宛に調査

の依頼があつたので同會委員岡山高女教諭井上清一氏及び岡山縣社會教育課森定視學の兩氏は十日同地に出張し實地調査をなすことゝなつた

この過褶曲は地球が生成する時褶曲作用をなす際地層が逆轉し上部の古い地層が上になり下部の新らしい地層が上になるもので、この現象はわが國でも非常に稀なものさされてゐる、古い地層は古生時代、三疊紀時代に生成され、それが逆轉したのは中生時代である、我國においては北海道(第三期時代)と山口縣(古

生時代)に既に生成されてゐるが、中世時代のものは非常に面白く、天然物に指定する價值が充分あるので既に文部省小澤技師(古人)が大賀村について研究をなし學士院賞を貰つてゐる

この大賀村の過褶曲の本格的調査によつて日本の生成過程をも知るこゝが可能だとされてゐるが、この過褶曲の鑑別法はその附近の化石によつて識ることが出来るさうである、從來の過褶曲に關する學説も五、六あるが今回の發見によつて相當修正されるものとみられこれが調査の結果につい

ては各方面から注目されてゐる

### 旭川支流工事に

## 家を奪はるゝ市民

無償立除反對同盟結成

全農と提携、縣當局に當る

(十、十一、五掲載)

旭川の改修工事進捗により後榮園裏には幅百米の支流を設けられるので支流となるべき耕地は全部買上げられ、又沿岸の岡山市小橋町附近民家三戸は近く立除させねばならぬことゝなつたが該土地耕作者等は一時に多大の耕地を奪はれ生活

又小橋町民家の立除きは河川法により當然無償で除かねばならぬことになつてはゐるが若し無償ですると、第二次に立除かねばならぬ網濱、平井、御旅、二日市町等の民家二十數戸も同様

夫に捨てられて泣く――

みすぼらしい母と幼き娘

大阪へ歸る金もなく途方にくれ

岡山驛員の  
温かい心に

## 初めて笑顔

(十、九、六掲載)

三日午後六時ごろ雨に濡れてみすぼらしい三十五六歳の婦人が六ツ位の女の子を連れて岡山驛の助役室を訪れて大阪まで歸りたいが

一文もありませんと泣きついて来た田邊助役が事情を聞いて見ると

同婦人は大阪のもので渡邊春枝さん(三五)とて腹

膜を患つたため夫は六ツの女の子芳子さんを残して情婦と逃げてしまつたため生活に困窮したので男の郷里である倉敷の親元へ身の振り方をたのみにくくと二泊のうへもうこれ以上お前を世話することも出来ないからと突き歸されたので致方なく金もないので中庄驛まで雨の中を足弱の子供をはげましながら歩き同驛から岡山へ汽車で来たものであるこゝが判明した

助役は哀れな婦人にいたく同情して辨當を與へる一方中原驛警手と共力して構内營業人を説いて合計三圓

を集め大阪までの切符と釣錢五十二錢を小使に與へたこゝろ婦人は感泣して何度も禮を言つて午後八時岡山發列車に乗つて大阪へ歸つて行つた

### 溺れる幼児を

## 救助した紳士

日生町便郵局長と判明す

(十、十一、十掲載)

岡山市門田、谷野一夫二男満君(三ツ)が八日午前十時ごろ遊戯中同所地藏川に轉落溺死せんとしたこゝろ通りかゝつた洋服を着た紳士が飛込んで救助したまゝ名前も告げずに立去つた

東署で調査の結果右は和氣 氏と判明、表彰方を縣へ具  
郡日生町郵便局長那須信俊 申する模様である

捨てられた「安ちゃん」

## 吉備撫育院にゐた

無情な父を呼出し引渡す

### 倉敷署の怪事件解決



捨てられたか殺されたか  
去月三十日以来行方不明  
なつた倉敷市船倉植木職橋  
秀男次男一男(九ツ)につい  
ては倉敷署で極力真相の究

明に努め漸くにして岡山市  
内で因果を含めて捨てられ  
たらしいことが判つたもの  
ゝその後の消息更に判明せ  
ず深い謎に包まれてゐるた  
六日本紙の記事によつて謎  
の少年一男君はこの騒ぎも  
知らず岡山市門田吉備撫育  
院の世話になつてゐる事が

判つた、少年は父親の自白  
の如く本名を名乗らず「僕  
安ちゃん」に至極のんきに  
暮してゐた、この一男君の  
安ちゃんがさうして茲に厄  
介になつてゐたかといふこ  
去る三十日午後岡山市東古  
松の畑中で泣いてゐた男兒  
を通行人が發見し大學前交  
番に連れ行き調査が調べた  
が何處の者とも判らず何を  
訊ねても「うん、うん」と首  
肯づくだけで漸くにして名  
は「安ちゃん」年は九ツと  
いふ事だけが判つた、そこ  
で西署では各方面に照會保  
護者を探す一方取り敢ず前  
記吉備撫育院に預けてゐた  
ものである、六日本紙記事

により岡山西署では直ちに  
倉敷署に通知し同日午後父  
親は東署に出頭、一週間振  
りに父子對面して一男君は  
再び父の許に引きとられる  
事になり無情な父を怨むで  
もなく署員に説諭されてす  
ごく歸途についた父親に  
件はれて乗合自動車で倉敷  
に歸つていつた

× ×

問 金澤本店  
子 岡山中之町  
電 二〇八三

## 處女攻落の

### 無軌道エロ行脚

岡山の百萬長者が描く

極彩色の情痴巻繪

百萬長者が金三閉に  
あかせて描いた桃色の白日  
夢「悲願處女千人斬り」の  
主人公岡山市津島河合兵衛  
氏を繞るこれは多彩な情痴  
繪巻だ。黄金造りの業物で  
斬る//處女求真//の大望が  
僅々六人の處女試し斬りに  
果敢ない夢ミケン飛んで、  
唸る程の黄金を抱き、妻と  
の間に三人の愛とし兒まで  
儲けて何不自由ない彼が暗

い刑務所へ何故轉落して行  
つたか? 拾數萬圓の建築  
費を投じて計劃された怪教  
大本の月宮殿を地でゆく半  
田山籠の怪屋敷——未完成  
大邸宅に秘められた怪奇な  
カラクリは? エロ禁制の  
謹慎生活にかつての華やか  
な//桃色狂亂譜//を手繰つ  
ては人知れず辣腕を撫しつ  
ゝあるけふ此頃の彼氏の心  
境は? 彼氏が抱く私財百

萬圓也にからむ獵奇的風聞  
は?

新春密かにひもこく絶好  
の豪華繪巻として茲に再度  
彼氏描く桃色記録の全貌を  
展げて愉快な「初春興奮記」  
みましょう……

### 呪はれた結婚

好色一代男として浮名を  
流した河合兵衛氏を語るに  
は遠い過去、彼がまだ夢多  
い青年の頃に朔らねばなら  
ぬ多感な若者の誰もが一度  
は必ず浸るであらう結婚第  
一夜の//夢うつゝ//な境地  
!ながい人生の旅における  
幸不幸は先づこゝに始まる  
のである。

物語の主人公河合兵衛氏

こそは大切なこの第一歩に  
哀れな敗殘者としての苦汁  
をなめさせられたのだ。

息づまる様な歡喜で抱い  
た最初の花嫁は彼の絶對的  
期待を裏切つて純潔ではな  
かつたのだ、氣まぐれなこ  
の運命の戯れは歡喜の絶頂  
から忽ち彼を失望のドン底  
へ突き落してしまつた。

第一の結婚に裏切られた  
彼は呪はれたこの結婚生活  
を清算して「青い鳥」神聖  
な處女をたづねて第二の結  
婚を求めて彷徨したのだ。

かくて求め得た第二の結  
婚(現夫人)は果して彼に幸  
福を齎したか? 日増に  
憂鬱の度を加へてゆく彼氏



の双眸は深刻な運命の悪戯を呪ふ炎を燃へ、恵まれぬ處女への憧憬は全身に沸々としてたぎつた、呪はれた結婚が人生にどんなに大きな悲劇をもたらすかは世人の容易に想像できるところで、物足りない二人の妻への反抗的血汐は巨萬の富に拍車をかけられて前古未曾有の〴〵處女漁り〴〵へ進展していった。制服の處女、看護婦、女給、雛妓、オフィス・ガール等々を相手に處女冒瀆の征矢は縦横に亂舞した。

### プールの美女

金と時間に屈托のない彼氏の桃色亂行はその後愈よ

猛烈を加へ、處女の快味を貪つて歩く淺ましい彼の姿が〴〵闇の世界〴〵に君臨し一躍津島のエロ大盡としてその嬌名をうたはるやうになつた。數寄を凝らした例の未完成怪屋敷に設けられたプールで身に一絲もまとはぬ裸女を水中に躍らせ、御意に召すまゝに莫大な賞金を與へたるたなき今日まで一つ話のやうに傳へられてゐる。あの宏大な未完成怪屋敷を根城に毎夜の様に演ぜられた狂亂痴態、月宮殿さながらの怪奇な内部構造も今では全く一片の夢と消へて〴〵戀のストツプまゝならぬ〴〵悲哀に流石の彼氏も

長嘆息の形だ。

殊に特筆大書すべきは彼氏の家に傳はる私財百萬圓に絡まる獵奇的風聞で世間の噂によれば明治の初期津島(當時御津郡)で稀代の大盗が警羅の手に捕へられ酷しい拷問にかけられて詮議されたがかねて指名されてゐた大盗だけに日夜の拷問にも拘らず容易に口を割らなかつた、め取調べは非常に手間ぎつたが遂に觀念した件の大盗が數萬圓を附近の藁グロの中へ隠してあることを自白した、ソレツ！

地團太踏む警羅を前にしてセ、ラ笑つた大盗は「今に津島に大金持が現はれますよ」言つて從容として下獄した、怪盜、數萬金、藁グロ、津島と總ては夢の様な話であるが、しかもその間一脈の連繫が充分想像できるではないか？

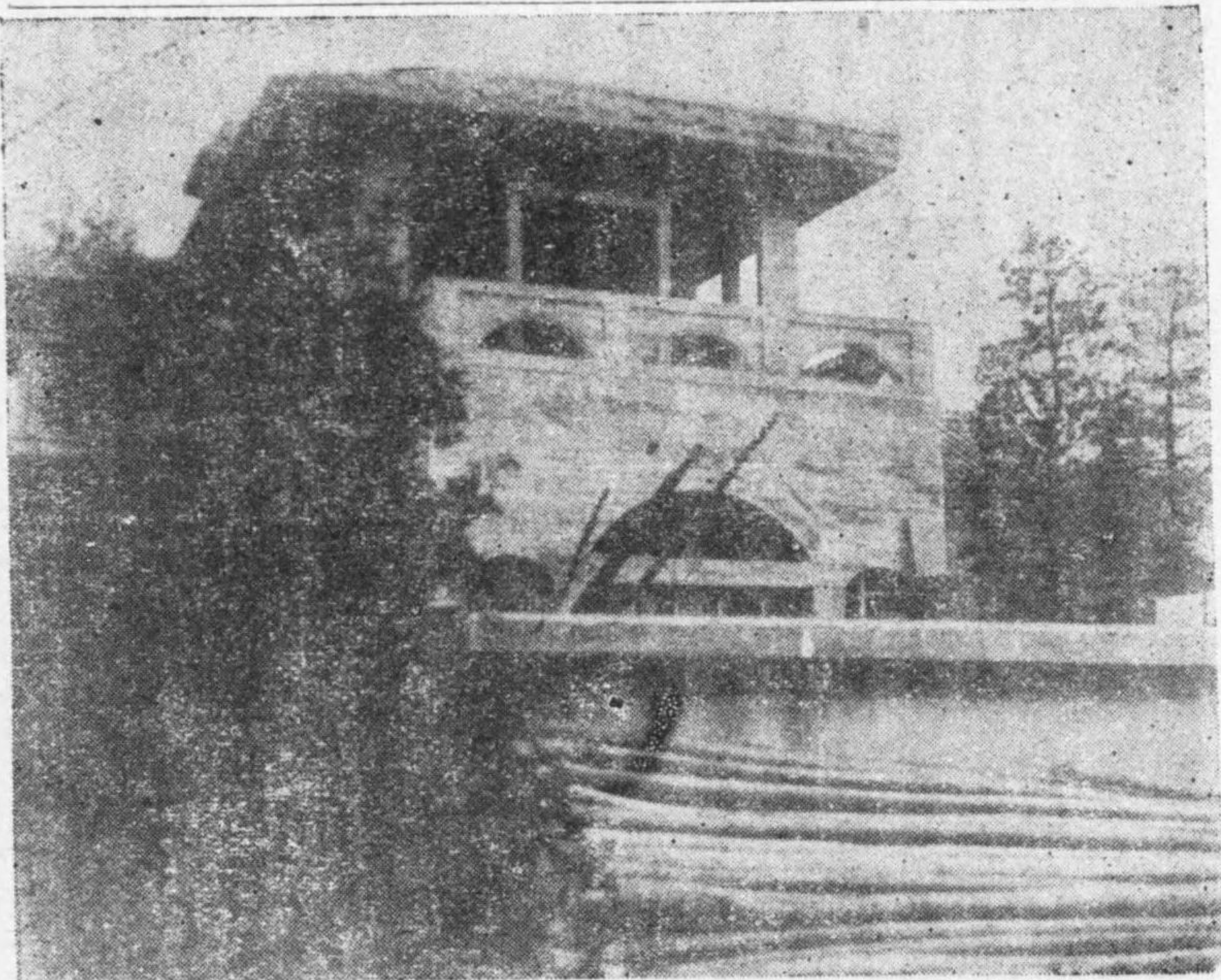
### 一躍大成金

まもなく津島に河合某といふ綿賣りが現はれ、百姓相手に綿を賣つては田地を買ひ、さては高利を貸付けは莫大な金を捲上げ忽ちにして大地主となつた、師團新設による土地の買収、附近地價の高騰はこの金色夜叉を日共々に太らせ遂に

河合家の基礎を築いたといはれてゐる、探偵小説さながらの怪奇なこの噂さは果して何處でま事實か？次に掲げる極彩色の桃色行狀記(昭和九年十二月公判當日の抜粹記)と結びつけて興味百パーセントなものがあらう

### 桃色行狀記

〴〵處女渴仰〴〵の百萬長者があり餘る金と閑にあかせて描いた極彩色の情痴繪卷「悲願處女千人斬」のペラ棒な大望が僅か六人の若草蹂躪に果敢ない桃色白日夢と消え去つて猥褻誘拐並に淫行勧誘教唆といふ珍奇な罪名に問はれて暗い刑務所



幾多の謎を秘めて聳立する未完成怪屋敷

轉落好色當代の超豪華版として滿都の諸君を啞然たらしめた岡山市津島のエロ大盡河合兵衛氏(三三)の公判は昨二十八日午後五時より(昭和九年十二月)岡山地方法裁判所法廷で小林裁判長係り相墨檢事立會、足利、吉澤、小脇の三辯護人列席の下に開廷、被告は鐵色縫紋のお召羽織に袴、白足袋フェルトのりゆうとした姿で入廷、それでも永い間の拘禁生活に心なしか幾分のやつれを見せ油氣のないオール、バックを無造作に掻き上げ乍ら例の巨軀を黙々として被告席につく、この日傍聽席は時刻外れに

俄かな寒氣で案外淋しいが流石に獵奇百パーの事件だけに夜に入るも約三十名の傍聴者が被告近親者と共に展開される處女地帯冒瀆のエロ行脚に熱心な耳を傾ける

定刻裁判長の入廷を呆然と迎へた被告は名前を讀上げられると共にオド／＼と起立、裁判長と立會檢事に對して先づ丁寧に一禮する。相墨檢事は意味深な微笑をもつてこれに應へ一脈の和やかさが法廷に漲る。先づ身許調べで資産は約六拾萬圓その内田地、家屋等の不動産二拾五萬圓、動産は三拾五萬圓、税金その

他を除いて年收優に二萬圓に豪華な處を示して傍聴席に氣を吐く

多額納税者

では「さうではありません」

裁「これらの資産は全部親譲りさういふわけだね」

被「左様であります」

裁「現在の職業は」

被「無爲徒食致してゐます

が私は生來病弱で少年時代から肋膜炎、心臓病な

ぎ患つて痛く健康を害し

今日まで全く徒食致して

ゐます」

と關西中學校を病氣で中途退學し後岡山歩兵第五十四

聯隊へ入營した當時のこと

から再度の肋膜炎に見舞はれ心臓病を併發して岡山醫大病院へ入院した経緯を低聲に述べたる後、型の如く立會檢事の公訴事實の陳述があつて愈よ訊問の本筋に入る

裁「被告に交附してある豫審終結決定書については大體異存はないか」

被「多少相違してゐます決

定書では私が寒竹を教唆して淫行を勧誘せしめた

如くなつてゐますが之は

全く間違ひで寒竹が私に

淫行を勧誘したのです」

と例のエロ・ガイド寒竹義

一との關係について頑強に

否認し「天地神明に誓つて

してゐます」

とアツサリ陳述すれば流石

の裁判長も苦笑

裁「女の種類は藝妓、娼妓

女給、仲居、女事務員等

になつてゐるが矢張さう

か」

被「左様であります」

と簡單に答へ福田蘭童顔負

けの亂痴氣振りをぶち撒け

て傍聴席を煙に巻く

裁「被告の陳述で色慾生活

に身を持崩してゐたこと

は大體解るが特に藝娼妓

等の淫行常習者より處女

を好んで漁つてゐたと聞

くが事實か」

と痛い處を突けば

被「さう許りでは有ません」

も」大見得を切る

裁「現在の妻は二度目だね」

被「左橋であります」

裁「最初の妻は被告が幾歳の時貰つたのか」

被「十九歳の時でした」

裁「その位同棲してゐたのか」

被「確か一年足らずに記憶してゐます」

裁「何故離別したのか」

被「他に情夫があり結婚前

既に處女を冒されてゐた

とが判りましたから

と感激で抱いた最初の花嫁

に裏切られた仔細を子供らしい口調で陳述し裁判長を苦笑させる

裁「現在の妻は何時頃結

と逃げるのを裁判長すかさ

ず

裁「金と閑に不自由ない處

から今度の處女漁りを思

ひついたのではないのか

被「イエ、左様ではありま

せん」

裁「それでは聞くが寒竹を

お前に紹介した奥山隆（

元大毎通信記者現在死亡

とはどんな機會から知合

になつたのだ」

被「理髮店」で知合つた

のがもこで爾後懇意にな

りました

裁「被告は奥山に對して現

在の妻は氣に入らぬから

處女漁りに一肌脱いで呉

れないかと頼んだこゝは

婚したのか」

被「二十四歳の時です」

裁「今度の妻はなか／＼淑やかな婦人と聞いてゐる

が被告は何故不満なのか

ミ被告が今回の如き大それた桃色亂行をなすに至つた

問題の核心に觸れ、ば

被「……………」

裁「これは公開の席では一寸明言を憚る事情だが豫

審調書記載の事實と間違ひないね」

と勞はれば

被「ハイ」

裁「然しこれはお前の邪推ではないのか」

被「豫審で申上げた通り間違ひありません」

裁「矢張り豫審で述べてある所から貰つたのだね」

被「左様であります」

と現在の妻が彼の絶對的な期待を裏切つて〇〇でなかつた爲、**處女渴仰**の千人斬を發願するに至つた動

機に關して裁判長と被告の間に暗々裡に二三應答があつた後

裁「被告は生來素行が治まらず常に酒色に耽溺する

と聞くが事實か」

被「申譯ありません」

裁「一休今日まで幾人位の女に關係してゐるか」

被「公開の席で恐れ入りま

すが十九歳の頃から約二

百三十人位の女性と關係

ないか」

被「ありません」

裁「調書によれば被告が奥山に依頼したのでそれは自分の知人に寒竹さいふものが居てこれは花柳界にも相当中を利かせてゐるから紹介しても宜いさいふことで知合つたとなつてゐるが此の點さうか」

被「違ひます、今年の一月初旬頃私が是友理髪店で散髪してゐる處へ奥山がやつて来て御大ひびく男振りを上げて何處かへお出かけですか尋ねたのでツイ何氣なく〃正月だから高松稻荷へでも參詣

しやうと思つてゐる〃と

答へます私もお供をしもあるのでさいふつて一旦別れ私一人が參詣して午前四時頃岡山驛附近へ歸ると奥山が待つてゐて御大のこゝを聞いて僕の友人の寒竹さいふ男が是非會せて呉れと言ひますから一寸待つてゐて下さい、今電話で呼びましたから直ぐ參ります私を無理に引止め三好野ビヤホールで寒竹を紹介され

「御大正月だから一杯招んで下さい」とせがむので三人で東中山下の料亭「河合」に乗込んで遊びま

した

裁「御大さいふのは被告のこゝか」

被「ハイ、奥山は私を御大と言ひ、寒竹は大將々々と呼んでゐました」

「妙な處で氣焰を上げ傍聴者を失笑さす

裁「一月卅日頃また三人でビヤホールへ行つたことがあるね」

被「左様です」

裁「寒竹の申立てによれば奥山から電話が掛つて例の百萬長者に君の

經歷を話したら大いに同情して是非來て呉れとのこゝだからといふのでビヤホールへ出かけた處、

被告は萬事は奥山に話し

てあるから聞いて呉れとの話で寒竹が奥山に一体何のことかと尋ねた處が河合さんが是非君に處女を取持つて呉れ頼んでゐる、君なら花柳界へ知合も深いし成功すれば君に對して相當資本を提供しても宜いこのこゝでエロ、ガイドを承諾したとなつてゐるが事實か」

被「違ひます、私はそんなことを申した覺へはありません」

裁「結局被告から依頼された寒竹が紙行商の出入で懇意な花柳界で未だ水揚せぬ雛妓、養女等を物色

して被告に世話したのではないのか

被「全然左様では有ません」と否認しつづける

裁「それでは決定書に基いて第一事實から訊ねるが先づ〃料亭河合〃に於る事情を申して見よ」

とハイヤーで三人〃河合〃へ乗り込み、かねて寒竹が知合つてゐた西中山下藝妓置屋小西タネに電話して女を呼び寄せ百萬長者を觸込み一日百六拾圓の金利があるこゝまで公言して女を籠絡した點につき審理を進めたが被告は勧誘教唆の點では相變らず否認し續け裁判長を苦笑させる

裁「被告は寒竹に生活費を

して毎月五、六拾圓補助する契約で女を世話することになつてゐたのではないのか」

被「私は初耳です」

裁「當夜河合席に來た藝妓は何人か」

被「才三、君千代、二三枝の三人でした」

裁「二三枝はまだ仕込妓だつたね、食卓圍んで

前述の藝妓とお前ら三人が遊んだ後被告は二三枝が氣に入つて寒竹に宜敷頼むといつたので寒竹が交渉したがその夜は失敗に終つたとあるが事實かと紅燈ゆらぐ情痴の風景を

展開して傍聴席をざわめかす、ついで二月二日前記小

西タネの養女吉田千代（一五）を甘言を以て連れ出し

金光町へドライブし金光温泉につれ込んで〃養母タネも承諾だから〃と欺き姦淫した事實に入り

裁「姦淫したのは事實か」

被「ハイ——」

裁「被告から寒竹に依頼したのか」

被「違ひます當夜奥山と岡山クラブ活動見物中奥山から誘はれて參りました處金光さんへ參詣したらさうか、大將のお供が是非したい〃千代さんが言つてゐられる、女將も折

角承諾してゐるのだからとのことだつたので」

と陳述巧みに責任を寒竹に轉嫁すれば

裁「千代の話ではお母さんが河合さんと金光様へドライブせよとのとで行つたのですが神様へは參詣せず温泉へ入れられ

「お母さんも承諾だからといはれて一緒に寝たところ河合さんが恥しいことをなさいましたと告訴

状まで出してあるが此の點はさうか」

被「姦淫したことは事實ですが私は寒竹の言を信じ

てゐました、千代さんが吉田菊次郎氏の妾腹の子

であることも後になつて知つたやうなわけです

裁「吉田菊次郎らと金毘羅へ行き二百圓許り費つた

ここがあるか」

被「あります」

雛妓、シヨツプガール、制服の處女等々、處女地帯を衝いて突進した豪華な漁色日記は綾なす色模様を

繰り展げて堅苦しい法廷に

一抹の妖氣を漂はす裡を小林裁判長は愈よ落着いた態度で柿の家の一件に審理を進め

裁「二月十日西中山下の料

亭柿の家の養女タミを上級の學校へ入れてやるか

らこか一生安樂に生活さ

せてやるとか申向けて自

動車で高松稻荷へ連れ出

し旅館新かき屋に引入れて姦淫し二十圓三十三圓

と二回に亘つて出した事實はごうか」

被「姦淫したことは事實です」

裁「柿の家の女將トクに移轉費として一千圓、またタミ子を女學校へ入學させて學費を支辨するといつて甘く承諾させたのではないのか」

被「違ひます、私が行つた夜タミ子が給仕に座つて寒竹の進めで高松へ行き

ました」  
裁「それでもタミ子の陳述

では津島の百萬長者だからこいはれて種々な條件

で連れて行つて貰つたとあるが」

被「左様なことはありませぬ」

裁「それから後タミ子ご何度位遊んだか」

被「金光、高松と二三度のやうに考へてゐます」

裁「姦淫點はアツサリ認めついで三月十五日前記柿の家で知合つた仲居タカ代の妹カズ子が天満屋三階食堂に勤めてゐることを同人

より聞き、寒竹ら天満屋食堂へ首實驗に出かけたクライマックスに入り前記カズ子が神戸の女學校出身で

あり美貌であるこを確めた後、エロ・ガイド寒竹の活躍となり當時奉還町に假寓してゐた前記カズ子を言

葉巧みに引張り出し三好野

ビヤホールで待合せて二臺の自動車に分乗して高松稻

荷山の旅館かきや本家に連れ込み二十圓を與へて姦淫

した點をスラ／＼陳述して傍聽者を啞然とさせ

裁「これも姉タカ代を喜ばせておき、寒竹を介して誘惑したのではないか」

被「決して左様ではありませぬ」

裁「逃げる、續いて本年二月の中旬ごろ例の西中山下藝妓置屋小西タネ方へ電話し

て同家の抱藝妓 二三枝

の實父佐藤四郎が今度弓之町に開いた酒屋の開店祝ひに招かれて泥酔し非常に苦しうだから早く来て介拘してはご巧みに欺き同人を岡山神社境内の料亭三子庵へ誘き出し更に自動車に乗せてかねて知合のエロ、アチト岡山驛附近の河田屋旅館へ連れ込み情交を迫つたが素氣なく拒絶された揚句折よく來合せた同僚君千代に邪魔立てせられてマンマと失敗に終つた一件に入り裁「豫審終結決定書によれば」

裁「この事實については大体異存はないか」  
被「このことにつきましても私は最初から寒竹の言葉を信じ彼の言ふまゝに振舞つたので最初からの計劃ではありませんでした」  
と巧みに犯罪の分岐点たる勸誘教唆の點を逃ければ裁判長鋭く  
裁「ごうも被告寒竹／＼と申すやうだが全然知らなかつたといふのは少し變ではないか」  
とズバリ急所へ一矢を酬ひた後  
裁「二三子を誘ひ出す

電話は誰がかけたのか」

被「寒竹であります」

裁「それでは電話前既

に大體の話が纏つてゐた譯ではないのか」

被「私は全く知りません

でした」

裁「三子庵へ來たものをまた自動車に乗せて例の河

田旅館へ連れ込んでおき

乍ら何も知らなかつたこ

は少し可笑しいね」

被「いや全く知りません

でした、この點重ねて申上

ます」

裁「勸誘教唆の點は相變らず否認し續ける

裁「河田旅館は被告はかねて懇意だつたのか」

被「大して懇意といふわけではありませんが時々参つて知つてゐました」

裁「調書記載によれば被告は從來度々この河田旅館へ女を連れ込んでゐたやうであるが、こゝはさうした場合のつまり定宿といつた譯だね」

と一本極めつけければ

被「全く申譯ありません」と低聲に陳述する

裁「河田旅館へ二三子を連れ込んでごんな話をしたのだ」

被「寒竹から萬事二三子に話してあると聞いてゐたのに突然二三子から「何の話ですか」と尋られ一

寸變に思ひましたが後へも退かれず**情交**を迫りましたが体よく断られました

と神妙に陳述し  
裁「それからどうした」  
被「それでは僕今夜は歸るから暫く二階で話して呉れませんかと言つて三十分位話合つたやうに記憶してゐます」

と炬燵に美妓を侍らせて落花の興に血道を上げた顛末を洒々に陳述  
裁「二三枝の申立に依ば當夜被告は糸で編んだバンドを締めてゐたと聞くが一体何を着てゐたのだ」  
被「ゴルフ用のニツカーボ

ツカーを着てゐました」  
裁「ホウ、ゴルフ服をね」とこの處裁判長も顔負けの態  
裁「結局その夜は君代に水を差されて失敗に終つた譯だね」  
被「左様であります」  
斯くて稀代のラヴ、ハンター彼が瀟洒なゴルフ服に身を固めエロ、アチト河田旅館を根城に辣腕を振つた一席を一瀉千里に陳述した後裁「つゞいて三月二日これも**寒竹の**世話で上西川旅館山陽館女將を甘言をもつて欺き、同人の姪相原邦子(一八)を同家の

二階で姦淫した事實だがこの點はどうか」  
被「姦淫したのは事實ですが寒竹に頼んだことはありません」  
裁「邦子の證言によると」お母さんに借家二軒を與へ煙草屋を開業させてやる」との話だつたのであるが被告は左様なことを言つたのか」  
被「そんな條件を申したことは絶對にありません、寒竹が大将二圓でございすと申しましたので本人も承知だと思つてツイ」と言葉を濁せば  
裁「二圓とは安いね」  
ご飛んだ處でユーモアを飛

ばせて傍聽席を笑はせる  
裁「その夜邦子は被告らと同席してゐたのか」  
被「イエ、炊事場で手傳つてゐた様でしたが寒竹が話して暫く後二階へ上つて來ました」  
裁「結局姦淫して被告から五圓與へた譯だね」  
被「左様であります」  
と案外素直に犯罪事實を認めた後、愈よ豫審決定書中の最終事實松枝光子を繞る落花事件の審理に入る  
裁「かねて寒竹の許へ就職を依頼してゐた同人の同郷人で清心高女出身の松枝光子(二〇)を天満屋へ世話してやるか被告の

と流石の裁判長も苦笑して被告に一瞥を與へた後  
裁「これで大体調書記載の事實審理は終つたが結局被告が寒竹が教唆して犯罪を行つたのではないのか」  
と犯罪を構成するや否やの重要ポイントを突けば  
被「決して左様ではありませんが、寒竹に進められてやつたことに間違ひはありません」  
裁「被告は寒竹に進められてしたさいふが何か好い条件がない限りこんな好ましくない役を引受ける道理はないと思ふが」

と**痛い所**を つけば  
被「決して左様ではありません」  
と懸命に防ぐ處を  
裁「さうも被告から相當な報酬が契約されて寒竹が一肌脱いだ様に考へられるね、無料では誰にしても余り面白い役ではないからね」  
と辛辣な皮肉を浴せ更に語を繼いで  
裁「結局寒竹に與へた金は合計幾何になるのだ」  
と問へば  
被「全部で五十五圓許りと記憶してゐます」  
裁「遊興費は殆んど被告が負擔したのか」

關係會社に世話してやるとか甘言を以て誘惑し、現在の妻は不満だから辛抱して居れば將來は本妻にして生活を保證してやると欺瞞して思慮の淺い同人を下石井いなつね旅館へ連れ込み一圓を與へて姦淫した事實だが大体間違ひないね」  
と鋭く追撃すれば  
被「姦淫の點は事實ですが種々な甘言は全く寒竹の考へから一度も相談を受けたことはありません」

裁「光子と會つた時の事情を話して見よ」  
被「寒竹が大将よい娘が居

ますから**是非一度**見下下さいと申しましたので私は一應断りましたが無理矢理に驛前河田旅館へ連行して私に紹介しました」  
被「それから二人でいなつね旅館へいつた譯だね」  
被「左様であります」  
裁「姦淫の代償として一圓與へたのか」  
被「左様であります」  
裁「馬鹿に安いね、それ位の僅かな金で女が自由になると思つたか」  
被「何か本でも買ふのかと思つてゐました」  
裁「五十錢銀貨二枚渡したのだね」

と潤み聲で頑強に否認す  
裁「被告は寒竹に進められてしたさいふが何か好い条件がない限りこんな好ましくない役を引受ける道理はないと思ふが」

と痛いの所を つけば  
被「決して左様ではありませんが、寒竹に進められてやつたことに間違ひはありません」  
裁「被告は寒竹に進められてしたさいふが何か好い条件がない限りこんな好ましくない役を引受ける道理はないと思ふが」

被「左様であります」  
 ミ前後二時間半に亘る審理を終り、最後に裁判長から最近の心境は？と聞かれて被「國家非常時の折柄お上に手数をかけ社會を騒がせてまことに申譯ありません、今後は奮闘して國家社會の爲に盡します」と大見榮を切り妙な處で國士氣取りを示せば裁判長は重ねて

六十萬圓といふ 絢爛衣  
 裳 にものを言はせてエロ模様華やかに亂舞した十數年來の白日夢清算の宣誓を終つた後、愈よ證人調べに入り先づ小西タネが丸鬚紋付羽織の仇姿で入廷満場の注視を浴びて證人臺に立ち型の如く宣誓があつた後  
 裁「吉田千代は吉田菊次郎の子に間違ひないね」  
 證「左様であります」  
 裁「三月二日金光温泉へ被告が千代と同行した顛末は」  
 と問へば  
 證「寒竹さんの言葉では參詣してすぐ戻るのでその條件こそでしたのでその條件

で許しました、私は單なるドライヴと思つて居たのに翌日千代から「お母さんはあんなこと承諾したのですか」ミ妙なことを聞かされて驚いた次第です」  
 裁「その夜なぜ解らなかつたのだ」  
 證「あまり遅いので先に寝んでしまひまして……」  
 と花柳界獨特なルーズさをぶち撒けた後  
 裁「被告から二百圓受取つたか」  
 證「寒竹の仲介で着物でも買つて呉れとのことと戴きました」  
 裁「その後被告が證人の宅

へ行つた際なぜ抗議しなかつた」  
 證「寒竹さんから止められて居ましたから……」  
 裁「千代は確かまだ十五歳の小娘だづたね」  
 證「左様です、私の不注意からまことに申譯ないことだと思つてゐます」  
 と陳述、その時小脇辯護人起つて四月二十三日付證人から告訴狀が出てゐるが現在でも取下的意志なきやをお訊ね願ひたいと裁判長に申込めば證人より「取下げてもよろしい」と言明し裁判長との間に二三の質疑應答があつて訊問を終り、續いて被告の親戚先に當る河

合謙七郎(錦館主)並に同人の實兄河合八郎兩氏の證人訊問に入り謙七郎は柿の家女將代理人たる遊人風の男より八百圓を、吉田菊次郎氏より二千五百圓をまた八郎は同様柿の家女將柿本チヨより移轉費八百圓をそれぞれ被告との契約を口實として請求されたる経緯を述べて大体被告に有利な證言をなし各辯護人より二三補充訊問あつた後論告を残して午後七時三十分一先づ閉廷翌日へ持越されることになつた

せ狼襲誘拐並に淫行勧誘教唆といふ珍奇な桃色罪名に問はれた好色一代男岡山市津島河合兵衛に拘る續行公判は前日の後を享けて廿九日午前九時半より岡山地方裁判所小林裁判長係りで開廷劈頭論告に入り相墨檢事は決然起つて  
 世の中の事が萬事金で解決なし得ると考へた處に被告の大きな錯誤があつた  
 ミ先づ被告の黄金萬能振りをもとつてこの事件に織込まれた内容を検討するに凡ゆる妖策を弄し處女を奪つた点は詐欺罪にも等

しいが、貞操は金に換算できぬから已む得ずか、る罪名で臨んだのだ  
 ミ貞操玉寶論を述べ  
 これを道義的な觀點から見ても社會風議上まことに看過できない行爲だ  
 ミ結んで痛烈に論難し懲役二年を求刑、小脇、吉澤、

足利の各辯護人より法理的疑義ありとして無罪論を主張、被告の最近における心境を淳々として説けば流石の被告も落涙數行、感激のシーンを演じて正午閉廷、さしもの桃色の公判の幕を閉じた――

### 眞夏の戦慄

## 春日町の蛇問屋

### 蛇の夜這ひに

附近 一帯 大騒ぎ

廣い……岡山にたつた一軒しかない蛇問屋を繞つて  
 最近夏尙ほ寒き戦慄の毒蛇放浪記が傳へられ宵の話題

を賑はしてゐる——。

涼味たつぷりな噂さの家元は岡山市春日町に店舗を構へてゐる蛇政こゝ氏家長命堂といふ蛇問屋で數年前亭主と死別した四十格好の女主人が現在の店の切盛り一切を引受けて甲斐々々しく毒蛇訓練をやつてゐる。

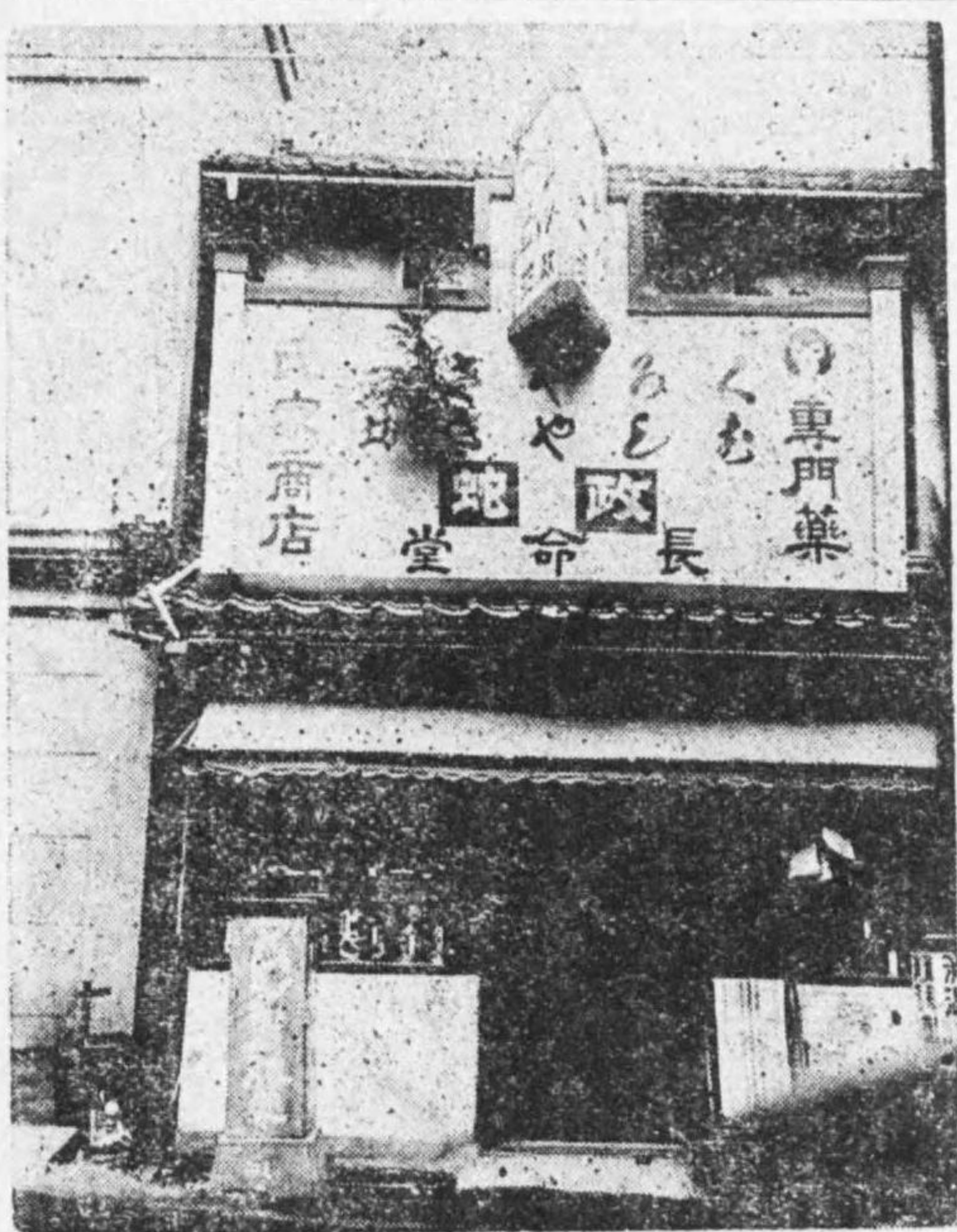
金網……にドグロを捲いた無數の蛇共が一寸した家人の隙をねらつては隣近所を襲撃し蛇を主題とした悲喜劇萬華鏡を捲起すといふのが蛇政抗議の眼目となつてゐるわけだ。

長命堂……が岡山で最初の店開きをしたのは市内西中山下の一角で恰度先頃の

家の料理屋へ侵入し、折柄晝寝中の美人仲居の要塞地帯を襲撃して了つた。「キャツ!!」けたまふましい悲鳴と共に艶やかな寝亂れ姿で仲居さんが飛出した時には蛇はもう何處へか退散した後であつた。度々の失敗に手を焼いた長命堂では今度こそはと堅い決心をして三度引越したのが現在の春日町である處が春日町に來てからも蛇の近所歩きは依然として防止できさうもない。

火事で焼けた文樂の附近であつた店開きは無事に済んだがさて困るのは蛇の檻禁問題である。余程嚴重に警

見ては近所へ夜歩きをオツ始める。まさかと思つてゐた隣家の某寫眞屋のスタジオで老婆がキャツと悲鳴を



戒してゐてもそこは根が畜生の蛇の事だから一の際を

ては流石の蛇政も居堪らなくなつた。結句……擦つた揉んだで引越したのが大供の内田ホテル附近である。「蛇問屋長命堂」と記された表看板と共に飾窓に充滿した蛇、蛇、蛇の氣味悪い豪華版は先づ近隣の人々を魂消させた。處が此處でもまた日ならずして多數の毒蛇跳梁が近所の人々を騒がせ始めた。蛇政……排斥が漸次波紋を擴げて來た矢先へもつて來て持上つたのが美人襲撃的一幕劇である。何に血迷つたか蛇君今度は飛んだ無叛氣を起して隣

走者は不可能と見へて近所の八百屋の林檎箱のスクモへドグロを捲いたり、隣家の飯籠に潜伏したり、果ては蚊帳の中を這廻つて夜も祿々ねむれぬこいふ始末で蛇政長命堂を繞る戦慄の侵入者にはホト／＼弱らされてゐる。

近所……の人々の斯うした大騒ぎを他に「東京では蛇屋が二百軒もあつて毎日千疋宛位の蛇が捌けて居ますナーニ蛇なんか馴れて了へば鰻も同じですよ」三朗らかに空囀いてゐるのだからこのマダム一寸氣丈夫者だ眞夏の夢を騒がす毒蛇横行記はさて何處まで擴がつて行くか??。

### 果てし魔の病院か

榊原病院長

## 遂に 正體暴露!

狂亂の私生活

相次ぐ誤診に疑惑



昭和六年二月岡山市内山下水の手清交軒跡に經費八萬餘圓を投じて堂々開業し

た榊原病院は、爾來醫師法を無視した誇大廣告を掲げて巧みに世人を眩惑させ、患者の弱點につけ込んで盛んに不當搾取を行つてゐたが相ついで起る重大な誤診さては暴力團の私設等々幾多の悪徳行爲が漸次表面化するにつれて早くも世人の疑惑を深め昨今では文字

通り〃魔の病院〃として市民は素より殆んど全縣下から畏怖戰慄の的とされてゐる

殊に同病院院長榊原亨氏の無軌道極まる私生活についてはかねてより多大な非難が擧げられ、國手の假面を被つて日毎夜毎に演ぜられる不敵な亂行振りは世人を痛く激昂させ稀代の二重人格者〃醫學榊原鷹〃の聲はその後愈よ熾烈化してゐるかゝる折柄またも今度は同博士を中心として描かれた藝妓、女醫、看護婦等々を繞る女、女、女の駭くべき愛慾狂亂の豪華繪巻がさらけ出されて各方面に異常

なセンセイションを捲起してゐる殊に注目すべきは今回の桃色スキヤンダルの裏面に榊原病院の私設暴力團若林一味が旺に暗躍してゐる

ハイドを地で行く

# 白衣の悪魔

悪辣さに世人驚倒

醫學博士、病院長等の絢爛衣裳に物を言はせ純情美貌の女を巧に渡り歩いた醫學榊原亨氏の極彩色な〃桃色股旅〃の犠牲に供せられた女性の前記の如く藝妓女醫看護婦等々既に數十名に達して居り〃デギル博士と

ハイド〃を地でゆく白衣の悪魔〃の無軌道行脚は今更の様に世人を驚倒させてゐる榊原博士を中心として織り出された今次色模様の中で最も悪辣を極めたのは中檢藝妓君江事松島君子（一八）を繞る攻略圖繪の全貌

で紅燈奥深く演ぜられたベラ棒なエロ亂行には流石の尺八蘭童も全く顔負の形である即ち前記君江は佐世保左れの女で岡山市東田町金融業並に藏妓置屋業高橋仁三郎妾中檢藝妓一枝の養女として十一歳の頃から貰受けられ少女時代は前記高橋氏らの世話で市内深柢小學校に通つたが卒業後は藝妓を志して養母について熱心に藝道を勵み、昨年九月頃から養母一枝と共に中檢から左棲を取つて華々しく岡山花柳界にデビューした、若くて美しい君江の出現は耳の早い花柳界で早くも評判となり彼女の名は日なら

すしてメキメキ賣出されていつた

夜の太陽さもいふべき君江の嬌名を慕つて各所のお座敷からは〃お花〃を注文する電話が引ツきりなしに掛つ来る始末である

稀れに見る君江の美貌にはかくて白牙の危機が刻々として迫つて來たのだ  
素晴らしいこの處女地帯に誰が先づ最初のパブレスマを與へるかはその時の花柳界で大きな興味となつてゐたのだ

その頃前記の噂を耳にした榊原亨は重患を放任して早速市内某料亭に君江を招

いて親しく首實檢をした處同人が意外な美貌であるのに少からず心を動かされ、その後も數回に亘つて君江

が絶へず出入してゐる岡山市下田町料亭新叶家の女將に君江攻略の相談を持掛けた處、二つ返事で承諾され



を招き巧みに同人を籠絡に掛つたが容易に君江が靡かないこゝが判つたので自分

茲に愈よ君江冒瀆の第一歩が踏出された  
一方君江の養母である一

枝は突然新叶家の女將から君江の水揚相談が持込まれたことに不審を抱き相手は誰であるかといふ點を執拗に追及した處、新叶家から更に電話で「今本名は言へぬ年頃は三十五、六で人格のある市内一流紳士だ」こいふ旨が知らされ「萬事は引受けた心配しないで早く君江を寄越して呉れ」といふ矢繼早の注文なので一枝も半信半疑のまゝ一先づ君江を新叶家に行かすことになつた  
新叶家の座敷に通された君江の眼前にニタニタ笑つてゐたのは意外にも榊原博士であつた



# 處女を

## 蹂躪

榊原に對して餘り好感を抱いてゐなかつた君江は自分の尊い處女をムザムザに提供することは堪へられない氣持がして暫時ためらつて見たが新叶家の女將に對してもそんな我儘は許されぬものさ考へ直し同夜十二時過ぎて遂に榊原と別室に入つた

白々として明けゆく翌朝にはもう彼女の純潔さは永久にサヨナラしてゐたのである

◆.....

その後數回に亘つて新叶家に君江を呼び關係を續けてゐる内、運悪くし昨秋の大水害になつて君江の密會が一時挫折の形になつた

それから間もなく君江は高熱に冒されて病床に呻吟する様になつたので病因を變に思つた養母一枝が早速市内東田町近藤醫院へ本人を同伴して診察を求めた處容態の見透しが決しかねるさいふ同醫師の診斷なので一枝は益す不審に思ひ更に

同町關場婦人科病院で診察して貰つた結果意外にも淋疾が感染してゐる事實が判明したので大いに驚き、水害で檢番が休業であるのを幸ひに同院について前後一月半許り治療を受けた結果漸く全治するに至つたがその間榊原氏はこの事情を知り乍ら一回の見舞にも來ないのみか治療費五十數圓に對しても全然責任を回避し君江病臥中は岡山市天瀬浪花亭檢番抱藝妓圓子(二二二)を相手に相變らずエロ狂態を續けてゐたものである

# 千五百圓

## 散財

君江の病氣に對する榊原氏の態度は余りにも女心を解さない冷酷な仕打であつた従つて前記高橋氏を始め一枝らは最早君江對榊原氏の關係は斷れたものさ考へては全然安心してゐたものであるが榊原氏は一枝らには内密でその後も相變らず同人と密會し、心も傷けられた幼い女心に更に鋭い毒牙を磨いた

君江を自己の手中に収めた満足感から心のブレーキを失つた榊原氏は一夜君江を引連れて平素自分の出入する料亭を戸毎に訪問し「

これが俺れの戀女房だ!!」と亂暴にも大言壯語して人を喰つた紅燈巡禮に一月千五百圓といふ大金をバラ撒いて歪んだ火遊びに熱中した事實もある

こうした噂さは間もなく養母一枝らの耳に入り憤慨した同人が榊原氏に對して厳しく抗議を申込んだ處同氏は洒々として「君江獨占の手當として今後は毎月百圓宛渡すから俺らの仲は暫く黙認して呉れ」さ申出た

ので一枝も一應納得し二三條件を附して本年七月頃から榊原氏對君江の接近を公認することになつた

一方榊原氏の方では好機到れりさ許りに雀躍して喜び君江に對して巧みに甘言を弄し「いつまでも高橋らの喰物になるな、俺についてゐればいつまでも面倒を見てやる、早く檢番を引かせてやるから藝妓置屋でもして一生安樂に暮せ」などと盛んに君江を煽動するの遂に同人はスツカリ榊原氏を信じて有頂天となり最近では高橋氏の言葉はテンドで耳に入らぬ始末で流石の一枝も全く持餘してゐた形であつた

## 海に山に.....

# 豪華な逃避行

患者は病床に呻く

醫魔榊原のためにスツカリ理性を失つた君江は本年の八月一杯を綺麗サツパリと棒に振つて檢番を休業し榊原氏と頻りに密會して桃色白日夢に狂奔し、海に山に豪華な逃避行を樂んでゐた秋立つ九月と共に再び君江が左棲を取る頃には彼女はひさく稼業に不熱心な女となつてしまつた

實の子同様永い間手鹽にかけた君江が日と共に荒ん

でゆくのを見た一枝の心痛は傍で見るとも氣毒な程であつた

こうした矢先へ突如捲起つたのが君江の失踪事件である

新叶家に前夜一泊した君江が翌日忽然として姿を消してしまつた

驚いたのは養母一枝らで早速高橋らを中心に種々相談した結果、君江失踪の背後に榊原の手が伸されてゐる

るものと思ひ、前後の事情を電話で榊原氏に報知しその無暴を詰つた處同氏は「俺は全然知らぬ、誤解して呉れては迷惑だ」との返事なので高橋氏らは大いに不審を抱き八方手をつくして

兵庫縣赤穂くんだりまで君江探索の旅に上つた事實もあり、失踪の美女を繞つてこゝに大仕掛な捜査陣がはりめぐらされた

探査の歩を進め場合によつては總ての事情を警察に打明けて善處したいと執圍いてゐた處、榊原氏からその後數回電話で「新聞の方は俺が止めてあるから騒がない様にして呉れ、萬一警察にでも知れたら俺の名譽に拘はる問題だから」と申入れて高橋氏に懇願しておき自分はかつて君江を連れて遊んだことのある金光温泉

かゝる折柄君江出奔後二日目に至つて料亭新叶家へ榊原氏から電話で「俺の所へ君江から今日手紙が来たあれは市内に居るから心配すな」と知らせたのでこの由を高橋に告げた所、高橋氏は早速新叶家へ様子を見に出かけ女將と種々話合つてゐた所へたまたま君江から電話があり女將と仲居さんに迎へに來て欲しいといふこゝなので女將らは

君江が都窪郡妹尾町キングカフェーに居ることを知り早速同町から君江を連れて一應新叶家へ歸り榊原氏も種々談合の結果同夜は先づ榊原に一泊して翌日女將同伴で高橋氏宅へ連れ戻り深く謝罪させたが高橋氏は君江は榊原氏に落籍されるか他の所へ鞍替へせぬ限り到底駄目だぞ考へこれを動機に榊原氏に交渉した處同氏は不都合にも「これまで

江との経緯を聞かせて呉れ俺は榊原の代理だ病院の事は萬事俺の自由になる」と豪語し高橋氏から事情を聞いてその日は立去つたが翌日手切金として金二百圓を置いて歸つた、然るに榊原博士はその夜君江の友人藝妓一光を天瀬細堀の料亭名月へ呼び種々君江誘惑の秘傳を授けた結果又も君江との關係が再轉し名月女將の肝入りで本月十五日金三千圓也で遂に君江落籍が急速度に實現したものである

養母一枝に背負せて知らぬ顔をした事實もあり醫魔榊原の桃色行狀記は誠に言語同斷のものといはれてゐる更に驚くべき事は前記三千圓が惜しくなつたものかこれを取戻さんとして如何

にも喝取されたらしく装つて西署に高橋氏を密告して同氏を無實の罪に陥入れんご策謀した事實で悪辣極まる榊原氏の態度に高橋氏らは痛く憤慨してゐる

### 神聖なる病院が

## 酒池肉林の巷

慘虐鬼畜に劣る無暴行爲暴露

稀代の二重人格者、醫魔榊原亨氏を中心として大膽不敵に演ぜられた愛慾狂亂の全貌は別項記載の如くなるも、今次事件を導火線として端しなくもこゝに去る

八月二十四、五兩日行はれた岡山花火大會當夜に於ける慘虐鬼畜にも等しき無暴行爲が暴露し俄然各方面に一大衝撃を與へてゐる即ち當夜榊原氏はたまた

ま自己の病院が花火見物に最適な場所にあるを奇貨に同夜多數重病患者が生死の境に呻吟してゐるのを尻目にかけて同病院バルコニー其他に約五百人の見物客を招待しこれにラムネ、キヤラメル、辨當さてはビール等を饗應して神聖なる病院を酒池肉林の巷と化せしめ院長自身も大浮れになつて多數藝妓を相手に大騒ぎを演じたがこれに要した經費は二日間で優に八百圓を突破したといはれてゐる

然も奇怪に耐へないこゝは當夜榊原氏が藝妓に對して「八百圓位がなんだ、俺の腕でやれば二年経ぬまに三倍にでも四倍にでもなつて返つて來る、飲め唄へ」と空嘯いた事實で同氏の言が果して何を意味するかに想到する時まことに戰慄を禁じ得ないものがある

五彩の花火が炸裂する榊原病院の大宴會場の下には多數の重病人が死の恐怖に脅へ乍ら血涙の呻吟に泣いてゐるのだ

彼等不幸な人々は斯くて醫魔榊原院長のエロ狂態の犠牲者となつて果敢なく死の床に叩きつけられるのである

弱者から血も肉もそぎ取つて得た數千金の大金はそのまゝエロ資金となつそ柳

暗花明の巷にバラ撒かれては冷静な再検討が必要では  
ゆく事實に對して今や世人——なからうか??

### 守銭奴? 慘忍狂?

## 白衣に身を包んで

患者の骨肉を喰む

醫魔 榊原の正体

// 魔の病院として世人を  
戦慄させてゐる岡山市内山  
下榊原病院長榊原亨氏は生  
來の不徳漢で、開業以來誇  
大な廣告を掲げて盛んに患  
者を吸引し輕微な患者に對  
しても重態の如く見せかけ  
ては長期な入院を強制して  
多額な治療費を搾取して  
たもので極悪非道な同院長

容して莫大な治療費を捲上  
げてゐたものさいはれてゐ  
る殊に同院の分院が和氣郡  
三石町に設立されてからは  
愈よ悪辣を極め、附近工場  
の患者に對しては殆んど大  
半脊椎の診断を下して岡山  
に送り長期間に亘つて搾取  
を續けた噂もあるその他  
盲腸炎等に對しても一回の  
手術で全治したものは稀れ  
で大部の患者は二回、三回  
手術を行はれ衰弱の余り  
遂に生命を斷たれるといふ  
有様である  
かつて同病院に收容され  
た一患者の如きは同院長か  
ら脊髄と診断され無暴にも  
頭部と足部に鉛の板をのせ  
られ遂に病勢が悪化して生  
命を失つたこともあり、香  
川縣香川郡生れの高橋ユキ  
さんといふ少女の如きは同  
博士の誤診に禍ひされて見  
當違ひの切開手術から哀れ  
十五の蕾を果敢なく散らさ  
れたといふ悲劇さへ傳へら  
れてゐる  
其他患者に對する誤診の  
如きは殆んど日常茶飯事で  
岡山市岩田町中央電氣商會  
社員山崎某は過般電柱から  
墜落して早速榊原病院の診  
察を受けた處「足が挫折し  
てゐるから」このことな  
で驚いて更に診断を求めた  
結果挫折してゐない事實が  
判明したのでその無責任さ

に全く呆れ返つてゐる  
往年大阪市民を戦慄させ  
た大野病院宛らの榊原病院  
の暴虐に對しては今や猛烈  
な排撃が叫ばれて居り、白

衣に身を包んで患者の骨肉  
を喰む、吸血鬼榊原膺懲の  
聲は、まさに澎湃として捲  
起つてゐる

### 南海の獵奇

## 北木島探訪記

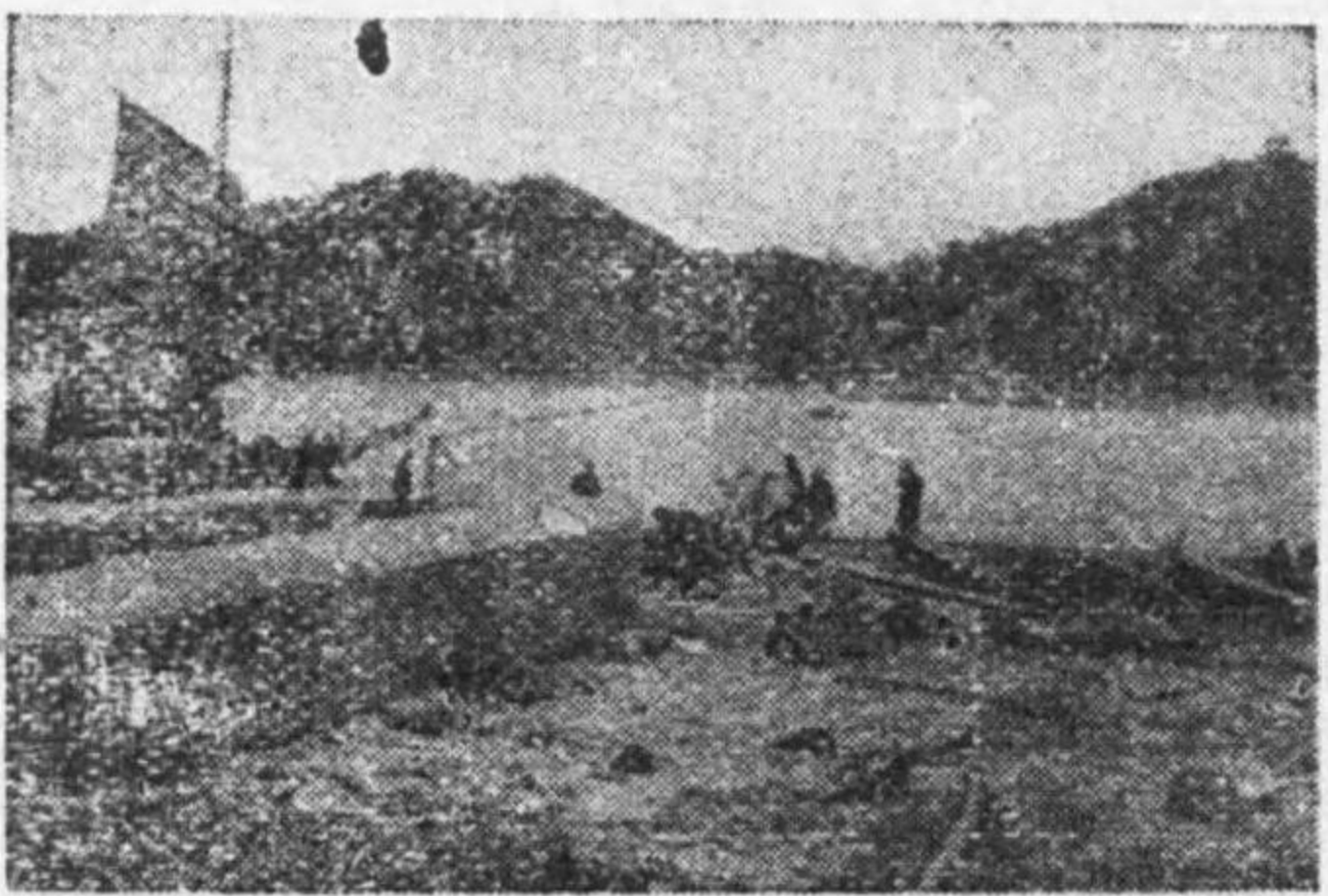
碧潮に亂舞する

夜這ひ村の珍談、奇習

北木島は水島灘、詳しく  
へ言ば小田郡笠岡港の南方  
約五里の海上にある周圍四  
里許りの島である。

の情痴境として有名で今尙  
島人達の間には血族結婚が  
盛んに行はれて居る。北木  
島を中心とする異色ある女  
權、ローカル、カラー溢る

部落制度の珍談、奇習を訪  
ねて梅雨霽れの一日を北木  
探訪の旅に上る。ペンとカ  
メラが描く情痴島の姿が一



抹の爽涼感となつて讀者の  
感覺に吹き送られるならば  
幸である——

憂鬱に續いた梅雨空を破  
つて久方振りに覗かせた青  
空の下、遠く連なる景観  
は水島灘の碧潮亂舞の姿で  
ある。

懐かしい潮の香、甘美な  
海風の囁き、海の幸を讃へ  
てサン／＼と降りそゞぐ七  
月の太陽を浴びて港街笠岡  
の情緒は一段と濃まやかだ  
.....

笠岡小唄で知られた伏越  
遊廓の船着場から毎日數回  
通つてゐるボツボ船が北木  
島への唯一の交通機關であ  
る。

プー、プーと船出を傳へ  
る汽笛の音に淡い旅愁を感  
じ乍ら同船客七人の中に漸

く割込んだ瞬間、赤銅色に潮焼けのした船員の逞ましい腕船がべりをドンミ突けば船は景氣よく海上に躍り出たボンボンボン、快よい鼓動を身にかけて記者は暫しウツトリとした。

紺碧の空を掠めて低く飛ぶ海燕の氣輕さ、さて碧潮に瞥見する海の香氣海月の浮遊行、魅力一杯の姿態でわれらに呼かける備讃の夏山、水島灘の朝風に眞白い一條の船脚を描いて神島高島等の大小幾多の島々を縫い乍ら風光明媚な海の國立公園を漫步する事約一時間あまり、遙かの彼方に夢の様

めざす北木島だ。

× × ×  
艦でボツボ船は北木島第一の繁華な部落、大浦へ入港した。

陸上第一歩を前にして記者の眼前に展開された珍奇な島の風景……。

渚に集つてこの不意の闖入者を物珍しさうに迎へる島の老若男女の盡くが殆んご半裸体、跣足といふ有様でガヤ／＼と記者を遠巻にして騒ぐ格好はまるでエチオピアにでも来たやうだ。

君よ知らずや

南の國……

嬉々として渚を跳ね廻る島の娘の無邪氣さ、情痴境

いこみである。

彼處の磯にも此處の砂丘

にも子供の大氾濫だ!!

これは文化程度の餘りにも低いのと單調な島の生活が生む必然的な結果と斷じていゝだらう。

血族結婚の盛んに行はれる結果は子供に悲惨な悪影響を及し、學童の能力が他の學校に比して著しく低いといふ事實を前に心ある人々に大きな暗示を與へて居る血族結婚の絶滅こそは現在の北木島に残された最も大きな宿題であらう。

× × ×  
北木島に来て見て特に目立つのは子供のベラ棒に多

北木島のこのほゝえましい景物詩を前にして記者の胸は妖しく躍つた。

× × ×  
北木島の現在人口は約四千六百人、戸数が九百八十九戸となつてゐるから一戸宛ザツミ五人弱の割合となる全島の主なる部落は大浦、金風呂等であるが、この内一番大きな部落は大浦で北木村役場を始め小學校、駐在所、診療所、郵便局旅館等の文化施設が完備され本島第一の大浦港を控へて、まさに北木島の主權を握つて居る。

この島の生活を保證する主な財源は全島に亘つて豊

富に埋藏されてゐる花崗石の採掘權事業で大浦港を足場として京阪神を相手にド／＼積出されてゆく石材が島人生活資源の大部分となつてゐる。

石材採掘につぐ最も大きな仕事は農業で、これは殆んぢ女の仕事となつてゐるだから北木の女は迎もよく働らく海岸に面した段々島に到るまで實に立派に耕作されてゐる。

小學校は大浦本校に豊浦、金風呂の二つの分校を合せて現在就學兒童約八百七十名、その他青年學校、婦人會等と教育に對する島のレベルは一頃と比較して目

### 敵機來の警報に

## 岡山 全市暗黒

### 戰慄の巷に

郷土を守る防護團員

岡山市では二十三日の防護團には日没頃から早くもカーキ色白腕章の防護團員が緊張した顔で詰めかけ東西兩署員在郷軍人憲兵等が加つて日没頃には既に水も洩らさぬ完璧の防護陣が布かれ敵機遅しミ待受ける折柄統監部から敵機襲來の惧あり//の警報が傳へられ(假定)五千の團員の顔にはサツと緊張の色が流れる

この夜霜月十二日の空は折柄の月明で水の如く澄み渡り胸もワクワクする様な絶好の空襲日和、市役所の防護團本部、市内十五區の防護分團本部その他各獨立

!!間髪を入れず全市十五小  
学校のサイレンは一齊に無  
気味な聲を立て、全市の夜  
空に猛吼する、敵機近し、  
愈よわれらの岡山市に空襲  
の危機が迫つたのだ!!、護  
れ郷!!全市の電燈は一瞬に  
消燈されて四邊は全くの黒  
一色、空襲下に曝らされた  
//死の街//をめぐりて記者  
の便乗した自動車は霧らに  
躍り出た、時に午後八時十  
分

われらの岡山は今眞暗だ  
記者の便乗した自動車のへ  
ツド・ライトのみが暗い舗  
道を手探るやうに氣味悪く  
二條の白線を描いてゐる

敵機の襲來に怯へた人々は  
一齊に屋内燈を消して彼處  
に五人、此處に十人と佇ん  
でゐる、その中を白い腕章  
をつけた防護團員が物々し  
く往來して息づまる様な防  
護陣を布いてゐる  
警笛を夜空に吹き鳴らし  
て赤色信號の交通整理がこ  
れまたカーキ色の團服に身  
を固めた防護團員によつて  
必死になつて行はれてゐる  
「醫大病院が危い」人々の  
叫ぶ聲に前方を見れば明煌  
々たる電燈で各病室が闇の  
中に浮び出てる、//危険  
だ!!//思ふ間もなく敵機の  
放つた爆弾が……ズドン  
!!耳をつんざく百雷の響だ

(假想)身を以つて逃れた記  
者は運轉手を勵まして内田  
ホテル前に入るスピード!  
スピード!!フルスピードだ  
流石のホテルも今夜許りは  
眞暗に消燈されて小山の様  
に横つてゐる、瞬間「止め  
!!」鋭い防護團員の聲に自  
動車は停止された「ヘッド・  
ライトを暗くせい!!」一喝  
を喰つて更に今度は專賣局  
前を岡山驛に向つて北上す  
る、アツ!!備前工場北手が  
散々に破壊されて燃上つて  
ゐる(假想)救護班の間を潜  
つて岡山驛前に出れば流石  
の驛も待合室までカーテン  
を降してヒツソリ閑と假死  
の状態だ

電車通りを東へ城下へ向  
つてメイン・ストリートの  
突進を敢行する、鎧戸を降  
した電車が遠慮勝ちに除行  
してゐる中を東進すれば兩  
側には多數避難者が集つて  
夜空を仰いで戦々競々の態  
一居並ぶ銀行、會社、大商  
店も全部消燈されて邊りは  
一面死の街だ、ツイ先日ま  
で誓文拂で賑つてゐた銀座  
街も敵機を恐れて眞暗闇、  
城下を右に曲つて赤十字病  
院、日本銀行等々のビル街  
を縫つて西大寺町の十字街  
へ更に左折して京橋を通過  
すれば流石の不夜城東西兩  
遊廓も全くの闇黒街、青い

灯赤い灯の代りに防護團員  
の信號燈が無氣味に飛び交  
ふ、中納言を右に旭東小學  
校前まで来た頃には全市は  
全く完璧の警戒陣に入つた  
走れ!走れ!!再び京橋に出  
て西へ向つて幕進を續ける  
突如新西大寺町角で//スト  
ツプ//「火を全部消せ」命  
令は絶對だ、かくて記者の  
自動車は文字通り盲目自動  
車となつて冷く光る月光を  
しるべに喘ぐやうにして本  
社へ本社へ//防空なくして  
國防なし//戦慄の空襲下に  
全市民協力してのこの防護  
振りを前に記者は思はず嬉  
し泣きした――

### ひこの戀路を邪魔した男

## 一圓の恐喝でも

### 懲役一年が至當?

本年二月始め岡山市東中  
島うさん屋松本四郎方で市  
内網の濱高橋照一(三四)が  
泥酔の揚句、市内上西川生  
魚商大杉榮吉假名の妻民子  
(三一)の俺は「隠し男」だ  
とノロケ出し昨春秋紅葉の  
東山公園でキツスしたのを  
手始めにツイ先日も友人岡  
田松太郎宅で情交したと特  
意氣に語つたのを同うさん  
屋に居合せて耳にした被告

は、得たりとばかり數回に  
亘つて姦夫高橋に無心を吹  
掛けて果さず、淫婦民子に  
は、「亭主に暴露する」と  
脅迫して金貳圓をゆすり又  
も金にせんま二月十一日岡  
山劇場で民子を待伏せて居  
る所を御用!!タツタ二圓の  
煙草代を稼いだのみで一審  
で一年の懲役に處せられた  
のを不服に、御手柔らかに  
願ひますま「ひこの戀路を

邪魔した」恐喝男の控訴公  
判……定刻……  
裁「如何なる理由で控訴し  
たのか」  
被「恐喝したのではありま  
せんし、充分に審理して  
貰つてお安く願ひたいの  
です」  
裁「お安く願ひたいまは」  
被「罪を軽くして欲しいん  
です」  
裁「被告は二月一日午後一  
時頃高橋を内山下カフェ  
乙女座へ呼寄せて口止料  
三百圓を三日迄に調達せ  
いと強要したそうだな」  
被「そんな事は決して申し  
ません」  
裁「それでも高橋の證人調

書には三百圓を無心され  
たが調達の見込がないの  
で期限までに五十圓を持  
つて来る約束をしたと云  
つて居るがどうか

被「私の方から云つたので  
なく自發的に高橋が申し  
たのです」

裁「被告は何程出せよ云は  
なくてもそう云ふ態度を  
示したのでないか」

被「或は高橋がそう執つた  
かも知れません」

裁「又被告は民子を二月十  
日午後九時頃自宅に呼び  
口止料を強要して二圓を  
せしめたのは事實か」

被「二圓を受取つたのは間  
違ひありませんが決して

強要しません、民子が人  
の口に戸がたゝんから煙  
草代として少いが二圓を  
納めてくれと、拒絶する  
のを無理に置いて行つた  
のです」

裁「二圓ぐらゐの端金は  
入らん明十一日午前九時  
までに岡山劇場へ五圓を  
持つて来い、でないとな  
主に暴露するよ云つたそ  
うでないか」

被「そんな事は云ひません  
唯民子が気が済まんから  
明日、もう少し心付けする  
と云ひましたので」

徹頭徹尾犯行を否認し続け  
裁「他人が不義し様と密通  
し様を被告の關係した事

ではないぢやないか」

被「ハイ……………」  
裁「始めは民子の家は裕福  
だし甘く行けば二、三百  
圓になると想つたがアテ  
が外れたので煙草代でも  
と考へたのだらう」

被「……………」

以上にて事實審理を終り経  
歴の訊問に入つた。  
裁「被告は昭和四年六月懲  
刑した

### 無言の勇士

## 軍馬「赤兎號」の偉勳

人間業でやれない  
赫々たる武勇傳

北滿の曠野を馳驅して赫  
々たる武勳を立てた「無言  
用鳩の第二次表彰について

は、かねてより陸軍省恩賞

課の手によつて慎重なる銓  
衡が行はれてゐるが愈よ去  
る三十日軍馬四八頭軍用犬  
八頭軍用鳩十二羽が發表さ  
れた――。

全國民の血を湧立せた滿  
洲事變に際してわが忠勇な  
兵士達に伍して果敢な敵前  
連絡、通信、彈藥糧秣輸送  
に人間の力できぬ重要任  
務を果したこれら無言の勇  
士の中にわれらの郷土部隊  
に屬する、立駒、赤兎の二  
頭が含まれてゐる事は斷然  
頼母しい。昭和七年四月十  
一日立駒は當時の第三十三  
旅團長中村少將乘馬として  
赤兎號は歩兵十聯隊の駄馬

こしてそれ〴〵渡滿し數次  
の激戦に参加して輝かしき  
偉勳の數々を立てた。今回  
の發表を齎らして歩兵十聯  
隊乘馬委員事務所に當時の  
出征勇士達を訪問すれば流  
石嬉しさうに戰塵渦巻く當  
時の血戰を想起しつゝ交々  
次の如き赤兎武勇談を物語  
つて呉れた。

× ×  
滿洲事變突發と共に昭和  
六年十二月二十日歩兵第十  
聯隊第二大隊の歩兵砲小隊  
の彈藥輸送馬として渡滿、  
十一月廿八日奉天到着と同  
時に混成第八旅團獨立山砲  
中隊に編成され錦洲攻撃の  
目的で十二月三十日打虎山

に向つて出發した。

此處で昭和七年の新年を  
迎へ一月十日の打虎山の  
激戦に参加して偉勳を立て  
同月十九日の不破騎兵中隊  
の弔合戦に参加して新立屯  
に進發、匪賊討伐に従事し  
た後、室第二師團の指揮下  
で同月下旬の大討伐に加は  
り險阻な山を重い山砲を引  
き乍ら敵陣間近に進出、彈  
藥不足に苦戦中の友軍に對  
して彈藥集積所から數回に  
亘つて死の輸送を行つた。  
越へて二月二十四日にはハ  
ルビン警備につき同年四月  
十八日聯隊主力が混成を解  
かれると共に歩兵砲隊曲射  
小隊に編入され、同月下旬

役二年に處せられ、出獄

後又々昭和七年十月懲役  
一年で入獄して居るが共  
に窃盜だナ

被「ハイそうです」

裁「妻は現在身重だと云ふ  
ではないか」

被「……………」

これにて訊問終了檢事は立  
つて前審通り懲役一年を求

から六月上旬に到る間を松

花江附近の討匪に従事し、  
五月六日の戰鬪では敵前四  
〇〇米の近くまで曲射砲を  
背負つて彈藥補充を行ひ激  
戦三時間後に完全に敵陣地  
を占領して偉功を立てた。  
翌五月七日の方正攻撃では  
旅團右翼大隊に屬して敵の  
左側背を迂回攻撃し三十六  
發の彈丸を背負つて敵の猛  
射を受け乍ら突進した。

五月十三日の山西攻撃に  
は敵の退路を遮斷して迷惑  
ふ敵を全滅させ、六月十二  
日の阿城の夜間戰鬪では彈  
丸雨飛下を馳驅して彈藥輸  
送に活躍して戰鬪を有利に  
導くなき實に目覺ましい奮  
戰を續けた。

「悪魔」のやうな六十婆

## 美しい嫁への嫉妬

わが家へ放火して投身自殺

「今に樂をさせてやる」を家を出て

岡山縣久米郡加美村森元五五三、黒瀬徳右衛門氏(六四)方の火災と、同人妻よしさん(六〇)の自殺については所轄加美署で取調べの結果、よしさんは次男清君(二五)―假名と美しい新妻の綾子さん(二二)―假名とが余り仲がよいの嫉妬し自宅に放火して自殺したものと判明したよしさんの新嫁に對する

嫉妬は今にはじまつたこととなく、長男滿君(二八)―假名が數年前新妻を迎へた際はその翌々日から嫁の悪口をいひふらし、つひに十四日目に「こんな面白くない世の中には居たくない」と附近の溜池に飛び込み部落の人によつて救助された事實があり、こんなことがあつたので長男夫婦は遂

に分家してしまつたそれで「やつと安心した」よしさんは本月六日次男が新妻をもらつたのでまたも嫉妬の焰をもちやし、それからといふものは長男の結婚當時同様毎日家庭に風波の絶え間なく、去る十八日の如きはよしさんが余りに新妻綾子さんを汚く罵つたので清君と親子喧嘩までなしたがその際よしさんは「今にお前方に樂をさしてやるから」の意味ありげなことを言つたが日ごろの母親を知る清君は別に氣に止めなかつたと十九日の朝自宅を出たよしさんは一日顔も見せず同日午後隣村稻

岡南村知人森下道雄氏方に立寄つて同夜歸宅、自家の周圍を徘徊し二十日午前零時四十分ごろ自宅に放火し、納屋から母家に火がメラメラ燃えうつるのを附近のわらぐろにかくれて見届け、やがて附近の一方谷池に投身自殺を遂げたものである  
同事件取調の爲め實地檢證を行つた津山檢事局の小西檢事平田書記は午後五時歸所した

岡山・太田洋行  
岡山市上ノ町  
電話五九〇七番

市長、助役の對立激化し

## 岡山市會騒然

代決權剝奪を繰り

「一觸即發」の危機迫る

岡山市最高首腦者石原市長對齋藤助役の確執問題は岡山市政の癌腫として從來各方面から擧蹙されてゐたが兩者の感情の疎隔はその後愈よ尖鋭化し、ここ毎に反目抗爭して最近ではまさに「一觸即發」の危機に曝されてゐるが、俄然去る二十日に至つて石原市長は猛然として攻勢に出で、命令系統確立、能率の増進、

市政の機密漏洩防止等々の理由で助役代決に屬する乙號決裁書類を廢止し、事務代決權を剝奪して齋藤助役を完全に市政圏外へノックアウトするといふ舉に出たので鬱積した兩者の悪感情はこれを契機として一時に爆發し端しなくも、乾坤一擲の華々しい攻防戰が展開されることになつた

## 市政創始以來

## 空前の怪事

市條令を改正し

助役の權能を剝奪

今回抜打的に斷行された齋藤助役に對する事務代決權の剝奪問題についてその後各方面の情報を綜合するに石原市長對齋藤助役の關係は本紙屢報の如く極めて險惡なる状態に置かれ、市

雨か？ 風か？ かくて兩者の對立は日と共に激化しさなくとも混亂状態にある市政の全局面に大きな波紋を齎らしつゝあるが、岡

山市としては時恰も明年豫算編成といふ重大時局に直面しており、事態の推移は各方面から頗る重視されてゐる――

長就任以來兩者の感情的確執は日と共に愈よ深刻となり市政上の意見等に對しても事毎に相反して容易に譲らず岡山市最高首腦者としていはゞ唇齒輔車の間柄にあるべき兩者が今日まで殆

んぎ絶縁の状態におかれて  
 るたものである、殊に最近  
 では兩者の感情的ギャップ  
 は一段と深められ氣味悪い  
 沈黙は何時爆發されるも圖  
 られない危険な状態に立到  
 つてゐた處、俄然前項の如  
 く去る二十日を期して石原  
 市長は命令系統の單一化並  
 に市の機密事項漏洩防止と  
 いふ理由で本市未曾有の事  
 務代決權剝奪を敢行して宿  
 怨の齋藤助役を市政からK  
 ・Oしてしまつた

即ち代決權剝奪の理由と  
 しては齋藤助役が殆んど毎  
 日の様に各課から帳簿、重  
 要書類の提出を求め、長時  
 間自己の机上に停滯させて



長市原石は眞寫

帳簿類を返還せざるため各  
 課共事務の遂行上大いに支  
 障を來し事務の能率を阻害  
 するもの大であるといふに

事實は岡山市助役の責職を  
 冒瀆するも甚だしく延いて  
 は市政上に多大な迷惑を生  
 ずるといふ噂を耳にした石

あり殊に甚しきは該重要帳  
 簿類を助役室において自己  
 に密接な關係にある市會議  
 員らに公開して暗に市政攻  
 撃の材料提供に資してゐる

原市長は最近に至つて愈よ  
 助役の代決權剝奪を決意し  
 福田文書課長らと共に密か  
 に協議した決果該案實施の  
 前提として過般市廳内に課

長會議を召集して各課長に  
 自己の所信を披歴した後、  
 命令系統の確立、能率増進  
 並に市政機密事項の漏洩防  
 止を理由として従來助役の  
 代決に屬してゐた『乙號決  
 裁事案』を廢止して齋藤助  
 役の事務代決權を剝奪し、  
 市重要事案に對しては今後  
 は市長自らがその衝に當る  
 事を言明し各課長の諒解を  
 求むる處あつたが、いよいよ  
 前項の如く去る廿日を期  
 して市長は右案の實施を發  
 表し齋藤助役を完全に市政  
 から追放してしまつたもの  
 であるが、一方この報を耳  
 にした齋藤助役は大いに憤  
 慨しこれまた伊藤議長並に

反市長派議員らと共に慎重  
 對策を練つて近く痛烈なる  
 逆襲戦を試みんとしてゐる  
 模様で代決權剝奪を繞る石  
 原市長對齋藤助役の抗争は  
 今後一段と悪化するものと  
 見られてゐる

醜争は

市會に

進展

代決權剝奪を導火線とし  
 て捲起された市長對助役の  
 抗争はその後愈よ最高潮に  
 達し市政の内部に空前の大  
 動搖を齎らしつゝ早くも猛  
 烈な潜行戦が開始されるに  
 至つた



役助藤齋

即ち今回石原市長の執つ  
 た抜打的態度に憤慨した齋  
 藤助役は代決權剝奪を循に  
 今後一切市政の重要事務に  
 關知せぬといきまき萬一市  
 長不在中といへども支出命  
 令等に對しては絶対に代決

を斷るといふ強硬態度を持  
 してゐるが、一方市長とし  
 ても自己が不在中には各課  
 長をして重要事案の提出を

なさしめないといふ皮肉な  
 對策に出ており兩々入亂れ  
 ての白熱戦は漸く本格化し  
 て來た模様である

殊に今度の剝奪問題の中  
 心とされてゐる機密事項漏  
 洩について仄聞する處によ  
 れば齋藤助役は常に助役室  
 に入出入する市政派議員岡上  
 富山氏らに各課から提出を  
 求めた帳簿類を閲覧させ陰  
 に陽に同派の市長排撃材料  
 を提供してゐたものといは  
 れてゐるが、この點に對し  
 ては近く聯合派側から一齊  
 に糾問の矢が向けられるも  
 のと見られてゐる  
 かくて場合によつては市  
 長對助役の抗争はそのまゝ

聯合、市政兩派の抗争に進  
 展されんとする模様で市會  
 の内部はこの處全く支離滅  
 裂の形である

危機を

胎む

兩派の抗争

食ふか？食はれるか？助  
 役代決事項剝奪問題は岡山  
 市會に俄然一大波紋を齎ら  
 し聯合、市政兩派の對立的  
 感情は急速に尖鋭化しま  
 さに一觸即發の危機を  
 胎むに至つた、殊に反市長  
 派たる市政クラブでは問題  
 を頗る重大視し、齋藤助役  
 と聯繫して種々策謀を行つ



てゐるが同派としても今回  
の問題を好機に同派の一枚  
看板である打倒石原市長

//の猛運動に全力を傾注す  
る模様で市長攻撃の材料蒐  
集その他について重要協議  
を續けてゐるが先づこれが  
報復手段として同派では去  
る二十一日午後五時から山  
佐樓に開かれた市長の招宴  
に對して市財政窮迫の理由  
で一齊に出席を拒否し全員  
連名のもとに不出席を回答  
したが當夜は伊藤議長も市  
政派に合流して出席を肯ん  
ぜず、懇話會は名許りで  
聯合派議員を中心とした石  
原市長ほか市理事者並に行  
吉角治、横山泰造氏らが參

集して極めて不体裁な會同  
に終つた  
然も奇怪なのは宴會半ば  
で當夜不出席の伊藤議長そ  
の他に電話を以つて執拗に  
出席を慫慂し剩つさへ不出  
席者に對して夜中折詰を配  
布した事實もあり、石原市  
長らの姑息手段に對して關  
係方面から多大な非難が舉  
げられてゐる

調を合せて一気に市長打倒  
の最後の運動を捲起さんと  
してゐる模様である  
殊に注目すべきは同派の  
運動が從來の華かな議場戰  
から漸次深刻なる潜行戰に  
轉換されてゐることで、噂  
さによれば同クラブでは過  
般市長排撃の急進分子であ  
る某議員の名で例の質問  
書//に準據する相當有力な  
告訴状を岡山検事局に提出  
した模様で對市長の捨身  
の一戰はこゝに一段の眞剣  
味を加へて來たものゝ如く  
である  
仄聞する處によれば坪田  
前土木課長も該告訴に基い  
てか岡山検事局に出頭を命

ぜられ四課長任免問題當時  
の事情について相當長時間  
に亘つて種々訊問を受けた  
らしく例の市長排撃質問書  
内容については檢察當局と  
しても頗る慎重な態度を持  
しておりこれが眞相究明に  
對して近く本格的な活動が  
開始される模様で事態は漸  
く憂慮されるに至つた

巷間傳ふる處によれば二  
十三日の防空大演習終了を  
待つて或は石原市長に對し  
て召喚状が發せられるので  
はないかと茲數日の動きに  
對しては各方面から多大な  
注目が拂はれてゐる  
かくて岡山市政は首腦者  
相刻と市會兩派の喧鬨が禍

して遂に收拾すべからざる  
混亂状態に陥り、明年度豫  
算編成ものかは急迫する  
法律の嵐を前に暗雲低迷こ  
の處戦々競々たる有様であ  
る

### //事態を

## 静観

### 助役語る

今回の問題について當の  
藤齋助役は語る  
二十日以後僕のところへ  
書類が廻つて來ないの  
は事實だ御覽の通りの靜  
養状態だがこれもいゝよ  
しかし今後の市政澁滞の  
責は勿論市長に負つて貰

ふつもりだ、實際問題と  
して市長不在中の支出命  
令なきには困るこゝ、思  
ふがこれも致し方ない  
僕が機密漏洩をしたとい  
ふことだが全く覺へがな  
いこゝだまあ事態を靜觀  
するつもりだが市長とし  
て或は近く重大な禍ひが  
ないとも限らないよ  
と暗示的な言辭で結んだ

實は驚いた、市政の事務  
が輻輳して助役を増すと  
いふなら肯けるがこれで  
は反つて時代に逆行する  
ものだ、機密漏洩云々と  
いふことだが機密の定義  
を誤つてはゐるないかと思  
ふ、清く明るい政治に機  
密は要らぬ筈だ、たとへ  
三千圓の年俸でも助役の  
俸給は市民の血税だ、遊  
ばせておいて俸給を出す  
考へかも知れぬがそれで  
は市民が承知すまい、一  
体市長は「俺が、俺が」と  
よくいふがあんな態度は  
感心せんよ、これから助  
役や市長に會つてよく眞  
相を尋ねる考へだから万

事意見はその後のことだ  
云々

### //助役が

## 悪

### 吉田市議談

また市政脱退派吉田議員  
を訪へば――  
さうも困つた問題だ、共  
に助け合つて仕事をせね  
ばならぬ市長と助役がこ  
れでは全く困るよ、一時  
仲裁に入つたこゝもあつ  
たが今では愛憎つかしの  
形だ、市長も少し考へな  
ければいけぬが大體助役  
が悪いのではないのか、  
助役とは文字通り市長を

助けて市政を圓滑に遂行する役だから職務からいつても助役の態度はさうかと思ふ、たゞ迷惑なの

は市民でこんな醜争は早くなんとか片つきたいものだ云々

下常事者の涙ぐましい努力に對して思はず感泣させられた

茲に同校の見聞記を掲げて世の親心に訴へる

涙ぐましい努力

# 血で築く人類愛

## 盲啞學校訪問記

盲啞の無明地獄に喘ぐ不幸な子達に濫い再生の息吹きを與へ希望も光明もケシ飛んだ痛ましい童心にパツと明るい希望の灯//を投げける岡山縣盲啞學校の聖業こそまこと血で築く人類の輝く金字塔//だ

視覚と聴覺を失つたこれら不幸な學童に執つて唯一つの魂の慰安所、われらの盲啞學校に對して世人は從來余りにも無關心であつた記者は今、市内西古松の同校を訪問して、詳しくその實情を見聞し、妹尾校長以

下常事者の涙ぐましい努力に對して思はず感泣させられた

前記の如き事情で學生には相當な年齢の生徒が多數含まれて現在までの最高記録では四十五才といふべし棒なのもあり學生教育が如何に苦心を要するかを如實に語つてゐる

なのは聾生教育で學校當局さしてもこれに多大な苦心を拂つてゐる  
聴覺を全く失つた聾生に對しては讀唇法によつて先づ原語教育を授ける  
教師の唇の動きを見て彼等は原語を覺へ、危つかしいアクセントで次第に失はれた聴覺を呼び戻してゆくのである  
従つて聾生教育の年限は盲生に對して著しく長期で初等部六ヶ年(教務教育程度)  
中等部五ヶ年の外に豫科二ヶ年と前後十三年に亘つて指導を受けることになつてゐる

初等部では殆んど普通小學校程度の課目の教育を受け(但唱歌は除外)中等ではこれまた職業教育を主力に専ら生活確保を期してゐる中等部では更にこれを三部門に分ち工藝科、和裁科(ミシン)洋裁科(ミシン)にそれごとく分類して各自の個性によつて専門的智識を興へ、懇切な實際指導に各教師は文字通り心血を注いでゐる  
殊に注目すべきは聾生教育に要する學費の點で、完全に卒業するまでには一人宛優に千三百圓程度の學費が必要であることだ、従つて聾生の方は中途退學者が

非常に多く教師の心を暗くさせてゐる  
然しこれも現在では縣から年額四千圓の補助を受け居り幾分緩和されてゐる模様で聾生に唯一のオアシスとなつてゐる

新任森市稅務課長は就任以來着々として稅務各般に亘る整理を斷行、課員を督勵して市稅滯納者に對して

# 滯納九萬圓

## 市稅務當局

### 稀有の奇怪事

續々最後の手段に出で、これに應ぜざる時は斷乎として強制處分を行ふなご極めて強硬なる態度を示して天

晴れ名課長振りを謳はれて  
 るるが調査の結果またも今  
 度は岡山花街に働らく藝妓  
 二百五十餘名の藝妓税が昭  
 和六年度以來過去五ヶ年間  
 に亘つて滞納され、滞納總  
 額既に九萬圓に及んでゐる  
 こゝを發見したので大いに  
 駭き早速市内各檢番に通知  
 して前記滞納金の即時納金  
 方を促すと共に右督促に應  
 ぜぬ場合は藝妓の衣裳類そ  
 の他一切の商賣道具を差押  
 處分に附する旨、嚴重警告  
 を發したので各檢番共大狼  
 狽し、かくては商賣丸揚り  
 と鳩首協議の結果取敢へず  
 滞納金を完納して漸く事な  
 きを得たが、森課長今回の

抜打的フライン、プレーは  
 各方面に意外な衝撃を與へ  
 前記事實の裏面には檢番對  
 市稅務課の間に相當複雑な  
 事情が潜んでゐるのではな  
 いかと早くも取沙汰され多  
 大な疑惑を生んでゐるが或  
 は近く前任杉原、鈴木兩課  
 長らに對して徹底的究明の  
 鉾が向けられるのではない  
 かと事態は頗る注目されて  
 るる

納事實が市理事者より不問  
 に附せられてゐたことは殆  
 んど常識では判斷する事を  
 得ない近來の奇怪事なりと  
 して各方面から一齊に非難  
 の聲が擧げられてある、現  
 在岡山市花街に働らく藝妓  
 は二百五十名で、彼女等の  
 //桃色勞働//に課せられた  
 税金は各檢番當局が一應取  
 纏め市稅務課へ納付するこ  
 とになつてゐたにも拘らず  
 從來稍々もすれば滞納にな  
 り勝て當局の頭を悩まして  
 たが昭和六年以降は滞納が  
 極めて露骨になり各檢番共  
 殆んど申合せた様に納税を  
 停止して酒々として今日に  
 及んでゐたもので今回の調

査によつて前記の如く滞納  
 總額既に九萬圓を突破して  
 るる事實が判明したので市  
 財政困窮の折柄當局として  
 も放任出來ずとして今回の  
 強硬手段に訴へたものであ  
 る

督促もせず  
**全然放任!**  
 裏面に醜事實

柳暗花明の巷をめぐけて  
 投ぜられた新任森稅務課長  
 の//藝妓税即納//の一石は  
 その後意外な渦紋を擴げ九  
 萬圓滞納に絡る一切の醜狀  
 が近く表面化されんとして  
 るる市稅務當局が今回調査  
 したところによれば前項の

如く昭和六年頃より前後五  
 ヶ年間を通じて藝妓税納入  
 は殆んど停止の形となつて  
 おり莫大な滞納金が奇怪に  
 も今日まで全然放任されて  
 顧みられないといふ實狀で  
 あつた

一般市民の滞納に對して  
 は//市財政窮迫//その他を  
 理由として容赦なく強硬手  
 段に出る市稅務當局が堂々

九萬圓の藝妓税滞納を不問  
 に附してゐた裏面に對して  
 大きな疑惑が抱かれてゐる  
 従つて杉原元課長、鈴木  
 前課長等に對して鋭い究明  
 の矢が放たれ近くその責任  
 が追求せられる模様である  
 殊に鈴木前課長の如きは

在任中鬼課長の異名まで受  
 けた辣腕家で同課長が何を  
 好んでか、る多額な滞納を  
 看過したかは到底常識では  
 判斷出來ぬ處とされてゐる  
 一説によれば過般同課長  
 が臆首されたのも今回の事  
 實が關聯してゐたものとも  
 言はれ、事態の動きは多大  
 な興味で見られてゐる

納めて

あるのに

よういわんわ

過去五ヶ年間に亘つて續  
 けられた岡山市各檢番の不  
 敵な藝妓税滞納行爲が新任

森市稅務課長によつて暴露  
 され、場合によつては藝妓  
 稼業の唯一の財産ともいふ  
 べき衣裳道具の差押へもし  
 かねまじき勢に面喰つた各  
 檢番藝妓連は大いに驚愕し  
 毎月嚴重に取立てられてゐ  
 た税金が檢番から末だに市  
 に對して渡されてゐないの  
 は不都合だと桃色氣焰を上  
 げ文字通り柳眉を逆立て、

檢番へ抗議を申込む始末に  
 各檢番とも大いに狼狽し百  
 方紅裙連を鎮撫すると共に  
 一先づ前記の如く滞納金九  
 萬圓也を耳を揃へて納入し  
 漸く事なきを得た模様であ  
 る

一方今回の事實は一般市

民の納税觀念に多大な悪影  
 響を及し市吏員の督促に對  
 しても「藝妓税が五ヶ年も  
 放任されて居乍ら、僅かな  
 滞納に餘り厳しくいふな」  
 と逆襲して督促掛りを困ら  
 せてゐる向もある様でこの  
 處市當局も全く大弱りの態  
 である

岡山市上西川 電二九九八  
**友澤眼科**  
 友澤 昌男

傳説 御津郡加茂鑛山に  
お伽のやうな運幸

# 火に熔けぬ鉛

非常時工業の寵兒//水鉛鑛//  
商工省から奨励金

「火に熔けない鉛が出る」といふ不思議な話だが、百二歳になる鑛山の老婆の口から洩れ、金に餓えた村人はその//熔けない鉛//を求めて

血眼で山肌を探し廻つたしかし熔けない鉛はどこにもない山はかうして何年も間に忘れられ、遂には鑛山師な手を離れてしまつた

だが山ではいつも百パーセント//運//がさいころを振つてゐる、ひよつこりその//火に熔けない鉛//が出たのだ！モリブデン(水鉛)だつた非常時工業の寵兒モリブデン鋼の母胎になる重な水鉛鑛、しかもわが國では島根の山佐鑛山のほかに

殆ど出るところがないといふ不足鑛物中の重要鑛……

鑛山は忽わが國稀有の水鉛鑛山として、鑛業界の人氣もの(?)となり、こんど商工省から奨励金も下つた！岡山縣御津郡津賀村加茂鑛山が生んだ話題だ

いまの所有者神戸三宮町一ノ二中安治郎氏が、昨年末この鑛山を手に入れた時は、たゞ佳石が出るこいふだけで//熔けない鉛//はもうすつかり傳説になり終つてゐるが、すでに故人になつてゐる徳田某といふ老婆が『自分らの子供のころには岩肌におしつぶしたやうな鉛がベタベタくつゝてゐるのを見た、村人はこれ

てゐることがわかり本年九月、全國各鑛山必死の競争をおしのけて商工省の不足鑛物助成奨励金四百圓を見ごとに獲得した最近同鑛山を實査した大阪鑛山監督局の小西技師も

山として、軍需工業界へ大きな貢獻をする役割も期待されてをり、さらに同鑛山の佳石中には、金とわが國ではじめてこいふ蒼鉛(易熔性合金に重要なるも

の)が含まれてゐることも分析の結果明らかとなり、お伽のやうな幸運がこいふ鑛山全體を活気づけてゐる

態を恥ぢて泣寝入りに終る始末で、彼等の毒牙はますます辛辣さを加へてゐる次に掲げる事實もホンにその一例に過ぎないことを附記しておく――

いまのこころ埋藏量の推定は出来ない、現在の探鑛では水鉛、の鑛石としては百分の三の含有量になるから、なか／＼有望である、商工省の奨励金は鑛山が有望であるこいふ大きな箔をつけるもので、同山の將來は十分期待出来る

と折紙をつけ、埋藏量如何ではわが國唯一の水鉛鑛

何ではわが國唯一の水鉛鑛

## 色慾二道の毒牙に

インチキ治療師を暴く  
婦人患者の S・O・S

〇心臓術//だこか銘打つて途徹もない表看板を掲げて心亂れた愚民を欺き、種々な名目を並べ立て、莫大な金を捲上げ美貌の婦人患者

〇見れば、言葉巧みに口説き落して遂に貞操まで物にするといふインチキ治療師が最近メツキ増へて來た然も一旦犠牲の祭壇に供せられた婦人も多くは世間

をばがして、火で熔かさうとするがさうしても熔けない、使ひ途もなく捨てゝゐた」といふ話をそのまゝ四月のある雨の後崩された佳石の岩角にキラ／＼光る水鉛の露頭を發見した時は、さすがに夢かと驚いたものである

京橋附近の大桐化粧品店  
こいへば、可成世間に知られた老舗である

この店の主人公は大桐賢市(假名)といつて、元岡山縣廳某課に勤めてゐたものであるが、世話する人があつて今から十五年許り前に同家へ婚養子に入つた男で細君である家付娘(家付といつても矢張幼年時代に同家に養女として入籍した

ものである)雪子(假名)との仲は至つて睦しく結婚後は殆んど毎年のやうに子供を儲けて現在では既に十指を屈する子供があるといふ超絶倫振りである

處がこの養子さん生來の名譽狂で、大桐家に入つてからも端したくない官僚氣分を固執して所謂、前垂掛の商賣人には成り切れず、コッ、店の仕事をすると間があれば白足袋フェルトの氣障な風態で近所歩きをしてはしきりに町内の有力者に取入り、壯年會の役員だとか戸主會の會長だとかに就任しては此上もない名譽として得々とする、まことに

他愛のない婚養子さんであるこんな始末だから奴さんごうしても化粧品店の主人としては尻が落付かず、何とかして多數の人々から「先生先生」と尊敬されて、然もそり返つてゐる金儲ができる仕事はないかと考へ抜いた揚句ヤツと思ひ付いたのが現在やつてゐる小谷式血液循環療法である「萬病の基は血液の循環が悪いからだ、小谷式療法によれば萬病立處に治る」仁丹廣告に輪をかけた様な出鱈目な効能を並べてジャンク、宣傳したものだからさあ大變だ、溺れる者薬をも掴むといふ心理にツイう

か、と押かける者多數でこの婚養子殿は日ならずして大桐生先//に納つてしまつたのだから、およそ世の中は氣紛れなものであるそれから彼は、一廉の先生氣取りで、澤山の愚民を集めて講習會を開くやら羽織袴で人力車に乗つて堂々と往診に出かけるやらの大當りで化粧品店なんかテンド眼中に置かないといふ脱線振りを發揮したものだ誠にやかに傳へられるインチキ療法の空宣傳が見事功を奏して、多數患者が毎日早朝から押寄せてくる繁昌に近隣の人々も全く顔負けの態であつた

ホルモン腺へ

### 揉療法!

隣室を惱ます奇聲

こうした大桐先生の朗かさに反して細君雪子さんの氣持はひびく憂鬱であつた「さうも夫の最近の素振が變である、若しかすると……」敏感なのは女心の通有性でその後は一層夫の行動に對して鋭い監視の眼を注ぎ愛すればこそ//の嫉妬の炎に自らの心身を焦したのだ  
幸か、不幸か細君雪子さんの豫感は見事的中したその頃の大桐先生の揉療法は婦人患者と見れば殊更に

念入なもので、眞白い女の肌を手を觸れることに最大の喜悅を感じてゐたのである「愛する夫が程度を越した處にまで揉療法//をして呉れぬ様に」妻の雪子が朝夕自己が信ずる主イエスキリストにお祈りをする様になつたのも恰度その頃からの話であつた

……

「貴郎、今の療治は馬鹿に永かつたのね」二階の治療室から降りて來た夫を促へて或日雪子はこう尋ねて見た「あゝ一寸重いのでね」夫は酒々として言つてのけたが視線は、まぶしさうに伏せられてゐた「エ、そ

せう、美しい女の方は皆んな重い人許りでせう」見透された様な妻の一言に流石の彼もドキッと全身に衝動を感じた

美人には

## 特別

### 療法

それからの彼は婦人患者に對して能ふ限り自宅療法を進め、自らは先生氣取りで人力車に乗つて療治に出かけることに戦法を變へた斯くて彼は白晝公然と患者を見舞つてインチキ療法で大金を捲上げ、美貌な婦人と見れば兎や角と口實を設

けては屢々訪問し文字通りの全身血液循環//の秘法を試みて廻つた指先で揉り出す色慾二股かけての彼の凄腕は、治療開業以來數年後の今日、早くも夥しい私財蓄積と女群征服に成功してゐる日増に募る彼の亂行に耐へかねた妻は昨春秋、遂に思余つて一切事情を市内千日前の大道易者に自筆の書面を送つてしみんと打明相談をした事實すらあるのだ華かにも樂しかりし結婚當初の感激はかくて何時の間にか失はれてしまつたのである一方大桐は、その後も相

變らず血液療法に大重となつてし怪げな揉療法を種に濡手に粟式のボロ儲けを續けてゐたが最近では早くもインチキの馬脚を現し出して患者も次第に減る一方で一時の様な隆盛さは全く見られなくなつた婦人患者との忌はしいスキヤンダルミ//効果認められず//といふ施療者の言葉は今まで偶像視されてゐた大桐先生を一朝にして奈落の底へ突落した彼の毒牙に抗しかねて、マンマと貞操を奪はれた多數の人妻、娘等々も前記の如く大半は泣寝入りに終つて未だに表沙汰にされずに

あることは彼に執つてせめ—を迎へて彼の心情、一入寂  
てももの幸である、凋落の秋—しきものがあらう??

### 廣戸村の魔風除けに

## 那岐山頂へ防風樹帯

能登輪島からヒバ苗一萬本

工藤新津山營林署長の試み

中國山脈における第二位  
の高峰で岡山縣勝田郡三鳥  
取の縣境をなす那岐山は男  
女學生をはじめ一般  
登山者によつてひろくそ  
の名を知られ年々共に征服  
者の數を増してゐるが、稻  
の出穂期である初秋のごろ  
になると一名ノ廣戸風ノと

魔風が吹かない時には豊  
稜の波漂ふ收穫の秋に入る  
こともあるのだが、この魔  
風ノ廣戸風ノの實體を調査  
するため那岐山麓に一種の  
観測所を設けて鋭意調査研  
究を續けてゐるが末だにそ  
の實體を知ることが出來な  
いと云はれてゐる、津山營  
林署長として曩に着任して  
工藤誠氏は營内巡視によつ  
て同事實を知ると共に  
山頂を極めたところ同山  
頂一帯には一本の樹木と  
もなく笹が一面に密生  
してゐるのみであつたの  
で早速同山頂より吹き風  
す魔風封じのために防風  
樹帯をこしらへることゝ

し、塗物で名高い能登の  
輪島より防風林に最適の  
ヒバ苗一萬本を取り寄せ  
て近く同山頂に植付け  
ることゝなつた、同苗は目  
下二尺乃至二尺五寸位で  
あるが植付後十二、三年  
を経れば二間半位に成  
育するので防風樹として  
の効果はこの時でなけれ  
ば得られないといふこと  
である  
この同苗は既に輪島より  
發送され一日ごろに到着す  
る豫定であるので来る四、  
五日ごろから  
二日間に亘り地元人夫二  
三十名を使用して同植付け  
を行ふことゝなつた



(工場の一部と経営主)

優秀なる製品  
低廉なる價額

紳士洋服

と

學生服

# アイサワ洋服店

岡山市内山下城下電停前 電話2032番

藥品一般  
化粧品  
度量衡器  
計量器  
衛生材料

安達芳生堂藥局

岡山市岡大學町  
電話六五八五番

內 腦脊髓病科  
理學療法科  
**武野醫院**

醫學博士 武野一雄  
岡山市東中山下三丁目  
電話四九七二番

エツキス光線科  
花柳病科  
肛門病科

入院隨意

院長 醫學博士 岡崎卓一

**岡崎外科病院**

岡山市八番町南方校前  
電話四四七一番

岡山市内山下公會堂前

**服部齒科醫院**

優秀なる  
洋服は……！

- ◆ 仕立部
- ◆ 既製品部
- ◆ 婦人服部
- ◆ 子供服部

岡山

**日名洋服店**

電話 5625番

# 佐藤農具株式會社

天  
男羽織新荷揃  
女單羽織新荷揃  
高原吳服店

## 醜争の岡山市會に

### 又も乱闘騒ぎ

懇親會の席上

副議長血だるま

全國稀れに見る愚劣市會として醜狀を十六萬市民から擧げられてゐる岡山市會は最近に至つて益々その無能振りを發揮し、市會の二大潮流たる聯合、市政兩派の抗争は日ご共に愈よ露骨化し彼等の往く處市民の幸福は全く忘脚されて徒らに市政冒瀆をことゝし日夜狂奔する始末で兩派入亂れての泥試合は遂に市長、議長

の排撃二重奏にまで進展し爲に重要案件山積の市會は流會につゞくに流會をもつてする實狀で早くも一般市民から此際斷乎市會を散解して市政を根本的に淨化すべしの輿論が捲起されてゐた折柄、又も今度は去る十日夜岡山市野田屋町料亭一富士で行はれた市長擁護派並に中立議員の懇親會席上で當夜出席の岡山市會議員

山内佐之市氏がこともあらうに列席の市會副議長片山忠次氏と些細なこゝから口論を初め果ては双方入亂れて大亂闘を演じた揚句遂に片山氏をノック・アウトしたといふ岡山市政空前の不祥事が暴露して各方面に一大センセーションを起してゐる

一方岡山検事局は事件を頗る重大視し加害者山内氏を始め多數關係者を召喚して亂闘當夜の事情並にこれが裏面に伏在する一切の醜狀摘發をめざして峻烈な取調べを開始した模様で明年度豫算編成の重大時局に直面した岡山市はこの處全く

四分五裂の形で事態の推移は頗る注目されてゐる

### 宴會場は突如

### 修羅の巷

一議員遂に重傷

市長派懇親會の席上で端しなくも演ぜられた岡山市會議員の亂闘事件は、その後各方面に意外な衝撃を與へ山内議員らの狂態は岡山市會の威信を傷けるものにして今や多大な非難が擧げられてゐる

即ち市長擁護團體と目される舊聯合派では最近に於ける市會の狀勢を遺憾とし今後の市會對策並に名畑議



員の懲罰問題等を協議すべく中立議員を招待して去る十日夜岡山市野田屋町料亭一富士で盛大な懇親會を開いた當夜列席した者は片山副議長を始め川口、濱田、岡本、和氣、山内、小橋、佐藤、阿部、小合、岡田の十一議員で先づ市會に對する協議會のあつた後、懇親會に移り神林檢番藝妓一郎笑葉の兩名を招いて數時間に亘つて飲めよ、唄への大亂痴氣を演じたが前記各議員の内六名は宴會半ばにして退席し、片山、山内ほかの三名の議員だけが居残つて右藝妓らを相手に盛んにメートルを上げてゐた折柄

強たか酩酊した、山内議員は偶々チャブ台を隔てた席に居る片山忠次氏を促へて「さうだこ、らで切揚げてこれから二次會に中島遊廓へ繰り出して見ては」さ相談を持ちかけた處これも好い加減酔拂つてゐた片山氏は「俺は嫌だ!!」と劍もホロ、な挨拶をしたので山内氏は一時に逆上し、業腹を立てた揚句傍らにあつた酒盃を握るが早いか面當てがましく座敷の壁へ叩きつけた一方この有様を目撃した片山氏は「何をするか」さ大喝して山内氏をたしなめた處、理性を失つた山内氏は亂暴にも矢庭に片山氏に喰

つてかゝり、こゝに端しなくも兩者の間に一大亂闘が行はれたが結局片山氏はその場に捻伏せられて山内氏から散々鐵拳の洗禮を受け顔面一帯を鬱血させてグロツキの形になつたので折柄其場に居合せた岡田、阿部、小橋氏らは大いに驚き協力して山内氏を取鎮めんとしたが阿修羅の如く荒れ狂ふ山内氏は反つて今度は仲裁者に喰つて掛り阿部議員が頬を一撃されたのをはじめ岡田議員はカラーを滅茶滅茶に引裂かれ小橋議員も衣服を破られるといふ騒ぎで一時は全く施す術がなかつたがその内多數の仲裁

者が馳せつけて山内氏をなだめた結果、さしもの亂闘も一先づこれで終幕を告げた

山内議員の猛烈な鐵拳を喰つて顔面其他に負傷した片山氏は大いに憤慨し直ちに告訴するに致したが阿部議員らに宥められて其場は一應納まり自動車に乗せられて前記三議員同乗の下に岡山市巖井の自宅に運ば



れた後早速岡山市八番町岡崎醫師を招いて診断を求めた處全治二週間を要する打撲傷を蒙つてゐることが判明し引續き自宅で加療中である

一方この報を耳にした所轄東署では俄然活動を起し翌十一日夜には小野田刑事部長が片山氏の自宅を訪問して直接被害者について詳細な臨床訊問を行つて引揚げたが果然十二日午前六時半には加害者山内佐之市氏を同署に連行、難波部長係りで嚴重取調べを行ふに更に参考人として岡田、小橋、阿部の三議員並に當夜酒席に列した神林檢番藝

妓一郎、笑葉等多數の者を召喚して亂闘當時の模様を詳細に聴取した結果山内氏の暴行事實が明確になつたので午後三時半傷害罪として記録と共に身柄を一應局送した (寫眞は山之内氏)

かくて身柄を送局された加害者山内市議は神保檢事から前後三時間に亘つて峻烈な取調べを受け、同六時四十分頃に至つて一先歸宅を許されることになつたが十四日に再度檢事局へ召喚され全面的に亘つてまたも嚴重な訊問を受け、これが處分決定がなされる模様である

一方岡山檢事局にしても今回の毆打事件については時節柄頗る重大視し、前記の亂闘が果して單なる突發的出來事か、或はこれが裏面に相當複雑な市政上の暗闘乃至は醜事實が潜んでゐるかといふ點に全力を注ぎ該暴行事件を端緒として市政の全般に亘つて愈よ鋭い究明の鋒を向けて居り、今後の檢事局の動きは各方面から大きな興味を以て見られてゐる

た岡山市政界稀有の不祥事片山副議長毆打事件は俄然岡山市會に重大影響を及し、さなくとも重要案件山積殊に明年度豫算編成期を目標に控へて市政界に大きな暗影を投げかけてゐる

即ち今回の暴行事件を契機として從來兎角足並の捕はなかつた市長派新興會の内部には一段と深刻なギヤツプを生じ、舊同志俱樂部の人々も然らざるものとの反目對立は愈よ熾烈化し場合によつては同會内部の分裂にまで進展する模様であるこの情勢を察知した從來新興會と友黨的立場にある

### 市會は四分五裂

懇親會の席上を血で染め

市政俱樂部脱退派および中立派五議員は漸次新興會より離れ今後は純粹の中立にかへつて獨自主場から市會を牽制せんとして居り、この間にあつて反市長派たる市政俱樂部が如何に動くか豫算編成の重大時期を控へて市政はまさに大混亂の形である

一方石原市長としても大いに狼狽し、萬一豫算編成に支障を來すが如きことあつては市政運用上多大な損失を免れず、延いては自己の責任問題にも及ぶものとして極力市會各派の空氣緩和につとめてゐる

石原市長彈劾、伊藤議長不信認、さては旭東線變更問題等々を繞つて演ぜられる岡山市會の無軌道振りに對しては檢察當局としてもかねてより多大な疑惑を抱いてゐた折柄、今回の暴行事件に對しても單なる派生的出來事として看過せず、亂闘の裏面に介在する一切の醜狀摘發に全力を傾注し縣刑事課並に所轄東署を督勵して本格的な活動を續けてゐる模様である

居合せてゐた岡田、阿部、小橋の三議員を被害者として召喚し全面的事情に就て詳細に聴取する處あつた殊に注目すべきは檢察當局が事件當夜行はれた協議會の内容について追究の歩を進めてゐる點で、或は今回の事件突發を導火線として最近腐敗、墮落の極にある岡山市會に對して斷乎懲のメスが加へられるので

## 赤カード四百世帯

尋常のみが十五パーセント

岡山市民生活狀態 岡山市社會課では過般來三萬六千戸につき市民生活濟世委員の協力を得て全市一狀態の調査を行つてゐるが

はないかと見られてゐるかくて事件は目下の處多分の進展性をもつて居り成行如何ではいかなる方面に波及するやも測られず豫算編成期を前にして岡山市會はこの處戦々競々たる有様で檢事廷奥深くまで持越された今次亂闘事件の跡始末は各方面から多大の興味で迎へられてゐる

此程漸く完了した、右結果によれば

公私の救護をうけてゐる第一類の赤カード階級は四百世帯、辛うじて生活し得る第二類の青カード階級が三千二百世帯で合せて十パーセントとなり中流階級と目されるものは第三類(生活の餘裕なきもの)一萬九千八百世帯五十五パーセント、第四類(生活に餘裕あるもの)九千世帯廿五パーセント、合せて二萬八千八百世帯八十パーセントに達し、生活に餘裕ある上流階級は三千六百世帯十パーセントでカード階級

ミ同數を示してゐる、なほ子弟教育程度によつて見れば尋常小學のみを受けしめるものが十五パーセント高等小學が五十パーセント中等以上が三十

五パーセントであり、また納稅狀態から見れば營業收益税を納めるものが四千名、特別所得税が三千五百名、所得税が四千五百名となつてゐる

## 十年まへの「出來心」

### 利子つけて清算

違算八十圓を着服した取引先の店員 山田村被害者へ贖罪の手紙

岡山縣兒島郡山田村吳服の某店員が八十圓の違算を南北島作太郎氏は地方屈指の呉服商で數十年前から大阪と直取引を行ひ店主作太郎氏は屢々上阪してゐるが四日突然十年前程前、取引先

金百二十圓を送つて來た、近來珍しい朗かな物語りがある(「信書原文のまゝ」)冠省私は今も大阪に住んで或る商賣を營むで居る者です、今を去る十年ほど前のことですが老御主人が大阪へ仕入れに來られた時幸か不幸か八十圓餘分に受取りました、その時はすぐに返さうと旅館まで行きましたが途中で魔がさしたのかとうとう持つてかへりました不正ぢきな者で御座います、名も住所も假名ですその後少しづつ、使ひましてさうその金を使ひはたしてしまひましたが

たとほり  
住所も名も假名ですから  
うけこり状には及びませ  
ん、大阪から二三日でま  
ちがひなく行くことと思

ひます  
昔の不正直者  
北畠様  
なほ此金は汗した正しい  
金です

### 生神攝胤副管長に

## たゞ随喜の信徒

音吐朗々教内肅正の祝詞

### 金光教の大祭終る

金光教祖大祭第二日祭を  
前に九日夜は齋場と金中講  
堂の二箇所では本部主催の  
説教、彌廣館では金光教青  
年聯合會の講演會あり三會  
場とも立錐の餘地なき盛況

町は不夜城と化し第二日祭  
當日の十日午前四時には大  
阪玉水教會の信者一千八百  
餘がトツプを切り續いて大  
阪各教會信者一千五百と續  
々々未明の大教會所は人の  
山である、斯くて大廣前攝  
胤副管長は四時神勤奉仕に  
出仕、午前七時から朝の  
説教あり終るや今日の祭典  
を拜せんと本部正門から齋  
場へと雪崩打ち午前九時に  
は早くも齋場はもこより本  
部境内二千餘坪は立錐の餘  
地なく溢れた人は木綿崎山  
の石段から山へと其數實に  
三萬數千名  
九時半には齋員四百五十  
餘名(内女八十八名)は

東西兩側に着席すれば午  
前十時齋主金光攝胤副管  
長は大教正の教服に衣冠  
束帶で典禮畑專掌の先導  
副齋主大教正佐藤宿老、  
大教會行事務長佐藤教正  
以下四十五名を従へて大  
教會所西側中央部から式  
殿場に参向、参拜の信者  
達はそれ生神様が、それ  
大廣前金光様がと拍手ミ  
感謝の辭で靈感は崩れん  
ばかりで實に感謝感激の  
聲のみであつた斯くて齋  
主は神前に着席、被主元  
教監小林教正修祓、副齋  
主佐藤宿老の開扉、神饌  
長安武教正甘木教會長は  
三十餘臺の供饌をなし大

阪玉水教會長湯川教正は  
一丈二尺の大幣を古式に  
依り奉供すれば齊主神前  
正面に参進して國家安泰  
と教内の横雲を拂ひ除け  
信者の念願である大教會  
所復興を神の力で速かに  
進ませ天地の民草の幸福  
と信者の過を除去された  
いと教祖立教の精神を行  
奉行の誓ひを長文の熱淚  
こもる祝詞を極く平易に  
玉申の捧獻神を鎮めの吉  
備舞豊葦原の奉納あり高  
橋教監の挨拶あり正午更  
生の大金光教の教祖大祭  
は終つたが参拜者總數は  
七日、十日の  
兩日を合し實に五萬六千

餘で教祖五十年記念會大祭  
以上の緊張した大祭で  
金光町の名産物店も大繁  
昌で殊に神酒神露の如きは  
瓶酒の賣り切れを發表する  
である

### 百五十年前の遠縁へ

## さしのぶ親族愛

津山に零落を啣つ刀匠多田家子孫へ  
東京から温かい慰めの品々

百五十年も昔の遠縁の子  
孫が零落に泣くを知り救與  
を申込んだ今時の世に珍し  
い奇篤な人がある——  
東京市本郷區駒込千駄木  
町五二西村四郎(六八)氏は  
家重代傳へてゐる一口の刀  
劍に「多田慶鎮寛政二年八  
月」と刻銘してあることを  
發見、また同家系圖によれ  
ば今より百五十年前の祖先  
である姫路藩士西村儀右衛

### // 經營難 // 〆〆 大繁昌 // 〆

## 両端をく 町村醫療所

縣では數ヶ町村組合立を獎勵

// 我等の診療所 // の氣分を濃く

岡山縣下には醫者のない 島、阿哲郡湯川村、川上郡油野村、眞庭郡津田村、久米郡良佐山村、英田郡吉村同西栗倉村等九ヶ所あり更に今後増設する豫定であるがこれらのうちには地方風習により藥料が半期拂ひこなつて居り掛倒れとなつて回收出來ず或は設備不十分のものもあり經營不如意となつてゐる、又或る診療所の如きは設備完全〆地方

く全く路頭に迷ひいまでは老ひの身を津山市の救護所へ收容されて漸餘く生を送つてゐる現状が判明したのでその旨東京の西村氏へ傳へたところ西村氏はこの遠縁の零落にいたく同情し取りあへず見舞金と衣類、菓子等を二十六日市社會課を通じて送り届けたので社會課でも奇篤な行爲に感激し救護所の光さんも心細い老の身をまだ見ぬ人の同情に對して感謝の涙に暮れた

× ×

門妻に津山市刀匠多田庄七妹慶が入嫁しその際祖先の鍛へた刀一口を持參したといふことが判明したので興味あることに思ひ折からかねて知人である津山市元魚町木村恭治氏に刀匠多田家の子孫がいまなほ現存してゐるか否かを問合せた

一方木村氏は新進刀に屬する津山の刀鍛冶として相當有名な「貴勝正利」等を輩出した多田家について調査したところ子孫はなほ存續してをり子孫多田誓一氏はかつて津山町助役をも勤めたがその歿後、寡婦光(七三)さんは養育する親類縁者もな

## 皇學で國體説

### 温知校の昔を偲ぶ

岡山師範學校六十周年 (一)

岡山縣師範學校は明治七年創立以來昨年をもつて六十周年を迎へたが風水害により記念式を本年に延期しこの十三日から盛大に舉行されることになつた、この記念をトして師範教育六十年の歴史をたどり、教育の變遷と社會の實相を閲し、本縣教育の將來のため師範教育の一端を誌して見よう

岡山縣師範學校は明治七年六月岡山城内西の丸に温知學校と稱して設置され

當時日本の師範教育の情勢を見ると明治五年九月開校した東京湯島の師範學校(東京高師範前身)以下六七年に全國に急遽七校の官立師範學校を立て小學教員の養成を急ぎながら各府縣の師範學校設立を慫慂してゐたときで逸早く岡山縣は設置したわけである

温知學校開校當時の教師には東京師範卒業黒井小

民の理解によつて組合員以外のもので診察する繁昌振りであるかくの如く同じ診療所でありながら經營上非常に懸隔あるのは經營者自體の無定見と地方民の無理解によるので縣では今後數ヶ町村共同の組合立を獎勵し基礎を確立し村町負擔金を軽減し設備を完備せしめ更に地方民をして//我等の診療所//といふ氣持を多分に持たせ赤字を解消せしむる様努力する豫定である

### 醫界の

## 淨化を圖る

岡山縣では開業醫師の人格向上についてかねてから

注意努力して來たが最近私生活の墮落せるもの少からず社會風教上面白くないのでその都度反省を促してゐるが更に法規にもとるもの對しては斷乎行政處分に附して醫界の淨化を圖ることとなつた、即ちさきに健康保險加入者および工場から料金の二重取りをして罰金十圓に處せられた阿哲郡新見町横内喜眞太、墮胎をして懲役六月に處せられた英田郡林野町内田利之助兩醫師の行政處分について内務大臣に申請中のところこのほぎ兩氏も一ヶ月營業停止同期間免狀取上に處する旨通知があつた

源太が訓導として招聘されてゐる。東京高師卒業と云つても九月開校して翌年七月第一回卒業生を出してゐるのだから餘程速成教育をやつて新教育の普及に努めてゐたものと思はれる。従つて入學生は何れも基礎學に十分素養のある者ばかりで、溫知學校第一回の入學生五十名は中等教育を終了した者のみで、年齢は十四五歳から三十才位に及び、基礎學の素養十分を認めて直に教授法を教へ實力さへつけば考查をして卒業さしてゐた。このため翌年一月には既

に數名卒業し二三月ごろまでに殆ど全部卒業してゐる。教員の速成に大童だつた様が想像されるが、かく實力主義で卒業させた點は、  
現住の劃一主義に比較し明治初年の風習として面白いところであるこの實力主義はさの方面にも及んだと見えて卒業證書にも「今後七年間小學教員の任に堪へることを證書」と書いて七年立つと證書の書替へを行つたさうである。このごろ卒業生の俸給は一等教授から三等助教まで六級に分け最高八圓で以下一圓下り

となり最低三圓で同じ卒業生でも倍以上俸給の差をつけられてゐた（當時米一升三錢）卒業生は初めて辭令を貰ふのに縣廳へ袴をつけ靴をはいて行つたさうで今から考へるとおかしいが  
明治八九年ごろ小學教員に任ぜられるとは餘程面目と心得莊重に扱つたものと思はれる溫知學校は八年十一月西中山下の藩學校舎（現女師校）に移轉し岡山縣權中屬設樂九阜が初代校長となつた。これより明治四十四年門田の現地に移轉するまでこゝにあつたわけである。

設樂校長は翌九年三月辭し代つて縣權大屬加藤次郎校長となりこの年大に發展した。即ち三月には福山師範學校を併合して岡山縣師範學校と改稱、四月には中學校並に附屬小學校を即設また津山鶴山城内に支校を設け、更に四月には女師範を東中山下に設けてこれを附屬とした  
創立當時の教科課程は讀物、數學、教授法を中心として適宜行ひ統一されたものはないようであるが九年には稍一定の纏つたものになつてゐる。これを見ると正科目には勸善訓蒙、國史

略、日本外史、泰西史鑑、生理發蒙、輿地誌略、十八史略、佛國民法、教導説、小學教授法、文部省月報があり別に自習科目として究理問答、萬國新史、幾何形體圖と言つたような現在の地歴數理の各科があり各自自習して不明のところを教師に質問し自得してゐた。この教科目を見るに  
正科には明治初年の日本教育の風格を反映し皇學（國學）をもつて國體を辨じ漢土西洋の學をもつて皇道の羽翼たらしめよう云ふ學風が見られ、自習科目において新知識としての西洋の學問が汲々として迎へら

れてゐることが判るが、なほ面白いのは西洋の學問を行ふのに佛國民法を正科としてゐる點で恐らく自由民權の新政治を理解することに努力したものであらう。また正科の文部省月報或ひ

# 一食が一錢一厘

洋服創生時代の教頭が平沼博士  
岡山師範學校六十周年 (二)

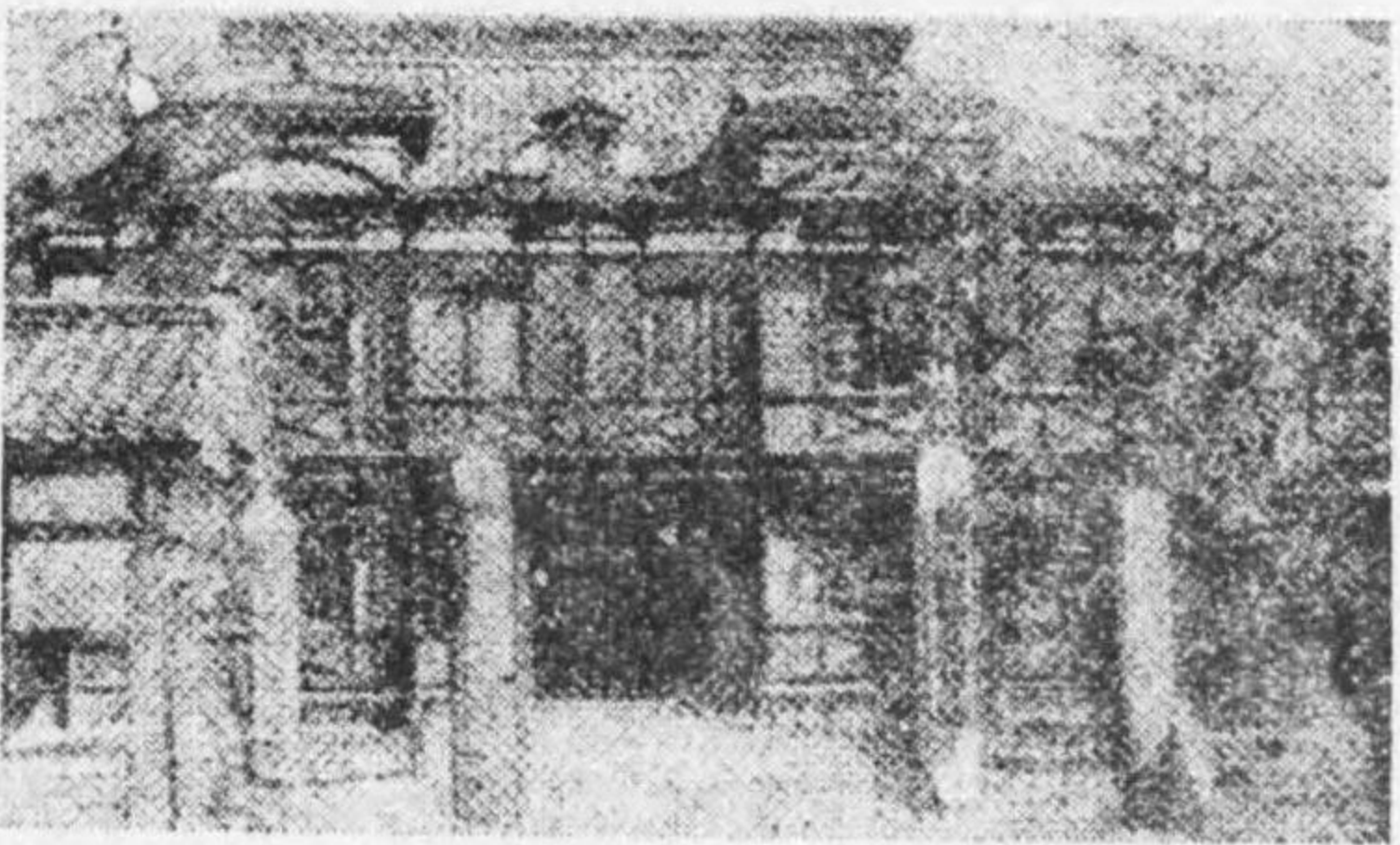
明治五年發布せられた學制は主としてフランスの制度を取入れ中央集權主義に基いて行はれたものであるが、以來七年経つて明治十二年九月には

學制を廢止し教育令を公布、十三年これを改正し、十四年には小學教員心得を定めた。教育令は學制に比して極めて自由であり地方の現狀に即したものでこの

ころから日本の教育が外國の模倣を脱しようとしてゐるが、わが岡山師範も十三年ころから漸く本格的な師範教育の域に進んでゐる。このころから初めて茨木教諭によつて亞鈴體操、徒手體操と云ふ如き體操課が出来、幾何、物理、化學、地理等の學科が遣入つて來た。また教師と生徒の區別が明かになり生徒は教師の來るまで廊下に整列して待つてゐたと云ふ。この躍進は明治十九年の學校令公布によつて一段の飛躍を遂げた當時の森文相は學校令において特に、師範

教育に力を入れ、師範教育のモットーとして斯の順良、信愛、威重を掲げ、生徒に兵式體操を課し、劃一強制的教育方針が行はれたので、この方針は直に岡山師範にも表れ順良信愛威重を要目とする訓練全盛期を現出した。

教課内容を見ると體操では亞鈴球竿、木馬、木環等が全盛を極め、修身、教育、讀書、作文、習字、算術、珠算、物理、化學、地理、唱歌、圖畫、體操、手工、農業等さなりかく學科が分化したのもこの頃である。またヘルバルトの五段教授法が流行



年頃には現  
早大平沼淑郎博士が教頭  
として教鞭を取つてゐた

し初めたのもこの頃、岡山に洋服學生が出来たのもこの頃と云ふなほ十九

次で三十四五年頃には教頭に豊田恒雄、地歴に沼田頼輔、國語に岡直盧、音楽に奥山朝恭氏等があつて研究心頓に起り本縣初等教育が大に振起したと云はれる。

明治初年の生徒の生活を見るに生徒費一月一圓で一食一錢一厘、行燈を燈して勉強してゐたさうで十八、九年ごろから漸くランプになつてゐる。また十八、九年ごろから森文相の劃一強行方針を反映して寄宿舎特有の制裁が始り生徒の生活が軍隊式化して來た。なほこの頃には中央に自由黨、改進黨が擡頭した爲めこの

影響を受けて生徒の間でもジョン・スチュアート・ミルやハーバート・スペンサー等の著書が愛讀され辯論が盛んになつた。

當時の生徒にはのち國民黨代議士として議政壇上に鳴らした小橋藻三衛氏があり、氏の談によると消燈時間後窓かにスペンサーの道義感情主義の哲學や社會平權論なきを研究したさうである。二十二、三ごろに坪内博士の書生氣質が愛讀され机上を飾つたさうである。二十三年二月には六週間陸軍現役の規定ができた。これより日清、

て來てゐる

(寫眞は現校舍表門)

くることになつた。

日露の戦役を経て軍國熱の向上とともに師範生活の軍隊化は一層顯著となり起居一切が軍隊式になつた。これが昭和の時代まで續いてゐる

この當時の生徒は修學旅行に一週間ぐらゐの日程で縣下の數郡を巡つてゐる、之によつて小學校を參觀し或ひは名所舊跡を尋ね地方の文化に接し縣内事情を知悉することに努めてゐたものが見られる、このようにして明治時代の師範教育が行はれてゐたようであるが日露戦役後には更にダンスが入り音楽が進み藝術教育が發展して大正の御代を迎

この間における學校經營状態を見ると八年舊藩學校に移轉した當時の經費は一千三百七十一圓四十三錢八厘であつたのが十四年には一萬二千六百九圓八十七錢四厘となり二十年に二萬二千七百二十二圓、三十二年に六萬二千八百八十四圓六錢二厘(昭和十年七萬九千八百九十圓)と増加して來てゐる。またこの間における小學教育の發展を參考までに見ると明治十二年の教育令による義務教育年限は最小十六箇月、翌年の改正で三箇年、十九年

小學校令で四箇年、四十年の改正で六箇年に延長し初等教育が漸く充實し

### 孤島に響く愛の餘韻

## 愛生園の恵の鐘

岡山放送局から全國へ中繼

けふ喜びの撞初式

癡絶滅の大御心に副ひ奉るべく西本願寺裏方大谷紅子の方の喜捨により長島愛生園に

建立された「恵の鐘」撞初式が二十日午前九時四十分五分小此木岡山放送局アナウンサーの全國中繼アナウ

ンスによつて開始された知事代理ほか全國よりの來賓着席し正五十分四谷事務官開會を宣し皇居遙拜、裏方代理高木氏の手により除幕されついで讀經高木氏、光田園長、縣知事代理により愛のシン

ボル「惠の鐘」は初音の餘韻も長く打つ、やがて朝な夕なに響くこの鐘は癡絶滅の愛の響を續けるであらう、ついで御歌奉唱、園長の式辭、高木氏の訓話、喜びに満ちた入園患者代表の答辭につき聲も高らかに感激の光田園長の發聲で三陛下の萬歳を奉唱、田尻警官の閉會の辭に意義ある式を終つた

鐘樓は島の聖地線の光ヶ丘の上に建てられたコンクリート造りの聖屋で平和を象徴する青瓦にて十字型の屋根も愛に相應しいものである、鐘には長

れ多くも皇太后陛下の御歌つれづれの友となりても慰めよゆくこゝかたきわれにかはりてを銘した名鐘で臺石の前面には大谷尊由師の揮毫に成る「惠の鐘」が青銅に刻され工事はすべて患者により造られたものである、引き続き開宴、五周年並に「惠の鐘」落成祝賀會禮拜堂に十時四十分より執行禮拜歌、四谷事務官の開式の辭、讀經、焼香、工事報告、園長の式辭、縣知事代理田中社會課長の祝辭について入江皇太后宮大夫、宮内大臣、内務省、大谷尊由師ほか

### 赤旗押立て

## 稻の刈取り開始

先手打つた小作側

果然硬化した船穂村作争

數十通の祝電披露に續き高木氏の訓話、入園患者の祝賀文藝の披露、謝辭同各宗教代表の謝辭について園歌齊唱、午後零時二十二分式を了し引續き

立毛押へを豫想して七日

から連島町、玉島町農民組合より三百名の應援を得て地元農民とともに合計四百名が船穂村中新田公會堂を本部に當て炊出しを敢行して關係地四十町歩へ一齊突進、赤旗を靡かせつゝ幾組にも分れて稻の刈取りを開始した、更に七日午後四時より本部公會堂において管理組合打倒の淺口地區農民大會を開催し氣勢をあげ今後への闘争に拍車をかけることになつた、これに對し地主側は目下のところ沈黙を守つてゐるがこれに對し債權保全の假差押へ處分に出づるものと思はれるが同

村一帯は緊張の極致にあり

所轄玉島署では事態を重視し村田署長以下小野、谷岡兩部長署員馳せつけ嚴重警戒に當つてゐるなほ争議の主眼となつてゐる點は地主側が小作米未納に對し提起した昭和五、六、七三箇年分（昭和八年から十二年までの五箇年間は一割五分減免で解決済）の争議に對し去月中旬玉島驛前はつの屋旅館において係官藤井判事、松田小作人、吉澤佐野兩委員が立會ひ地主側十四名、小作側七名出席し、藤井判事より提出された

一、昭和五年は小作料の減免なし

一、未納米に對する利率は供託法による二朱四厘とす

一、六年度分は小作米は三割五分引

一、七年度分は一割五分引利率は前同様の最後調停案に對し小作人側はこれを一蹴し飽くまで五年分の減免、九年度分の風水害による減免、滞納利子の撤廢を要求して争議を勃發したものである右につき兩者の意向を聽くに江田氏は

最近にない大きな争議でわれわれは要求貫徹まで

は最後まで一致結束して闘ふつもりです

地主側の管理組合長中桐慶太郎氏は

調停官が折角穩當に出された案を一蹴し何ら當地方には被害のないしかも調停済みの九年度分を減額しろ等とはあまり蟲のよい話です、實は先日の場合で今後小作争議をしないようにこそその費用に轉換して八百六十四圓を地主側から出してゐるのですのに、困つたもので

満座、聲なく

# 茶道奥儀に陶醉

拜観者の萬眸こゝ一點に

寂！表千家兩宗匠の謹點

## 茶祖の靈前に 敬虔の獻茶式

榮西禪師供養獻茶式並に 樂園能舞臺に開式されたが協賛大會は秋深き十日菊花 薫る後樂園と荒手茶寮で開筵された、天に澄爽の氣満ち地に千餘の雅客あり、興趣萬斛の諸行事は滞りなく進められたのである

茶祖を供養する法要と獻茶式は豫定通り午前十時後

を安滞し青竹の五具足を以て装ひ供物を獻じ下座に眞臺子を据ゑる皆具が置かれてゐる

定刻振鈴を合圖にこの日の大導師、臨濟宗建仁寺派管長竹田穎川師は小野執事以下侍僧を隨へ國清寺住職華山海應、曹源寺住職圓山慈雲兩師を始め臨濟宗寺院住職は祭壇向つて左方に着座すれば晴れの點前奉仕者千家表流家元千宗員、覺次郎兩宗匠は久田顧問以下隨員を隨へ肅々參入、右方に坐す

一同着座ののち司會者の挨拶を行つて開式を告げ榮

西禪師鑽仰會長原澄治氏の挨拶があり終つて竹田大導師によつて法要は進められ獻茶に入るや満場ひとしほに緊張し、しほぶき一つしに緊張さである、千百數の眼は一齊に奉仕者の謹點に集中される先づ覺次郎宗匠の炭手前、宗員宗匠の獻香あり

濃茶は覺次郎宗匠によつて謹點され竹田導師これを獻じ次で導師香語を唱へて法要獻茶の式を終了した

香語

朝汲旭江清冷水新烹特薦 祖靈前幸遊後樂先憂境結

## 得興禪護國縁

續いて殘茶拜服に入り土屋宗之(千家表)安井松翠(同)馬場宗樂(千家裏)少林寺宗猿(速水)餘樂會(千家表)坂本靜雲堂(野點)岡山洗心會(安部流)岡山一茶會(一茶庵流)等の席主を始め關係者卅名が

殘茶拜服し終つて一同荒手茶寮の大茶會へ臨んだが參會者一同には不審庵家より御供の菓子を頒つた

荒手茶寮の大茶會は正午すぎ開筵、獻茶式拜観を終つた參會者は思ひ／＼に茶寮に足を運び枯淡の園内は盛裝した令嬢姿、楚々た

る佳人、宗匠頭巾の數寄者で氾濫した

この日の茶席は中央の菊の間に表千家の土屋一門が晴れの雅筵を張るを始めし利休の間に裏千家の馬場社中、扇の間に速水流少林寺、太柱の間に表千家の餘樂會、鹿の間に安部流の洗心會、大爐の間に一茶庵流の岡山一茶會、更に苑内南手には坂本靜雲堂が野點を設けたが

何分千五百の來會者であるから各席も雅客のインフレに惱みつ、薄暮に至つて漸く盛筵の幕はおろされた

## 兩宗匠ら歸洛

竹田建仁寺派管長は十日法養獻茶式を滞りなく濟まし同日午後四時五十五分發

列車で歸山、千家表流元家千宗員宗匠、久田顧問は同日午後七時四十八分發で歸洛した

## 尖端的な"君"

珍名銘々傳

活字屋泣せや男の芳江、女の春男

岡山縣國勢調査から拾ふ

過般施行された岡山縣の國勢調査に現れた珍妙な名を拾つて見る、姓は差障りがあるので控へるが、相當變つたのがある

男子の方では『案山子』『ムー』『見鶴』『一二三』など變り榮えもないが文字



調査員を面食はせたエビソードをのこしてゐる女の方では『春男』『虎松』『古雄』と男にまがふのがあり『一二』をいつみとはつみと二通りに讀んでゐる『寵重』『一名』など

振假名がないので何んと讀んでよいやら判らねさうかと思へば『卅』『巴』『〇』『一』など手輕なものあり總じてむづかしいもの、角ばつたものは次第に減つて行くようである

### 空の護りに咲く

## 赤心の奉仕美談

愛兒の死を前に傳令勤務 慰勞の入浴券配布なき

去る二十三日舉行された岡山市防空演習に際して生れた聞くも床しい美談が、このはぎ當局の調査で判明、氏は附近の燈火管制監視班

長をやつてゐたがその夜花畑某家が管制中光を外部に洩してゐるのを監視員が発見、叱責してゐたのを止め「この家は貧困で遮光準備が出来ぬのだから……」と自宅より唐紙數枚を持ち出し貸與して目的を完了せしめた

岡山市網濱一七五、煙突掃除夫原田康長(二八)君は旭東分團網濱本町支部の傳令係であつたが本月十八日來長男輝方(二)が肺炎を患ひ二十三日朝は危篤の状態にあり「子供が悪いから、けふは休まうか」と妻女澄代さんに云ふと、健氣にも「子供の病氣は私事です、し演習は社會の公事です、家の事は私に委せて下さい」と激勵されたので演習へ參加、活動してその夜十時ごろ帰宅して見ると、長男は一時間程前に息を引きとり冷い骸となつてゐた、この事を傳へ聞いた附近の人々は深い、同情感激にうたれ

十五圓醜金して同家へ懇な弔慰を行つた

以上のほか門田屋敷整骨師安井寅吉氏は防護團員の負傷者へ無料の施料を行ひまた同所二三、表具師守屋

### 學徒の憧れに燃えて

## 片山病の本場へ

パリから遙々來朝の兩博士 鈴木岡山醫大教授らと渴望の交驩

フランス醫學界の碩學パリー大學教授ロミール・ブルンプト博士は南佛モンペリエ大學研究部長醫、理學

のため來朝二十七日午後四時五十五分岡山驛着で來岡した

兩氏が來岡した目的は住血吸蟲症征服に輝かしき功績を上げ世界醫學界に貢獻した岡山、廣島兩縣地方の實驗地を訪ふため、住血吸蟲と云ふのは日本、エヂプト、マンソンの三種類あり何れも悪疫として恐れられわが國においては全國民の五〇パーセントが罹病、國民總死亡數の三分一を占めてゐたが傳染系統が判明しないため撲滅に困難を感じてゐたところ發生激甚な備後片山地方において諸種の動物實驗を試みた結果大正

二年岡山醫大細菌學教室鈴木稔教授の努力驗方法に就て思出話の説明を受けたが現在日本住血吸蟲は全く撲滅し猖獗を極めた片山地方もいまはその跡を斷つてゐる現状を見兩博士ともいま更の如く日本醫學の權威に驚歎して惜しみなく讚辭を放ち、同郡道上村字十九では血吸蟲の中間宿主たる片山貝(今入貝)を自ら採取、午後零時四十一分發列車で倉敷に向ひ備中妹尾地方の肝臟デストマ研究跡をも視察したのち同日午後四時五十分岡山驛發で東上したが同博士をはるく、パリから日本の片山舎に引張つた

のは左の二人の日本人の學者的偉大なる人格の賜物で即ち一人は片山病研究のため明治三十六年以來二十七年間倦まず撓まず病原體の發見豫防對策確立のため自費を投じ命を捧げた京都帝大教授故藤浪關博士の偉大な研究の跡といま一人は前記中間宿主片山貝の發見者鈴木教授で兩氏のこゝはかねてから論文や報告等を通じて博士の憧れの的となつてゐたのがこのたび夢が實現し忙しい研究の餘暇をさいて來朝憧れの地たる中津原村を訪ひ誰もがちよつと躊躇するような泥

水の中に手を突込み貝を採取するなご學者の良心を遺憾なく發揮、百箇の貝を得て貴重な材料だと丁寧に包装し日本から初めてパリの學會に持歸ることになつた

エミール博士は貝を澤山採り藤浪氏の研究の跡を見、また鈴木教授にも會つて多年の憧れを満たすことができてこの上なく嬉しいと語つた

### 高等小學校教育

## 五十年に際して

全國大會に出席後の感想

小田那教育會副會長 高田利藤治  
笠岡男子尋常小學校校長

高等小學校が國民初等教育の一機構として學制上に規定されたのが明治十八年三月で、丁度新内閣制が實

酌し從來の制度を根本的に改善したもので、尋常小學校を四箇年、高等小學校を四箇年として各別の學科及び程度を加味し、高等小學校の組織を系統づけられたのが、之が現行小學校令の基礎であり劃期的の一大革新であつた

爾來五十年間に數次の改正を見て、時代の要求に重用性に鑑み忠良健實なる國民教育に努力を傾注してゐるのである

高等小學校の教育を受けたいものが國民中堅として、地方自治に社會奉仕に、殊に陸海軍軍人として其の第一線の活動に當りて

國運の向上進展に寄與し現に寄與しつゝあることは何人も認む所である、近時社會の情勢は單に義務教育を修了したのみでは國民としては勿論箇人として十分なる自立的生活を營むことを得ず、如ふるに

國家の進運も亦一段の國民資質の向上を要求することの切なるものがあり高等小學校入學者は年と共に増加し最近の統計によれば全國尋常小學校卒業者中約二割の中等學校入學者を除き、七十五パーセント強の多數は此教育を受けてゐるの有様で

ある、然るに昔の高等小學校は、一般にも相當に地位を認め、卒業生も優越感を有してゐたものであるが其後尋常小學校が六箇年に延長され、文教育當局に於ても義務教育の普及徹底に努力し、教育實務者も尋常小學校教育に重點を置くに至り、高等小學校教育の如きは張合ひを失うた形となり教科目も尋常小學校の補習科の如き觀があり時代の流れとは云へ、高等小學校の地位に大變化を來し尋常小學校の附屬物視せらるゝ様になつたのである、我國過去五十

年間の進展向上は實に世界の歴史にも例のない目醒ましいこゝで此發展に貢獻したものは高等小學校卒業者であると云ふも敢て過言ではないと思ふ然るに斯の教育が今日恵まれざる地位に置かれて居るこゝは國家のめに遺憾なこゝである

今や我國の内外は非常時に直面し國を擧げて最も緊張を見するの時に當りまして、高等小學校創始五十年を迎へたことは、意義あることと思ふ、この時に於て全國高等小學校教育者が一堂に相會して遠く其昔を追憶し新に其

本質的使命に宣揚して、大に國民の認識を深め、關心を高めると共に、斯の教育に従事するものが自らまた其の責任の重大なることを省み、一層發奮して協心協力これが内容の改善充實に努力しその獨自性を發揮し、實績を擧げることが誓ひ、以て躍進日本の振興に貢獻せんとするの趣旨によつて開催された大會であつた

議案としては文部省の諮問案の「我が國の現狀に鑑み高等小學校教育振興上最も適切なる方案如何」及び建議案五件、協議題二件、談話題一件、緊

急動議六件で  
會員は眞面目に論議を盡  
した、此種の會合に於て  
は、第一日は相當の出席  
者あるも、第二日以後は  
出席者の減激するの例が  
多きにも拘らず、本會は  
第二日、第三日共に殆ん  
ど缺席者なく、熱心の態  
度を以て一貫し有意義に  
終始した

前後三日間の會議を通じ  
て流れた空気を概括すれば  
(一)尋常小學校は義務制  
を以てしなくともよい、  
寧ろ高等小學校を義務制  
とすべきである(二)高等  
小學校が重要性に於て中  
等學校、専門學校、大學

校に比し勝るとも劣るも  
のでない、然るに國家及  
び地方より繼子扱ひにさ  
れてゐることは遺憾であ  
る  
宜しく高等小學校教育費  
を國庫負擔し、施設を  
改善すること(三)尋常小  
學校を併置することは實  
際上に於て進展を妨ぐる  
こと多きため、獨立の高  
等小學校を設置すること  
(四)高等小學校の一學級  
兒童は五十人以下とせね  
ばならぬ(五)高等小  
學校の教科目を整理し統  
合し、且内容を一層實際  
的にする(六)高等小  
學校は土地の情況に依り

學校長に於て適宜教科目  
及び其内容を斟酌する餘  
地を設けること(七)高等  
小學校には二學級に對し  
三名の割を以て優良教員  
を配置し  
待遇を改善すること等で  
高等小學校の獨自性を明  
確ならしむるため現行小  
學校令を改正し、單行法  
令の制定を急務とするこ  
とが全會員の多數共通の  
要望であつた  
また會期中に一流名士の  
權威ある講演を聴き、且つ  
第三日の表彰式には本會の  
總裁前首相齋藤實閣下の式  
制があり感激の裡に大會を  
終了した、なほ東京市高等

小學校長會の周到なる用意  
を以て本會の開催に當られ  
會期中充實したる内容を  
以て終始し其効果を大なら  
しめたることおよび拜觀に  
見學に至れり盡せりの幹  
事を忝うしたことは感謝の至  
りであつた、以上今回の大  
會に依りて高等小學校の獨  
自性の認識を深めたことは  
收穫の最も大なるものであ  
り斯の教育の向上發展の爲  
めのよき糧であつた

小児科・内科  
**齋藤醫院**  
院長 齋藤義次  
岡山市大正町 電話二六八五番

### 二中リンチ、林野高女

## 質問漸く核心へ

大野君得意の春風駘蕩的質問

### 通常岡山縣會【五日】

五日の岡山縣會は午後一  
時五十分再開、午前に引  
續き教育費關係第一讀會の  
質問を續行、政友難波(徹)  
君の二中リンチ事件、民政  
永山君の實業學校廢合、政  
友三宅君の林野高女問題、  
中立大野君の例の教員品性  
論、政友三宅君の林野高女  
問題に關する再質問なき盛  
り澤山の質問に賑ひ之に對  
しそれぞれ並川學務部長か

ら懇切な答辯を行ひ三時十  
分散會、六日も引續いて教  
育、社會事業關係の質問が  
行はれる筈  
× ×  
難波徹君(政友) 午前中私  
が反呼を求めたに對し議  
長は一旦は發言を許した  
に拘らず學務部長に答辯  
を行はしむるため私に對  
する發言の許可を取消し  
たかゝる議長の行爲は甚

だ遺憾である  
議長に注意を與へたの  
ち質問に入り、問題の二中  
リンチ事件をとりあげ關係  
の新聞記事を一々讀みあげ  
かゝる事實があるか否か  
は私は斷言することはで  
きぬが果して事實とすれ  
ば教育上、社會上自由し  
き大問題である、學務當  
局は真相を慎重に調査し  
責任の所在を明にすべき  
である  
次で兒島商船學校廢止問  
題に及び  
この學校は他の學校と異  
り獨特の歴史と使命を持  
つてゐるに拘らず單に縣  
の財政が窮乏だからと云

つて廢校にするが如きは  
不都合ではないか、學校  
の生徒數も昔は少なかつ  
たが現在は相當あるよう  
に聞いている、商船學校  
を廢校して商業學校を設  
立すると云ふが、商業學  
校を新設することは悪い  
ことではないが、教育と  
云ふものはその方針を輕  
輕にかへるものではない  
當局は商船學校の廢止に  
就ては更に一考してほし  
い、次に一中の某教師で  
品行の悪いものを處分す  
るのに恩給關係を特に考  
慮して處分の時期を若干  
延ばしたようであるが不  
品行の教師に對する處置

としては當を得てゐない  
武道教師の待遇を時局に  
鑑みもつと向上せしめる  
意思はないか

### 訴訟沙汰になつたのは遺憾

並川部長答辯

並川學務部長 二中リンチ  
事件に就ては縣も調査し  
てゐるが調査結果を詳細  
に報告することは箇人の  
名譽に關することは可な  
り含まれてゐるから、こ  
の席では差し控へたい、  
併し調査結果の大體のみ  
を述べて置きたい  
とその概要を述べ  
學校としては出来る限り

の手を盡してゐるが事  
志と異つて同問題が訴訟  
沙汰にならうとしてゐる  
ことは非常に遺憾である  
勿論生徒間の暴力行爲は  
嚴に取締る方針であるが  
しかもなほかかる問題か  
起つたことは遺憾である  
商船學校問頭に就ては大  
體全體質問に對する知事の  
答辯と同様の答辯を行ひ更  
に

一中の某教師が最近恩給  
年限に達したため退職し  
たものがあるが決して新  
聞に不詳記事が出たため  
に退職したのではない、  
その教師自身は身の潔白  
をあくまで自信してゐる

し縣も事件があつたため  
にやめさせたのではない  
武道教師の待遇向上につ  
いては私も全く同感であ  
るが財政難のため思ふよ  
うに行かないのを遺憾と  
思つてゐる

### 兒島商業

### 新設歓迎

永山議員質問

永山久吉氏(民政) 商船學  
校廢止の代りに商業學校  
を新設することは兒島郡  
南部では非常に歓迎して  
ゐる、由來兒島郡南部商  
工業地では土地に即した  
實業學校の設立を希望し

てゐたものであるから同  
校の新設に對しては一部  
に傳へられてゐるが如き  
反對は全然ないのである  
次いで北部實業學校の整  
理統合を強調し  
特に新見農林學校の如き  
は勝間田農林に合併され  
て然るべきだ

と午前中の田中君の兒島  
商業學校反對に復讐する  
並川學務部長 實業教育に  
力を注いでゐる時である  
から之を整理統合する考  
へはない

### 林野高女問題の真相を釋明

三宅千秋君(政友) 林野高

三宅千秋君(政友) 林野高  
女の講習科が校友會の名  
で設けられたとしても校  
舎の使用その他に就て參  
事會の決議を得てゐるか  
この點は暫く問はないと  
しても縣の之に對する監  
督に重大な缺陷があつた  
とは思はぬか我々は學務  
部長の此の問題に對する  
今までの答辯で満足する  
ことは出来ない  
と喰ひ下り  
長期講習の名目で二年も  
三年も變則學級を經營す  
ることは便宜主義も甚だ  
しきもので斷じて教育的  
ではあるまい、この點に  
對するもつと突き進んだ

父兄からの贈物を

### 教員は頂戴すな

校長は女先生の  
教育にゴ熱心

大野正夫君(中立) 私は教  
員品の品性向上に就てお尋  
ねしたい、教員が父兄か  
ら贈物を受けることは嚴  
に禁じられたいと從來も  
しばしば當局に要求した  
のであるが今日に至るも  
なほこれが行はれてゐる  
ま教員の品性が改められ  
てゐないことを責め  
教員も師範學校を卒業し  
た直後はなか／＼子供を  
教育するに熱心であるが

女の問題についてその眞

相を明にしてほしい  
並川學務部長 昭和八年に  
從來の二學級募集を一學  
級(五十名)募集に減じた  
が將來は二學級に復活し  
たいと云ふ希望もあつた  
ので校友會の經營で講習  
生を募集してゐるのであ  
るが校友會が經營するも  
のか、學校のものを明  
にするうへに幾分不十分  
の點があつたため今回の  
問題となつたもので今後  
さうするかは目下考慮中  
である

出世して校長になると兒

童の教育よりも先生の教  
育、わけて女先生の教育  
に熱心になつて來る

と満場を笑はせ  
不良教員に對する處分は  
最も峻烈であるべきだ

並川學務部長 從來は教員  
の不正行爲に對し比較的  
寛大であつたが不詳事件  
以來は從來の寛大主義を  
改めて嚴罰主義で臨んで  
ゐる、併し今日でも風紀  
問題を起すものが依然多  
いようであるが、昔に比  
べると少くなつてゐる、  
當局は不良教員を處斷す  
るに決して吝ではない

御答辯を願ひたい  
並川學務部長 かゝる制度  
がよいか悪いか云ふこ  
こには議論の餘地はない  
のであつて、勿論悪いに  
決つてゐる、今後かゝる  
制度を縣が認めるか否か

かに就ても考慮の餘地は  
なく勿論かゝる制度は認  
めない方針である、何れ  
にしてもかゝる問題が起  
つたことは甚だ遺憾であ  
るから善後措置に萬全を  
期したいと思ふ

教育費、社 一讀會終り  
會事業費

九名の委員附託

山陽高女生らの傍聴に賑ふ  
通常岡山縣會〔七日〕

七日の岡山縣會は午後一  
時四十七分再開、教育費、  
社會事業費關係一讀會質問  
を續行、政友平田、中立小

辯を行ひ第一讀會を終了、  
第二讀會に入るや土屋君の  
動議で九名の委員附託に決  
定、土井議長より別項の通  
り委員を指名し二時五十五  
分散會、この日山陽高女五  
年生百八十名が傍聴し傍聴  
席は満員の盛況であつた

平田君の質問

笠岡武道場改築要望  
平田嘉吉(政友) 實業學校  
の教員組織について一言  
したい、教員組織に當を  
得てゐない學校で教育の  
實効を期し得ないことは  
自明の事柄である、本縣  
下の實業學校中には遺憾  
ながらこの點に於て缺く

るところがあつたように思  
ふ  
と高松農學校に實例をとつ  
て縣の所信を質し、次で笠  
岡商業學校武道場の改築を  
要望、さらに中等學校生徒  
の校外監督を嚴重にせよこ  
叫ぶ

小林堯太君(中立) 部落融

和がうまく行かないため  
地方自治に支障を及ぼす  
こと著しい、然るに明年  
度豫算では地方改善に對  
する補助費が天引されて  
ゐる、これは時代の要求  
に逆行するもので甚だ遺  
憾である  
と融和促進の必要を高唱し  
ドイツが戦争に敗れたの

は國民融和が完全でなか  
つた爲めだ、當局は重大  
な關心を以て地方改善、  
國民融和に努められたい  
次で青年學校と高等小學校  
との關係に就て述べ

地方のためには高等小學  
校よりも青年學校普通科  
の方が實際に即してゐる  
と思ふが當局はこの點を  
さう思つてゐるか  
教員宅の準備教育

浮ばれぬ貧乏人

圖書館の書物は  
お座なりのみ  
中原君の質問内容  
中原健次君(無産) 縣立圖  
書館の機能に就てお尋ね

したい我々は圖書館の機  
能に期待をかけてゐたの  
だが今日の圖書館には各  
種人民層の欲求を充し得  
ない點がある、今日の社  
會情勢に順應した書物、  
雜誌が不足してゐる極め  
て常識的なお座なりのな  
もののみではないが、當  
局は縣の圖書館にもつと  
廣汎なものと進歩的なも  
のを備へては如何  
次に小學校に於て準備教育  
に及び

今日の狀態では入學難は  
必至であるから猛烈な準  
備教育が行はれるのは當  
然であるが併しその方法  
の中には極めて有産者的

非教育的なるものである  
即ち小學校教員中には多  
數の兒童中から數名の兒  
童を選んで自宅に於て準  
備教育をやつてゐるもの  
がある、かゝる兒童の父  
兄は教師に對し特別の謝  
禮をしてゐるようである  
が、かゝる方法で教育さ  
れる場合は貧乏人の兒童  
は不當然な條件のもこで受  
験しなければならぬこ  
こなる、當局はこれに就  
て如何なる考へを持つて  
ゐるか、次に岡山市内片  
山裁縫女學校のすぐ隣り  
に最も風紀を紊す料理屋  
があるが、縣は之を知つ  
て而も許してゐるのか知

らずに許してゐるのか  
最後に濟世指導員の増員に  
就て當局の方針を質す

女子師範を倉敷に移轉せよ

古屋野君説く

古屋野橋衛君(民政) 第二  
岡山高女を永久に女子師  
範に併設するのであるか  
それとも一時的なもので  
あるか、私の希望は女子  
師範の如きは大都市より  
地方に移した方がよいと  
思ふ、例へば倉敷市の如  
きへ移すのが一番よいの  
でないかは、次に兒島商  
船學校は假令地元からの

古屋野橋衛君(民政) 第二  
岡山高女を永久に女子師  
範に併設するのであるか  
それとも一時的なもので  
あるか、私の希望は女子  
師範の如きは大都市より  
地方に移した方がよいと  
思ふ、例へば倉敷市の如  
きへ移すのが一番よいの  
でないかは、次に兒島商  
船學校は假令地元からの

相當の寄附があつても廢校にすると當局は云つてゐるが商船學校の廢止は縣民の意思にあらず、從つて地元からの寄附でもあれば存置してはどうか進んで郷在軍人會、青年團に對する補助減額に反對し若し明年度に於て復活が不可能なら明後年度からは復活すると云ふと言明していただきたい

### 萬引事件は遺憾

兒島商船は存在の必要を認めず

並川學務部長答辯

並川學務部長 平田君の實業學校教員組織の合理化

には私も同感である、農業學校の教員組織に就ては將來或は考慮する必要があるかも知れぬが今日のところ同校の組織をいかに變更する必要はないと思ふ、笠岡商業の武道場は古くはなつてゐるが他校と比較して特別に堪へ得ないほゞではないと思ふ、中等學校生徒の校外監督に就ては岡山市内でも中等學校が聯合して教護聯盟をつくり専任の輔導員をして校外輔導を行はしめてゐる、二中学生の萬引問題は目下警察に就て取調中であるが斯る問題を惹起したとは訓

育上遺憾であると思つてゐる、次に小林君の御質問であるが縣は融和問題に就ては主として融和教育の擴充により賤視觀念の除去に努め同時に部落の經濟更生に就ても適當な施設によつて努力してゐる、地方改善の補助費が削減されてゐることは遺憾であるが他の方法によつて若干を補ひ得てゐると思ふからこの點御諒解願ひたい、青年學校と高等小學の關係であるが青年學校と高等小學校とはそれ〴〵目的を異にしてゐるから兩者とも存在の意義があると思ふ、併

し地方の事情によつて高等小學校を必要としない處でも之を整理すべく考慮してもよい、次に中原君の質問にお答へする、圖書館の書物は出来るだけ縣民多數の要求を充たすに足るものにしたいたいと思ふが經費の點で思ふよ

併設することは他の府縣も同様にしてゐるから差支へないと思ふ、女子師範を倉敷に移轉することは目下のところ考へてゐない、兒島商船學校は本縣にその必要なしと認め

るからたとへ地元から寄附があつても縣はあくまで廢校の既定方針で進むものである、在郷軍人會青年團への補助金を明後年度に於て復活するか否かは今日何とも明言出来ない

### 歳入關係その他の

## 第一讀會を續行

散會後各部委員會を開會

通常岡山縣會〔十六日〕

十六日の岡山縣會は午後一時五十分再開災害追加豫算並に工業學校改築追加

豫算案が提案され多久知事登壇して夕刊所報の如き豫算説明を行ひ終つて同案の審議は後廻しとし日程に入り午前引續き歳入關係その他第一讀會質問を續行、政友泉、無産若狹、民政森末君等の質問、之に對する林總務部長の答辯があり土井議長より十七日の賀陽宮殿下奉迎に關する注意をのべて三時五分散會、散會後各部委員會が開かれた泉卯助君(政友) 物件税の徴收上不當苛酷に走る場合がある

自轉車の撤廢は輿論の一致するところである、當局は他に財源が見出し得ないから減税も撤廢も出来ないから云ふがせめて生徒の通學用自轉車についてだけでも減税して貰ふことは出来ぬかこれは社會政策上或は教育の機會均等を圖る意味で必要なことと思ふ

更に農山村にある蓄音器課税は慘酷であり税の本質に反するものだと思ふ

若狹幸義君(無産) 近年になつて一般に帶納者が増加したのは不況にもよるが納税觀念の低下にもよる、而して此の納税觀念の低下は税政に原因する最近京阪地方を始め岡山地方においても最近脱税

事件が摘發されてゐる、資本家階級には脱税の餘地を見出し得る点があるのだが無産勤勞階級にはそんなものがないから勢ひ滞納或は怠納手段に出でざるを得ないのである

怠納思想の浸潤が主として上層階級の大きかりな脱税行爲に起因するものであることを衝き更に自轉車税撤廢に進み

に見てもこのことは明である、尤も自轉車税を撤廢すれば自轉車商人は自轉車がよく賣れて儲けるであらうがこれに對して營業税や營業收益税を増徴すべきである

片山一男君(民政) 家屋税の課税標準が地方によつて異つてゐるようだが之は徴税の公平を損ふものである、縣は財務員等を督勵して家屋税の課税標準を統一する意思はないか

その他遊興税の徴税について當局の所見、方針を質す  
森末繁男君(民政) 興行税演劇税が明年度は若干減

税金なつてゐるが當局は更にもつゝ減税する意思はないか、岡山にはよい映畫や芝居が來ないことは定評となつてゐるが之は右二つの税金が高いためである、縣の役人諸公は時々上京してよい映畫や芝居を見ることができのだからよからうが岡山縣の縣民は觀覽料が高いため三文映畫一つ十分に見ることはできない有様だ、映畫や芝居は大衆娛樂であるからこれに關する税金をもつと安くすることが何より必要である、税金下げてやれば大衆娛樂は一層普及し結局

縣の收入となる、税額は多くなることなり一石二鳥の効果が生れると思ふ次に屠畜税が非常に高い最近牛肉を喰ふと「せい(税)せい」と云ふ音がするさうだが肉の價が高いため十分に喰ふことができない有様だ、もつゝ屠畜税を下げて縣民に安い肉をしつかり喰はすようにして呉れ  
ご當局に要望する

### 財政の許す限り減税したい

林部長が答辯  
林總務部長 蓄音器にまで税金をかけるほゞ縣が貧

ると云ふ若狹君の意見には全く同感である、興業税、演劇税は明年度に於いて苦しい中から減税してゐる、この上減税することは時を追つて研究す

べきであつて今日直にこれ以上の減税を行ふとは出來ない、屠畜税に於ても同様でこれ等のものは財政の許すかぎり漸次減税して行く方針です

### お雑煮も浮世並に

## 岡山 刑務所の正月

千六百餘人におとづれる春

法の温情に今年はい未決囚

犯した罪の償ひのためとその疑ひをうけて鐵窓のもとにある者にも二日たつと朗かな新春は訪れる、二十九日現在で岡山刑務所にあるものは既決囚千六百人、

未決囚は三十六人この未決囚の僅少なことは岡山刑務所初まつて以來のことでは、これは檢事局當局が犯情に同情を注ぐべき者、或は改悛の情著しい者に對してはド

シく歳末になつて保釋を許したこと、本年は總べての事件をスピードに審理したことによることが物語られ被告人にまつては福音であつた、行事は三十一日午前九時一同を教誨堂に集めて山内所長から歳末の訓示があり、元旦には同じく宮城を遙拜、萬歳の三唱、山内所長の年頭の訓示、教誨があり、この日はお雑煮、二日はおぜんざい、三日はあべかわ、副食物としては一般と同様かすのこ、にまめなごの御馳走があつて三日間作業は休み浮世を離れて正月を楽しむことになつてゐる

乏してゐることは甚だ遺憾であるが蓄音器を持つてゐられる位の人々は自分分が楽しむと同時にレコードの一枚半分か二枚分を縣に納めることは強ち無理でないと思ふ、自轉車税は單なる物件税と云ふよりは収益的物件税であるから、これに税金をかけるとは不當でないと思ふ、通學生の乗用自轉車を免税にするか否かに就てはもつと考究して見る必要がある、併し自轉車税撤廢したいのは當局も同感であるから將來十分に研究したい、脱税あるがために怠納が増加す

固い話を抜きに

# 語る郷土の思出

谷壽夫中將、赴任の途展墓に

稻倉村へ錦衣歸郷

岡山縣出身の陸軍將星の偉材と謳はれる谷壽夫中將は既報の如く留守〇〇師團司令官から第六師團長に榮轉、赴任の途次十日午後五時三十三分郷里小田郡稻倉村上稻木に展墓のために母堂禮刀自(八〇)夫人梅子さん(四一)令嬢秀子さん(一八)に下女二名の一家族六人連れて笠岡驛に下車した見るからに精悍隼の如

き颯爽たる將軍の風貌である。將軍は明治十五生れ、嚴父類太郎氏は當時村の戸長を勤めてゐたが同二十二年將軍が八歳のとき、父君とともに岡山に出で同二十五年東京に移住、小中學を経て陸軍士官學校に入り同三十七年日露の戰雲急を告げる折恩賜の金時計組で卒業、近衛

歩兵第一聯隊附陸軍少尉として出征同三十九年凱旋後、陸軍士官學校教官となり同四十二年陸軍大學に入学、刻苦勉勵同四十五年また優秀の成績で恩賜の軍刀を拜領して卒業、金澤師團の中隊長となり在勤僅か一週間にして陸軍參謀本部附勤務に轉じ大正二年南洋、蘭領印度、濠洲、フィリピン、印度地方駐劄一年餘にして歸朝再び參謀本部入り、同三年歐洲大戦勃發するや英國大使館附武官補佐官となり後フランスに轉じ駐在三年歸歸して三たび參謀

本部に入り同九年印度駐劄武官となり同十二年歸朝、名古屋聯隊附陸軍中佐として勤務、九箇月にして陸軍大學專攻科教官(陸軍大佐)兼海軍大學教官となり後和歌山聯隊長を経て留守第三師團參謀長に、次いで野戰隊に屬して山東省に出動、十箇月にして凱旋昭和三年四度參謀本部課長となる其間同五年岡山縣下で行はれた陸軍特別大演習を始め水戸地方陸軍大演習、朝鮮師團對抗演習の如き悉く將軍の手に依つて作戰計畫を樹てられたものである、同六年滿洲事變

に引續き同七年國際聯盟會議には日本陸軍代表としてパリに派遣されゼネヴウ會議に參畫し世界の舞臺に活躍した、歸來陸軍省軍事調査部長に同八年近衛歩兵第二旅團長(陸軍少將)同九年東京灣要塞司令官、同十年六月留守〇〇師團司令官(陸軍中將)となり今次の異動により第六師團長に榮轉したもの

族館伏源に將軍を訪へば今岡稻倉村長と共に應接室に現れヤー君(記者)はお生れは何處ですか……私(記者)は備中奥、高粱在の田舎村です云へば——ハ

「高粱……「コウリョウ」を書いて「たかはし」を讀む、何と六ヶしい讀み方の文字ですネー、支那の何處かにありそうな所ですネーさ、武人には珍しい如才な話、話は進んで郷土愛に入る

「高粱……」と云うだけで影の形を追ふ如く始終兩親と離るゝことなく一緒に暮らして來たであります、父は昨年八十七歳で亡くなりましたが今少し生き延びてゐたら今年には八十八歳の目出度い米壽を迎へて兩親打揃うて郷土入りができたのであります、私としては既に此前、十一月歸つたのでありますけれど母が久振りに是非とも墓參がしたいと云ふので今回は母のお伴をして歸つたのであります、昔ながらの山川、そこには父祖の骨を埋むる所、幼な友達と遊び興じた所、思へば昔

× ×



縣民に直接影響あり

# 質問眞劍味帯ぶ

盛んに應答した勸業費關係

## 通常岡山縣會

十一日の岡山縣會は午後二時再開勸業費關係第一讀會續行、先づ多久知事より午前中の上田君の質問に對する答辯あり、終つて政友吉田君より工業試験場の機能發揮、農村關係獎勵費等に關する長質問あり、次で初答辯の郡山經濟部長は番外席から午前中の上田、木村兩君及び午後吉田君の質問に一括答辯を行ひ續い

昭和九年度に於て農林省が希望府縣の申出によつて指定したものであつたが當時本縣からは申出でししたものか否かは知らぬが兎に角本縣には設置されなかつた、併し農民道場は數府縣に限らず全國的に必要なことであるから私たちも上京の機會に本省に對し全國に亘つて希望する地方には國費で之を設置されたき旨を要望してゐる、農林省もこの必要は認めてゐるが目下のところ財源關係で實現不可能となつてゐる併し縣としてはこれが實現を今後政府に要望し

たいと思つてゐる、今日でも縣下にも公私立の農民道場に類するものがあるし、青年學校などの教育にも此の精神を及ぼしてゆきたい方針である、次に補助の削減であるがこれは全く地方に於て新規事業を計上せんがためであつて永く補助してゐるものを削り新規事業に向けたのであつて現に當議場でも此の補助減額を非常に稱讃された向きもあるのだから別に不當であるとは思はない

吉田才次君(政友) 工業試験場は現代工業の先頭に立つて指導的役割を果す

べきであるに拘らず十年一日の如く味噌を造つたり、僅の酒を造つたりしてゐるのでは試験研究費を支出するのが惜しいぐらゐである、試験場を置いてあるから已むなく何か試験をしなければならぬまいと云ふ程度で消極的な活動しか行つてゐない従つて國でも農業試験場へは補助するか工業試験場へは一文の補助がないのを見ても如何に今日の工業試験場が輕視されてゐるのが判る、斯る工業試験場は年々多大の經費を支出して經營する必要はない當局は同試験場を

今日のま、放置してゆくつもりか、或は將來は試験事業を刷新して地方と時代に即した立派な試験を行はしむる方針を持つてゐるか  
と工業試験場の機能刷新を叫び、次で勸業補助獎勵費に對する再檢討を要求し補助の二割天引はおろかものによつては全部の補助を削つてしまつて、眞に補助を必要とするものに補助せよ、また共同施設獎勵費の内容を明にしていただきたい、業者全部の利益のためではなく一部業者のみの利益を圖るが如き施設獎勵費であ

つてはならぬ、副業共同施設、副業指導施設費に於ても農村に巢喰ふ一部狡猾なものに利用されるが如きこゝがあつてはならぬ  
更に小麥増殖、畜牛獎勵費等農村關係の各種獎勵費を片ツ端から槍玉にあげて當局の方針を質し更に縣は千數百圓を投じて小鮎の放流を行はんとしてゐるが、こんなこゝは止めた方がよい、それよりも鮎の禁漁を嚴重にした方が効果的ではないか  
その他肥料獎勵、蘭草試験費等の農村對策費をこき下し露骨に商工業者の代辯者

振りを發揮して當り散らせば日笠議長「質問は要點のみに止めてほしい」と注意するが吉田君構はず質問の間口を擴げて補助獎勵費の再檢討を要求し産業組合支會に對する補助反對を叫んで質問を終る  
郡山經濟部長 午前中の上田君の質問にお答へする私も上田君の御意見のように將來農事試験場の試験の實際化に努めたい方針である、唯試験場の仕事は試験であるから収入が擧らないからと云つて今日の試験場の價値を過少評價することは間違つてゐる、この點に就ては

試験場と云ふものの本質についてもう少し深い御理解を願ひたい有畜農業の奨励は千屋分場を中心として大いに努力してゐる、養蠶經營に就ては縣としては一定の方針を以て指導してゐる桑の苗木も縣として自給自足に到達するを理想として努めたいと思つてゐる、肥料に就ても上田君と同意見であつて自給肥料の奨励に努めたい、併し全部を自給肥料とすることは出来ない蠶絲價の安定に就ては今日のまゝの具體案をもつてゐない、次に綿羊は今日でも舎内で飼ふ

ことになつてをり必ずしも廣大な牧場を必要としない、三極の保護奨励に就ては將來大いに努めたいと思ふ、木炭検査に對しては來年度も検査員五名を増加してゐる有様で此の方面には縣は可なり努力してゐる、米麥採種圃の機能發揮には將來も努力したい、蘭草並に同製品の試験は専ら生産者本位の試験を行はんがためであつて決して農産物試験の統制を紊すものではない、次に農村更生であるが多くの中には成績香しからざるものもあるが立派な成績を擧げてゐるものもある、例へば赤磐郡葛城村の如きは實に立派に好成绩を擧げてゐる、悪い方面ばかり見ず

に良い方面を見ていたゞきたい更生運動の指導者に技術員を當てることは同感であつて技術員の素質待遇向上に就ては將來出来るだけ努めたいと上田君の質問に答へ次で木村君にも簡単に答へ更に吉田君の質問に對しては工業試験場は必ずしも十年一日の如く同じ試験ばかりは行つてゐない、そのような傾向は多少あるかも知れないが一旦始めた試験を直に打切ること

はできない、來年度では人絹織の試験を行ふこととなつてゐるがこれは將來はさうしても人絹織を以て綿織物に代へることが最も時代に即した施設と思ふ、紙の験試も今日は蘭草の屑から紙を作り出すことを鋭意研究中であり、これなごも最も地方に即した施設だと思つてゐる、次に共同施設の奨励は商工業云はす農業云はす最も必要な施設とされてゐる

から見て必要であるから將來は放流を續ける方針である  
更に肥料奨励、蘭草試験等に  
して吉田君の認識を訂正し

蘭製品に就ては未だ研究試験の餘地が多分にある特に捺染に於て然るのであつて近年蘭製品が南洋方面に輸出されてゐるに鑑みても此の試験は最も必要である、産組支會に對する補助は産組活動の現況に鑑み必要と認めるとして伊藤商工水産課長より各種補助奨励費の内容に就て逐一念入りに答辯を行ひ更に橋本農務課長より經濟

部長答辯に對する補足的答辯があつた

### 豫算案に對する

## 總體質問を終る

けふから款項目へ

通常岡山縣會

二日の岡山縣會は午後一時五十分再開、午前に引續き豫算案に對する總體的質問を續け民政の戸根一郎氏觀光施設の充實を叫び同生末近夫氏中等學校整理と女子教育の實際化を要望、次で政友の粕山八郎治氏負擔均衡から一般農村重視論南厚北薄、匡救事業善後措

置さては刑事政策論など盛り澤山の質問演説やら意見發表に長廣舌を揮ひ最後に知事の答辯があつて三時四十五分散會これで總體質問を終り三日から款項目質問に入るこゝとなつた

云はれてゐるが我が岡山縣は瀬戸内海國立公園があるに拘らず陸路からの觀光客が極めて少いと云ふとはまことに遺憾であつて之は専ら必然な觀光施設がないためである  
ミ觀光道路の築造に言及し縣は産業道路兼ねた觀光道路をつくる意思はないか  
と巻紙にかいた草稿を繰りひろげながら和氣郡片上、伊部町から虫明、牛窓の海岸線を巡つて更に兒島半島に至る觀光道路計畫を持ち出し更に縣道の種別撤廢を要望して降壇  
生末近夫君(民政) 縣債三

千萬と聞けばさぞ縣民も心を寒くするであらう、縣も更に一步を進めて縣民を安心せしむるに足る健全財政を確立すべきである

次で中等學校整理問題に及び

現在本縣には男子中等學校十八校、女子中等學校十六校の縣立學校があるが中には三百名に足らぬ學校があり生徒募集には教師は腰辨當で四苦八苦すると云ふ有様である、交通發達した今日かくしてまで多數の中等學校を存置する必要果してありや、また女學校教育は極

めて實際的であつて農村の娘が百性に嫁ぐのを嫌ふような有様である、こんな女學校を縣費多端の折柄存置する必要は毛頭ないのである宜しく今日の餘剩中等學校を廢校し此の校舍は青年學校に譲り實際教育の振興に努むべきだ、知事は大英斷を以てこれを實現する意思はないか

と知事の答辯を求めて降壇粕山八郎治君(政友) 私は負擔の均衡と課税の妥當に就て質問したい、昨年本議場において農村負擔を都市負擔との均衡に就て質問した際、多久知事

は税制改革をまつてこれが實現に努めたいと答辯されたが當時私の質問が徹底を缺いてゐる憾みがあつたから改めて今回質問したい

と數字をあげて農村、都市兩負擔の不均衡を指摘

國税に於て農村の三に對し都市は二の負擔比率となつてゐるが縣税に於ても地租附加税でも本税一圓に對し八十二錢であるが營業收益税附加税では本税一圓に對し四十六錢二厘と云ふ低額となつてゐる、岡山縣に於ても土地に對しては全國平均より十錢四厘も高いに拘ら

ず營業收益税では全國平均より僅に二錢八厘高いのみである、これは九年度豫算に於てであるが明年度豫算に於ても事態は同様である

と統計數字を擧げ

これは私が云つてゐるのではない、數字が物語つてゐるのだから間違ひない

と農村、都市間の負擔均衡化を叫び

農は國の基である健全思想の源泉である

と英國を引例し、さてはトルストイの言葉まで引張り出して農村禮讚の辯をくさり述べ農村に對する役人

の心得を諭し中産階級擁護

論をやり人絹問題に就て中原君の過般の所説を反駁すると民政森末君自席から「質問ぢやないではないか」と野次るが粕山君ますます熱をあげて大様なヂエスチユアでまくしたてる、轉じて南厚北薄論に及び「新しい議員もゐられるから…」と大に先輩振りを發揮し抑も南厚北薄とは縣の施設が南部に厚く北部に薄いと云ふ意味ではない、天の恵みが北に薄く南に厚いと云ふ意味である」と南厚北薄の意義を講義し亦々數字をあげて縣の施設は決して南厚北薄でない、

だから「これからは縣會議員もこんな言葉は使はれない方がよろしからう」と教

へれば「ヒヤノ」とか野次を飛ばすものがある、進んで時局匡救事業善後措置に就て述べ續いて

近時岡山縣の刑事政策に就て非常な非難があるからであるが之に對する當局の辯明を承りたい

と縣議選舉に關する二三の例を擧げて當局の答辯を求め「警察官は常に鬼手佛心であらねばならぬ」と明治天皇の御製を引き奉り

縣の刑事政策に對して非難があるのも警察官に此の鬼手佛心がないたため

はあるまいか、近く總選舉も行はれるとであるから縣は此の議場を通じて

### 手際よく捌く

#### 多久知事の答辯

多久知事 先づ古屋野君にお答へする、倉敷川の改修に就ては目下考慮中で近く實現するものと思ふ戸根君の觀光道路開發に就ては十分に考慮し至急實現の運びに至らしめた、その他の觀光施設に就ては民間でもホテル造築等につき計畫が進んでゐるようであるから、縣

縣民が安心するように御答辯を願ひたいと迫つて長質問終つて少憩

こしても大いにこの方面に努力したい、生末君の中等學校整理に就ては昨年縣會でその趣旨に賛成しておいたが實際問題としてなか／＼困難で強ひて之を行はんせせば重大な地方問題を惹起する恐れがあるため速急に實現することは困難である、併し當局は決して等閑視

### サーベル生活二十八年

## 引退の“人情署長”

幾多輝やかしき功績をのこして

### 岡山東署の久保警視

り、倉敷、總社から大正十四年四月警部に昇進、西署次席から矢掛署長になり、新見、高梁、總社各署長を経て警務課長になり、西署長から昭和七年一月東署長に榮轉して今日に至つた



この間總社署長時代には岡山縣最初の署管内三十六ヶ町村消防組全部の聯合演習を高梁嶺で舉行しその寫

あると云はれるが、私たちの聞いてゐるのは全く反對で縣民は近頃警察が町村の不正事件等をさし／＼檢舉して呉れて感謝するに非常に喜んでゐる尤も一部には警察當局に反感を持つてゐるものもあるかも知れないが、これは人情として致し方あるまい、某學校長を檢事の勾引状なくして拘束したと云はれるが、あの場合は任意出頭の形になつてゐる筈である、警察は故意に縣民を罪人扱ひにはしないのだからこの點縣民は十分に安心し警察を信頼してよいと思ふ

するわけではなく十分に考慮したいと思つてゐる、次に粕山君の負擔均衡に就ては粕山君が擧げられた數字と縣の數字とは著しい差異がある

と縣の數字を擧げて粕山君の所論の誤謬を指摘

この點に就てはもう少し御研究ありたい

と逆襲し

刑事政策上の不當事實に就てはまだ私はその具體的事實を聞いてゐない、警察官はことさらに縣民を犯罪人とするものではなく唯正義觀に基いて働いてゐるのである、刑事課に對して世間の非難が

千圓)を東山に建設し警官に防水マントを支給するなき待遇改善につこめた

眞は畏くも攝政宮殿下御台覽の光榮に浴し、現在各署で行はれてゐる聯合演習の皮切りをし消防組發展の基礎を作つた、また交通整理には特に力を入れ西署時代交通專任には巡查をおき、標識柱を建て、博覽會その他の雜沓時には自ら街頭に立つ熱心さであつた

大正十五年六月から、昭和四年八月までの警務課長時代には經濟界好況に惠まれた關係もあるが高梁署、警察練習所及び多數の派出所を改新築し自動車十六臺を購入、水上署の發動機船を新調し殉職警察官忠魂碑(一萬二

挨拶をし二十七日からは私服で出勤してゐるが

サーベル生活二十八年間非常に運よく各方面の御同情と御援助により行政警察にも可成り実績をあげ、司法警察にも未檢舉一件もない好成績であつた、殊に東署では三年四ヶ月といふ歴代署長中任期の永いこと第二位といふ長期間厄介になり全署員一致團結して微力の僕を助けてやらうといふ氣持ちで働いてくれたことは非常にうれしかつた、

昨秋風水害の際伊原巡查の殉難したことは誠に遺憾であつた、しかしあの老齡で一死報國の念を以つて勤めてくれたことは全署員緊張の原となりまたその聲名を全國的ならしめたことは喜ばしい、今後のことについては長官部長等でいろいろ御心配下さつてゐるが、長い緊張生活から解放され、しばらく休養したくもあり家庭の事情もあるので今熟慮中である

**内科** 岡山市上西川 電話三五八七

**岡田 医院** 医学博士 岡田 元一

# 警察、衛生關係費

## 第二讀會に移す

九名の委員附託

通常岡山縣會

四日の通常岡山縣會は午を終り第二讀會に入るや政後一時五十分再開、無産の友土屋君の動議で九名の委員附託となり三時二十五分これに對する石井警察部長清水衛生課長の各答辯あり二時四十分少憩、同四十五分再開、政友難波(誠)、同泉、同難波(徹)君等贊を並べて警察費關係に對する質問の矢を放てば之に對し石井部長から丁寧な答辯あり警察、衛生關係費第一讀會

行政執法第一條による保護檢束の場合における不當事項その他留置場における取扱の改善を要求し更に過般の縣議戰において倉敷市から立候補した無産派重井鹿治氏に對する不當な壓迫を挙げ進んで留置場の改善を要求し今日の留置場は人の入れる留置場ではないと留置場の陰慘な取扱ひを述べて當局に改善の意思ありや否やを質し結核豫防並に療養に對しても勤勞階級の立場からその徹底を要求して質問を終る。粕山君起つて自説に關する若干の釋明をなす

石井警察部長 行政執法第一條の不當な適用に就ては内務省警保局長よりも縣に對しこの點に就てしばしば注意方の通牒が來てゐるような次第であるからこの點に就ては將來も十分注意したい、次に留置場の改善であるが今日の留置場は警察廳舎が古くなつてゐる關係で設備のよくないのがあるが今後廳舎の改築に當つては先づきの點よりも留置場の改善に努めたい方針である、留置場の食事は或は現在のまゝでは不足かも知れぬがこれは省令で規定されてゐるのこ

財政上の都合で思ふようにゆかぬ、倉敷の重井候補の問題に就ては決して政治的考慮が拂はれた爲めに罰金となつたものではない、選挙に對する我々の方針は至極單純で公正なる態度で違反を嚴重に取締ることを以外に何もなかつたのである、今後と云へばこの方針に變りはないこの點誤解なきように願ひたい

清水衛生課長 結核豫防並びに療養施設の充實に就ては私も全く中原君の意見である、今日岡山には市營の療養所があるが近く同様なものが倉敷、

津山兩市にも實現すると思つてゐるしまた縣立療養所の實現についても十分努力したい方針である

石井警察部長 警察力を充實せしむるためには單に警官の資質向上のみでは足りず相當數の人数も要るのである、警官の不當な行動について實例を擧げて述べられたが私は未だこの種のこゝを聞いてゐない、併し萬が一にもかゝることが發生せざるよう注意する、警察への寄附に就て今後一段の注意監督を拂ふ方針である

泉卯助君(政友) 當局は議

員の警察のやり方に對し世間に非難ごうごうたるものがあると言はれるが私は當局のこの言を信じない、非難の事實は當議場に於て各議員によつて繰り返し述べられてゐる、當局はこれでもなほ非難はないと云ふのかと肉迫し「私も二、三の例を持つてゐるから聞いてほしい」と事例を述べる「ヒヤーノ、謹聽々々」を叫ぶものがある、泉君更に質問を續け

今日縣民は警察に對し「さはらぬ神にたゞりなし」と云ふ態度をとつてゐる、警民融和なきとは表

面だけだ、この原因は何か、警察官の資質に於て缺くるがためだ

と叱り更に選挙取締に對する批判を行ひその不徹底非常識な點を責めてこの點に對する縣の再答辯を求め難波徹君(政友) 消防義會に對する補助が二百圓削られて八百圓となつてゐるが、補助と云ふものは對象によりけりでこれを一律に削ることはよくない、特に消防義會に對する補助を削るが如きはよろしくないと思ふが石井警察部長はさう思つてゐられるか

石井警察部長 私たちは決

### 時間を延長、質問戦

## 愈よ高潮に達す

傍聴席も大入満員

### 通常岡山縣會

して今日の状態が完全に  
して理想的なものとは思  
つてゐない、悪い點があ  
れば御注意に従つてまし  
く、あらためて行たいこ  
思つてゐる世間にござい  
うたる非難があると言ふ  
のは縣の刑事政策に對し  
てであるから、之に對し  
ては左様な非難はないと  
答辯したのである、警察  
のやり方に就て御説の如  
き缺點があれば大いにあ  
らためて行たい、消防義  
會の補助費削減について  
はこれに代るものとして  
目下有志の寄附を募集  
中である

六日の岡山縣會は午後一  
時五十七分再開、土居議長  
より警察關係委員長、理  
事決定の旨及び各部決算委  
員は來週月曜日まで審査  
報告をされたき旨を述べて  
のち日程に入り教育費關係  
第一讀會の質問を續行、政  
友吉田、民政柏木兩君より  
長質問あり之に對し並川學  
務部長より答辯があり三時  
三十五分少憩、同四十七分  
再開、時間延長を決定して  
のち政友難波(誠)君の質問  
並に之に對する並川學務部  
長の答辯があつて四時三十  
分散會、この日傍聴席も満  
員の盛況で質問戦は高潮に  
達した、七日も教育費、社  
會事業費關係の質問が續行  
される

吉田才次君(政友) 岡山縣  
は教育縣として自他共に  
許してゐるところである

が今日の状況は秀才教育  
に偏してゐる觀がある、  
縣は産業の發展のため努  
力し工場誘致などに努め  
てゐられるようだが、こ  
れと並行して産業教育特  
に工業教育の振興のため  
もつと努力されて然るべ  
きだと思ふ、然るに現状  
は工業學校が縣下に僅に  
一校と云ふ貧弱さである  
縣當局は女學校等の整理  
廢合を行ひ之に依つて産  
業教育の振興を圖るの誠  
意を示し速に之が實現を  
期す意思はないか兒島商  
船學校廢止を決定するま  
へに當局は之が國營移管  
に就て相當盡力したかき

うか、また商船學校廢止  
のあこには地理的狀況に  
鑑み私は當然水産學校が  
設置さるべきだと思つて  
ゐたのに拘らず商業學校  
を新設するのは如何な趣  
旨によるものであるか更  
に新商業學校が男女共學  
である等は教育上差し控  
へるべきではないか、岡  
山市の實情に見ても市立  
商業學校の男女共學を廢  
し之を男女に各々分離せ  
んとしてゐる有様である  
然るに縣が青春期の男女  
を同一學校で教育するこ  
とを發案するのは如何な趣  
旨方針によるものである  
か、縣は之を設立當時一

時的便法として行ふ方針  
か、それとも永久に斯く  
する方針であるか  
ミ縣の方針並に見解を質し  
中等學校改築問題に進み  
昨年の縣會で當局は急い  
で改築するの必要は認め  
ぬ云つておいて明年度  
に於て倉敷高女等の改築  
を行はんとしてゐるのは  
何故か、勿論私は中等學  
校の改築そのものには大  
に大賛成するものである  
が倉敷市では過般商業學  
校の改築あり更に明年に  
於て女學校の改築が行は  
れんとしてゐる、然るに  
岡山市の學校はその儘に  
放置してある、當局はか

ゝる處置を均衡を缺いた  
遣り方とは思はぬか、私  
は何も倉敷をねたむので  
はないが縣廳所在地たる  
岡山に在る腐朽學校舎の  
改築を放任しておくべき  
でない、縣は改築に當つ  
て常に當該市町村の寄附  
を求めてゐるが、若し財  
産の多い倉敷市が寄附し  
たから之を先に行ひ寄附  
しない地方は後にすると  
云ふが如きは社會思想上  
にも悪影響を及ぼすもの  
であるから寄附によつて  
改築の先後を決するとは  
不當である  
更に授業料増徴による改築  
に反對し

縣營であるからには一般  
會計で改築すべきであつ  
て授業料増徴の如きによ  
つて行ふは當を得てゐな  
い、縣は將來は斯る方法  
依らず一般會計に於て行  
ふ意思があるか寄附を求  
めることなしに改築を行  
ふ意思があるか、更に岡  
山一中、岡山高女は寄附  
がない限り現在のまゝ放  
置する方針か、岡山高女  
の如きは現在の校地を賣  
却することによつて比較  
的容易に改築移轉ができ  
るものと思ふが當局はこ  
れ等の點をさう考へてゐ  
るか、また移轉改築のた  
めに購入された騎兵隊跡

を使用されてもよい時ではないか、この土地を將來如何に處置される方針であるか、當局にして若し將來工業縣として進まんとすれば先づ之に必要な工業教育を擴充して乙種程度の工業學校を新設してはさうか、縣はかかる點について考慮してゐるか

と繰り返し工業教育に對する當局の方針を質す

並川學務部長 産業教育の振興が世人の關心を求めてゐることは愉快なことで私も吉田君の産業教育重視に同感である、従つて縣もこの方面に大いに

力を注いでゐる、特に産業教育に對しては國家方針に順じて力を致してゐる、本縣はその縣民性に鑑み商業學校數校を經營し工業學校は現在一校のみしかないがこれは過去において商業に比し志願者が少なかつた爲めであるが今日では事情は著しく異つてゐるため縣も工業學校の設備改善に努めることとし近く工業學校の改築移轉、内容整備を追加豫算として提案することとなつてゐる、次に商船學校の國營移管は全國的な要望であり本縣も勿論この實現に努めた

が本縣のみの實現を圖ることは又文部省としても困難な模様なのでこれを斷念し遂に同校を廢校するとしたのである、また之に代置する乙種商業學校は尋常科卒業生を三年間教育するもので年齢から見ても高等小學校、青年學校とほぼ同じもので岡山市にもこの種の學校はあるし倉敷市にもある、水産學校とした方がよいとのお説ではあるが水産學校にすれば商船學校と同じ問題がまた發生する恐れがあるし地方の事情、縣民性に鑑み商業學校としたのである

更に學校改築問題に就ては決して倉敷のみ偏してゐる譯ではなく岡山市でも工業學校の改築を行はんとしてゐるし岡山高女に就ても目下敷地の選定中であつて近く實現を見るものと思つてゐる、次に改築に伴ふ寄附の問題であるが市民が小學校を經營するが如くたゞへ縣營であらうとも市民父兄各位が改築に御援助下さるここがむしろ喜ぶべきことと思ふ、従つて私はこの種の寄附を悪いものとは思はない、この點私は吉田君は見解を異にしてゐるかも知れない、同

様に授業料の増徴も教育の振興上またやむを得ないことではないかと思つてゐる

### 女學校の墮胎

高女設立費を青年學校へ  
柏木君まくしたつ

柏木貞一君(民政) 縣は來年度から女子師範に第二岡山高女を附設するところとなつてゐるが、勿論昨年縣會に於いて岡山市出身の議員からこれを希望したことは事實であるが岡山市の實狀から見れば一面無理からぬことであるが併し大多數の子女は女學校に入り得ず高等小

學校或は青年學校に入學するのである、縣はこの縣民全般の教育を考慮せず一部岡山市の子女の利益のために女學校を設置せんとするのか、第一岡山高女をスベリ、山陽、就實に行きこ、でスベツたものを第二高女ですくひ上げねばならぬほご中等教育が大切なのか、私は縣民の教育機會均等のため第二高女設立に要する費用は全部これを青年學校の充實費に廻せ、今日國防の第一線に立つて働いてゐる者はごこを出てゐるか、大部分は青年學校の出身者である、か

る教育機關を犠牲にして何が故に一部階級のための中等學校のために費用をつかふのか

と叱咤し青年學校の教育内容の貧弱をも指摘し更に林野高女問題に移り並川學務部長が別科、専科を「長期講習」と稱してゐることを難詰し、縣有物を無斷で使用し、高等女學校令に違反し、父兄を欺瞞した罪は輕からずと迫り折角入學した生徒を満足に卒業せしめないうようなことがあれば林野高女はいゞ墮胎罪を犯すものだとごき下し、轉じて西大寺高女二階墜落事件の善後措置を尋ね、更に人事行

政に及び

中等學校の校長異動の如きは最も慎重に行はるべきであるが本年八月の中等學校長異動は果して慎重に行はれたか

と八月異動の内容を挙げ退職校長中教育界に功勞あり地方民の受けもよいものを誠首したことは不當人事であり思想上にも悪影響を及ぼすものであると人事行政の刷新綱紀の肅正を叫び

教へ子を二階から墜落させた校長を榮轉させたり、インチキ學級をひそかに作つてゐた校長を榮轉させたりする人事行政のごくに綱紀の肅正があ

るか

更に有力中等学校の校長には他縣からの輸入校長を置きまた縣視學に輸入視學をやたらに据ゑることを不可解とし「茗溪閣」ばつこの噂あること指摘し人事の明朗化を要望し更に轉じて教育者立憲思想に論鋒を向け

教育者のなかには憲法政治の本質並に運用の形式を常識的に知らないものがある、こんな教育者によつてはとても満足な國民教育は行はれない、教員或は視學の中には議員に對する認識を缺いてゐるものがあり「悪いこと

は全部縣會議員がやるもの

ののうに心得てゐる非常識な輩がある、教育縣を誇る岡山縣にかかる非立憲的な教育者がゐることは全く驚き入つた次第である、縣は憲法の講習會でも開いて教員に立憲教育を施す意思はないかとまくしたてれば土井議長「簡単に願ひます」に注意するが柏木君更にナポレオン、織田信長、フレデリック大王、さてはカーライルの「英雄崇拜論」まで持出して智的教育並に秀才教育偏重を難じて縣の所見を問ふ

## 人事釋明

### 並川學務部長

並川學務部長 柏木君の質問にお答へする、第二岡山高女の新設は岡山市の要求によつたものであるが之は永年の要求であつたし他府縣の實情に見ても縣立高女が岡山市に二つあつてよいと思つたので新設することとした、新設しても授業料収入があるから縣費の支出は一干圓位で済むのである青年學校の設備充實に就ては縣も格別の努力を行つてゐる、その教育方針

が農業實習第一主義に墮してゐることであるが公民教育、實業教育に並行的な努力を拂つてゐる、女子に就ても同様である、西大寺高女講堂の墜落事件に對して文部省と相談して校長を譴責處分に附した、中等學校々々長異動に就ては人事の刷新上細心の注意を拂つてゐる次は教員採用のことであるが何れの府縣でも自縣出身のみを以て教員に當てることは喜ばず適當に他府縣出身者を混入してゐる、學閥によつて人事を行つたことはい併しさうした風評があれ

### 制度刷新等について質問

並川學務部長 女子教育充實は本縣が教育縣として誇り得る所以の一つなつてゐる、これがため男子結婚難に陥るとは聞いてゐない、水産學校を新設する意思は目下のことろ無い、縣立中等學校の改築については相當の計畫方法は考慮してゐる、

人格教育の必要に就ては全く同感である、教員服裝規定の全廢については必要あれば考慮する、濟世顧問、委員制度の活用については指導員を設けてゐる、明年度は更に一名の指導員を増加するこ

各方面から之に關する研究を行つてゐる

ことなつてゐる、同制度の改善に就ては目下縣に委任されてゐるので縣は

### 警察官の寄附要求は

## 縣民が迷惑する

議員は官廳に遠慮の要なし

大野君まくし立つけふの岡山縣會

四日の通常岡山縣會は午前十一時二十分土井副議長議長席に着いて開議、出席議員二十七名、警察費關係二讀會に入り  
大野正夫君(中立) 議事進行について一言したい、今日まで四日間の會議に

おける知事並に參與の答辯振りを見る時我々議員は極めて遺憾に思ふ節がある、同僚議員は當局の答辯を承ること恰も正一位稻荷大明神のお札を戴くか、宗忠神社の御直筆を拜受するかの如くであ



る、一方これに對する當局の態度は議員の質問に對し逆襲的な或は翻弄的な態度で臨まれてゐるかの如き感がする、苟も縣會は縣民の意思を代表する議決機關であるからには官廳に遠慮する必要はなく、また當局もこれに對しもつと親切丁寧であるべきだ、一言以て當局の注意と反省を促すものである

ミ當局をたしなめたるへ質問に入り

人民の生活と直接交渉を持つ警察官の人選に遺憾の點がありはしないかと云ふことを最近特に痛感

するが當局は巡查採用並に巡查教習所の教育を如何なる方針で行つてゐられるか、次に無能巡查或は非常識な巡查の淘汰に就てお尋ねしたい、今日非常識な巡查が可なり存在してゐるが縣はこれ等を適當に整理する意思ありや、或は身分保障令によつて之をなさない方針であるか、何れであるかを承りたい

過般の肅正選舉の際の非常識警官の非常識極まる行動例を擧げて當局の方針を質し進んで警察署に對する寄附要求に就て

縣費を受けてやつてゐる

警察署が備品、器具、消耗品の購入に當り管内の料理業、宿屋業等のものから寄附を強要する傾向がある、斯る種類の寄附要求を縣民は極めて迷惑に感じてゐる、縣はこれ等の點に就てももつと監督を十分にしたい、次に警察署の自動車濫用の件であるが警察署の自動車と云ふものはその購入に當つては民間有志の寄附と斡旋が行はれてゐるのであつて、専らこれは社會治安のための犯罪探索のためのものであるに拘らず之を濫用する例が少からずある、ひさい

のになると巡查が活動寫眞見物に署の自動車を使つたり署長會議に臨む署長が妻君同乗で岡山に乗り込み自分は會議へ臨み妻君は天満屋映畫館にゆくと云ふような例を私は目撃したこともあると痛快に當り散らし警察に對する不平不満を爆發せしめ次で老朽警邏船の整理とこれに伴ふ人件費の整理を行ひ水上警察の充實と待遇改善に資する意思なきやを質し次に

警察署の廢合は數年來私の要望してゐるところであるが今日まで實現に至らない、廢合すべき地方

は可なりあると思ふ、署長は減るかも知れぬがその代り巡查を増加してゆくことの方が經濟的でも効果的であると思ふがこの點に就て石井警察部長の所見を承りたい

石井警察部長 巡查採用に當つては身元調べを特に詳細嚴密に行ひ先づ身元調べを行つたうへで學科試験を行ひその上で更に身元調べを行つて志願者の身元と品性に重きを置いてゐる次に非常識な巡查の整理は實に之に努めてゐるが今後一層嚴重に監督しようと思ふ、警察への寄附に就ては私も

大野君と全く同様で警察が民間から寄附を受けるが如きことは將來嚴に禁じたいと思つてゐる、警察自動車の濫用に就ては私も或は大野君の思はれるが如き例があるのでないかと思つてゐるものであるから今後一層嚴重に注意したい、老朽警邏船の整理に就てもできるだけ速に新造船を以て代へ御希望に副ひたいと思ふ、警察署の廢合は困難であると思つてゐる、縣下の警察署は何れも可なり粒の揃つたものばかりであるから今日のまゝ廢合する必要なしと思ふ

併し將來交通機關の發達經濟事業の變化のためその必要の起つた場合は改めて考慮したいと思つてゐる

と答辯し此時土井議長より

親王殿下御命名のあつた次第を謹んで報告、一同東方に向つて最敬禮し慶祝の意を表し奉つて午後零時十分休憩となる

全市小兒學童の力

蠅三百一十一萬匹

四斗俵にする三十一俵  
富士山の高さの九倍に達す

岡山全市の蠅の撲滅を期し、岡山市衛生組合主催の蠅取デーは六日

二萬の全市小學校兒童を

動員して行はれ早朝兒童の登校とともに各小學校において取纏められ戦績の結果はつきりと總本部に宛ら

れた市衛生課に報告され、大林、近藤兩副組合長、松田、岡本兩本社員、衛生課員らによつて集計されたが、全市における蠅叩き、蠅取器具の賣盡されたほどの反響を呼んだ壯舉だけにその數實に三百一十一萬八千七百七匹といふ想像を超越した記録を残し、この結果に基き原野深柢小學校長の興味ある計算によれば四百匹を一リツトルとして八百リツトル、石敷に採算すれば四石四斗、つまり四斗俵十一俵をつくるこゝが出来更に

一匹の體長一糎として縦に並べれば三十一軒余約八

里に達し、富士山の高さに比較して九倍となる、またこの半數を雌とし一匹の雌が二百の卵を産むとすれば二十日ののちには三億匹の成虫となり、幾何級數的繁殖を遂ぐる蠅のその後の増加數は常識をもつて計られ

ぬものとなる、これと別個に市内三十箇所の特殊地帯を選び捕獲された蠅は一地带毎に滅菌試験管に入れ同日午前中醫大鈴木細菌學教室に搬入、直ちに試験に着手された

### 勸業費を委員に附託

## 土木關係に入る

時間も延長し審議漸く本格化

### 通常岡山縣會

十三日の岡山縣會は午後一時五十八分再開、午前の勸業費關係質問に對し郡山政友難波(誠)民政永山、同

岸本、同田中各議員の質問があつて三時二十分少憩、同三十分再開、時間延長を決定してのち郡山經濟部長伊藤商工水産課長の答辯があつて勸業費第一讀會を終り第二讀會に入るや政友土屋君の動議で別項の通り議長指名の九名の委員附託となつた、續いて土木費關係第一讀會質問に入り先づ政友吉田君質問を行ひ之に對する郡山經濟部長、飯島土木課長の答辯があつて四時三十五分散會十四日は引續き土木費關係第一讀會質問が續行される  
郡山經濟部長 北山君にお答へする、米は麥と違つ

て縣外へ移出するものが多いのだから矢張二重繩にして置く必要がある、水産試験場は明年度に於て適當な地に移轉する方針である次に片山君は大阪の縣物産販賣幹旋所を廢止してはさうかこのこゝだが大阪は我國の産業經濟の中心であるから茲に幹旋所を置いておく必要はある、たゞ明年度から神戸の幹旋所は大阪へ併合してその機能の發揮に努めたい、産業組合の監督に就ては全く同感であつて縣も組合の自治監査を督勵してゐる、水利調査は兒島郡に限つて行

ふのではないが當面同地方の水利開發が最も緊要視されてゐるから先づこの地方から始め漸次他地方へも及ぼしたい、原田君は米の生産検査を廢止せよと云はれるが目下のこゝろ之は必要である、滿洲の縣物産進出施設は現在もその充實に努めてゐるが今後一層努力したい、次に柏木君にお答へする、副業の必要についてには柏木君と同意見で縣も出来る限りの努力を致してゐる、唯我々は副業品は之を販賣するこゝろふよりは農家の必需品を自給するものこゝろしたい、

即ち農家經濟の自給自足を強化することを副業の主目的としたい  
椅本農務課長 トリコノモナスの檢診は全縣下一齊に行ひたいのであるがこれは政府の補助を受けてゐるため農林省の經費の都合で希望通りに行ふことが出来ない状態になるとが出来る、併し縣は決して一齊檢診の計畫を棄てた譯ではなく今後その實現に努めた

答辯  
森末繁雄君(民政) 近年農村救済に勸業政策の重點が置かれて來た爲め中小商工業者の利益増進のための支出が少い觀がある  
と縣の政策が農村偏重に墮してゐるこゝろを論難し  
蘭草同業組合補助並に蘭製品試験費が商工獎勵費の中に計上されてゐるのは如何なる根據によるか  
蘭草關係の試験費は商工業の助成に如何なる關係があるのか、かゝるものを商工獎勵費の中に計上することは明に縣の商工業輕視の政策をカムフラ

「デユするがためであると思ふ、縣は今少し商工業の助長保護に努める意思はないか」

次で観光施設の擴充に論及し

岡山縣は他府縣と比べて名勝舊蹟、觀光地が決して少なくないのであるがその施設は極めて貧弱である、これは當局の指導宜しきを得てゐないためではないか縣はこれに就て如何なる具體案を持つてゐるか、次に縣物産の紹介のための博覽會、展覽會等への出品を統一する意思ありや

更に産業統制策の強化によ

つて没落過程にある中小商工業者を没落から喰ひ止めよご要求し進んで縣或は縣下産業團體主催の見本市を多くすることを要望し轉じて河川漁業の振興に及び

就中吉井川には何等これに關する施設がない、漁業組合の如きも他の高粱旭川にはあるが吉井川のみに申請しても認可して呉れないのは何故か、また柵原鑛山が放出する鑛毒によつて同地方に棲息する魚族が絶滅乃至著減してゐることは周知の事實であるが當局はこの防毒に就て考へたことがあるか、また此の鑛毒と

沿岸漁業との關係に就て考へたことがあるか

難波誠一郎君(政友) 今日縣下には多數の各種産業團體がありこれに對しては一々相當の補助を行つてゐるが當局はこの際多數の各種産業團體を統合する意思はないか、更に産業組合の指導に就て縣の方針を質してのち聞くところによると縣は水産試験場を邑久郡牛窓町に移轉するようであるが此の試験場は以前八濱町にあつたものを現在の位置に移し更に牛窓町に移す譯で恰も縁日商人が轉々屋臺を移してゆくよ

うで縣に果して確固たる方針があるのかさうか疑はれる次第である、今次移轉は確然たる方針のもとに行ふのであるかさうか

永山久吉君(民政) 先づ入漁鑑札に就て質してのち一旦鑑札を與へた以上はその權利を無闇に無視したり蹂躪すべきでない鑑札所有者に對する官憲の壓迫を論難し進んで當局の漁村輕視を攻撃し、たまに若子の經費が支出されるにしてもその大部分は人件費や試験費である、また其試験費も極めて局部的なものではなく

不合理なものが多い、ま

た淡水漁業と淡水事業とでは淡水事業に重きが置かれてゐる淡水漁業は輕視されてゐる

漁民の利益増進のため氣勢を上げ更に漁港の改善を要求し進んで測候所の無能を槍玉に擧げ

測候所よりも漁民の方が少くとも三時間位は先きに天氣の變異を知つてゐる、風が吹いて來た翌日になつて「風雨強かるべし」の警報を出されても決して有難くないのである測候所がラヂオに放送材料を提供するだけのものならいつそ廢止して

終うた方がよからう

痛撃する

岸本恒重君(民政) 岡山縣の茶の生産額は年二十萬圓に上つてゐるが縣の消費額は五十萬圓である、差引三十萬圓は他府縣から移入してゐる、縣はかかる状態にある茶業をもつと助成奨励する意思はないか、また茶業組合に對する放針は如何轉じて經濟更生指定町村の指定條件に就て當局の見解を質す

田中孝三郎君(民政) 農事試験場の試験は單に學究的であつては役に立たない、實際農業經營の上に

活用されなければならぬが當局はこれに對して適策を持つてゐるか

更に小麥増殖奨励に就て述べてのち副業論に入り縣の副業に對するやり方は初めあつて終り無きもの如くである、一旦奨励し始めたものを物にならま指導奨励することなく中途で方針を變更するため農家は思はぬ損害を蒙ることがある、このよ

うなことが副業の發達の上に重大な障害となつてゐると思ふが當局はこの點をさう思ふか

郡山經濟部長 先づ森末君にお答へするが蘭草同業組合補助は取扱上商工業勵費に計上したのである縣は決して商工業を輕視してゐる譯ではない、この方面の施設に就ては今後も努力したい、觀光施設に就ても將來その充實に努めたい、難波君の各種産業團體が多すぎると云ふことに就ては或は嫌ひがあるかも知れないから考慮して見たい、水産試験場は當局において十分調査研究した上最も適當な土地へ移轉するのである、永山君にお答へする、人口に比例して勸業費の割合を觀察すべきではないのであつて縣は決

して漁村を輕視してゐるわけではない、試験は局部的に止めてゐるのでなく漸次他へ及ぼしてゆく方針である、漁港は經費の許す限り改良したい、次に測候所を廢止したらどうかこの御説だが之は甚だ聞えない御質問と思ふ、測候所は單に天氣豫報のみを行つてゐるのでなく他にも重要な仕事を持つてゐる、測候所廢止なきは思ひ止つていたゞきたい、岸本君の茶業奨励は御尤もの御意見で縣も此の特産品の助成に努め明年度もこの方面に一千圓を支出してゐる、

經濟更生指定町村指定の本件は先づ村民が自力更生したいと云ふ熱意をもつてゐるとを第一の條件としてゐる、例へば阿哲郡本郷村の如きがそれである、また從來は優良町村のみを指定してゐたが今度は眞に更生を要すべきものを指定して見たいと思ふ最後に田中君にお答へする、副業奨励に關する當局の態度が一貫してゐないこのとだが從來は或はその嫌ひがあつたかも知れぬが今後は斯る奨励方針を避け健全な副業の發達に努めたいと思つてゐる

伊藤商工水産課長 吉井川にのみ漁業組合が出来ず縣は同地に漁業組合の設立を認可しないとのことだが吉井川上流には漁業組合はある、柵原鑛山より下流の漁業組合の設立に就ては曾て同地方から縣に對して相談があり縣はその際丁寧に相談に乗つてゐるのだが、さうしたものが今日まで認可申請がなされてゐない、縣は決して漁業組合が出来ることを抑壓するものではなく、むしろ之を歓迎してゐるのである

藤課長は更に商工業助成施設水産試験等に就て答へて答辯を終る  
吉田才次君(政友) 明年度に於て縣は岡山市内の國縣道を僅かの經費で補裝を行ふこととなつてゐるが縣は道路補裝の將來に就て如何なる方針對策を持つてゐるか  
次で岡山市中橋、小橋の架替に就て當局の方針を問ひ更に宇野港事務所の不合理的經營内容を攻撃し都市計畫事業に對する當局の方針を質し進んで都計事業費及び例によつて「甚だ遺憾とする」「信じて疑はぬ」を連發してぐくぐくしく質問を

續け「これは私箇人の意見ではなく縣民の聲である」と見得を切ると「但し嫌に釘」と彌次るものがある

郡山經濟部長 道路補裝費として五萬圓を計上し岡山市内を完成し漸次地方に及ぼしたい勿論その費用の一部分は受益者負擔規則によつて相應の負擔を地元を負つていたゞく方針である、中橋、小橋の架替は旭川改修と共に行ふこととなつてゐる

その他都計事業についても簡単に答へ、續いて飯島土木課長 單に收支バランスの上からのみ字野

港事務所の經營に就て云々することは間違つてゐると思ふ

けえの岡山縣會

## 産業の滿洲進出

勸業費關係第一讀會

劈頭知事と經濟都長が前日の質問に答ふ

十三日の岡山縣會は午前十一時十分開議、出席議員二十五名、病氣缺席中の無産若狭君久し振りに出席して同派中原君の隣り二十九番席に着席する、傍聽席は興除農學校の男女生徒百三十名、岡山高女高等科生徒四十名で満員である日程に

入り前日に引續き勸業費關係第一讀會に入り先づ前日の質問に對して答辯するた

接寄與する經費は可成り多額に上つてゐると明年度よりの關係新規事業の主なるものを擧げ特に新興滿洲市場に對して縣物産の滿洲進出を圖ることとなつてゐる、作北に工業試験場分場を設置することに就ては作北の工業、を振興するとの必要は認めざるが目下のまゝ工試分場を設置する意思はない市農會に駐在農業技術員を設置することに對しては市農會と異り包容する農村が少いのであるから現在のところ駐在技術員を置く必要を認めない、作

北の農試分場の充實に就ては生末君と同意見であるから今後これが充實に努力したい

次で土居君の質問に對し  
木材の規格統一に就ては現に縣も努力してゐるが今後木材同業組合を通じては出来る限りの努力を拂ひたい、トリコモナスの検診、驅除に就ては國の方針と相まつて努力したい、目下のところ阿哲ほか四郡に検診を置めてゐるが將來は他の地方にも及ぼしたい  
續いて中原君の質問に對しては  
農事試験場の機能は決し

て自己矛盾に陥るものではない、穀物検査の問題は重要であるからやや詳しくお答へしたい  
と標準米の決定が不當な人選のもとで行はれてゐることを、本縣では統制法のために殊更に乾燥が嚴重になつたとは云へないこと、統制法の實施によつて農民は米生産の上に損害は受けてゐないこと、検査員は農民に過度の乾燥を要求してはゐないこと「晴天日三日乾し」この程度で十分であること等を述べ  
賃摺に就ては米の生産の最後の仕上げを行ふこと

が理想ではあるが穀摺り機械が高價であるため勢ひ専門の賃摺業者が出現したわけで検査員はこの賃摺業者を指導監督するものであつて決して賃摺業者の利益のみを圖つてゐるものではない、次に表装に就ては格別これを嚴重にしてゐるとは思はないが、本縣産米の一つの缺点是他府縣産に比し表装が劣つてゐることであるから縣は縣米の聲價を維持するため表装をよくしたいと努めてゐる、次に獎勵米と米穀検査との間には何等直接關係はないと思ふからこれは地

主對小作人の間で解決すべきものである、検査の自由制は検査そのものを否定することであるから我々はおかろる意見には賛成しかねる、要するに我々の考へでは米穀検査はめ地主と商人のみの利益のみを圖るために行はれてゐるものではなく専ら産米の品質向上が主目的であつて、その點からは農民も地主も商人も一視同仁である  
更に工業試験場における人絹工業が労働者に及ぼす影響の調査は工業試験場で行ふべきこと柄ではないと

答へて答辯を終る

多久知事 中原君の質問に  
お答へする、小作爭議に第三者が介入して徒に爭議を激化することは最近本縣に起つた爭議に就て見ても明かだと思ふ、中原君も十分この爭議に就てはよく御存じのことと思ふ、勿論小作爭議が頻出するに至つた原因としては大戦以來のデモクラシーの滲透と云ふ思想的な要因と共に日本の農村の特殊性―耕地の過少、農村人口の過剰―に更に最近の農民組合運動の發達、經濟界の不況等によつて益々拍車をかけられた觀

がある、従つて我々は頑迷な地主に對してはさしおしその反省を求めながら併し小作人もその義務を履行するように努むべきだと思ふ、要するに小作人も地主も共存共榮の精神で進んでいきたいのである  
日笠議長 會期も切迫してゐるから質問はできるだけ簡單に二十分以内で打ち切つていたゞきたい、若し二十分を超える時は中止を願ふことがあるかも知れぬ  
北山芳太郎君(政友) 穀物検査を自由制にせよとは云はぬが今日のように規

則づくめでは困る、次に現在の水産試験場を移轉する意思はないか  
片山一男(民政) 滿洲の縣穀物の販賣斡旋、商況通信は大いに充實する必要はあるが大坂における販賣斡旋所はその必要なしと思ふが當局は如何に見てゐるか、次に産業組合に最近頻頻として不正事件が起るがこれは當局の指導監督が不十分なためではないか、耕地改良關係で農業水利調査費が新に計上されてゐるが此の調査は縣的に行はるべきものであつて單に兒島郡の調査に限らるべきもの

でないと思ふが縣は如何なる方針で行ふつもりか  
原田高一君(政友) 穀物検査において生産検査を廢止し移出検査のみとする意思なきや、これは既に議論の餘地はなく斷行の世代であることゝが當局にこの勇氣はないか、次に大阪の販賣斡旋所を全廢し此の經費を以て滿洲の斡旋所を充實する意思はないか  
柏木貞一君(民政) 農家と副業とは魚と水の關係の如く離れることのできない關係にあるが豫算面に現れた副業關係經費の貧弱なところを見ると當局

はこの副業を軽視してゐるのではないか、機械工業の發達によつて農山村の手工業は大打撃を蒙り副業収入を奪はれて終つた、縣はかゝる状態に對して十分な對策を持つてゐるか、それとも經濟状態の變化によるのだから止むを得ないに放任しておくつもりか、今日さかく副業が不振であるのは主として當局の技術的指導が當を得てゐないためではないか、また販賣斡旋が十分でないため折角作つた副業品も賣れないと云ふような有様であるが以上に對する當局の

方針を示していたゞきたい。最後に「トリコモナス」の驅除檢診を一都に止めず他の

地方へも及ぼせと要求して質問を終り午後零時二十五分休憩となる

### 南海の獵奇

## 北木島探訪記

月明の濱邊に

朗らかな花嫁争奪戦 一(二一)

島の結婚は今でも大低自給自足で島以外の處から相手方を選んだ場合は全島民から猛烈に排斥される。従つて島の男女同志の結婚が殆んどその大部分は

島の前にはいつた血族結婚なのだから一寸魂消る。しかも大低の場合これらの結婚は親同志の話し合いで決められ若い男女は之に對して何ら不服を言はないで

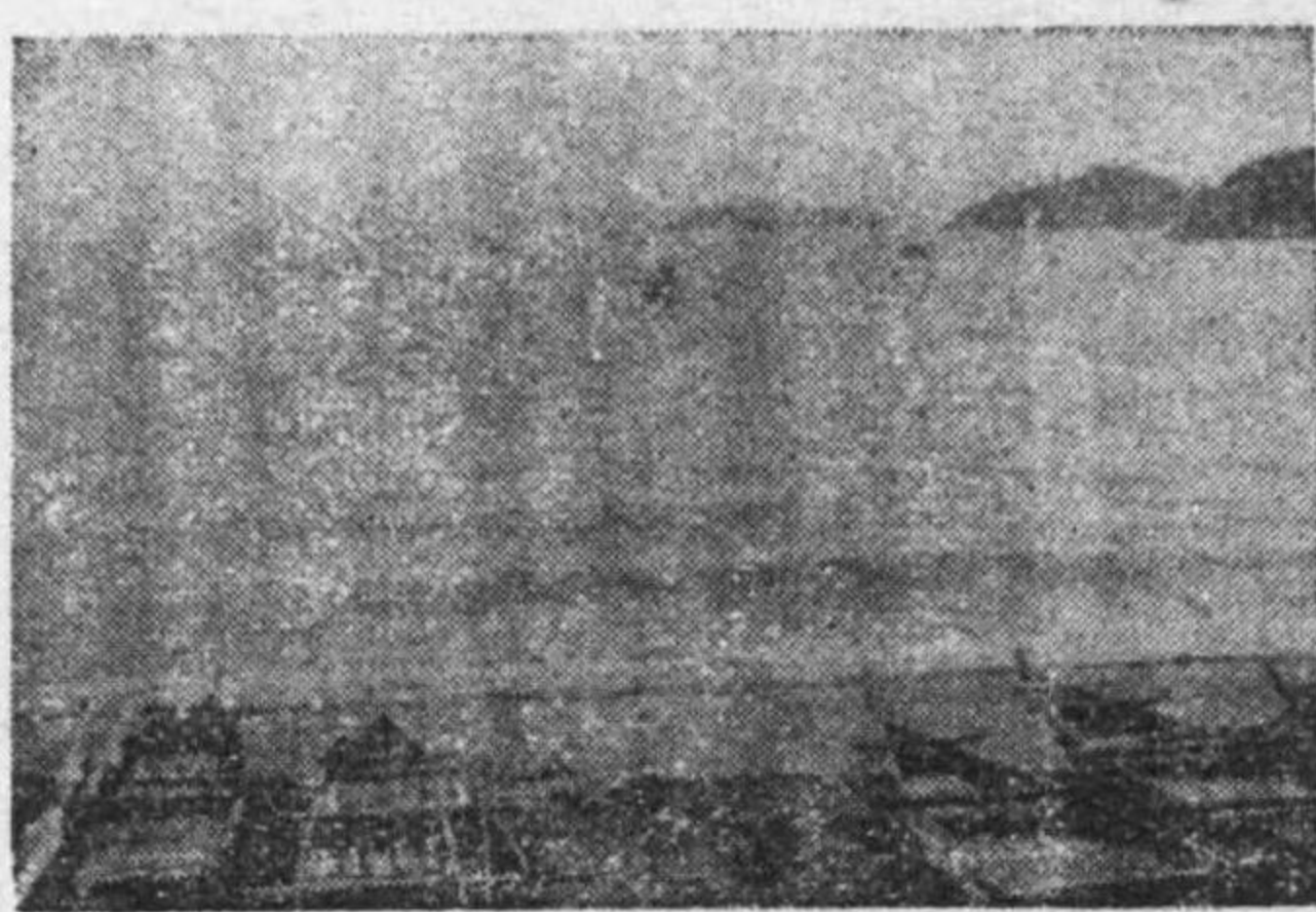
絶対服従するといふのだから萬事圓滿だ。今さきのモボ、モガ達の流線型自由結婚と較べてまさに格段の相違である。従つて結婚に對する本人同志の理想とか注文とかはテンで問題にならない譯で仲人なんか全然必要がないさて一旦結婚式が済むと花嫁はサツサミ實家に歸つてしまふ、そして昨日までと同じ様に子供の一人でも出来るまでは大きな顔をして實家の手傳をするのが通例で其の間必要に應じて花婿殿が御出張に及ぶといふ痛ましきである。

此の點血族結婚のお蔭で

押掛ける花婿にしても根が親族同志だから氣安いわけだ結婚式の奇習として北木島では古來墨塗りといふことが盛んに行はれて來た。嫁入當夜、花嫁か花婿の顔へ島の若者達が寄り集つて濃く磨つた墨を塗り付けるのであるが之は「いつまでも夫婦仲が濃くあれ」この意味で塗られた墨が濃い程喜ばれてゐたものであるといふから随分と人を喰つた話である。

それから、これは今では影を斷つてゐるが一昔前頃までは掠奪結婚といふものが島の青年達によつて演ぜられたもので、かねて白羽

の矢を立て、ある嫁入前の娘を多數の若者らが徒黨を組んで娘の家へ押かけ、無理矢理に掠奪してワツシヨ



イノと擔ぎ出しモーシヨンを懸けてゐる花婿候補の處へ連れて行くのだ。しかも娘を奪はれた親達

は反つてこのことを名譽のやうに思つて手を拱ねいて見て居るのだから始末が悪い世にも朗らかな掠奪結婚の犠牲者(?)として男の家の運び込まれた娘はこうして尊い處女と永遠に「サヨナラ」を告げるのだ。

當夜兩人の寢床の下には密かに土器が忍ばせてあつて翌朝になつて此の土器を引出して見て破れてゐた場合には大願成就さ島中の若者が集つて振舞酒を酌み交し夜おそくまで松明を焚いて濱邊で飲み明したものだ然しこの奇習は今では全く行はれて居ない。

貞操線の異常を土器のバ

ロメーターで審判するなんかは、およそ獵奇的なロマンズである。

露出バンザイの島生活で一番楽しいのは盆踊りの夜だ八月拾三日の夜、全島に亘つていとも盛大に行はれる盆踊りこそ、エロ、エロ、エロの豪華版だ。

當夜は十二歳位の子供から八十、九十の老人に到るまで島の大師堂、鎮守の森等に集つて夜の明けるとまで踊り狂ふのである。

ドツドコドン音頭を取る太鼓の音に合せて青白い月光を浴びて節廻し面白く

踊り狂ふ島人達の列から幾  
拾組かの若い男女がいつの  
間にやら消へてゆくのだ。  
夜更けた渚の砂丘の蔭に  
…或は霧深い裏山の彼方へ  
…若い男女の誰憚からぬ一  
夜限りの情痴の夢が心ゆく  
まで結ばれるのである。  
短い夏の夜が、はやほの  
ぐと明け初めるまで。

夜毎に伸びる

### 愛慾の觸手

人妻の買収費が

ナント〃麥一升也〃

島の常食としてゐるもの  
は麥、芋、粟の類で白い米  
の飯などは盆正月でもない  
限りとても食膳には上らな

い殊に里芋は北木の名物と  
まで言はれて島の人々から  
珍重がられてゐる。

漁のために夫が二三ヶ月  
も家を明けて遠方へ出稼ぎ  
する金風呂部落の細君連が  
留守中の生活難と孤燭から  
一升の麥、五合の粟と貞操  
を交換する話さへ記者は耳  
にした。

島の人家には殆んぢ戸締  
りといふものがない。

北木島では恐らく錠前は  
永遠に必要なののかも知  
れぬ従つてこの家も文字  
通りの解放的だ。

一杯の焼酎に元氣をつけ  
た島の青年達が飛んだエロ  
ギヤングとなつて娘持つ家

を物色して夜歩きするには  
コンデションはまさに上々  
である。

ニキビ華かやなる島の若  
者達によつて夜毎に演ぜら  
れる夜這いの實状なご詳し  
く書けば發禁物だ。

x……………

この島での最大の行事と  
して傳へられてゐるのは、  
なんと言つても七月拾七日  
の八幡様の祭りである。

當日は朝まだきより八幡  
境内は人を以つて埋められ  
神輿を擔いだ島の若者達が  
揃いの浴衣でエツサク、こ  
島中を練り歩くので、その  
賑いは大變である。

夜になれば沖では漕寄せ  
といふことをやり、船に澤  
山の提灯を點して伊勢音頭  
も賑やかに濱邊に漕寄せて  
ドンタク騒ぎを演じ、樂し  
い夏祭りに一段の興を添へ  
る海風に揺れる紅提灯の美  
しさ想へば懐つかしい南海  
の一點景である。

皮膚科性病科  
**外科 藤原病院**  
醫學博士 藤原 皓  
岡山市七軒町一丁目藤原病院  
電話五二〇八番

## 懲役五年の〃嫉妬放火〃

### 遂に無罪の判決

冤罪の主張とほる

法廷に嬉し涙の土居村の男

懲役五年の求刑が無罪と  
なつたとた放火被告事件——  
岡山縣英田郡  
土居村泉小林政喜(四三)  
に關する放火被告事件公判  
を二十一日午前津山支部裁  
判所田中裁判長係り開廷  
被告政喜は昨年隣家の小  
林いよさんに懸想しい  
ひ寄つたが拒絶されたと  
ころからテツキリ女に情  
夫がありそのためにつれ

なくするものと思ひ憤懣  
の情抑へがたくつひに同  
年三月十四日夜いよさ  
ん方が新築中なのを幸ひ  
その炊事場から出火して  
延焼した如く装はんと計  
畫して稻藁乾草等を積重  
ねそれに放火、同炊事場  
と棟續きの納屋二棟を焼  
きいとよさんが住居して  
る  
本家の屋垂の一部に延焼

せしめたが折から隣人に  
發見消止められたといふ  
犯罪事實によつて前回山  
田検事は懲役五年を求刑  
したものであるが  
何分にも本事件については  
何らの物的證據もなくたゞ  
被告がいよさんに對しい  
ひ寄つたといふ事實と憤懣  
の情を抱いたといふ想像か  
ら所轄林野署における被告  
自身の供述を唯一の證據と  
して審理して來たものであ  
るが被告はこの點に關して  
徹頭徹尾警察の拷問により  
無實の自白をしたのだと一  
切を否認したまた證人として  
訊問した被告の娘隆子さん  
(一九)はいとよさんには外

にも數人情夫があつた模様  
ですと  
有利な證言を與へたので  
田中裁判長は證據不十分に  
より無非の判決を言渡した  
被告はこの同情ある判決  
に思はず法廷に泣きくづ  
れたが検事局はこれに對  
し改めて検事控訴を行ふ  
ものと見られてゐる

専門 金澤本店  
岡山中之町  
電話二〇八三

嬰兒を背に奇禍の父

# 涙の野宿旅

妻に逃げられて歸郷の途

岡山驛前派出所で濇い情

十六日午後八時ごろ男の乳子を背によれの着物を着てとぼとぼ岡山驛前派出所を訪れた

三十男あがつた、居合せた福島警部補が事情を聞くところ男は大分縣速見郡山浦村浦篠伊藤政雄(三三)と云ひ

夫婦揃つて今年夏上阪某鐵工所に勤めてゐるうち

政雄は作年中腰を機械に

はさまれ、阪大病院治療

に入院、妻は志が途中で

挫折、生計不如意となつ

たところから貯金全部を

出引し乳呑子置いて逃げ

去つた

やうく歩けるようになつ

て退院した政雄は風の便り

に妻は今臺灣に居り後悔し

てゐるを聞き十日大阪を出

で臺灣航路の水夫長をしてゐる友達に妻の動靜を尋ねようと神戸に行つたが會はず

歸郷を思ひ立ち、懷中無一文で足の弱い身に子供を

背に山陽道を野宿してやゝと岡山にたぎりつき空腹のあまり警察へ泣きついたものご判明、この哀話に同情して同所で福山までの旅費と食事を與へた

## 内 腦脊髓病科

# 武野醫院

醫學博士 武野一雄  
岡山市東中山下三丁目  
電話四九七二番

## 後樂園の伊達姿

“美容師”二百人が

# 總掛りの明粧

泥顔かき落して甦る名園

三月末までには復舊か

昨秋の洪水で一面泥土と化した後樂園は四月初めまでには一般に公開し得るまでに復舊しようと岡山縣山林課の手で美粧工作を急いでゐる今日さの程度に復舊してゐるか?と云つても昨今漸く全園を掩うた泥土を全部取り除き大きな破壊箇所を修築を行つたばかりでこれから復舊工事は愈よ

本格的に進められるこ

とになつた、數日前から毎

日大工、左官、庭師、土工

その他の雜役夫なご二百餘

名を園内に繰込み山林課次

田技手が現場主任、同課近

藤技師が相談役、久郷山林

課長が總指揮で工事を急い

でゐる、いま着手してゐる

工事の主なるものは、堤防

の修築と補強、外苑芝生の

修理、延養亭始め園内建物の修繕、櫻馬場の整理、梅林の新生工作、水管の埋込みなき全面的な復舊工事に着手された、浩養軒西手の櫻の堤は其の脚部を掘り下げ新に粘土のハガネを二尺餘の巾で詰め込み決潰箇所は特に深く掘り下げ(略ぼ旭川水面と各位ぐらゐるまで)これにハガネを入れて堤防の補強を行つてゐる、外苑の芝生はスロープの無理を除き自然な傾斜とし芝も特に優良なるものを選び目下高梁川から取り寄せた芝を植附けてゐる

響きが小春日和の名園の青空を軽く揺つてゐる櫻の馬場の櫻は一本残らず切りとられ其の後にはきれいな芝生が出来てゐる、あの一帯の暗さをお拂ひ明るい清新な芝生で唯心山をすつきり取圍まうと云ふのだ、更に目下工事中の處では花葉の池(延養亭榮唱の前)の水の取入口を今度は鳥城對岸の河底に作り水位の安定を圖らうと云ふので其の水を敷設中である、かうして順調に工事が捗つてゆけば三月一杯には復舊もおほかたに成つて名園は陽春の鳥城下にデビウするであらうなほ南側の藪を整理して櫻の植込みを行ふと云ふ擴



張工事は國內の復舊が一應進められてゆくことになつて成つたうへで徐々に工事が行はれてゐる。

### 誠意とネバリの前に

## 労資の握手

男をあげた堀部さん

岡北争議が解決するまで

岡山市後樂園裏の小作争議は内務省警保局の労資係争問題に對する取締方針が從來の彈壓第一主義より融和強調主義に轉換した直後のこと、てさう解決するか興味をもつて見られたところ見事勞資圓滿に手打ちが行はれ當局は新方針の目的を達成した

この争議は昭和六年以來係争し中途調停が成立したのを小作人側が履行せずこれに對して地主は土地返還の訴訟を提起し裁判所はその主張を正當と認めて地主側に軍配をあげたもので小作人が如何にハンストを續けて餓死

するものが出来ても一分の勝目もないものであつた  
勝ち誇つた地主側は最後の手段である強制執行によつて小麥を刈取つてしまふ計畫で寶刀を抜き取つてゐた小作人は破れかぶれの手段でハンスト同盟休校を敢行し反對デモをやつて空氣は極度に尖鋭化し何時さんな事態が発生するかも知らない危険な空氣が漂うてゐた

罵を浴びせかけられながらも隠忍しテロ防止にのみ努めまた堀部特高課長は傍觀的態度で靜觀してゐた  
闘ひ疲れた争議團は江田争議部長の指令によつてこの上闘ひつゞける不利を悟つてデモを休止した、この絶好の機會を掴んだのが堀部特高課長、いよゝゝ調停工作に乗出すことを決心し氏は福島縣特高課長時代歴代縣首腦部がもて餘してゐる某村の二十年來の學校移轉問題の紛議の解決に身を挺して乗り出し見事に解決して知事は勿論文部、内務當局をアツ

といはしてその手腕を認めさせたレコード、ホルダー

同課長の秘策は誠意とねばりの一手、地主と小作人との間に立つて裸一貫となつてじゅんじゅんと農村事情を説き、抗争の非を教へたところ兩者ともその熱意に動かされて遂に五年間に亘る熾烈な抗争は急轉直下大團圓を告げるに至り當局の理想だつた勞資協調が行はれたものである

なほこの解決の裏面に地主側の尾谷辯護士、特高課の内田、瀧上兩警部、東署特高主任甲元警部補その他の不民不休の努力

も大に手傳うてゐることを見述すことが出来ない

### 小作調停委員會を組織

細目を決定

岡山市後樂園裏の小作争議の調停要項たる

- 第一 地主側の家庭的事情により小作人四名から約一町歩を取上げる、但し取上げるもの、未納小作料は全免する
- 第二 その他の者に對しては従前通り小作せしめる條項は地主、小作兩者とも承認したのでいよゝゝ藤井

岡山區裁判所監督判事、堀部岡山縣特高課長、松田岡山縣小作官、湯淺岡山東署

長、尾谷辯護士の五名で調停委員會を組織し

- 一、訴訟費用、六、七、八九四年間の未納小作料を小作人が年賦納入すること
- 一、新小作契約による小作契約期限
- 一、新小作條件

一、新契約に小作人が反した場合の措置  
なごの細目條項について決定し兩者に提示して承認を求めると一兩日中には最後の解決を告げる筈で小作人は田用水も増加し大喜びで挿秧を行つてゐる

### 隣人を縛り

## 寒夜に曝す

盜木を賣られた恨みから

高屋のリンチ事件

岡山縣後月郡高屋町官谷高橋繁太郎(五)は去る三日午後七時ごろ隣家の高橋多松の木を

盗伐しして附近の荒神様へ隠匿してゐたのを多四郎の息正志がそれとは知らずに勝手に他へ賣却してゐたことを遺恨に思ひ多四郎を荒縄で高手小手に縛り上げその上に自宅の庭の柱に縛りつけて

「けふはわしがお前の體を自由にしてやる幸ひに舊の大晦日であるからこゝで年をとらせてやると稱して表戸を始め全部の戸締りをして誰も入ることの出来ないよう監禁した上自分はそのまま、就寝したが

一方多四郎の息正志が親父の歸りがあまりに遅いため繁太郎方へ赴き父を呼んだ

ところ小さな聲で救ひを求めたのを知つたが何分嚴重なる戸締りが施してあるため入ることが出来ず更に火を點じて戸の隙間から内部の様子を窺ふと前記の如く監禁されてゐるのを發見し吃驚仰天し折柄舊年末夜警のため警邏中の井原署笠原、笹部兩巡査に急を告げ救ひを求めたので兩巡査

間違だらけの

### 國定教科書

浦島の乗つた海龜等は怪物

清心高女 佐藤教諭が指摘

文部省の國定教科書編纂一定教科書の挿繪には非常に官に言はせると「小學校國一苦心した、尋一教科書の鬼

ケ島の

指が何本あるのかいろく、苦心研究したが結局人間並みの五本にしておくのが子供には一番分り易くてよからうと言ふことになつた、假想的動物である鬼でさへさうだから動物、植物なごの生物的方面には殊に注意しておいた」と自慢辯明してゐるが、それ程御自慢の國定教科書から從來とても度々誤謬錯誤が発見された「白うさぎとあるのに赤く塗つてあるのはなぜですか」と子供が質問するのは未だよいとして「やつで」の葉が圖によつて七ツに割れたり

八ツに割れたりして

るが一番正確に九ツに割れてゐるのは一ツもない、その他浦島太郎の乗つてゐる海龜なんか、あんなに澤山龜甲紋を持つてゐる海龜は世界中さこの海を漁つてみても見つからないと言ふ奇怪なものだ殊に甚しいのは四學年理科の教科書に載つてゐる「れんこん」の挿繪だが植物學上より見てあんな變態的な「れんこん」は餘ッ程の瘠地でないとできないさうで教科書の挿繪としては極めて不穩當なものだ、一觀察を正確にせよ」といくら子供の前でやかましく言つてみても教科書が間違つてゐるは恐らく教師

困るだらうと言ふの

で岡山清心高等女學校佐藤清明民は斯うした教科書の誤りを一々克明に指摘して「得ないもの」と二分して更に十項の誤謬項目に類別し誤謬の内容を實的、形式的兩方面より精密に検討してこれを如何に取扱つてよいかを岡山縣教育會機關雜誌「備作教育」に發表することになつた、佐藤氏は語る

他人の缺點を發くと云ふ悪い考へからではない、それに謬と言つても其の性質上已むを得ないものも少々ある、教へる小學

校の教師も困つてゐるだらうから其の謬をさう取扱つてよいかを一應説明しておいた、教科書であ

るからには挿繪だからと言つてもやはり一ぺん専門家の檢閲を経ることが必要だと思ふ

### 兒童泣かせの難問

### どうかと思ふ集

字句の誤用や不正確が多い

岡山市内の中等校の考査問題

既報の如く岡山市商の字句誤用問題が考査の後日譚を賑してゐる折から今般行はれた市内中等學校の考査問題からも同様、字句の誤用、不正確、不親切なご續々發見され考査上の由々しき問題として識者の注目を

惹いてゐる、その主なるもの二、三を擧げて

岡山一中の第二日

の中に「利根川の川口近くにはみんな大きな都邑が發達してゐるか」と言ふのがあるが某受験兒「大きい都

邑と言へば少くとも人口二十萬以上と教へられてゐる丁度川口に銚子市があるが之れは人口僅に數萬に達しない、では東京か、これは川口からの距離と上流からの距離が殆ど等しい、はてな？」と思案にくれたと言ふ、同じく一中第一日の口頭試問に水師營の會見(兩將晝食共にして、なほもつきせぬ物語...)の歌を示して「この會見で兩將が話したことはこれだけですか」と發問した、或る兒童即座に答へて曰く「その次に、なほもつきせぬ物語とありますから他のことをも話しました」と明答した、困つたのは試験官で其の次の發問

問「それは此の詩のきこてわかりますか」が發問できない、窮して一策「よけいなことを言ふな」と一喝したのでくだんの兒童青くなつて退場したと言ふ、つぎに

### 岡山高女

第一日の口頭で

かんでん"を示して試問したのがあるが「これは何ですか」の第一問で不正解者のあつた場合、或る試験官は即座に「落第？」の烙印を捺したのがあるし親切な試験官はかんでんですが何と言ふ植物で作つてありますか」と發問の本旨まで誘導してくれたと言ふ、つぎに

### 岡山市商

第一日の筆記試問

に「君か代を平假名を用ひて書けと言ふものがあるが「平假名を用ひて」に頭をひねつた三人の兒童、思案にくれて質問した、ところが各試験の答へがふるつてゐる「質問には應ぜず」「平假名ばかりだ」「漢字を交へてもよい」——一體さう書いたら満點をくれるのだ!、つぎに

### 岡山一中

の分も一つ擧げて

おかう、第二日算術の筆答に「車が五二〇〇度廻つた」と言ふのがあるが、或る子供頭をかしげて「車が五二〇〇回廻つたと言ふのか、

それとも五二〇〇角度(一回轉は三六〇度)廻つたと言ふのか」子供の頭は車輪より敏感なのだ!まだく探ればあるか知れない、平氣で使つた語句が子供には針の如く響くのだ、第三者こそ笑ひ事ですまされるが子供にとつては命がけの問題だ、子供、父兄、小學校側の血まみれの苦勞に中等學校の態度は少々無責任ではないか、考査問題審議會やらでお役人は何と裁くか受験兒を持つ父兄、教員のむきになるものも無理はない



## 國定新色ずり讀本に

# 編輯杜撰の抗議

卷五のラヂオ體操の挿繪

◇岡山の一指導者から指摘◇

「色ずり讀本」と銘うつて發行された文部省の自慢の新小學國語讀本中の「色ずり挿繪」に大變な間違ひがあります—と岡山市内山下三五、木村齊といふラヂオ體操の指導から「編輯杜撰」の抗議が出た、同氏のいひ分によると

本年三月文部省發行の小學國語讀本卷五の十九、日記八月一日水曜の晴の項中にラヂオ體操の挿繪

(八十六ページ)は指導者と指導される者とが向ひ合つてラヂオ體操演習最中の状態が描かれてゐるがその畫のなかの人物は互に向ひ合つた指導者も指導されるものたちも同じ右の方向へ首を廻はしてゐる事實上は指導者の首が左へ傾き指導されるものは右へ傾いてゐるといふまるで正反對の動作をとつてゐるこれは明らか

かに誤謬で正しくは指導か或は被指導者か、挿繪の上では左の方向へ首を廻してゐなければならぬといふのである

## 早速調べ

文部省側の話

右について文部省圖書局藤岡編修課長は語る  
ラヂオ體操の指導者と指導されるものと向ひ合ひながらさちらも同じ方向に首を廻してゐる繪だといふのは全くはじめに耳にしたが何分手許に教科書を持たぬので早速調べて見よう、教科書の編纂には十分注意してやつてゐるけれども、もし

さういふことになつてをれば直ぐ判明することです全くケヤレス、ミステークといふほかなく次回の改訂の際改めることにしそれまでは教へる方で注意して貰ふことにせねばなりません(東京電話)  
右につき岡山市内田學務課長、小山視學は語る  
普通は向合つてゐる場合は、反對になるべきですが小學校の低學年兒童の體操やあの繪にあるように色々の人が集まつてやゝる場合は分りやすいためにわざと先生や指導者が同じ方向に手足首なごを動かすことになつてゐるようです、従つて小學校

の先生には何等不思議のことではありません、只上級児童の場合は勿論正しく右なら右に動かしますから繪も反對になるわけです

### 教育を

#### 亂すもの

當の木村氏かたる

當の木村齊さんは岡山市内山下三五番地に住み天満屋四階の主任でラヂオ體操開始以來一度もかゞさず行つてゐる熱心家、天満屋でも店員の指導にあたつてゐる人で學務課の話を反駁して次のように語つた  
さうも變だと思ひます、

私はラヂオに興味をもち従つてラヂオ體操でも岡山では先輩の一人と自任してゐるほぎですが今まで自分であのような指導をしたこともなく又人がやつてゐるのを見たこともありません、私達の子供の時でも先生は皆御自分ででも號令通りになさつてゐたように記憶してゐます、分りやすいと言へばそれまでですが却つて教育に混亂を來すのではないかと思ひます、しかし別段深い考へがあつて指摘したのではありませぬ、私自身の経験と氣持から間違つてゐると思つたまでです

### 出所後にそなへて

## 獄中で思想善導

現在岡山刑務所に三十餘名

色あせた縣下の赤色陣營

わが國における共產黨は内務、司法兩當局の數次に亘る徹底的大檢舉の嵐、峻嚴な課刑と昭和六年日支事件を契機として勃興した皇道精神、日本精神の思潮に追ひつめられてその影を潜め僅に地方に残留する黨員によつて地下潜行的の再建運動が企てられては官憲の大強壓によつてもろくも崩壊し、現在の社會情勢としては全く手も足も出ない實

局の日常的檢察と中央における機關の絶滅によつて何等の連絡もとれないので表面的の活動もせず思想的の敗壞者として苦惱してゐる問題は縣下で檢舉されたものは勿論、他府縣の赤色陣營にあつて果敢な闘争をして檢舉され刑の確定後本籍地の岡山刑務所に移送され目下服役中の卅數名のものが多年後に出所するところ我國の社會情勢の變化如何では彼等は再び縣下にある分子に呼びかけて熾烈な運動を開始しないとも限らないので刑務所教師はこの分子に眞に日本人としての精神を蘇らさうと訓戒に努め最近では獄中より國防警

金をした井原町の一青年のようになつて思想がわが國體と相容れない誤謬を發見し

### 勤王志士の遺族が

## “春わびびしき轉身”

藤本鐵石の家系繼ぐ多賀さん

### 四十七で藝妓志願

文久三年九月二十五日、大和に天誅組を率ゐる勤王の大師を讎へし武運拙く敗れ王政維新の礎石となつて散つた故藤本鐵石の家系を繋ぐ身が峠を越えた女四十七歳の身で三味を把つて藝妓稼業をしようと十五日岡山東署の係へ許可を願ひ出

過去の罪清算のため眞面目に服役するものが次第に増加してゐる

石の兄の子一即ち甥片山彦衛氏とその妻古婦(八六)さん(岡山市西大寺町、河面喜次郎氏女)を養子として藤本の家名を繼がせた、その古婦さんに四人の子女があるがその第四女が今度左袂をとらうと云ふ多賀さんである

たと云ふ春らしくもないトピツク

藤本鐵石は岡山市東河原の出身で大和鷲鹿口で討死後四人の遺兒があつたが何れも七歳に達せず死亡し、あたら勤王志士の名門が跡を斷たんとしたがその後鐵

多賀さんは實母古婦さんと目下岡山市門田屋敷の一番地に祖父にゆかりの鐵石せん餅を焼き、茶を賣つて佗しく生活してゐるが志上の遺族にも冷たき生きる惱みのため今度岡山市岩越檢番から僅かな前借で源氏名を「三次」と呼んで浮川竹の勤めをすることになつた

のだ

多賀さんにはみよと云ふ娘があつたがこれは事情あつて姓が違ひ目下東京に在つて勉學中でまづ關係なくたゞ一人藤本の跡目を繼がせる鐵真と云ふ息があつたが之は七年前死亡し、母としても恵ま

いま必要なものは

# 官吏よりも金だ

岡山縣下各方面の聲は

經濟部新設に反對

各府縣に經濟部を新設することに對する岡山縣下の輿論は大してこれを有難がらないどころか寧ろこれを即ち地方經濟の更生を促進

れるところ少い、こんな譯で再起した藤本の家名は古婦、多賀母子の一代で終る譯であり、そこへ今回五十に近い身で多賀さんの藝妓稼業は、一家を知る關係方面に異常なシヨツクを興へてゐる

中小商工業及び一般農村の不況を克服するために國に於て恰好な施設を行ふことは其の趣旨に於て最も妥當なもので今日この方面に對する努力は最も必要とされるもの、一つであるが今さら地方官々制を改め而も豫算を伴はずして徒らに地方官吏の數のみを多くすることは地方經濟の實情に即し云々と云ふよりも過剩官吏の消化のために行はれるものと解せざるを得ぬ、岡山縣の實情から云つても今日の縣政は過般の風水害により財政的にその運用が極めて困難な状態に置かれてゐる、岡山縣が必要とするものは官吏よりも金である

、一ダースの地方官吏を迎へるよりも一文でもよい國庫補助の多からんことを望んでゐる、尤も新官制では當面に於ては一人の事務官が減つて一人の書記官が増加するので官吏の絶對數には變りないことになつてゐるが、苟くも部が新に獨立するとなれば今後かなり多數の官吏が増加することは必定であらう、岡山縣では風水害復舊工事に當り多數の役人を採用し今日に於てさへさちらかと云へば役人は過剩氣味である、この上官吏が増加すれば徒らに寄生官吏を増加し將來縣民の負擔を重課する恐れがある更に、此の如く地方政治に

密接な關係のある地方官制の改革を官場のお手盛りで行ふことは民意を無視した官僚政治の誤謬であつて地

方の實情に即するどころか其の第一歩から之を無視してゐると云ふのである

## 篤 文檢裁縫科試験に

### 見事パス

瀬戸高女出身 杉本貞子さん

若き教育者達の登龍門としてまた

檢定受験界の最難

關と謂はれる文部省中等教員試験に今回岡山縣下四十名を越える受験者を凌駕して唯一人見事に裁縫科教員の資格を贏ち得た篤學の女性―それは瀬戸高女出の杉

本さんである。貞子さんは

當年未だ十九歳で全國受験

者中の最年少者、赤磐郡輕

部村東輕部杉本知恵氏の二

女、輕部小學校を経て瀬戸

高女に入學、毎日二里半の

道を自轉車で通學し、優等

の成績で昭和七年三月同校

本科を卒業、補習科に入り

無試験檢定により小學校裁縫科正教員の免狀を受け引續き同校補習科の裁縫助手として勤務の傍ら刻苦勵精今日の榮譽を擔ひ得たものである

#### 案絶對

#### 反對の全國大會を東京

國技館において開き猛反對の氣勢を擧げるが岡山縣下からも同案の議會通過阻止に邁進すべく代表五十四名は七日午後四時譯前金光食堂に勢揃ひし同三十分岡山驛に隣縣香川縣の代表十八名と合流して午後四時五十分發急行列車で同案の潰滅を期すべく悲痛の決心を眉宇に漂はせながら關係業者多數の見送りをうけ萬歳聲裡に一路壯途に上つた、列車には山口、廣島兩縣下の代表百名が乗込んでをり宛然米管案反對の列車となつた

たほ岡山縣下からの出席

## 米管案押潰せ 鼻息荒い岡山勢

當局の五名制限も飛し

代表五十四名悲壯の京上

「我らの生命線を守れ」と悲痛な叫びを擧げ商權擁護に敢然として起つた

全國米穀關係業者は今八日午前十時から米穀自治管理

は當局の制限では五名となつてゐたものであつたが五十四名が大舉東上したもので驛頭に

は萬一を慮る東西兩署の私服巡査が多數警戒し物々しい情景を呈した

# 蓮昌寺、國寶へ

鐘樓堂を加へ指定申請

けふ岡山市長から手續

## 世に出る古建物

岡山市東田町蓮昌寺の建築物が測らずも室町桃山時代の代表的建造物なることが判明し文部省係員によつて國寶的價值ありとの折紙をつけられたことは既報の如くであるが同寺住職高見日孝師も各方面の懇意によつて

いよく國寶指定の申請をなすことに決定、八日申請書に寫眞、沿革書を附し岡山市長に取繼方申出たので市では直に同日縣知事あて申達の手續をとつた、指定申請の建物は既報せる本堂重塔、番神堂、二天門のほかに、更に鐘樓堂も加へら

- 番神堂 高さ十三尺、正面十八尺五寸、奥行十六尺五寸
- 二天門 高さ十三尺、幅十四尺角
- 鐘樓堂 高さ十九尺、正面十七尺、奥行二十尺
- 本堂 桁下二十七尺、正面椽端まで一百尺、側面同上九十七尺
- 三重塔 高さ四十二尺、幅二十二尺角

## 名人もびつくり

# 未恐ろし天才兒

細川五段の昇段披露棋會に

岡山の鈴木少年大奮闘

○「坊やも名人と一局手合せしたいナ」と、はる／＼岡山から父親を引張り出して來阪した九歳の可愛い田舎初段君「あたしも手筋を見て貰ひたいワ」とオカツバの下であいくるしい瞳を輝かす十四歳の少女達なご未恐ろしい怪童天才兒の出現に、さすがの

本因坊名人びつくり仰天  
○細川千仞五段の昇段披露棋會は九日午前十時から阪急沿線甲陽園線甲陽館で開催、東京からは本因坊名人を初め岩本六段篠原五段、關西側では田村、久保松、光原、木村各六段以下日本棋院關西支部所屬棋士數十氏が出席來會中三百餘名といふ盛況で、有段者の阪神對抗手合や一級以下三局勝越競技なごのほか、七日、八日と引繼いで來た名人對醒醐四段二子番の指導手合、岩本六段(先番)對光原六段の東西高段打切手合、田中二段對高川(先番)の新進一分碁打切

手合(高川三段二目半コミ出一目勝)なごか興味を集めたが  
○中でも強剛篠原五段に七子を布いて遂に石を投ぜしめた

## 岡山 市網濱三〇質商

鈴木傳藏氏三男同縣師範附屬小學校三年生圭三君(九)を初め大阪住吉區昭和町中二の二四天下茶屋小學校五年生湯佐金二君(二)港區八幡屋松之町二の二〇一、市岡高女一年生前田視順さん(四)南區内安堂寺町三の四柏野千久子さん(四)ほか大賀正生三段の娘さん千代子さん(二)中川操子二段の娘さん照子さん(四)たち少年少女群が會場の一角を占め

それ／＼對局し初めると滿場の人氣は正に最高潮に達し本因坊名人も醒醐四段との對局から中座して觀戰にやつて來る、そのまた背後には何時の間にか高段者がズラリとならんで、盤上に瞳といふ瞳が吸ひ寄せられて一目一着に手に汗握るほどの激戦また接戦!

## 技量

はかけ値なしの四級から六級どころでわが子に七目も八目も打たれる父親連中もその横合からハラ／＼しながら無言の聲援をする

○岡山産れの怪童はこ、でも恐ろしい迫力をもつて湯佐少年、柏野少女を白番

て堂々投げを打たせて名人も天晴れ／＼といはんばかりに白扇をバチリ……輝かしい棋士としての將來が完全に裏書された、當日の重なる成績次の通り  
「東西高段打手合」岩本六段(先)對光原六段―岩本六段中押勝  
「名人指導手合」本因坊對醒醐四段(二子番)―本因坊二目勝かくて六時半から指導手合碁を大磁石盤によつて講評し七時半盛會裡に散會した  
「まだ／＼」

網の濱の母親語る  
岡山網濱の圭二君の家を訪へば同君は未だ大阪から

歸つてゐない”新聞に書かれることを非常に嫌がるものですから……”と謙遜しながら母親は語る  
一昨年の三月ごろ父が打つてゐるのを見習つて好きになつたのが始まりでそれから毎日學校から歸るとすぐ小橋町の竹内先生の所へ習ひに行つてゐます、  
磨屋町の犬飼先生の所へ

### 種痘の黎明時代を

## 語る貴重文獻

先覺、難波立愿の筆寫帳

岡山市史編纂員の手へ

明治初年種痘史の第一頁一を占める興味ある文獻が最

も日曜日には行つてゐるようです、まだ強く強いや、とでも好きなもんですから近所から碁の音でも聞えたら、もうぢつとしてゐられないようです、まだ學校へ行つてゐるのですから、そんなにもてはやされてはほんとに迷惑するのです

近岡山市編纂員の手に入り非常に珍重されてゐる、文獻と言ふは「種痘術についての岡山縣官との應答手續」との表題をもつ筆寫帳で筆者は御津郡金川出身の岡山縣官屬士族難波立愿とあり、市史編纂掛吉三平氏が偏然の機會から播州の某書店で入手したもので、元來種痘術は

今から八十七年前嘉永二年秋蘭醫モーニツキから

日本に傳へられ長崎の通詞豊川四郎左衛門が己の孫に種えたのが初めで、その頃これを傳へ聞いた佐賀藩主鍋島閑叟侯が臣下の諫止を排して自分の子供に種痘したのも有名な話だがこれが

岡山縣に持込まれたのは足守出身の大蘭醫緒方洪庵が明治三年五月藩主木下侯に勸めて陰痘館を設立、藩士及び領内の子供に種痘を施した時とされてゐるまた他方明治三年岡山區操山麓に設立された岡山醫學館及び大病院でも稍おくれ種痘術を施したが當時一兒二朱の料金をとつた爲め實際上の普及は殆んと言ふべきほどでなかつた、しかるに新に見出された難波立愿の前記文獻は彼が早くより種痘の普及を念願し明治六年時の縣知事新莊岡山縣權令に種痘實施許可の歎願書を提出その後縣當局と屢々激論を闘はした未終に明治九年

六月十四日漸く許可されるに至つた経緯を

詳細に記録すると、もに文歎願書、縣の方針等主要な應答書を摘録してをり當時如何に縣當局が頑迷なる態度をとつたか又彼が如何にそれに抗して強硬意見を述べたかを如實に物語つてゐる、當面の係官東馬某の如きは現存する醫學館、大病院をせ、る氣なりやとか縣廳のあなを探るためならんなぎの暴言をすら吐いてゐるほごである、そして彼自身は或は醫學館で試験されるやら恩師文部省種痘局免狀掛大野松齋の證書を取寄せるやら苦心慘澹、明治九年の許可まで漕ぎつけ

貧民は無料で種痘するなき普及に盡力したことが明らかにされてゐる、市史編纂掛ではこれに力を得て更に當時の資料を涉獵この文獻に肉を盛らうとしてゐるが

### 黨再建に暗躍

## 捕はれの二闘將

奇縁、岡山縣出身で然も同窓

赤色陣營の挿話

日本精神の勃興と弾壓につぐ大弾壓のため潰滅の途上にあるわが國の共產黨陣營にあつて最後まで弾壓に抗して再建のため果敢な闘争を續けたが遂に空しく今冷い獄窓のも

とに冥想に耽つてゐる兩左翼の闘將が奇しくも岡山縣出身者であり六高時代の同窓であるといふ赤色陣營の一挿話……その一人は元朝鮮で警視を努めてゐた岡山縣赤磐郡佐

伯本村の素封家宮内忠唐氏を父に持つ勇(三)で勇は六高文科三年に在勤中、共產黨一齊

### 「檢舉」のトップを切つ

た三、一五事件に連坐し公判の結果懲役二年半、執行猶豫三年に處せられて以來杳として消息を絶つた、特高當局は彼の行方を血眼となつて捜査してゐた、彼は岡山刑務所を釋放されて後直に帝都に走り、共產黨に入り一方の闘士として活躍してゐたところ相つぐ弾壓に幹部が續々と奪ひ去られたので遂に共產黨多数派の執行委員長の重責を負つて起ち全國に指令すると共に深く地下を潜つて新瀉、埼

玉、宮城、群馬なき東北五縣を馳驅して黨建設に奔走し更に

「帝都」にあつては資金網擴充を圖り又三五、六年の危機を脱し七年以降の黨運動方針に秘策を謀してゐるうち偶々昨年十一月末慶應内にシンパを獲得し一夜丸の内有樂町のガード下の喫茶店でレボ中を警視廳の挺身隊二十數名に逮捕され今同廳で取調べ中である彼の大目的は三七年以後の作戦にあつて既に捕れぬ日を豫期し又少なくとも八年以上の處刑を覺悟していよく最後の運動に入るに先立ち主義、思想は異にするも齡七十五

歳老先き短い恩愛の父を想ふの情を斷つことが出来ずせめての生前、袂別の言葉を交さうと昨年八月密かに

「歸縣」し和氣町の××旅館は老父と對面し轉向し難い主義に對する信念を訴へてその不孝を詫びて父子涙の別れを告げてゐる、彼れの妻は三、一五當時の愛人で岡山××高女の出身、帝都にあつて彼を援けて活躍中彼と共に捕へられ處分留保となつて今岡山市上伊福の實家に身を寄せてゐる今一人は石井照夫(三七)都窪郡茶屋町……岡山一中四年から六高に入つた秀才、こ

れも亦三、一五事件で古京の隱家で捕へられ宮内と同様の刑をうけてのち

「轉向」を誓ひ私大に入つて辯護士となる決心をして東京に出て辯護士の家に身を寄せてゐたところ地下に潜つて姿を消してゐた昨年八月帝都に現はれた彼は共産黨青年同盟執行委員長となつた、彼と宮内は六高時代の學友であり思想的に離れ難いものがあつたので常に連絡をとり一は共産黨多數派の巨頭、一は共産黨青年同盟の鬪將として共産黨再建運動の最前線に闘つてゐた石井は執行委員長の椅子に着くや活潑な

「鬪争」を展開し今日各

府縣に青年同盟の形態が残存してゐるのは悉く彼れの努力とさへ云はれるほどの働き、しかし當局の追究は急、石井は昨秋淺草田原町の街頭レボ中を捕へられて今審理中で、彼は係官に對して死すとも主義は捨てずと巨頭振りを示した右の如く最左翼陣營の二巨額が何れも岡山縣人であり二人が學友であり、三、一五事件の同志であつたことに驚いてゐる



岡山縣の一長者

針も平氣で通す

# 若い百十八媼

福田村に大世帯の三島家

つねさんを訪ふ

百十八歳の老媼—文政元年九月三日生れ(戸籍面)岡山縣兒島郡福田村大字松江字板敷四〇六農三島敬太郎(四三)氏の老母三島つねさんはかくしやくとして昭和十年の春を謳歌してをる、松江部落は瀬戸内海に臨む同村呼松港から西約二十町大島と呼ばれる海への出崎をなす小丘裾に半農、半漁を營む

戸數僅に二十戸たらずのいたつて寂しい小部落、海から吹き寄す如月の寒氣にさらされながら十九日午後、同家を訪ふ

さ、やかなる藁家ながらさすがに現在九人の大家族とて表戸をくぐるや和やかな空氣が漲つてをる同家は戸主敬太郎(四三)妻萬野(三九)長女靜江三長男昇(三九)二男勝(二七)三男幸

次(二四)二女千恵子(二三)三女須美子(四)とつね(二八)さんの十一人家族であるが目下家にあるのは九人の大世帯農業の傍ら少し漁業をも營んでをる

つねさんに「お幾歳ですか」と尋ねると「さうも古いことと覚えてるません」と老眼をしばた、いたが、なか／＼元氣、見かけは先づ九十歳前後、耳も確かであれば

言葉もはつきりしてをり、頭髮が眞白といふでもなく齒に入歯であるがよく話す、こゝ三、四日腰が少し痛むとのことであるが平常風邪も引いたことなく、毎朝日出と同時に起床して

晝は炊事の手傳や孫の守りなごに餘念がない、針のみ、そも通せば、夜の徒然に麥稈真田編みの夜業にも家族と、もにいそしむといふたばこは喫はないが酒は時々盃一杯ほぎを樂みにし日頃お大師様の信仰に厚く嗜好としては肴や團子類で時に二十町も離れた松永にかゝる芝居にも見物に出かけるといふし二里半も離れた彦崎の親族先へも歩いて行くといふ健脚振り

つねさんは尾道市外向島東村岡田榮助、同小梅夫妻の三女で、兄弟八人あつたが現存してをるのは向島に妹君(七)さんのみで他は皆死去した、父は



八十歳で、母は八十四歳で物故してをる、初め縁あつて岡山縣児島郡興除村大字西疇に嫁いだが夫と死別したので三十歳過ぎで同家に

再嫁した、夫は幸次郎

さんといひ大正五年三月八十五歳で歿したが、現で現戸主敬太郎さんほか七人の子女を儲けた、現戸主はつねさんの二男である、その敬太郎さんがまた八人の子福者といふので、都合三代八人兄弟が續いたといふのも珍しい

今から五十二年の昔この地一帯を襲ひ數百の人命を呑んだ大海嘯のあつた明治十

七年の翌年同家に嫁入つて来たといふのでその慘事は全然知らない

### 呑氣に暮す

のが何より

つねさん語る

つねさんはぼつ／＼と語るもう何んにも、かんにも忘れませんでした、それでも昔と變つてこのごろは何事も便利な世の中になつたことです、樂しかつたこともいろいろあります、二、三年前京都の娘のところが行き、あの「都踊」を観たことや、方々名所を見物したこと、また行つて見たいと思ひます、里の向島にをる妹の

ところへも行つて見たいと嬉し涙をにじませた、これです、たゞ呑氣に暮すのが何よりです

### 古鏡や瓦と一緒に

## 掘出された古寺

野谷村に山丘佛敎の遺跡

平安朝初期の貴重な出土品

岡山縣御津郡野谷村柏谷にある堂敷山山林からは屢々土地の者の手によつて古瓦が發掘されてゐたので郷土史家の注目を牽いてゐたものであるが、この秘された歴史を探るため岡山市小橋町在住の史蹟研究家玉井伊三郎氏は二十日岡山

縣社會敎育課囑託山本修治氏と共に同山に登り古蹟とおぼしき所を掘り下げたところ土壇(須彌壇)の一寸五寸下から平安朝時代の古鏡、鈴、寶石が出たのである

「古寺」の跡であることを知り礎石を探した結果四間に五間(一間七尺五寸)

の礎石が地下五寸乃至一尺のところは原型の儘埋没されてゐたのが現れ同時に奈良朝末期及び平安朝初期の瓦數種が掘り出されたので

この地へ奈良朝時代に寺が建立され平安朝に入つて同山上に移轉建立されたもので敷地から見ると寺は中以下の小寺であるが山丘佛敎がこゝへ開基されたことが考證された、また發掘された古鏡は平安朝時代の八花鏡で當時一般に使用されてゐたものであるが斯く須彌壇の下で寺院の古蹟その儘のところから原型のまま、で發掘されたのは珍しく鈴と共に貴重な資料とされてゐる右につき玉井氏は語る

柏谷に古寺があつたと云ふことは少しも文獻にな

いので今度お寺を掘り出したと云ふべきで

郷土史家に少なからぬ参考になると思ひます、また鏡や鈴も立派に平安朝のものでこの種の

ものは各地で屢々發掘されてゐますが今回のように出場所に筋の通つたものは珍しいので得難いものと思ひます、寶石が一箇ありますが平安朝裝飾品らしいので詳しく研究して見ませう

### 青年の純情に解く

## 十七年の反目

笑ひを忘れた村に歸る平和

甦生の朗話織る船穂村鶏尾

十有餘年間堅く結ばれてほぐれなかつた部落鬭争が純情質朴な若者達により初めて和解した春にふさはしい一話は十七年前

作淺野勝太郎外四十名との間に  
年貢米を上げる上げぬ小作争議を勃發し中裁者も現れたがいづかな治らず遂にはこれを法延に持出し數年間係争を續けた揚句地主側は遂に紛擾の種となつた關係地二町餘を取り上げてしまつた、爾來全部落は小作と地主とに對立し互に敵視し互に相食む相剋世界と變じ以前の平和郷は一朝にして醜惡な階級鬭争の繰返される温床と化してしまつた、その果は大正七年の米騒動に際し恨を含む小作が地主を襲撃數名の受刑者を出した程で何分地主と小作の階級しか

存在しない閑寂境で日頃が  
純朴なだけかうなると争は  
父祖相傳の根深いものとな  
つてしまつた、以來幾星霜  
小作側と地主側は親も子も  
道で會うても物も言はず互  
に睨み合ひ反目の眼で通り  
過ぎるといふ有様

**困つた**

ことはかうし  
た反感で相集  
うて部落の發展を畫し或は  
部落としての意思を一決す  
る必要の會合なき全く停頓  
して自然同落の文化は著し  
く他より遅れてしまつた  
この現状を憂慮し地方の  
有力者が入替り立替り仲  
裁に立つたが融合を見ず  
今日に立至つてゐたところ  
矢張この不詳事で分裂

してゐた地主側の青年團  
井上正平宮原四郎兩君と  
小作側青年團高橋元二、  
中原政夫君等の間に「國  
家非常時の秋片々たる私  
情に促はれてゐる時でな  
い、愛郷と相愛の精神に  
立寄り先づ吾々から握手  
しよう、そして全部落に  
働きかけ元の和かな吾等  
の故郷に取戻さうではな  
いか」との相談が持上り  
これを兩派團員に諮つた  
結果異議なく四君の運動  
を助成することに一決、  
相談を受けた中桐村長も  
青年達の美舉に痛く感動  
し極力助成することとな  
つて若者達は純情と眞摯  
の居中調停で先づ自らの

兄を説き父に頼み次第に  
強硬派に及ぼすこと四  
箇月其間

**倦まず**

たゆまず生一  
本な清論に人  
々の魂を揺り動かし遂に  
十七年目に全部落が争擾  
反目を氷解し完全に融和  
結合したものである  
二日麗かな春陽を浴びて羊  
腸たる山裾を縫うて山腹に  
點々散在する同部落を訪ふ  
と笑ひと親和を忘れてゐた  
こゝの境域に早咲きの櫻花  
が綻ひ久方振りに此處彼處  
で歡笑がわき睦み親しむ美  
しい光景が部落を點綴して  
ゐる、そして殊勳の若者達  
は今十七年目に彼我共に汗  
して行ふ一段五畝の共同開

**強敵は呼吸器病 教員病打診 命取りの復職**

岡山縣が先鞭の統計研究  
愈よ積極的防豫に乗出す

國民教育の根幹としての  
小學校教育に對しては官民  
ともに協力し特にこれが師  
表たる小學校教員の素質向  
上師道精神の確立について  
は世人等しく注意してゐる  
ところであるが、一方これ  
と密接な關係ある

**一 小學一 教員の健康増進**

については教員自體におい  
ても亦毎日接觸してゐる兒  
童健康の上から云つても重  
要な一問題であるに拘らず  
殆ど省みられてゐない現状  
である、これがため教員病  
の研究とこれに基く教員の  
醫學的指導は教育改善の一  
項として重要視されてゐる  
がわが國には的確な教員病  
の研究がなく世界的に見て  
も先年シカゴにおいて一箇  
年間の統計的研究を行つた  
程度で教員の醫學的指導に  
至つては未だ前人未踏の境  
地であるが岡山縣學務課で  
はこの點に着眼し全國に率  
先してこれを行ふことにな  
り坪井視學等の

**一 計畫一**

に基いて進藤學  
校衛生技師が昭和九年秋か  
ら着手して昭和四年以降八  
年まで滿五箇年間の統計を  
縣下小學教員四千人に就い  
て統計中であつたがこの程  
漸く完成した、この統計は  
極めて詳細に行はれたもの  
で教員病の種類、原因、性  
別、罹病年齢等に亘り緻密  
に行はれてゐるが、右の結  
果教員病氣のうち最も多數  
を占めてゐるものは肺結核  
肋膜炎の呼吸器病で性別に  
は男子より女子が多く罹病  
期は二十歳から三十歳の間  
でこの病氣休退職をしたも  
の、大部分はこの病氣であ  
る、なほ注意を要すること  
は教員の

**一 死亡一**

率最も多きもの  
がこれらの病氣休職者が復  
職後間もなく死亡してゐる  
ことである、次に女子にお  
いては未婚者の自轉車通勤  
は左程でもないが經産者の  
自轉車通勤は影響著しく婦  
人病の原因をなしてゐるこ  
とも注意すべきであるがそ  
の他にも種々貴重な資料が  
得られたので縣では目下開

催中の小學校長會議におい  
て研究結果を發表し注意を  
促がす一方學校體育と聯絡  
して積極的に撲滅策をはか  
りまた各郡市學校衛生會を  
促がして教員病に對する豫  
防並に療養を進め或ひはこ  
れを社會問題として教員  
一優遇一の道を講ずるな  
き各種の手段をもつて教員  
病の撲滅、教員の醫學的指  
導に邁進することになつた

**岡山縣下の**

**農業現勢**

岡山縣における耕地面積  
は田八萬八千八百八十四町  
步、畑三萬六千四百三十町  
步、農戶數十六萬戶、一戸  
當面積七反八畝步で農業（  
畜産、養蠶、林産、水産等

を含む)の總生産額一億六  
百二十萬圓、一戸當六百六  
十三圓で二十年前の大正三  
年の四千四百三十七萬圓に  
比すれば六千八百八十二萬圓

増加

である

その内米の  
收穫は百八十萬石内外價  
格四千五百萬圓で全國第  
十位農業生産の第一位を  
占む、縣外移出は年々四  
十萬石内外で就中雄町米  
は酒造米として其名全國  
に高く反當收量は二石一  
斗五升で二十箇年間に一  
割九分の増收である麥の  
收穫は八十六萬石で就中  
小麥は四十五萬石で全國  
第五六位、小麥の反當收

量は一石六斗で二十箇年  
間に三割八分の増收とな  
つてゐる、繭の生産額は  
二百七萬五千貫、價格一  
千九十六萬圓で廿年前に  
比較せば實に八倍の増加  
で全國第十七位、畜産の  
内和は約九萬牛頭で其の  
數及實に於て全國に其名  
高く犢牛の生産一萬七八  
千頭で全國二三位、蘭草  
作附反別三千餘町步價格  
四百六十三萬圓で全國第  
一位、葉煙草の作附反別  
一千三百七十四町步價格  
百五十三萬圓で全國第十  
位、近時縣南部地方では  
米國種の栽培盛んで昭和  
九年の作附反別四百十八  
町步でその品質も優良で

專賣局より日本一の折紙  
を附けられてゐる、果物  
の生産價格は二百廿萬圓  
で就中桃は全國

第一

位、岡山水密  
桃の名は汎く

世人に知られ薄荷、蒟蒻  
除蟲菊等の特用作物は何  
れも數十萬圓の産額を有  
し全國第二三位にある  
農家の副業も非常に發達し  
恐らく全國にその比を見ざ  
るべく就中花苴疊表の六百  
七十萬圓、麥稈經木真田の  
百萬圓等は何れも全國第一  
位、その他木炭百七十萬圓  
鶏卵百五十萬圓菓工品の五  
十萬圓である農用器具機械  
の普及發達せること亦他府  
縣の遠く及ばざる所で石油

發動機一萬二百五十臺で全  
國の一割八分を占め大正九  
年僅々七十一臺のものが僅  
か十四箇年間に斯る驚くべ  
き發達を遂げたるは異例の  
事だ發動機一臺に對し農戶  
數十五戸、耕地十二町二反  
歩の割合である、從つて之  
に連結すべき器具機械も非  
常に多く、糶摺機の九千四  
百臺、脱穀機の八千九百臺  
を始め脱穀機、揚水機、精  
米機、製繩機等を合すれば  
三萬四千臺の多きに達しこ  
の他人力用具器具機械を加  
ふる時は實に

莫大

の數に昇つて  
ゐる、縣は農

業の改良、農村の振興に關  
し農會、産業組合その他各

種の團體と相提携して多年  
の諸般の獎勵施設を講じ特  
に目下の實狀に鑑み國家の  
施設と相俟つて一層農山漁  
村の匡救、農家經濟の緩和  
に努めてゐる

小麥の増殖は政府の獎勵  
方針に従ひ本縣に於ても  
昭和七年度より獎勵せし  
結果昭和九年産額五十三  
萬四千百餘石となり昭和  
七年産に比し二割七分の  
増收となつてゐる、自給  
肥料の増産改良も昭和七  
年度より獎勵し綠肥栽培  
獎勵、堆肥厩肥の増産、  
速成堆肥の獎勵を行つて  
金肥の節約を獎勵した、  
養蠶關係では桑園の整理  
で昭和七年度より匡救事

業として實施し更に昭和  
九年前より養蠶對策とし  
て、改植混植等を獎勵し  
た繭の繭乾取引は昭和元  
年度より全國に率先して  
獎勵し乾繭場十一箇所、  
繭倉庫二箇所を設置せし  
め以て乾繭取引を獎勵し  
また繭の取引を公平なら  
しむるため昭和四年度よ  
り縣は繭の格附検査を開  
始し其の成績良好である  
畜産關係では有畜農業の  
獎勵で昭和六年度より獎  
勵してゐる農家十六萬戸  
の内無畜戸數約七萬戸で

將來

八八割まで家  
畜を飼育せし

むると共に和牛の内約三  
割の牝牛は將來牝牛に變

更せしむ方針である、そ  
の他肥育牛の獎勵、取引  
の改善、品種の改良、飼  
料作物栽培獎勵、飼育管  
理の改善等諸種の施設を  
行つてゐる

産業組合の擴充五箇年計畫  
も昭和七年度より獎勵實施  
した、同年七月現在本縣農  
家負債見込總額は九千三百  
萬圓で一戸當り平均五百八  
十三圓で利率も一割以上の  
もの四割七分あり實に農村  
民の大なる悩みである、政  
府は農村負債整理組合法を  
公布し昭和八年八月一日よ  
り實施し本縣に於ても町村  
經濟更生と相俟つて負債整  
理組合の組織並に之が經營  
の指導獎勵に努めてゐると、

農村

の實行團體と  
し將た市町村

區域の各種機關の基礎團體  
として獎勵せる結果その組  
合數六千四百餘の多きに達  
し今や農村における一大偉  
力となれるは洵に慶賀すべ  
きである、農事實行組合は  
獎勵後日なほ淺くその數五  
十を出でざるも將來農家組  
合をして農事實行組合たら

しめ以て産業組合の充實活動を圖ることが極めて緊要

### 山と闘ふ七十翁

## 獨力で五町餘

岡山四山名所を繋ぐ道

峻路開拓に黙々の半年

完成近き下山治四郎氏

岡山の四つの名所後樂園、勳神社境内、操山一帯へ櫻少林寺、五百羅漢、操山三勳神社、東山の四箇所を繋ぎ合し羅漢から三勳神社への山を  
六百餘を鋏と鶏嘴で開鑿しようと言ふ奇特な老人がある岡山市桶屋町”つるの玉子”本舗松壽軒の主人下山治四郎氏は嘗て三

市も喜んで認可したので昨年夏の暮からと言ふものは毎朝四時に家を出て風雨を厭はず點々と拓き続け、時には家人から「うちのおぢいさんはとうとうさうかした」と氣狂扱ひにされたこともあると言ふ  
今では九分通りまで完成したが最近過激の勞働のため持病の神経痛病んで、あとを一町餘を残して一方ならぬ難工事を續けてゐる、何分六十九歳の  
老齡で一人ばかり山に籠つて鋏と鶏嘴を振つて既に五町餘を切り拓いたことは賞讃はおろか驚歎的

となつてゐる  
同氏は慶應三年岡山縣勝田郡公文村に生れ二十四歳の時家運の挽回を策して出岡、當時のかき屋に奉公、苦心慘憺の、ち獨立して現在では岡山名物”つるの玉子”松壽軒の大店舗を構へるまでになつた立志傳中の人である  
今年中に  
完成さす

### 下山翁の談

篤行の主、下山翁は肩の痛みを押へながら謙遜して語る  
實はもう一町程になつて神経痛で閉口してゐるのですが今年の暮れまでに

は立派に完成して見せませす、完成の曉には少々金をかけて竣成式でも舉げるつもりです、その時にはあの道沿ひの大石に何か記念になる字句でも刻込みたいのですが「かんらん」の四季にかなふや操

山「くらゐではさうでせまあ、あれで一人でも参拜者が増えたら地下に眠る三勳の御靈も大方喜んで下さること、思ひます私はそれだけで満足です何分六十九ですからね

密漁船狩りに出動

## 巡查、殉職を遂ぐ

顛覆して推進機で重傷絶命

尻海沖の海上捕物

最近瀬戸内海各海面に團體的に密漁船が跳梁し岡山兵庫、廣島愛媛、香川各縣警察部では連絡をとり各水上署を警備してこれが掃蕩を期してゐたところ二十五日岡山縣牛窓水上署の一警官が密漁船を逮捕しようとして負傷し遂に殉職するの悲惨事を惹起した

二十五日午後零時半ごろ 邑久郡玉津村尻海沖合鼠島岡山縣牛窓水上署へ同管内 附近の海上で目下禁止期間

中の

### 文鎮漕の密漁發動機

船十一隻が出漁中の旨内報に接し

同署兵頭署長、中田警部補、井汲巡查、林田刑事の一行は南備海運の快走船に乗込み現場に急行したところ密漁船は逃走を企て快走船はこれを追跡し映畫そのまゝの海上大活動を演じ遂に快走船は一隻の密漁船に肉薄した

刹那

井汲巡查、林田刑事は一、二名を逮捕して取調べ他を芋蔓式に檢舉しようと思ふにも身を挺し飛鳥のように密漁船に乗り込んだ

### 密漁船

に乗り込んだ

時飽まで逃走せんと故意に急カーブに舵を執つた爲め船は顛覆し井汲巡查はスクリューに捲込まれ左足膝下の肉を抉ぐりとられたが屈せず一行と協力犯人を逮捕し他の密漁船逮捕を第二警邏船に委せ井汲巡查の手當のため牛窓に引返し永井醫師の診斷を求めたところ意外にも重傷で直に

### 自動車

て署長附添ひ岡山市八番町岡崎病院に馳せつけたが午後三時病院に着くや出血甚だしかつた爲め絶命殉職した  
密漁船逮捕に署員を指揮して現場に向ひ井汲巡查殉職の様を目撃した兵頭牛窓

水上署長は語る

十一隻の密漁船を目撃追跡したが散つてしまつたので一隻を捕へて他日他の奴を検挙しようとい隻に主力を注ぎ遂に

### 肉簿

が先づ飛込み次いで林田刑事が乗り移つたところ船が顛覆し何れも海中に姿を消したが井汲君はさすが海兵出て二、三分の後には船腹に這ひ上り犯人を逮捕してゐた、傷は海中に落ちた際スクリュ一でやられたもので肉がもぎとられて出血が激しかつた岡山への途中大丈夫だ、と云ひつゝ、來たのたが絶命したことは遺

憾である、井汲君は模範

巡査で今日まで知事から二回表彰されたことがある稀れにみる警察官で惜しいことをした警察部長にもお願ひして出來得る限り

### 功勞

顯彰と遺族の生活安定の途をして戴く積りです

なほ井汲巡査の遺骸は同日午後七時同署長、中田警部補、永井醫師附添ひ牛窓町の自宅に歸つた

### 組打ちを

### 覺悟

涙で語るかの未亡人

井汲巡査部長未亡人かの

え(三九)さんを牛窓町の遺宅に訪へば涙のうちに

「平素から一步家を出たら命懸だからと申して何事もこまごまと語つて出ますのにけさ(廿五日)は私服を着る、時計はいらぬ、組打をすれば危険だから、けふは四人に多勢だからと云ひ残して出た後姿が夢のように目に残つてをります」と語つたが遺族はかの未亡人のほか美智恵(三)婦美恵(二)博(五)孟生後二十五日の四兒がある

井汲巡査が岡崎病院で絶命の報に接した石井警察部長に湯淺警務課長と共に病院を訪ひ親しく遺骸を弔うて

### 海軍兵出身の井汲巡査

昨秋牛窓水上署へ

井汲降照巡査は岡山縣久米郡大井村宮部下出身で本年四十歳、大正九年海軍兵より歸郷して同十一年六月十日より同十四年七月三十一日まで愛知縣巡査、同十年七月三十一日岡山縣巡査を拜命、矢掛署勤務、九年九月十八日牛窓水上署勤務

となり今日に至つた人て平素から責任感強く清廉潔白模範的の警察官であつた、尙ほ氏は海軍の下士官であつた爲め勳七等の肩書をもつてゐる

### 職務に督勵

晝夜兼行の井汲氏

右の密漁船は井汲巡査が昨秋牛窓水上署へ轉任前の任地邑久郡裳掛村虫明の漁船であつたが同巡査は二十三日西大寺會陽警備の爲め徹夜をなし二十四日受持區犬島の夜警の爲め夜半歸宅し二十五日早朝愛兒に聲も掛けず職務大事と出署し此の難にあつたもので産後日なほ浅い妻女と四兒に對し各方面より非常の同情をよ

せられてゐる

右井汲巡査の殉職によつて逮捕された密漁狂人は岡山縣邑久郡裳掛村虫掛横山又五郎(三九)同苦野實太(三二)の兩名で牛窓署はこの二人より他の一隻の密漁船に分

### 和氣清磨公

### 一門の古墳

續々發掘さる珍しい遺品

遺蹟和氣郡藤野村

和氣清磨公の遺蹟一岡山縣和氣郡藤野村では和氣公政廳の跡に近き同村吉田地内西池三好眞喜治氏所有の山林中にこのほご相當年代を經た塚を發見し發掘の結

乘してゐた犯人を徹底的に檢査する方針を樹て目下兩名につき峻烈な取調べを行つて居り今明日中に密漁者一味：根こそぎに大檢査される模様である

果、古色蒼然たる甕及び瓦の破片なごを多數發見すると共に炭の粉なごも多量に現れ別に二、三町東方字銅場川井賢雄氏所有のウルミ谷の山畑でも唐草瓦五輪の

塔等をも多數掘出したので同所川井源次郎氏及び川井賢雄兩氏は大切に保存してゐるが更に縣社和氣神社南方一町の字前ヶ谷山上においても塚らしきものを發見したので調査を岡山縣師範學校囑託、永山卯三郎氏に依頼

氏は二十一日午前九時三十四分和氣驛着、藤野村役場仲原助役及び本社和氣支局員等に迎へられ自動車にて現場に赴き竹内藤野村長、杉本小學校長金谷、川井、三好、徳田白重氏ら地元關係者一同に迎へられ調査の結査右塚發掘物は千四五百年前佛敎渡來以前のものと石疊

縦二十二尺餘、横九尺、上

石の高さ八尺、石の長さ九尺餘のもの多數、厚さ二尺五寸餘、塚口五尺五寸、その上部に山土を盛り此の類のものは他にあづらしく相當豪族の古墳と見られ和氣公の一門のものであるまいかと言はれてゐる、

永山氏は再び自動車にて縣社和氣神社南方一町の前ヶ谷に行き峻しい山を登り調査の結果、これは藤野寺の北方十町餘の所に在るところから見て經塚の如く見られてゐる。

### 稀な古墳

斯く續々と發見され行く和氣公の遺蹟に保存會では非常に力を得て居る――

### 永山氏語る

永山卯三郎氏は語る

露出の所は羨道の一部幽室であつて大天然石三箇及び堤研、埧、長頸埧その他多數の土器あり圓墳は南面した横穴であり直徑十間、直立二十尺、周圍には空渥あり地方稀に見る大古墳であつて少くとも千三百年以上を経たもので土地の高貴の大豪族であり且つ當時豪族は和氣氏一門であつた事も明瞭である。

竹内藤野村長は語る

和氣神社奉齋會事業の進展の中かゝる貴き古墳經塚の發見されたのは一重に和氣公の遺徳であつて

實に歡喜に耐へない、永山先生のお説を拜聴して益々敬虔な氣持を呼び起

救はれざる人々を

## 慈愛の手に抱擁

岡山石井記念事業協會本館

託兒所、母子ホーム新設

わが國社會事業の父と呼ばれる故岡山孤兒院長石井十次氏の遺業を繼ぐ岡山市門田屋敷五〇岡山石井記念事業協會では兒童相談所、妊産婦相談所、家庭訪問婦派遣なき隠れた「社會」事業に力をつけてゐるが現在の事務所は舊孤兒院の一部を改造し

た狹隘なものなので石井氏銅像背後の空地に一萬二千圓を投じ建坪五十坪、木造二階建本館を新築中でこのほゞ七分方竣工し十月末までには出來上るので事業の種類も増やし救はれざる階級へ温い救ひの手を差延べることゝなつた  
即ち從來兒童の正しき心

身の發育に就いて相談を受け適當な處置をする兒童相談、妊産婦の養生、出産の心得、手當その他を

### 指導

する妊産婦相談協會から専門の知識をもつた訪問婦が家庭へ出かけて身の上相談に應じ訪問制度なき、醫療方面は同會員評議の醫師、小兒科小倉、耳鼻科掛谷、産婦人科田中内科本村、草野、赤澤、齒科水野諸氏及心理學中島六高教授がいづれも無報酬で奉仕してゐる  
新館が落成すれば新に託兒所を開設し満一歳から三歳までの幼兒を預り別に母子

ホームと稱する新施設が出来る、これは赤ちやんを抱へて

### 生活

に苦しむ未亡人なきを收容し晝は職業を

### 一萬五千人に探る

## 栄養の "日本主義"

まづ排尿で新陳代謝の研究  
倉敷勞研で我國最初の調査で

國民の榮養問題は各層各階級をあげての緊要問題だ――倉敷勞働科學研究所は夙にこの點に着眼し昭和八年の暮日本學術振興會に對してこの旨を進言すると同時に研究援助方を依

頼した、その後振興會首腦者間でもその重大性に鑑み東京帝國大學名譽教授林春雄博士、同醫學部教授柿内博士陸軍帝國大學教授戸田博士、倉敷勞働科學研究所長暉峻義等博士等

を委員にあげて過去一箇年間討議をすゝめてゐるが、いよゝゝ向ふ六箇年を第一期として學術振興會から補助金九萬圓を受け倉敷勞働科學研究所が中心となり、總額三十萬圓といふ杉大な經費を投じて各層各階級にわたる一萬五千人について我國初まつて以來の大が、りな榮養調査を行ふことになつた  
日本國民の榮養は歐洲の文明國とちがつて特殊な地理的環境に支配せられ殆ど食料自給のもとに成り立つてゐるたにも拘らずその指導原理としては西洋に

「發達」した西洋の榮養學をそのまま、直輸入してゐたものでこの際日本独自の立場から郷土に即した國民榮養を立て直さなければならぬ必要にせまられてゐる、殊に最近における國力の發展振りは二三十年前には想像もつかなかつたほゞ多數の職業群を發生させ新しい職業労働が急速に増加した

ついでには國民の生産性を高め健康を保持する榮養問題も職業配分の變化につれて時代化され且つ科學的基礎の上に立つて「國民」の榮養問題を再検討することは國民生活安定の上から生産性の

發展を所期するためにも最も重大なことで

今度の研究はかうした社會の要求時代の動向に足場をおき先づ第一歩として日本全土にわたる代表的農村を選定し、また他方には工場、商店、銀行、會社、知識労働者、一般主婦、兒童、妊婦など各性各年齢の各種經濟階級一萬五千人を目標として毎日の排尿を一滴も残さず

「採集」しそのうちに含まれてゐる窒素量を檢出して蛋白質の新陳代謝の大觀を把握しその結果にもとづいて更に將來の研究計畫を樹立するのであるが  
目下倉敷労働科學研究所

では研究室の模様替へその他に忙殺されてゐる、何分に從來各専門學者間で行はれた榮養調査は限られた人間に人爲的榮養を與へて

「研究」してゐたもので今回の如く自然食のままで、しかも全國的に各層各經濟人について科學的調査を行つた、めしは未會有のことである  
右につき暉峻勞研所長は語る

かねてから考へてゐた問題ですわが研究所としては總動員で働くつもりだこの研究は労働の立場からいへば労働者及び農民の保健問題、或は産業勞

働に對するエネルギーの必要量またそれを満足させるための榮養の質量如何といふ根本問題を究明し他方労働時間問題に對する確實なる科學的根據を得、社會政策上非常に必要な材料を提示するのみでなく、一朝事ある場合の食料政策についても重要な資料を擲むことが出来ると思つてゐる、六月にな

と

と所員手分て各地鑛山一場所を訪ねて先づ協力量

を依頼するつもりで居る

忠烈岡山の一角に

逆臣激撃の義戰

自及した多田道讚公

菩提寺松壽寺に苔むす五輪塔

楠公殉忠六百年、今や全國をあげて其の勳功を讃へられてゐる折柄、これも同じく建武の昔、皇威復活の幟となつて雄々しく岡山市濱野の地に自及した多田頼貞入道道讚公、今では同地の菩提寺立石山松壽寺に僅かの遺品、遺記と、もに其の忠烈を秘めてゐるが、時あたかも烈士顯彰の秋、公の遺烈を慕ふものやうやく其の數を増し岡山市當局でも來る八月十二日多田公自及の日を記念してこれが顯彰追慕の機運を作

るべくより、協議を進めてゐる  
道讚公は後醍醐天皇の朝官として厚く其の御信任を得近く召されて朝議に參畫し

「討伐」にあつては常に策を獻じて叡慮を安ん

じ奉り時には自ら軍を起して賊臣を懲らしめ倭臣をしりぞけ建武中興の參謀として其の鴻業を翼賛し奉つたその後足利尊氏反旗を翻してより公の忠心、いよ／＼堅く數度軍を起して朝敵を討つたが、興國三年伊豫の

「美舉」に敗れてよりは窃かに我が岡山市濱野に隠れ附近の豪族を集めて尊王の大義を説いてゐたが

遂に賊臣赤松則佑（當時播磨、美作、備前の守護職）の知るところとなり手兵三百の來襲を受け一度はこれを撃退したが再度五百餘騎の襲來を受け當時岡山網の

濱山の一角、阿比六郎の邸に孤軍を擁して邀撃したが戦ひ利あらず從士九人と、もに幡多郷中野（今の上道郡芳野村）に幽居してゐた一方賊將足利尊氏は敵ながら公の忠烈に感じ與ふるに

「備前」鹿田莊外十七郷を以つて籠絡せんとしたそれに答ふるに公の曰く（前略）孤忠勤王に殉ずるは獨り我がその大義の重きを知ればなり、わが家祖先以來未だかつて陪臣の祿を食まず、今や皇軍微々として振はず思ふに是れ天運の未だ會せざる所か、死して幽冥の鬼となり我が大君を護り奉らんこそ本意なり（後略）

と孤忠遂に報ひられず興國  
四年八月十二日未の刻、皇  
運の一日も早く開かれんこ  
とを祈りつゝ、

「自刃」した、爾來五  
百九十餘年、義烈を秘めた  
五輪塔が前記松壽寺の境内  
に淋しく孤影を投げてゐる

### 代議士を父に

## 數奇の生立ち

「臉の母戀」しさに岡山へ

涙に培はれた悪華

兇盜吉岡に絡む人生悲話

岡山市大供、平井の

二人組強盜犯人のうち一人  
の大阪市此花區福島南三丁  
目吉岡吉一(三七)は四日午後  
大供の強盜事件事實調べの  
ため所轄西署に引渡され佐  
藤司法主任係で取調：進め  
られた、吉一は最初

兇盜吉岡に絡む人生悲話

係官に 對して両親、

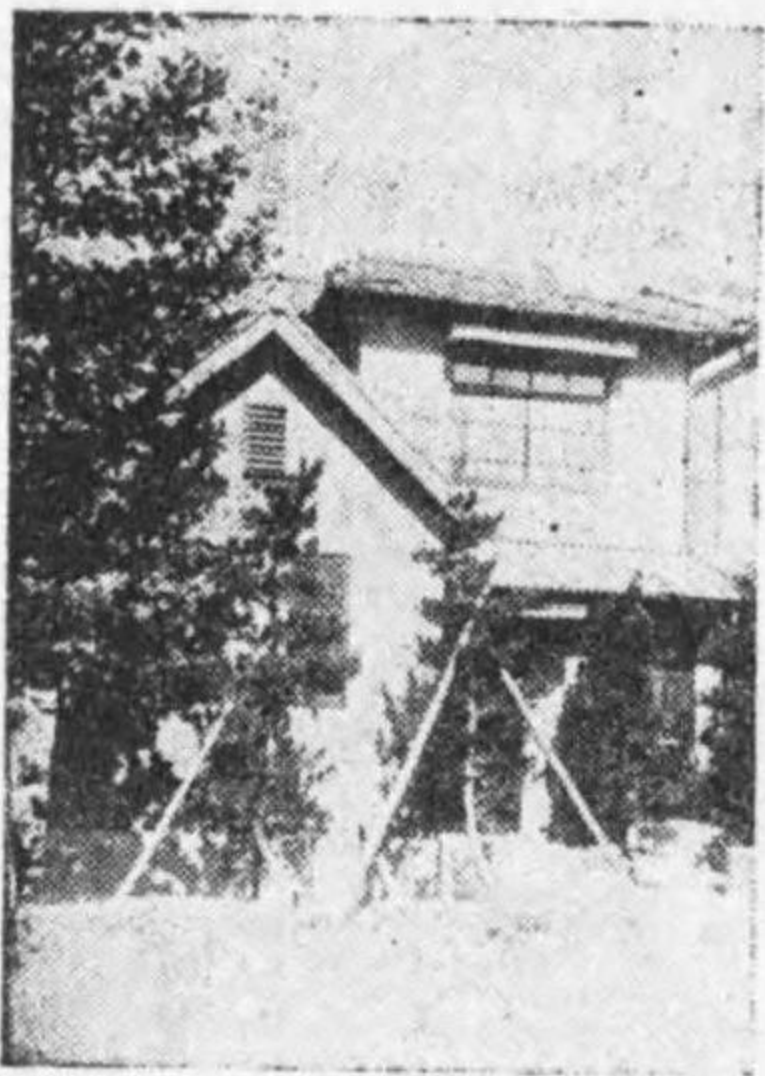
兄弟もない全く孤獨の身で  
あると申立て、ゐたところ  
これは兄、母の名譽を思ふ  
肉身の一念から隠し立てを  
してゐたもので、彼が涙な  
がらにその生立を語るとこ  
ろによると

彼の父は今を去る二十四  
年前大阪の政客間で重きを  
なしてゐた代議士吉岡直一  
氏で彼はその三男であり、  
長兄は陸軍に志願して大尉  
に進んで退役し目下神戸市  
蘆屋に裕福な構へ次兄は京  
都左京區で大きな金物商を  
営み、母は意外にも岡山市  
内に居住してゐることが判  
つた、代議士までも父に持  
つて生れた彼が何故前科三  
犯の肩書をもち更に強盜ま  
でも犯すような兇惡犯人に  
なつた？これは境遇に恵ま  
れない子に對する

議士の先妻の歿後、後入り  
として嫁ぎ現在京都にゐる  
子と吉一をまうけた吉一の  
二歳の時夫貞一が死亡し健  
氣にも二人の子を女手で育  
てゆく積りであつたところ  
先妻の子であり目下蘆屋に  
ゐる子が當時既に二十四、  
五歳にもなつて妻女もあり  
この間家庭の不和を惹起し  
遂にはきは二人の愛兒を残  
して大阪市内の加藤榎吉一  
假名に再嫁して來岡、後  
に残つた幼ないはきの子は  
義兄夫婦の世話になつてゐ  
るうち大きい方は京都の金  
物商へ丁稚奉公にた、き出  
され、吉一のみは義兄のも  
とで日毎の  
しもご をうけてゐる

## 住宅の月掛！

不經濟なる借家住いを捨て、  
家賃より安い月掛で自分の家  
を建てませう



本社の給付せる

住宅の一例



## 朝日相互住宅株式會社

岡山市瓦町十六番地

電話 四八七九番  
振替口座大阪六八八七〇番

住宅 建築  
月掛 販賣

(呈贈書内案)

朝日住宅宣傳歌

「高い家賃で苦しむよりも  
安い月掛すりや家が建つ」  
「當りや直ぐ建つ當らぬ人も  
金利見るく家となる」



# 備前織物株式會社

岡山市上伊福  
電話三五九〇番

## 萬年酢

久保商店  
岡山市門田京町  
電話二七一三番

## 和洋酒

と

## お食事

岡山驛構内

## 三好野

## ビヤホール

# 中國<sup>合</sup>同電氣株式會社

## 日清製粉岡山工場

うちに遂に性格一變を來し  
て世を呪ひ總てをひがむよ  
うになつて街の不良群に投  
じて悪友に教へられるま  
に、窃盜、通貨偽造行使の  
罪を重ね最後刑三年を終へ  
てのちも京、阪地方を荒し  
廻つてゐたが四歳の時死別  
したと教へられてゐる生み  
の母親が岡山にあると聞い  
て臉の母を慕ふこと切に、  
更け師で蓄へた僅の金を懐  
中に四月六日來岡し二十三  
年振りに母と涙のうちにも  
嬉しい對面をしようといろ  
／＼のことを胸に描いて搜  
し求めた母の居宅の前を幾  
度も往きつ戻りつしたが装  
ひはルンペン、身には前科  
のあること、格格子戸を開

ける勇氣もなく市内を徘徊  
してゐるうち金を使ひ果し  
食に困つて大供へ押入つて  
強盜を働いたものと判り係  
官も幾多の窃盜の  
手口が 悉く幼稚であ  
る點は食ふための窮余の策  
からやつたものと彼の悲劇  
的生立ちに深く同情しホロ  
リとさせられてゐる  
生き寫しの顔に涙  
**思出を語る母親**  
せめて手鹽に  
かけてゐたらと  
罪の子を庇ふ親心  
四日午後三時ごろ岡山市  
京橋附近の奥まつた椅子つ  
きの家に運命の子の母であ  
る加藤はきさんを訪れると

洗ひ髪をしてゐたはきさん  
は奥から出て記者を迎へた  
年は五十といふに髪は漆黒  
、色の白い、中高の面さし  
で年よりは七八ツも若く見  
えて  
**流石** 昔代議士の夫人  
であつたのを思はず上品さ  
があり、血をわけた子だけ  
に犯人吉一といはいき寫し  
である、記者の質問に  
私は昔吉岡直一の妻女で  
した、後入りとしてゆき  
二人の子供を儲けました  
が主人が吉一の二歳の時  
死にました、大きな家で  
もゴタ／＼が多く遂に可  
哀さうでしたが二人の子  
を残して歸りました、直  
一は大阪の市會議員、府

會議員を多年勤め最後代  
議士を二期勤めました遺  
産も相當ありましたが先  
妻の子夫婦が全部自由に  
してゐましたから子供は  
それによく頼んで置きま  
したがやはり母違ひの弟  
ですから……吉一があん  
なことをやるようになり  
ましたのも義兄の教育が  
悪くひがました爲めてせ  
う、私が連れて歸つてゐ  
たらと今更ながら……吉一  
は氣の弱い子で悪友に誘  
はれて罪を重ねたのでせ  
う京都の子とは便りをし  
てゐますが  
**吉一** とは別れたぎり  
です可哀さうに思つても  
今は私も人の妻、子供ま

である仲ですからさうしてやることもできませんせめて人知れずあの子の罪が軽るく一日も早く善人になるように神佛に祈つてやりませう

らうとは：  
と流石母子としてのつながりには断ち難く、親は悪い子ほき可愛いの諺通り吉一の行末を案じて白いもの、光る目を落し、肩にうちかけた洗髪をピリ／＼と慄はして深い／＼感慨に打たれて奥に姿を消した

### 豪快と明朗性に

## “輝く學園の傳統”

あす創立四十周年を迎へる

津山中學の回顧

創立四十周年とその間三千の卒業生を育んだ岡山縣津山中學校の學舎はなほ燦然と椿ヶ丘に聳え立ち二十日盛大に四十周年記念式を擧げるが、いまその光輝ある歴史を回顧すれば、宛然作州の教育史である  
明治二十八年七月現在の津一山高等女學校の所在地に當

時藤の子弟の學問所として残つてゐた鶴山館を本館とし、それに連なる二教室を持つ學校が生れた、それが實に現在津山中學校の前身たる津山尋常小學校なのだ、その時の入學志願者が二百名、うち百二十三名が見事パス

かくて初代菊地校長を迎へて翌九月二十日いよ／＼開校した

菊地校長は古武士的感じの教育者で、生徒に對し徹底的な敬神と尙武の氣風を植つけ後年“武道津中”の名を全國に轟かすべき傳統は既に力強く培はれてゐたのであつた、校長は常に確固たる信念

を持つて教育に當り文部省の方針等殆ど問題であり得なかつた、だから體操の時間等校長は擔當教師に命じ、いつも鶴山城址へ連れて行き石垣上りをやつてゐた、勇壯でしかも全身的運動になると云ふのである校長は劍道が好きで道場では自ら竹刀を持つて生徒を勵ましてゐたが

それだけ生徒の中にも相當強剛を揃へてゐてよく道具を肩に遙々中國山脈を越えて遠征鳥取中學に挑戦しては常に堂々凱旋してゐた

丁度この頃スポーツとして野球が流行して同校でも早

速練習を始めたが、何しろ骨を誇る健兒達、グローブ等は面倒だとばかり、捕手の外いづれも素手と云ふ物凄さこんなエピソードを産んでゐる、當時、開放された同校運動場を横切つて京町から山下へ近道する者が多かつた、ところが或る日

津山刑務所の看守が何氣なく囚人を連れて通りかんだのを折柄野球練習中の生徒が発見、學園を汚すかとはばかりおつ取圍んでボールの雨そのため囚人はつひに足を負傷した、サア大變、刑務所から生徒の亂暴に對し學校へ怒鳴り込んで來る始末に、流石の豪傑連も少し過ぎたかな、としよげてゐる

### 菊地 校長は更に剛快

だつた、刑務所の強硬談判に對し、學校の敷地内を誰に斷つて通行したかとあべこべに叱りつけて追ひ返した、そして生徒に對しては一言も叱言も云はなかつた、

かうして免も角事件は落着したが、互にその鬱憤は程なく舉行された、劍道大會に破裂した、即ち中學、刑務所は各々今日こそ仇討ちと強剛をすくつて眞劍になつて殴り合ひ同校の血を湧かせた事も津中魂を語る想ひ出して面白い

豪放な一方極端な秀才主義

的な教育方針は毎年すばらしい落第者を出してゐた、だから明治三十三年堂々集立ちした第一回の卒業生は僅かに二十一名、残りの百二名は全部落第の憂目を見たもので

それだけにその卒業生は粒揃ひであつた

第二代土屋校長を経て三代光岡校長を迎へた明治三十三年四月現在の椿ヶ丘に校舎新築移轉し津山中學校と改稱したが、この光岡校長は前菊地、土屋兩校長と全く性格を異にする近代の方針を持つる人で制服も従來筒袖に義經袴といふいでたちであつたものを断然洋服に

するなぎこの當時から校風も全く一變の感があつたか四代藤井校長、五代豊田校長の次ぎに六代杉山校長が着任した、杉山校長は王陽明學の大家で初代菊地校長と古武士的な風格が非常によく似てゐた、この時から始めて柔道が正科となり後年完全に全國を制覇する津中の柔道は同校長の意氣の下に練磨されつゝあつたのである

### 校長 が如何に生徒達

に心から信頼されてゐたか、その去るを聞くや生徒一同一週間に亘つて怠業、惜別の各種催を行つたことを見ても明である

最も信愛する師を奪はれる子弟が惜別することは例へて怠業とは云へ決して津中の名譽ある歴史を傷つけるものではない

### 劫かされる生活戦線

## 敗訴の小作人ら

裁判所へ大學の仕事着デモ 再然した岡南の小作争議

岡山市國富、濱、河原の地主長江八十吉、長江猪三郎、鴨原鹿太郎外十人の所有地五丁歩を繞る小作人石岡鶴吉外十四人の争議は昭和六年小作料減額要求から勃發、同七年に亘つて繫争した結果

以上代々校長の遺訓と横山現校長の薰陶を受ける同校一千の健兒達は光輝ある歴史に對へて勉勵これ努めて

働き一日約二圓の收入を得てゐたところ最近内務省と縣と協議の結果、旭川改修のコンクリート材料として内務省が採取することになつて一般の採取を禁止したので同地方民は生活權を脅威するものと激昂して六日四十人は旭川改修事務所を陳情し目的達成に努めた

### 荒手茶寮に

農林省内地舊幕時代伊木三猿齋が數寄をこらしめたもの

### 調停

成立してゐたところ同八年産米の生産獎勵米三本筋一俵につき、二升のものを五升に引上げを要求し、地主側は土地返還訴訟を提起して抗争中のところ四月二十二日調停事項不履行の理由で地主側の勝

### 挿秧

期を前に小作人側は苗代をつくつてゐる際兩者の感情尖鋭化に伴うて成行き頗る警戒されてゐる岡山市鶴見橋から旭川鐵橋までの砂利は縣の許可を得て自由に採取でき、濱、河原の者四十人は副業として

だけに後世見るべきものを存じてゐるが十日折柄後樂園復舊指導に來岡中の農林省長美、玉手兩技師が茶寮に立寄つた際同庭内に名木「をがたまの木」があるのを發見、十一日岡山縣史蹟名勝天然記念物保存會委員岡山高女井上教諭が鑑定の結果をがたまの木に相違ないと判定された

をがたまの木は木蘭科に屬し常綠樹で四國、九州琉球地方に稀に存する暖帶植物であり、葉が長楕圓狀倒卵形又は倒披針形上面滑澤長さ二寸乃至三寸、花は短梗淡黄色徑八分、果實長穗形長さ約二寸である

この木は古來日本において神垣等に用ひられてゐる神木で神社の境内に多少あるが極めて少い珍木で明治神宮造營の際も大日本山林會

から獻納したものであるなほ現在では紀州の新宮速玉神社境内にあるのが天然記念物になつてゐる

### 本日岡山の城

## 城主のお部屋

聚樂第と同様の築城様式

櫻井成廣氏の調査で判る

國寶岡山城天守閣に豊太閤の聚樂第に豊太閤の聚樂第に發見された、明治大學講師櫻井成廣氏はかねてより安土、桃山時代の古城、特に聚樂第なき歴史的に見た城の研究に没頭、安土時代の

様式を存する岡山城天守閣も先年視察したが最近再び同城を實地調査したところ天守閣第二階の中央部に城主の居室のあることを發見するに至つた

元來日本の城の様式は種々の變遷を経てをり戰國

時代の城は戦争のための城塞である、もに文字通り城主の居城として城内には必ず城主の居室が設けられてゐたがその後徳川封建の泰平時代に入つてからは城の意義も次第に變化し戦時の城塞から單に領主の威嚴を誇示する造營物に變遷、城主居館も天守の外に建造されるに至つたものであるしかるに天正元年秋宇喜多秀家によつて築城完成された岡山城天守は現存せる十六の天守中最古の様式を備へ築城年次は全國第四位にをり様式は聚樂第天守と同様織田信長の安土式によつてゐるもので前記天守閣内

城主の居室はこのことを説明してゐるとのこと、櫻井氏はかゝる城主居室現存するものは他になく學術上貴重な資料とし過日調査の節松村池田家事務所に之が復舊方極力勸説するところあり、事務所にも大乗氣になつて近く疊替や小修繕をなし一般觀覽者に展観すること、なつた、

この居室は二階に東西に並んで三間あり中央の部屋には床間、違棚なき存じてゐるが他の兩側の部屋は近來寶物置場を使用するため板圍ひを作つてゐるので事務所所では差當り中央の部屋のみ復舊當時の狀況を偲ばせる計畫である、右につき松

村事務所長は語る  
二階に三間居室らしいものがあるのは判つてゐたがその意義は注意されず今日に至つたものです、たま〜櫻井さんによつて大閣の聚樂第天守の様

### 可憐な犯罪動機に

## 傍聽者の涙唆る

津山の萬引姉妹に懲役十月

執行猶豫に嬉泣き

稀代の萬引姉妹として全市に異常なセンセーションを起した津山市田町津田静子(二)同君子(三)の兩名に對する窃盜事件公判は既報の如く傍聽人多數のため延

式に等しいことが發見され歴史の意義を賦與されたことは喜ばしいことである  
早速中を取片付けて一般に見て貰ひたいと考へてゐる次第です  
◇ ◇

得んものと午前四時ごろより受附に殺到宿直の所員を面喰らはせる騒ぎに同六時半には既に全部が渡濟みなつてしまつた、かくて多田判事係り山田檢事立會の下に開廷  
先づ姉静子より訊問に入れば昭和八年四月ごろより本年八月までの間前後五百六十回にわたり市内京町吳服雜貨商大黒屋はか二十五店から手當り次第に八百五十點價額千八百八十五圓八十錢を萬引した事實全部自供し  
多田判事より如何なる方法で窃取してゐたかと問に對し  
常に風呂敷を持つて行き

盗らうとする品物の上に置いてそのまま、包んで歸りました  
と無雜作に答へ

「多田判事」盗んだ品物はさうする考へであつたか  
「静子」別にさうする深い考へもなく品物は全部大事にしまつてゐました

「多田判事」犯罪の動機は「静子」只一人の十歳になる甥信夫が生れつき頭が悪く、學校でもいつも友達に窘められて泣いて歸つて來るので何か家庭で面白くしてやりたい心からフト繪本等を盗んで歸つたのが病みつきになりました  
と細い聲で答へ

妹君子は「何時も私が考へ出し姉は何も知らずについて來し私の盗つた品物を持つて歸つてゐた、けです」とさすがに姉を庇ひ「或る本屋で子供が本を盗むのを見て甥に見せたかつたのが動機でなほ纏りかけた縁談が二度までも近所の人の中傷で破れて以來人の世が呪はしくたゞ盜むことが愉快になりました」と訴へて満延を暗然たらしめついで山田檢事の論告に入り

妹君子が前述を醸し全部自分一人の行爲であるといふがこれは姉を思ふあまりの申立てである本件は一口にいへば萬引さすのが單に體の偏調もしくは虚榮によるのみとは自ら實を異にしてをり殆き常習的に行つてゐるので犯罪も重い、しかし被害品も全部還付してゐるのでそれらを斟酌して兩名とも各懲役七月を求刑  
香山辯護士は

犯罪の動機は君子の供述の如く表然的と、潜在的の二つにある即ち姉妹が甥を愛するあまりと家庭があまりに無關心にすぎた爲めにほかならない、婚期を過ぎたことも重大に考慮を要する點で自懲他戒は十分である  
と執行猶豫の熱辯を挿ひ満

### 温かい主人の心裁

警察情裁

主家荒しの大盡を繞る涙ぐましい人情劇が十七日午後東署に

描き出された一十六日岡山市東中島遊廓常平で豪遊中

東署刑事の六感によつて逮捕された千六百餘圓拐帯犯人―倉敷市白樂市生れ東京市荏原區中延町米穀商内藤理惣太方店員佐伯博(三三)は前非を悔いて十六日夜はまんじりともせず留置場で

### 夜を 明し十七日午後

三時刑事室に連れ出されて東京から馳せつけた主人と倉敷の親族池田吉二に引合はされるや博は電撃を感じたよう全身を戦かし兩眼からハラ／＼と涙を落して主人の前にひれ伏して  
御主人、長々御世話になりましたのにこんなことをしまして何んとも申譯ありません  
と、ぎれ／＼に詫び主人内

藤理惣太氏は

いや／＼、お前は滿三年の間によく眞面目に勤めて呉れた、今度のことは何か魔がさしたものであらうとその罪を少しもがめず主人と店員は涙と涙、傍らの親族、刑事の連中も思はず涙ぐむ  
や、あつて主人は懐中から手の切れるような百圓札をとり出して罪の店員に與へ

お前はこの機會を動機として眞人間に立歸りなさい、この金はお前にやるから眞人間になるお誓ひをすると共にこの金を警察に差上げて哀れな人の救濟費の一助にでもして

貰へ、また今後お前が罪に問はれても又すぐ許されても遠慮なくわしの店へ歸つて來い、わしはお前を立派な人間にしてお父さんの許へ歸さねばならない責任があるからとさながら我が子を諭すように懇々と言ひきかせたので係官もこの主人の江戸ッ兒氣質と人情豊かな態度にスツカリ感激し犯人の費消

### 草に埋れて百餘年

## 世に出るまき女

岡山市平井にのこる孝女碑 濟世會の手で顯彰の追慕式

岡山市平井四軒屋の操山 朽ちた記念碑らしいものが山麓に苔と草に埋もれて古あるが果して何を記念して

### 厄介者の狂養父を

## 布團蒸して殺害

故意か過失か養子夫婦を檢事局へ

岡山市大黒町の怪死事件

岡山市大黒町三七岡田徳三(七三)は六日午前八時ごろ自宅奥六疊の間で布團を着たま、急死したので家族のもの平井、立花兩醫師を招いて檢診を依頼し死亡診斷書の作成方を求めたが  
**死因に** 不審の點がある  
るので東署から在里司法主任、小野田刑事部長、江田立川刑事ら現場に急行して取調べたところ他殺の疑ひが濃厚なので徳太の養子岡

田利武(二四)をはじめ關係人を東署に引致して留置すると共にこの旨縣刑事課及び岡山檢事局に報告して捜査上の打合せをとげた結果、午後一時より八廣檢事が東署員と共に實地を檢證し徳太の死體は遠藤醫大博士の執刀のもとに解剖に附すことになった

徳太には一人の息子があつたが日清戦争で臺灣を日本が領有した直後、臺

るものか百年も昔に茲に住んでゐた"まき"と言ふ孝女の記念碑だそうだがらるにしか知られてゐなかつたが、最近同地の

### 平井 濟世會員の手で

其の碑面を洗ひ清めて見たところおぼろげながら其の碑文も判明するしそれと同時に同所に現在の森氏宅には同女の篤行を記した記録の寫しも現存し之れが原本も現在京都府視學小山莊太郎氏が所藏してゐること判明したので同濟世會では世道人心やうやく廢れんとしてゐる折柄二十五日午後二時より同所妙廣寺に地方名士に招じて同女の追慕式を擧げ其の篤行を顯彰するこ

とになつた、まき女は百餘年昔の天保年間、現在の岡山市平井の地に生れ幼時、父を失つてからは病母と不具、白痴の姉妹三人を抱へ貧苦と病弱に戦ひながらも敢て同情と救助を求めず敢然一家の更生に勵んでゐたが

### 遂に 報いられず三十

餘歳で夭折した其の貞節と言ひ孝悌と言ひ當時は一郷の婦鑑として敬仰の的とされてゐたが爾來星移つて百餘年、碑石のみ徒らに苔むしてゐたものである。



灣巡查として渡臺し勤務中また／＼蜂起した生蕃の討伐に参加して

戦死した。たがそのため徳太に對して年百五十二圓の遺族扶助料が下付されこれをもつて生活してゐたところ

五年前世継ぎとして岡山縣阿哲郡新見町風木平岡トワの四女坂代(二西)を養女として貰ひうけその後坂代の婿養子として岡山市上之町岡本洋服店の職人利武(三西)を迎へたが徳太は數年前より精神に異狀を來して暴れ廻り、飛び歩くので利武夫婦は始末に困つて厄介視しこれまでしば／＼手足を縛りあげて自由を緊縛し六日

朝も六時半ごろブラ／＼出かけたので引戻し六疊間に連れ込み夫婦が、りて布團で壓へつけてゐたところ死

亡したもので検死の結果、手足には縛り上げた時の生々しい痕が残つてをり利武もまた「布團で壓へつけたものです」と自供してをりこれが死の原因となつたものらしいがキ印の老人を厄介視してなきものにする積りで布團蒸しにして

殺害したのか或は殺害の意思はなく自由を奪ふために壓へつけた爲め布團が鼻腔を壓して窒息死亡せしめた過失尊致死罪か殺意の如何に重點を置いて捜査の歩を進めた結果、午前

二時半にいたり遂に專屬親一局へ送致した殺人容疑者として岡山檢事

### 岡山の柔道教師が

## 國家 補償金を請求

否認の獄舎生活四百十九日

“無罪”の判決で提出

無實の罪を着せられて四、道教師後神巖氏(三六)で百十九日と云ふ長い間冷たい獄舎にたがれて人生最大の苦痛を 嘗めたから刑事補償法によつてこれを償つてくれと云ふ最近珍しい刑事事件の補償問題が廣島控訴院に提出された。事件の主人公は岡山市小原町柔

四年の判決を言渡されるや飽くまで「和姦」であると犯意を

否認し、控訴、廣島控訴院で前後四回に亘つて審理された結果、去月一日「犯罪の證明不十分」と云ふので無罪の宣告を受けた

その間同人は岡山地方裁判所西本豫審判事の勾留状により一昨年十一月一日から昨年十二月二十四日の保釋出所まで四百十九日間岡山刑務所に收容されてゐたもので甘粕、林兩辯護人を代理としこのほぎ廣島控訴院へ刑事補償法により

### 補償金 請求を提した

### 親族一同へ 明しをたつ

後神君の兩親は語る

右について後神巖君を岡山市小原町の自宅に訪へば當人は留守で父の和吉(五九)さんが母親せつさんと共にこも／＼語る

今度の事については何事も林(長)甘粕(大阪)兩辯護士にお願ひしてありませぬが、性來憐み深かつた息子があんな罪の嫌疑

をうけた事が残念で／＼たまりません親族一同に對してこれまでの事情について明しを立てる意味で補償法の規定に基き廣

### 村の金庫は空つぽ

## た、働きの教員

岡山縣下で十七箇町村

お先き眞暗の不況ぶり

岡山縣特高課では過般來昨年一月より本年一月末に至る縣下農村動向の各方面に亘つて詳細な調査を行つてゐたところこのほぎ纏りを見たが右のうち小學校教員俸給の

赤磐郡豊田村

二、同上二箇月分の支拂ひを遅延したもの 和氣郡日笠村◎阿哲郡美穀村◎同新郷村◎同上刑部村◎同刑部村◎苦田郡奥津村◎勝田郡梶並村

一、同上三箇月分の支拂ひを遅延したもの 阿哲郡神代村◎勝田郡勝加茂村◎同豊田村

一、同上四箇月分の支拂ひを遅延したもの 赤磐郡周匝村

の十七箇町村にしてその金額の累計は一萬四千九十九圓の多額に及び俸給が規定の日に支給されず迷惑を感じた教員の数は二百二十九名に達し

教育者の 精神的、物質的、延いては教育上に及ぼす影響が如何に重大なるものがあるかを物語つてゐる、かくてはこれが原因の殆どは農山村の疲弊、村民の經濟困窮によつて村税の滞納が續出し村の金庫が空つぽになつた爲めて阿哲郡美穀、神代、新郷、上刑部、刑部、新低、苦田郡中谷、奥津、久米郡倭文西、勝田郡豊田の各町村が昨年九月ごろから本年一月分の給料不拂ひになつてゐるの

この俸給不拂ひを打開するため町村當局の方針は滞納整理と本年二月の國庫下渡金によつて支拂ふといふのみで將來の確乎たる財政計畫を樹立してゐるものは一つとてなくこのまゝ、推移するときは農山村の思想教育上に影響を來す重大問題として成行きは頗る注目されてゐる

實子、兇器をふるひ

老母殺しの大罪

過失死と届出て遂に自白

久米郡龍山村に謎の慘劇

岡山縣久米郡龍山村大字下柵六九二水島はる(酉)が九日午後五時ごろ自宅裏空地で誤つて轉び頭部に重傷を負ひ

死亡せる旨、はるの實子水島清(酉)から同所駐

在所に届出たので檢視の結果果死因に不審の點あり、かくと所轄加美署に急報

同署から武本署長、難波司法主任、月本刑事一行は九日深更自動車を飛ばして現場に急行、附近駐

在巡查を督勵嚴重取調ると意外にもはるの頭部を縦に五寸餘割つた傷口には一滴の血もないことから他殺の嫌疑濃厚となり先づ有力な

容疑者として實子清を引致し附近の公會堂を借受けて署長自ら取調にあたる一方

ひに包みきれず兇器を揮ひ恐るべき實母殺しの犯行を自白するに至つたので直に本署に連行、更に詳細な取調を續行すること、なつた

犯人清は鋭ひ追究にも抱はず最初のうちは飽まで犯行を否認し

母は自宅裏山に薪をとりにゆき木にのぼつて

枯木を折る際誤つて墜落即死したものだと言

を切つてゐるが

届出たことを自白するに至つたものであるが、同家は殆ど無資産の状態で田地一町餘りを小作してその日を送つてをり

犯人清 はこれまで數回妻を娶つたが何れも死亡または母との不仲で離縁し僅に最初の妻との間に長

男忠敏(二)があり、複雑な家庭の事情からはると清との間に大きな溝が出來てゐる折柄

また持上つた清の縁談に母からとかくの反對があつたので激昂のあまり恐ろしい罪を犯すに至つたものと言はれてゐる

津山支部山田主席檢事、今西豫審判事等は十日午後現場に急行し實地檢分すると、もに

最後の 判定をつかむべく岡山醫大遠藤博士執刀のもとに午後五時から死體解剖を行つたが

午後九時半に至りさしも頑強に否認をつづけた清もつ

現場には墜落の形跡なき點並に解剖の結果を突きつけられるに至つて最早逃れることが出來ず鋭利な刃物をもつて一撃を加へ絶命するを見ましたのち墜死を裝ひ何食はぬ顔で駐在巡查に







# 岡山縣「明暗日記」

描き出された

## 非常時風景

氣忙はしい師走月を迎へて巷の騒音は日増にスピー  
ド、アツプされて來た  
寒む空を突進する木枯しの聲にも、行き交ふ人の氣  
はいにも何處となく慌はたしさが窺はれて世はま  
さに歳末風景、泣くも笑ふも後十五日で猪突進のひ  
と、せも愈よ最後のゴール、インだ、さてアデュー  
ウ一九三五年に當つて昭和十年度の日記を繕き十  
把一らげに盛り上げて讀者へ最後の贈物としよう！

### 月一

七日—岡山地方裁 七十一、七十二婆さん方に押入  
判所の初公判—昨年 つた覆面強盗同所洗張職大  
六月二十七日夜岡山 森達男の強盗未遂公判は今  
縣上房郡高梁町中島キヨと 日午後一時から小林裁判長

開廷、初公判にあつらへ向  
きの至極朗らかな陳述をし  
て暗闇三年を求刑された  
八日—午前一時四十分ご  
ろ岡山市西中山下喫茶リッ  
トン野崎松太郎方から出火  
忽ちのうちに軒續きの空家  
を始め隣接の文樂、赤福餅  
等八戸を全半焼して同三時  
半頃鎮火したが新年早々の  
炎の洗禮に一時は大騒ぎで  
あつた  
十一日—六日入寒以來—  
兩日平年並みの寒冷をみた  
ので變態的暖かさを續けて  
ゐる當地方ではけふ正午既  
に十三度六、最高温度十五  
度をも突破する有様でまさ  
に菜種の花咲く頃の暖かさ  
で老人連を喜ばせた  
十四日—岡山縣兒島郡琴  
浦町田ノ口岡山縣議尾崎虎  
雄氏の選舉違反公判をけふ  
岡山地方裁判所小林裁長係  
りて開廷、懲役四月を求刑  
された  
十八日—小田川改修に絡  
まる不正事件の岡山縣小田  
郡笠岡町前縣議高橋義惠氏  
ほか一名にかゝる瀆職、詐  
欺、業務横領事件公判を岡  
山地方裁判所で開廷、立會  
兒玉次席檢事より高橋氏に  
對して懲役一年の求刑があ  
つた  
十九日—昨秋の大風水害  
の尊き犠牲となつて岡山市  
弓之町石本病院に入院中の  
奇篤な老警官伊原重三郎（  
七四）氏に對する功勞記章

傳達式が今日多久知事以下  
列席の下に於て行はれたが  
伊原氏は身に余るこの榮譽  
を感激の涙を流して拜受し  
た

り線に靴と白色オーバーを  
脱ぎ揃へて洋裝美人が無残  
な轢死を遂げた、取調の結  
果明葉岡山支店のサービス  
嬢と判明

が多いので追究の結果狂言  
と判明一同口アンダグリーな  
はこの青年は三幡村岡崎澤  
一（二二）で反對に豚箱十日  
の大目玉を喰つた

六人組窃盜團が今日岡山東  
署の活動でもの、見事に逮  
捕された  
八日—岡山縣吉田郡芳野  
小學校二年生光吉直君（九）  
は青年訓練の發火演習を見  
てその勇ましさに子供心を  
躍らせ自宅にあつた獵銃を  
持出し友達と戰爭ゴッコを  
してゐる内、銃に裝填して  
あつた實弾を誤つて發射友  
達二人を殺傷して大騒ぎを  
起した

廿三日—所もあらうに御  
津郡長田小學校の教室を賭  
場に盛んに丁半を争つてゐ  
た六十數名の博徒が金川署  
の手によつてけふ午後二時  
頃一網打盡に御用を喰つた  
廿七日—教育界に不詳事  
續發の折柄、けふもまた赤  
郡周匝校の岸校長が横領、  
詐欺容疑で瀬戸署に檢舉さ  
れた

十七日—天下の偉觀、備  
前西大寺觀音院の會場は舊  
曆十四日のけふ盛大に行は  
れた、數千の裸群が二本の  
寶木を争奪する壯觀はこの  
夜岡山放送局のマイクを通  
じて全國へ中繼放送された  
十九日—午後九時ごろ岡  
山市小橋町の巡查派出所へ  
息せき切つて飛込んだ青年  
が「只今五人連れギャング  
に逢つた」と申立たのでス  
ワと緊張し非常線を張つて  
捜査すると共に尙も事情を  
聞いてゐるたがさうも不審の

廿一日—今日午前九時二  
十分ごろ岡山縣上道郡西大  
寺高等女學校講堂のステー  
ヂが大音響と共に墜落、  
折柄學藝會豫習中の約百名  
の同校生徒は雪崩を打つて  
階下の研究室へ落ち數十名  
の重輕傷者を出した、思ひ  
もかけぬこの椿事に多數父  
兄らは現場に急行し一時は  
大騒ぎであつた

十日—戰捷三十周年の光  
輝ある陸軍記念日を迎へた  
岡山市始め各地では官民舉  
つて祝賀會、模擬戰、講演  
會などを行つて意義あるこ  
の日を祝した  
同日午後九時ごろ岡山縣

### 月二

一日—けふ午後八  
時頃岡山市西河原山  
陽線旭川鐵橋東詰下

七日—六高、一商  
二中と岡山市内の學  
校専門に荒し廻つた

### 月三

同日午後九時ごろ岡山縣

上道郡三幡村江崎で二十數名の方の大亂闘劇が演ぜられた、急報に接した西大寺署員は直ちに現場に急行關係者を逮捕した

ケ所の怪火事件があり東署で嚴重捜査の結果西大寺町石田うきん店出前持の所爲であること判明、直ちに檢舉した

大賣店へ怪漢が侵入金庫内にあつた千二百十圓の金を失敬して立去つた怪事件があつたが取調べの結果意外にも犯人は同病院の守衛と判明した

打つ試験地獄は今年是一段と深刻だつた  
二十八日……津山市土木課長兼水道課長丸山示氏はけふ市會開會中壇上で答辯してゐる際突如心臓麻痺を起してその場で絶命した

十一日……午後三時四十分折柄開議中の岡山市豫算市會で名畑一夫市議が發言してゐた際傍聴人小田某が人身攻撃の彌次を飛したのが元で名畑市議との間に大亂闘が演ぜられ議場騒然市會未曾有の珍事件が持上つた、なほ市會ではこれを契機に爾後傍聴券を發行し、無制限入場を禁止した

十五日……岡山運輸疑獄の最終公判はけふ岡山地方裁判所小林裁判長係りで開廷立會兒玉檢事は「憂ふべき惡辣な犯罪だ」と斷じて元兵庫驛長大月忠一氏以下にそれ〴〵體刑を求刑した

二十日……午後九時頃岡山驛二等待合室を徘徊してゐる舉動不審の男を西署員が逮捕取調べた處「ワタシマニラ人」と覺束ない日本語を装つては全國を詐欺行脚してゐた新手詐欺の前科者と判明したので檢事局へ

一日……岡山市民を始めオール觀光客から待望されてゐた後樂園は愈よ今日からその一部を開放した  
五日……津山市疑獄事件でかねてより身邊急迫を告げられてゐた同市長小沼敬三郎は遂にけふ岡山檢事局へ召喚され取調を受けた後異狀明白となつたので午後一時岡山刑務所へ強制收容さ

十二日……今晩午前三時半頃から同五時半頃までの間に岡山市下田町から西大寺町、内山下等に亘つて四

十八日……けふ正午ごろ淺口郡寄島町田中某所有の發動機船が地方廻りの併優十二名を満載して同町へ赴く途中、下水島附近の海上で右機船が顛覆溺死者五名を出す椿事が持上つた

二十三日……六千五百學童の「此一戰」ともいふべき岡山縣下三十七中等學校の入學試験はいよけ〴〵一齊に幕を切つて落したが春に反いて可憐な童心を鞭

街頭に參加者二百五十名が堂々の行進を起して威武を示した  
二日……新緑若葉の初夏に時ならぬ空の珍客「雪」が襲來し、中國山脈は白がいつの間に一色に塗りつぶされ縣北部の積雪二寸といふ珍事あり多大の被害を受けた  
四日……岡山市四課長の抜打的任免斷行、石原市長の無軌道さに猛烈な反對起る  
十三日……けふ午後六時西大寺鉄ガソリンカーが廣谷驛構内で正面衝突、乗客十數名負傷した、原因はブレーキの故障から  
十七日……岡山市に珍らしい移動式秘密ダンスホー

判開廷、立會檢事は峻烈に論告して懲役八月を求刑  
十九日……佐藤元校長を中心とする關中百圓事件の第一回公判開廷、醜惡な卒業證書賣買事件の裏面をさらけ出す  
二十日……今朝岡山地方に近來稀有の大濃霧あり奇觀を呈す  
二十一日……金光教内紛の根源は管長金光家邦氏が教祖立教の眞意に反するがため徹底的教團の肅正は管長自決の外なしとして奮起した全國青年信徒はけふ午前八時から靈地金光町で示威的信徒大會を開き大いに氣勢を揚げた  
二十三日……午前一時倉

同日……朝九時頃岡山警

同日……岡山春競馬ひら

同日……岡山春競馬ひら

れた

七日……午前零時十九分伯備線清音驛發上り不定期貨物列車が酒津踏切に差しかつた際、倉敷百番タクシ

の自動車を衝突自動車は大破して乗客中の藝妓一名は無残な即死、他は何れも重傷を負つた  
十一日……昨年岡山檢事局の手に摘發された岡山醫大の建築疑獄事件の第一回公判開廷  
十七日……赫々たる武勳に輝く岡山歩兵第十聯隊第六十一回軍旗祭はけふ午前十時から同隊營庭に於て盛大に開かれた  
同日……前玉島署長國府富治氏に拘る瀆職事件の公

數市川西町の飲食店に強盜侵入し老婆を慘殺して現金五圓八十錢を強奪逃走した事件が起つた倉敷署必死の大活動により犯行後六時間にして犯人をスピード檢舉  
二十六日……六高會計課の不正事件公判をけふ岡山地方裁判所に開廷  
同日……岡山春競馬ひら

同日……岡山春競馬ひら

の手に摘發された岡山醫大の建築疑獄事件の第一回公判開廷

同日……岡山春競馬ひら

同日……岡山春競馬ひら

同日……岡山春競馬ひら

同日……前玉島署長國府富治氏に拘る瀆職事件の公

同日……前玉島署長國府富治氏に拘る瀆職事件の公

同日……前玉島署長國府富治氏に拘る瀆職事件の公

同日……前玉島署長國府富治氏に拘る瀆職事件の公

ル、檢舉、良家の子女、有閑マダム等に痛棒下る

遂げた一名 涙悲戀物語とでもいふか

同日……午後九時頃デカ

× 一日一縣下警察署 長大異動断行さる

ンシヨ節で街頭を練り歩いてゐた六高生團の狂態に憤慨した現役將校が抜刀してこれを阻止し非常時の折柄何事ぞ!!と怒鳴りつけて初夏の街頭に飛んだ非常時風景を描いた

× 三日一岡山地方は今朝來強風ざわつてゐたが正午ごろから秒速十五メートルの烈風となり看板なご吹飛ばす騒ぎに市民は戸惑ふた

二十日……若草もえる岡山練兵場で盛大な縣体育祭舉行

× 四日けふ午後二時半から西大寺公認競技場で來朝中の比島陸上チームを迎へて

大鉄槌下り、名士を交へた多數常習者の大量檢舉を斷行

× 六日一岡山市二万の學童を總動員して繩取デーを實施多大な効果を擧ぐ

二十五日……天下の名勝神庭の瀧を舞台として青春の男女がカルモチン自殺を

× 七日一午後三時頃岡山縣上房郡北部地方に二十分に亘つて鷄卵大の降雹あり多大な被害を受けた

りな常習的墮胎をしてゐた子おろし婆さんがけふ高梁署に檢舉された取調べの結果三十餘年に亘つて多數嬰兒を闇から闇へ葬つてゐた事實が判明、中には東京から懸々出掛けて來た婦人等もあり係官を一驚させた

× 十日一けふ時の記念日を迎へた岡山市では各工場、小學校のサイレン並に寺院の鐘を總動員して愛時觀念鼓吹につとめた

十八日……岡山救世軍小隊の街頭説教に感激して金三圓の恐喝犯人が驕然として東署へ自首した、けふ午後十一時頃の出來事

× 十一日一午後三時頃岡山縣小學校のサイレン並に寺院の鐘を總動員して愛時觀念鼓吹につとめた

十九日一六高不正事件續行公判開廷、立會檢舉は不都合の一語につくと論じて各被告にそれ〴〵懲役刑を求む

× 十二日一岡山市南方小學校六年生山崎正志君(一二)は、けふ正午ごろ西川筋を通行中、同所山根政一君(七ツ)が過つて西川に轉落危ふく溺死せんとしてゐるのを發見、勇敢にも着衣のま、飛込んで見事同君を救助した、所轄西署では大いに感激し、正チャンの冒險に對して早速表彰の手續きを執つた

二十二日一校舎移轉で希望が入れられなかつたのに

× 十三日一午前一時四十分頃岡山縣淺口郡金光町土產物屋から出火、折柄の強風に煽られて火は四方に燃へひろがり金光教本部參道半焼して同四時半鎮火した、損害三十萬圓

憤慨した都窪郡箕島部落の父兄は妹島小學校に通學の同部落學童二百八十名を一齊に休校させて妹尾町民へ對抗を示した

× 十四日一けふ午後一時頃苦田郡奥津村の六十五爺が紋附羽織に向ふ鉢巻といふ装束で女帯を吊し流線型縊死を遂げた、原因は夫婦喧嘩から

二十六日一身体中の内臓が全部右と左に位置を變へてゐたといふ珍らしい青年が倉敷病院に現はれ居合す博士連を魂消させた

× 十五日一岡山醫大疑獄事件 鼓吹につとめた

二十六日一久米郡柵原の鑛山の抗道が約四百尺に亘つて大崩壊した、作業終了後だつたので幸ひ死傷者は免れたが一時は大騒ぎであつた

× 十六日一寡婦、人妻、娘等各方面の女を相手に大毆

二十七日一金槌や火箸で實妹を散々毆打し肋骨二本挫折といふ瀕死の重傷を負はせ乍ら尙も虐待をつづけ

× 十七日一岡山縣下青年教育の一大革新を齎らす、青年學校を齎らす、青年學校

二十八日一校舎移轉で希望が入れられなかつたのに

× 十八日一岡山縣下青年教育の一大革新を齎らす、青年學校を齎らす、青年學校

二十九日一岡山市一番町の駄菓子に強盜押入り獨身老婆を慘殺して有金七圓を奪ひ悠々逃走した急報に接した縣刑事課では早速大活動を起し兇行後僅か三十時間で見犯人を逮捕した

× 十九日一岡山縣下青年教育の一大革新を齎らす、青年學校を齎らす、青年學校

三十日一校舎移轉で希望が入れられなかつたのに

× 二十日一岡山縣下青年教育の一大革新を齎らす、青年學校を齎らす、青年學校

三十一日一校舎移轉で希望が入れられなかつたのに

× 二十一日一岡山縣下青年教育の一大革新を齎らす、青年學校を齎らす、青年學校

一月七日

× 二十七日一岡山縣下青年教育の一大革新を齎らす、青年學校を齎らす、青年學校

一月八日

× 二十八日一岡山縣下青年教育の一大革新を齎らす、青年學校を齎らす、青年學校

一月九日

× 二十九日一岡山市一番町の駄菓子に強盜押入り獨身老婆を慘殺して有金七圓を奪ひ悠々逃走した急報に接した縣刑事課では早速大活動を起し兇行後僅か三十時間で見犯人を逮捕した

一月十日

× 三十日一校舎移轉で希望が入れられなかつたのに

一月十一日

× 三十一日一校舎移轉で希望が入れられなかつたのに

一月十二日

× 二月一日一校舎移轉で希望が入れられなかつたのに

一月十三日

× 二月二日一校舎移轉で希望が入れられなかつたのに

一月十四日

× 二月三日一校舎移轉で希望が入れられなかつたのに

一月十五日

× 二月四日一校舎移轉で希望が入れられなかつたのに

一月十六日

× 二月五日一校舎移轉で希望が入れられなかつたのに

助成會名義で寄附帳を作製し多額な金員を詐取し乍ら西へ、西へと悪の股旅をつづけてゐた大阪生れの三人組が、けふ高梁署員に「コラッ！」

五日……空梅雨説もなんのその、數日來豪雨地方では三大川とも刻々増水、昨秋さながらの魔の危機に曝らされてゐたが然俄けふ午前九時三十分ごろ和氣郡熊山村奥吉原地内山陽線鐵橋が轟音と共に墜落、上下兩線とも不通となつた

七日……岡山一商俱樂部主催三田、稻門、駿台三クラブ對抗野球戦をけふ午前十時から關中球場で舉行球技の醍醐味を満喫させた

同日……岡山縣刑事課必死の摘發で醜貌を暴露した例の疑獄事件で取調中であつた元代議士玉野知義氏は容疑濃厚となり遂に今夜十時岡山刑務所へ強制收容された

五日……岡山米取引所を根城に盛んに丸角賭博を開帳してゐた七十數名の博徒集團がけふ一齊に檢擧された

七日……けふ午前十時ごろ岡山縣苦田郡芳野村眞加邊で血なまぐさい殺人事件があつた、但し加害者は同所松尾某の長男清ちゃんといふ十一少年で一緒に遊んでゐた妹のぶ子さん(二ツ)

同日……和氣郡片上町に怪しげな祠堂を設け迷信家

八日……岡山縣土木疑獄の公判をけふ午前十時より岡山地方裁判所小林裁判長係りで開廷、法廷にズラリ並んだ三十一被告の氏名點呼だけに前後三十分を要するといふ珍レコードを示しつ、順次「お白洲詮議が」始まつた

十日……海拔六百米の中國山脈の眞只中、岡山縣眞庭郡八束村原野の神祕境を利用して、冬はスキーヤー夏は村の若者を相手に盛んにエロをふり撒いてゐた作州名物「山中カフェ」に彈壓下る

十一日……眞晝の街頭に描かれた獵奇な愛慾圖繪—岡山市小野田町柏野某(五

三)はけふ正午ごろ内縁の妻松田サトといふ八十二婆さんと些細なことから喧嘩を始め松丸太でいきなりサトさんをK、O、自分も割腹自殺を圖つた、原因は年甲斐もない痴話喧嘩と判明流石の係官も「よういはんわ」

十八日……棚原鑛山の鑛産不正事件で片上町長けふ縣刑事課へ拘引さる縣會疑獄の開幕々々

廿二日……岡山市一番町の老婆殺し下手人長瀬豊の公判開廷、檢事は無期を求刑した

二十四日……岡山地方では今晩三時、時計の振子も止る程度の地震あり、就寢

を巧に抱込んで寄進を強要してゐた怪祈禱師がけふ和氣署員に檢擧された、取べの結果多數の參拜婦女子に暴行してゐた事實も判明、身柄を檢事局へ

十五日……映畫見物中の愛兒失踪事件—岡山市下石井幸町小野ヨネ子さんはけふ長男清次君(二ツ)をつれて岡山市西中山山下活動常設岡山クラブで映畫見物中、餘り夢中になつてゐるうち

に傍らで見てゐた清次君が行衛不明になつたので吃驚し種々検査の結果同館便所へ墜死してゐるのを發見、若いマ、達へ教訓を與へた

中の市民は曉の夜を破られて一齊に戶外へ飛出した

月八

一日……司法事件の激増で岡山刑務所津山支所が「忌はしき悲鳴」を上げた話—この一月以來水銀柱の躍進と共に漸次數字の高騰を示してゐた津山支所の未決收容者は、けふ正午に至り同所開設四十八年のレコードをつくり六十五名となつた、なほ同所の收容限度は六十名である

二日……頃日來の酷暑と共に岡山縣下各地には傳染病が蔓延しつ、あるが縣衛生課の發表によれば二日現在に九百四十三名に上つて

を蹂躪され剩つさへ妊娠し世間態を恥じて乙女心の淺墓さから墮胎を企てた哀れな女工さんがけふ味野署へ拘引された

二十四日……待望の第一回納涼花火大會第一日は愈よけふ日没を期して岡山市中島嶺で舉行、眞夏の夜空に豪華な五彩の火を散らせて十萬の觀衆を喜ばせた

同日……岡山縣學務課ではけふ午前十時、短期現役兵復歸に伴ふ縣下小學校教員の大異動を發表した、なほ今期による校長榮進者は三名

三日……岡山縣淺口郡玉島町辯護士佐藤光則氏ほか

同日……和氣郡片上町に怪しげな祠堂を設け迷信家

一名を恐喝被疑でけふ玉島署へ檢舉、取調の結果罪状明白となつたので同夜刑務支所へ強制收容した、惡徳辯護士撃滅の血祭りか？

四日……街のお台所の脅威、お米の値段がまた上つた—本年一月以來既に四回の値上げを斷行した岡山白米商組合では、四圍の狀勢已むを得ずとして、またもけふ第五回目の値上を發表し、サラリーマンに溜息をつかせた

五日……時計、貴金屬を専門に空巢を働いては贓品を岡山市内の商店へ賣り歩いてゐた不敵漢がけふ東署へ檢舉された、取調の末合鍵十三個所持の大盜で今春

以來既に數千圓の空巢を働いてゐること判明、身柄を檢事局へ

七日……けふ岡山市東中島遊廓好川樓で娼妓房江をあげて遊興中、同人の首を締めつけて無理心中を企て失敗し“惡夢だつた”と体よく逃げ去つた怪青年があつた、念入りにも翌晩またも同樓附近を徘徊中東署刑事に御用！

十三日……けふは二百廿日と仲秋明月の取組み、二百廿日の厄日は豫報通りに平穩無事だつたがお月見の方は心ない黒雲に掩はれてオヂヤンとなり多數月見客を失望させた  
同日……倉敷市在住の朝

鮮人數名が今宵仲秋の名月を迎へて月見酒とシヤレてゐる内、僅かなことから喧嘩となり亂闘の末相手の下唇へ喰付いて遂にこれを咬みちぎつた、無鐵砲なキツスである—

十五日……滿洲事變四周年記念の郷軍武術大會をけふ岡山市深柢小學校で舉行非常時日本の意氣を示した  
十九日……この程行はれた國調の豫行演習、山峽の温泉場岡山縣苦田郡奥津村に五男十四女の子福長者のあることが判明した因みに夫君はまだ五十九の働き盛りである

二十一日……軍國の秋を飾るに相應はしい勇壯無比

第十師團秋季演習は秋晴れの伯耆平野を舞臺に愈よ今拂曉を期して火蓋を切られた

二十一日……忘れんとし忘れられぬ生々しき戦慄の日—けふ大風水害一周年を迎へた岡山市では、當時の慘狀を回顧し遭難者の靈に心からなる冥福を祈つた  
二十六日……肅正の陣太鼓も物々しく言論戦につ、けてきた岡山縣會議員選舉の投票日……朝來の好晴に惠まれて清き一票の行進つ

二十七日……岡山縣民が政治的節操にかけて投じた“赤心一票”を緋く日だ、この日縣下二十二開票所で

は當落の玉手箱を一齊に開き一喜一憂、悲喜交々の風景を展開しつ、四十議席の新主人公を決定した

### 十月

一日—二旬に亘る戦塵おさまつて岡山縣警察部では聖戦の取締りにホツとする暇もなく各地に續々發覺しつ、ある違反摘發に大活動を開始した、現在までの肅選の違反容疑者既に百二十名を突破

同日—主家の銀行小切手を盗み出し千二百圓の大金詐取を企てたチンピラ小僧が捕まつた、けふ都窪郡撫川町の出來事  
三日—滿洲國侍醫と自稱

する獸醫くづれの詐欺漢が三石町で逮捕された、美髯モーニング姿の典型的にせ醫妾で檢事局へ

五日—生さぬ仲のま、子を逆様に吊つて打擲尙嫌らず顔一面に焼火箸の折檻を加へた鬼の様な女房がけふ倉敷署へ檢舉された

同日—岡山市聯合婦人會ではけふ岡山市に在住する八十歳以上の高齢者六百餘名を市公會堂に招待して盛んな敬老會を催した

十日—岡山歩工兩部隊の二年兵は例年より二ヶ月早く、けふ早朝何れも歡びの除隊をした、これら勇士は昭和八年入營後直ちに渡滿し北滿の曠野に赫々の武勳

を立て昨年五月懐かしの原隊へ凱旋したつはもので一様にその胸間に三つ、四つと勳章を輝かせ嬉々として郷里へ急いだ

十二日—二十年來、たへて見なかつた村の惡習賭博が再び染みかけんとしてるのを憂へた一青年が警察へ涙の密告をし村の平和を確守したといふ朗話がある—けふ岡山縣上房郡皆部部落の愛郷ローマンス

同日—關西中學校運動場擴張寄附に絡る恐喝並に業務横領事件被告、前關中校長佐藤富三郎外四名に拘る續行公判をけふ午前九時四十分五分岡山地方裁判所で開廷立會兒玉檢事より“惡質だ

”と極めて峻烈な論告あり佐藤氏以下にそれ〴〵懲役刑の求刑があつた

十六日—狩獵家待望の銃獵解禁、はやくも各所の山間にパン、パンと景氣のよい銃聲が聞へた

十七日—けさ七時半ごろ岡山市相生橋東詰旭川に二十歳前後の女の溺死体あるを通行人が發見、東署員が取調べの結果岡山市東中島常平樓々主の姪と判明、原因は厭世から

二十三日—城下街津山の秋を彩る徳守神社祭禮をけふ午前九時から執行、同勢二百余人の神輿渡御行列さては昔ながらの奴行列に“ピンと跳ねた”威勢を見せ

てクラシツクな城下街津山の香りを高めた

廿五日―岡山縣下中等學校聯合發火演習第一日はけふ午前十一時より備南平野を舞台に爽涼たる濃厚に彩つて華々しい政防繪巻を展開した

二十六日―守安倉敷署長の津山市助役入りに伴ふ縣下警察署長の異動發表  
三十日―例の片上港問題で横山代議士けふ岡山檢事局へ召喚さる

十一月

一日―恒例岡山市誓文拂は愈よ今日から蓋を開けたお天気は碧一色の快晴米爾高と軍需景氣に恵まれた農村か

らは例年以上の買物客がワシサノと岡山市中に押寄せ、メガホン、マイクの大商戦に景氣は上々吉を示した

六日―上水道敷設、市廳舎建築兩工事を繞り市政裏面の醜狀を暴露した津山市疑獄公判をけふ午前九時五十分岡山地方裁判所で開廷立會兒玉檢事より約三十分

に亘る公訴事實の讀上げがあつた後、小沼前市長以下十三被告の審理に入つた  
七日―岡山地方今朝の最低温度は三度七、前日より初霜を見た  
九日―岡山の晩秋を飾るに相應はしい岡山ロータリークラブの披露式をけふ後

樂園鶴鳴館に於いて盛大に舉行、全國各地から參集した多數ロータリーアンと共に意義深きチャーターナイトの一日を送つた

十日―郷土に築きあげた國体明徴の金字塔、備中福山合戦六百年慰靈大祭並に建碑除幕式は、岡山縣都窪郡山手村福山城址保勝會主催のもとにけふ午前九時から福山々項本丸址にと盛大に舉行された

同日―けふ岡山市會聯合派懇親會で片山副議長毆打事件が持上つて市會の醜争に拍車をかけた加害者は山内市議  
十一日―“俺はこの世のすたれ者”と遺書して映畫

もぎきの鐵道自殺を遂げた厭世青年があつた、けふ午前六時半、倉敷附近の出來事

十五日―全日本を戦慄させた黒色ギャング事件遂に岡山へ波及、アナ系分子と目される四名を今朝岡山倉敷の兩署へ引致して新事實摘發の取調を開始した

二十一日―岡山地分專賣局では本年が製造煙草創始三十周年に相當するので平常一般の見學を禁止してゐる煙草製造工場をけふ一日だけ公開、精巧なメカニズムの極致を觀覽させて來場者を煙に卷いた  
二十二日―岡山西署では今日拂曉を期してかねて噂

のあつた岡山市下石井大垣某方のエロ、アヂトを襲撃、現場に居合せた”闇の女”數名を檢擧、それら拘留處分に附した尙取調べの結果これらストリート、エンゼルの相手には岡山市内の一流紳士も多數含まれてゐることが判明した

同日―節窓に硝酸を撒き銘仙百反を黒焦げにして逃走した怪事件が今朝岡山市上之町の盛り場で發見され大騒動が持上つた

二十三日―けふ岡山市初の防空演習、爆音高く襲來する敵機を迎へて軍民協力鐵桶の守りを見せた

二十八日―親王殿下御降降誕のよき日を迎へた岡山

市では全市端色に包まれ日の丸の國旗を掲げて聖壽の無窮を祝した

二十九日―公金横領事件の暴露で岡山市元産業課長松島定一氏拘引さる

十二月

二日……倉敷市川西遊廓の師走心中……岡山縣都窪郡中洲村の林某といふ青年は、かねて馴染の川西遊廓登喜和樓抱娼妓と今朝プロモラールを嚙下して合意の心中を遂げた原因は夫婦になれぬのを悲觀してと判明

六日……石原市長告發事件に端を發した岡山市稅務疑獄事件はその後愈よ擴大岡山市稅務課長鈴村嘉一氏

岡山市議和氣定教氏、西中島遊廓組合長ら續々強制收容されて底なしの進振展りを示してきた

十日……岡山縣警察部では今日を期して愈よ歳末警戒陣を布くことになり一千の警官を總動員して良民保護の完璧を期すること、なつた

同日……けふ午後五時五分岡山驛發津山行き中國鐵道第九列車が同二十分玉柏驛に入構の際タレットを授受せんとした同驛長が過つて線路へ轉落胴を切斷されて無残な殉職を遂げた

十一日……過般の肅正選舉に立候補、當選の榮冠を獲得し乍ら違反に問はれた

岡山縣英田郡土居村春名武雄氏の選舉違反公判をけふ津山支部裁判所田中裁判長係りで開廷、立會檢事は峻烈に論告して懲役六月を求刑した

十四日……こゝ、數日來めつきり加はつた岡山地方の寒冷は今朝遂に零度三を示し朔北の空風に粉風に粉雪さへチラづいて市民を胴震ひさせた

十五日……本年掉尾を飾る恒例岡山歳の市は愈よけふ十五日より全市一齊に蓋開けした

十六日……岡山全市大霜同日……賭博の場錢四百三十圓を鷲掴みにしてマンマとすらかつた仁義知らずの

やくざ者がけふ高梁署員に捕はれた

十七日……けふ未明から降り出した雪に津山全市はみる／＼銀世界となり、市内二寸、奥津五寸の積雪を見た、この本格的スキーシーズンを前に各スキーヤーは待機の姿勢、珍客ラッセル車も愈よ試運転を開始した

同日……岡山縣刑事課が摘發中の岡山市税疑獄事件は岡山同盟檢番理事長岩越經次郎氏の強制收容を契機に俄然急展開を見せ、けふ午後零時半檢事並に縣刑事課員の一隊は自動車に乗つて目下病臥中の岡山二業組合長吉田菊次郎氏の宅を襲

撃、臨床訊問を行つて引揚一たげ



### 岡山縣人名録

(ア)

- 安宅 照 (小學校長) 岡山市上伊福
- 安達嘉三郎 (請負業) 倉敷市西榮町
- 安達 貫一 (藥劑師) 岡山市大學町
- 安達福太郎 (岡山放送局長) 岡山市門田
- 安達 和平 (安達製藥代表社員) 岡山市常盤町
- 安東 正志 (和氣高女教諭) 和氣郡本莊村
- 安藤 一十百 (瀬戸高女教諭) 赤磐郡万富村
- 安藤 嘉助 (町議) 浸口郡玉島
- 安藤 完一 (村長) 勝田郡湯郷
- 安藤 千秋 (市理化學試驗所長) 岡山市北方
- 安藤 鐵夫 (在郷陸軍少將) 岡山市下石井
- 安藤 万長 (市議) 津山市川崎
- 安藤 操 (元縣議) 岡山市門田
- 阿賀福吉郎 (中水、宇野營業主任) 兒島郡宇野町
- 阿藤長三郎 (酒造業) 岡山市下之町
- 阿部 園良 (寫眞館主) 岡山市下之町
- 阿部三郎 (醫師) 岡山市下西川町
- 阿部關次郎 (市議) 岡山市津島
- 阿部太良一 (塗料日本ベイント販賣所) 岡山市濱田町
- 足立 昇造 (關中教師) 岡山市巖井
- 足立彌三郎 (工業教諭)

- 岡山市二日市
- 相浦 守人 (邑久高女校長) 岡山市門田
- 相賀 荒市 (宇野生魚取締役) 兒島郡宇野町
- 逢澤 一次 (商議) 岡山市内山下
- 逢澤 寛 (土木請負業多額納稅者) 岡山市内山下
- 青井 荒一 (津山女子校長) 津山市田町
- 青井 次郎 (多額納稅者) 岡山市上西川町
- 青木六之助 (高砂座主) 岡山市上西川町
- 青山 達夫 (元市議) 岡山市東中島町
- 赤木 龜一 (元代議士) 兒島郡小串村

- 赤木 繁二 (岡山生魚取締役、料理藤久主) 岡山市山崎町
- 赤木 親男 (村議) 久米郡吉岡村
- 赤木 秀一 (戸主會長) 岡山市上伊福
- 走木 元藏 (外科醫) 倉敷市榮町
- 赤澤 乾一 (醫師) 岡山市南方
- 赤澤 寛一 (元縣議) 岡山市出石町
- 赤澤鶴太郎 (縣二商教諭) 岡山市門田屋敷
- 赤星 昭 (社司) 兒島郡本莊村
- 赤堀 龜雄 (辯護士) 岡山市二番町
- 赤堀 修一 (郵便局長)

- 勝田郡湯郷村
- 赤松 信春 (戸主會長) 岡山市内山下
- 明石規矩三郎 (高梁川東西用水組合専務理事) 岡山市上出石町
- 秋田 岩吉 (濟世委員) 岡山市大雲寺町
- 秋田 秀 (醫師) 久米郡弓削
- 秋田 稔 (市立圖書館長) 倉敷住吉町
- 秋山圓次郎 (秋山工作所長) 岡山市上西川町
- 秋山こども (相愛看護婦會主) 岡山市岩田町
- 秋山 幸平 (町助役) 兒島郡藤戸
- 秋山 繁太 (村議) 兒島郡藤戸

- 秋山 靜雄 (材木商) 都窪郡清音村
- 秋山 武夫 (千里足袋專務取締役) 岡山市岩田町
- 秋山藤太郎 (天城板紙社員) 兒島郡藤戸
- 秋山文次郎 (天城板紙代表社員) 兒島郡藤戸
- 秋山増太郎 (町議) 吉備郡高松町
- 秋山 松子 (料理松ヶ枝) 岡山市野田屋町
- 秋山 實 (寫眞館主) 兒島郡味野町
- 秋山 頼一 (笠岡土木出張所長) 小田郡笠岡町
- 淺尾 丈平 (湯淺袋物扇子商) 岡山市榮町
- 淺越助五郎 (町議) 都窪郡妹尾町

○淺沼 貞一(萬町郵便局長) 岡山市富田町  
 ○淺沼 與(醫師) 淺口郡長尾町  
 ○淺野卯一郎(笠岡高女教諭) 小田郡笠岡町  
 ○淺野正吉郎(醫師) 岡山市下市町  
 ○淺野 隆彦(町議) 淺口郡長尾町  
 ○淺野 富男(岡山一中教諭) 岡山市門田  
 ○淺野 富平(井笠鐵道社長) 小田郡笠岡町  
 ○淺野 壽雄(小學校長) 小田郡神島內村  
 ○淺羽 春之(醫師) 岡山市弓之町  
 ○朝倉 一太(村議) 邑久郡今城村  
 ○朝倉 峰夫(村議) 邑久郡邑久村  
 ○菅田登一郎(町議) 苦田郡加茂町  
 ○天川 縫治(料理業) 吉備郡高松町  
 ○荒尾 一雄(藥劑師) 岡山市岩田町  
 ○荒木 要(商議) 津山市椿高下  
 ○荒木喜美惠(吳服商) 吉備郡總社町  
 ○荒木 清志(土木建築請負業) 岡山市尾上町  
 ○荒田 一郎(醫師) 岡山市川崎町  
 ○新井福之助(町議) 吉備郡足守町  
 ○新井 正男(勝山中學校長) 眞庭郡勝山町  
 ○有岡幹三郎(辯護士) 岡山市西中山下  
 ○有岡長四郎(小學校長) 小田郡陶山村  
 ○有岡國三郎(町長) 後月郡井原町  
 ○有岡奎三郎(在郷陸軍少將) 岡山市門田屋敷  
 ○有岡八太郎(在郷海軍中佐) 岡山市門田  
 ○有木 徹夫(岡山市高女教諭) 岡山市上伊福  
 ○有田 實(盲啞學校教諭) 岡山市東古松  
 ○有松祐三郎(町議) 吉備郡高松町  
 ○有元 保(旅館港屋) 苦田郡東加茂  
 ○有本 立(津山商工會議所會頭) 津山市山下  
 ○有吉 京吉(町議) 和氣郡日生  
 ○蟻正 健一(青年團長) 邑久郡今城村  
 ○蟻正 虎太(村助役) 邑久郡今城村  
 ○栗井 文雄(勸業課長) 津山市  
 ○栗井 正美(醫師) 赤磐郡萬富村  
 ○淺越 泰一(花筵疊表商) 岡山市下西川町  
 ○阿部 九平(岡山瓦斯庶務主任) 岡山市大供  
 ○赤堀淳太郎(醫師) 津山市山下  
 ○淺野桂太郎(辯護士) 岡山市西中山下  
 ○井街 謙(醫博) 倉敷

市中央病院  
 ○井頭 康男(町助役) 吉備郡總社町  
 ○井場 直人(山一證券支店長) 岡山市內山下  
 ○井上 守三(辯護士) 岡山市西中山下  
 ○石田重力郎(琴浦紡績社長) 兒島郡琴浦町  
 ○井口 靜一(岡山新聞社長) 岡山市門田  
 ○井坂 爲則(醫師) 吉備郡庭瀨町  
 ○井尻 艶太(吉備商校長) 岡山市廣瀨町  
 ○井戸 博史(小學校長) 勝田郡勝間田町  
 ○井戸牧太郎(小學校長) 勝田郡豐田村  
 ○井上岩衣門(齒科醫師) 井上  
 小田郡笠岡町  
 ○井上套壽(齒科醫師) 岡山市弓之町  
 ○井上謙太郎(村議) 邑久郡幸島村  
 ○井上燕一郎(市議) 津安市安岡町  
 ○井上 新一(倉商教諭) 御津郡大野村  
 ○井上祐次郎(小學校長) 淺口郡玉島町  
 ○井上 輔人(吉備商教諭) 岡山市宇野  
 ○井上 莊一(村長) 吉備郡二萬村  
 ○井上 忠男(縣警視) 津山市  
 ○井上 留雄(醫博) 赤磐郡瀬戶町  
 ○井上 豊次(村助役) 邑久郡幸島村  
 ○井上 直枝(小學校長) 都窪郡早島町  
 ○井上 倫衛(岡山商業教諭) 岡山市東古松  
 ○井上 文雄(縣一商教諭) 岡山市內山下  
 ○入江 秀吉(岡山時報社長) 岡山市內田春日町  
 ○伊賀 久家(醫師) 眞庭郡落合町  
 ○伊田篤之輔(中鐵支配人) 岡山市南方  
 ○伊丹 熊太(村長) 吉備郡大井村  
 ○伊丹 宅治(醫師) 兒島郡小串村  
 ○伊丹 潤(小學校長) 吉備郡日近村  
 ○伊丹 正雄(醫師) 淺口郡玉島  
 ○伊藤 嘉平(濟世委員) 岡山市藤野町  
 ○伊東 重(村長) 兒島郡本莊村  
 ○伊藤 哲二(醫師) 岡山市四番町  
 ○伊藤 好良(市會議長) 岡山市門田  
 ○伊原瀧三郎(醫師) 岡山市岩田町  
 ○伊原木藻平(天満屋社長) 岡山市西中山下  
 ○飯島鑿之助(縣土木課長) 岡山市門田  
 ○冢本 爲一(辯護士) 岡山市內山下  
 ○生末 近夫(縣議) 津山市椿高下  
 ○生田 靜也(醫師) 邑久



郡今城村

- 池上 基一(縣二商教諭)
- 岡山市門田
- 池上 馨一(醫大助教授)
- 岡山市六番町
- 池上 準(小學校長)
- 津山市小田中
- 池上 眞通(村長) 久米郡加美村
- 池上助一郎(醫師) 久米郡加美村
- 池上長右衛門(農行銀行取締役) 岡山市門田
- 池上 照代(女子青年團長) 久米郡打穴村
- 池上 弘志(小學校長) 久米郡久米村
- 池上 優一(吳服店) 津山市二宮
- 池田 一二(高農教師)

吉備郡高松町

- 池田 幸平(商議) 津山市紺屋町
- 池田 恂(小學校長) 久米郡大井村
- 池田信太郎(中國信託取締役) 岡山市内山下
- 池田 文吾(小學校長) 眞庭郡川上村
- 池本 益天(濟世委員) 眞庭郡勝山町
- 石合金治郎(齒科醫) 兒島郡琴浦町
- 石井 一郎(小學校長) 御津郡長田村
- 石井財二(旅館) 眞庭郡久世町
- 石井 龍十(辯護士) 岡山市西中山下
- 石井 毅(郵便局長)

兒島郡琴浦町

- 石井 徹顯(醫師) 兒島郡宇野
- 石井 正二(小學校長) 邑久郡鹿忍町
- 石井 保次(安田銀行玉島支店長) 淺口郡玉島町
- 石賀 五郎(消防組頭、醫師) 眞庭郡川上村
- 石賀 末子(女青團長) 眞庭郡河内村
- 石川 貞幹(辯護士) 津山市下紺屋町
- 石田 稻男(醫博) 小田郡笠岡
- 石田 巖(醫博) 倉敷中央病院小兒科醫長
- 石田佐太郎(縣養蠶組合聯合會技手)
- 石田 重郎(琴補紡績工)

場長) 兒島郡琴浦町

- 石田 親(農林技手) 津山市
- 石津 純一(齒科醫) 岡山市門田
- 石原 英毅(合同タクシ) 岡山市上石井
- 石原 金吉(織物製造) 兒島郡琴浦町
- 石原 紀一(在郷陸軍少將) 岡山市門田
- 石原 猛男(信用組長) 上道郡石井村
- 石原 藤一(小學校長) 吉備郡池田村
- 石原 述太(村長) 上道郡浮田村
- 石部 修一(小學校長) 兒島郡八濱町
- 石本於義太(醫師) 岡山

市弓之町

- 石本 義憲(醫博) 岡山市弓之町
- 石山福二郎(醫博、醫大教授) 岡山市上之町
- 磯井多賀造(諸油米穀商) 岡山市山崎町
- 磯島 品造(市議) 岡山市上伊福
- 板崎 誠一(町議) 兒島郡八濱町
- 板谷 重吉(太陽足袋取締役) 岡山市下之町
- 一井 重雄(辯護士) 岡山市西中山下
- 市川 壽治(村長) 御津郡野谷村
- 出井 梅咲(村長) 邑久郡本庄村
- 稻垣 勳(市商校長)

岡山市國富

- 稻田 進(醫大病院長) 岡山市三番町
- 稻葉富三郎(醫師) 邑久郡玉津村
- 犬飼栢太郎(元小學校長) 岡山市内山下
- 乾 利一(中水取締役) 岡山市四番町
- 今井 善吉(小學校長) 津山市山北
- 今井田綾子(幼稚園長) 岡山市下石井
- 今田 吉助(禁酒會館主事) 岡山市内山下
- 今田 佐吉(郡農會長) 和氣郡本莊村
- 今田 龜(齒科醫) 岡山市内山下
- 入江 賢二(市議) 津山

市新魚町

- 岩城國太郎(多額納稅者) 岡山市内山下
- 岩佐 勝男(佛具店) 岡山山榮町
- 岩佐 誠一(醫師) 岡山市上内田町
- 岩崎 孫一(醫師) 兒島郡味野町
- 岩田乙三郎(戶主會長) 岡山市下西川町
- 板谷 新吉(太陽足袋副社長) 岡山市西大寺町
- 岩田喜三郎(藥種商) 岡山市西大寺町
- 岩藤貴壽次(小學校長) 赤磐郡萬富村
- 宇津木 正(縣視學) 岡山市門田

○宇野 繁目(藥濟師) 岡山市大工町

- 宇野 善一(醫博) 岡山市門田屋敷
- 鶴木 勘市(鐵工所) 岡山市内山下
- 上田 光二(縣議) 眞庭郡勝山
- 上田 義信(醫師) 岡山市内山下
- 上原 敬(在郷海軍主計少佐) 津山市上之町
- 上原 治郎(岡山靴商組合長) 岡山市紙屋町
- 上村 隆高(差入業) 岡山市二日市
- 植木 誠心(村長) 眞庭郡河内村
- 植田 吾一(化粧品店) 岡山市西大寺町

- 植月 俊雄(津山瓦斯專務取締役) 津山市椿高下
- 浮田 信衛(醫師) 上道郡西大寺町
- 内田 娛老(岡山學務課長) 岡山市六番町
- 内田輝太郎(專修學校長) 岡山市平井
- 内田 傳三(たく庵茶屋) 岡山市上之町
- 浦上時次郎(岡山工藝學校長) 岡山市上西川町
- 浦上 正直(醫師) 津山市田町
- 裏川 寅藏(岡山一中學校) 岡山市門田
- 宇高 辨三(元岡岡山主事) 和氣郡和氣町
- 宇津 慶知(小學校長) 眞庭郡木山村
- 江見 宏正(保險業) 岡山市門田屋敷
- 枝松 巽(戶主會長) 岡山市下西川町
- 枝本 清(金物商) 岡山市大供
- 榎本 定明(第一庶民代表取締役) 岡山市内山下
- 遠藤 中節(醫大教授) 岡山市四番町
- 小坂田 弘(醫師) 勝田郡勝間田町
- 小田 敬進(醫博) 後月郡井原町
- 小田 大吉(醫大助教授) 岡山市門田
- 小野 勇雄(小學校長) 上道郡浮田村
- 小野榮次郎(万年筆製造) 岡山市下之町
- 小野 克巳(町助役) 吉備郡高松町
- 小野 謙吉(醫師) 岡山市西田町
- 小野 善吉(多額納稅者) 岡山市新西大寺町
- 小野 哲二(醫博) 津山市田町
- 小野 廣志(自動車タイヤ修繕) 岡山市下石井
- 小野 正造(市主事) 岡山市四番町
- 小原 祥吉(町消防組頭) 和氣郡和氣町
- 小原 鶴二(小學校長) 和氣郡本莊村
- 尾坂 義博(帝國興信所岡山支所長) 岡山市東中山下
- 尾崎 謹一(町長) 兒島郡琴浦町
- 尾崎 邦藏(多額納稅者) 兒島郡琴浦町
- 尾崎 虎雄(多額納稅者) 兒島郡琴浦町
- 尾崎 茂一(村長) 久米郡大倭村
- 尾谷 恭二(辯護士) 岡山市東中山下
- 尾谷半三郎(帝國電化社)

- 長) 岡山市中之町
- 尾上 安正(齒科醫) 兒島郡宇野町
- 麻植 巨一(醫師) 岡山市西田町
- 緒方 益雄(醫大教授) 岡山市門田
- 織田 一(備讀生魚社長) 兒島郡宇野町
- 大石誠一郎(藥劑師) 岡山市内山下
- 大江實太郎(村長) 眞庭郡川上村
- 大賀 古壽(醫師) 岡山市下石井
- 大賀矢太郎(西大寺高女校長) 岡山市門田屋敷
- 大熊 泰治(醫大助教授) 岡山市國富
- 大倉 越(小學校長)
- 眞庭郡津田村
- 大倉 豐(えり豊) 岡山市下之町
- 大谷勝太郎(度量衡商) 岡山市下之町
- 大谷 顯三(醫博) 津山市田町
- 大津寄義三(眼科醫) 後月郡井原町
- 大塚 文一(荒手茶寮主人) 岡山市紙屋町
- 大西 英雄(醫大庶務係長) 岡山市津島
- 大野清五郎(辯護士) 岡山市東中山下
- 大畑 豊(醫師) 岡山市富田町
- 大林 孫治(郵便局長) 岡山市瓦町
- 大原 五一(倉絹監査役)
- 倉敷市向市場町
- 大原孫三郎(中銀頭取) 倉敷市新川町
- 大本 百松(土木建築請負業) 淺口郡連島町
- 大森 熊次(醫師) 兒島郡莊内村
- 大森鑓二郎(縣工業學校長) 岡山市下内田町
- 大森 大亮(醫博) 岡山市西中山下
- 大森 爲二(醫師) 兒島市宇野町
- 大森 恒彦(齒科醫) 岡山市西中山下
- 大森 本衛(町長) 吉備郡高松町
- 大池 百治(多額納稅者) 阿哲郡新見町
- 太田 稻城(岡山商船取締役) 岡山市船頭町
- 太田 一也(醫師) 岡山市常盤町
- 太田廉次郎(都屋染物業) 岡山市濱田町
- 太田 敏兒(岡山工業俱樂部理事) 岡山市上伊福市上之町
- 太田 友七(商議) 岡山市上之町
- 岡 金吉(小學校長) 津山市
- 岡 謙平(農林技手) 津山市田町
- 岡 照太(辯護士) 岡山市弓之町
- 岡 元一(醫博) 岡山市上西川町
- 岡上偉佐衛(市議) 岡山市中出石町
- 岡崎真一郎(中國製紙社)

- 長)岡山市古京
- 岡崎 卓一(醫博)岡山 市八番町
- 岡崎綱五郎(辯護士)岡山 山市弓之町
- 岡崎 徹(齒科醫)岡山 山市上伊福
- 岡崎 勉(町長)上道 郡西大寺町
- 岡田 誠一(市議)岡山 市上石井
- 岡村 節夫(中央電氣專務取締役)岡山市巖井
- 岡村良太郎(岡村ネル店)岡山市中之町
- 岡本 賢助(昭和看護婦組合)岡山市下石井
- 岡本 吾市(檢事)岡山市西中山下
- 岡本 佐市(辯護士)岡山市弓之町
- 岡本 信一(洋服商)岡山市上之町
- 岡本信太郎(女學校長)和氣郡本莊村
- 岡本曾我之助(靴商)岡山市東中山下
- 岡本 信一(市議)岡山市弓之町
- 岡本 壽太(醫師)岡山市天瀬
- 岡本 安吉(料理紙安)岡山市磨屋町
- 萩野 喜(藥劑師)岡山市高砂町
- 奧島貫一郎(醫博、岡山大藥學教授)岡山市二番町
- 奧村 淺吉(商議)岡山市南方
- 奧村 雅延(醫師)津山市田町
- 長田 一郎(農工銀行常務取締役)岡山市内山下
- 長田松五郎(醫師)淺口郡金光町
- 長船郁太郎(醫師)兒島郡灘崎村
- 恩藤 誠一(辯護士)岡山市上之町
- 加藤 弘一(醫師)兒島郡藤戸町
- 加藤 三郎(縣議)吉備郡岡田村
- 香賀精太郎(工作所)岡山市下石井
- 華山 海應(國清寺住職)岡山市小橋町
- 柿沼 吳作(醫大教授)岡山市國富
- 垣見 卓(中銀秘書課長)岡山市門田
- 垣見 秀男(元市主事)岡山市巖井
- 角道有太郎(市議)岡山市門田
- 掛谷 合三(醫師)岡山市東中山下
- 景山豊五郎(市議)岡山市巖井
- 笠井 誠一(關中教頭)岡山市上西川町
- 笠井 信良(片上鐵道常務取締役)岡山市西中山下
- 笠原 房夫(辯護士)岡山市西中山下
- 柏木 貞一(辯護士、縣議)上房郡高梁町

- 梶 源吉(多額納稅者)岡山市小野田町
- 梶谷 齊(醫師)岡山市西中山下
- 梶谷 尙(醫師)岡山市内山下
- 梶並 謙吾(太陽レーヨン人事課長)淺口郡玉島町
- 梶並 暉一(警部)眞庭郡勝山町
- 梶村 良次(多額納稅者)津山市東新町
- 粕山八郎治(縣議)御津郡大野村
- 片岡 亮介(自動車タクシー)眞庭郡落合町
- 片岡定四郎(岡山市教育會主事)岡山市門田
- 片岡 正(齒科醫)岡山市内山下
- 片木 龍藏(醫博)岡山市天瀬
- 片山 一男(代議士)岡山市東中山下
- 片山 惠彌(片山技藝女學校長)岡山市天瀬
- 片山 忠治(市議)岡山市巖井
- 葛城 賢(醫師)赤磐郡瀬戸町
- 門田 正德(醫師)岡山市北方
- 金澤 太郎(帽子製造)岡山市中之町
- 金重 秋太(齒科醫)岡山市内山下
- 金谷 忠景(醫師)岡山市上西川
- 金光 誠一(電機製作)岡山市下石井
- 鎌田 武夫(辯護士)岡山市東中山下
- 上代 皓三(日本醫學部教授)岡山市門田
- 上代 淑(山陽高女校長)岡山市門田
- 神倉 佐安(日清製粉岡山工場長)岡山市南方
- 神谷健三郎(料理業)岡山市桶屋町
- 龜山 虎治(中國銀行常務取締役)岡山市内山下
- 龜山 政三(備前織物社長)岡山市高砂町
- 龜山 芳林(備作製絲教務係)岡山市上伊福
- 荻田 譽祿(酒造業)津山市勝間田町
- 川合 信男(朝日相互住宅取締役)岡山市上出石
- 川口 魁(市議)岡山市花畑
- 川崎 正且(藥器蓄音器商)岡山市下之町
- 川西 享三(醫療器具商)岡山市下石井
- 川西新太郎(醫療器具商)岡山市濱田町
- 河合 一太(金川署長)御津郡金川町
- 河合 兵衛(農業)岡山市津島
- 河島 謙藏(醫師)眞庭郡木山村
- 河田 清造(醫師)岡山市野田屋町
- 河田 大作(醫師)岡山市巖井
- 河原 省平(醫博)岡山市

- 市内田
  - 河原 信之(町長) 久米郡弓削町
  - ||||| (キ) |||||
  - 木田 泰(醫師) 眞庭郡勝山町
  - 木下 唯助(興業) 岡山市天瀬
  - 木村眞平治(縣議) 都窪郡早島町
  - 木原 通一(木原商店社長) 岡山市四番町
  - 木村 貫一(町議) 和氣郡伊部町
  - 木村 薦野(齒科醫) 岡山市内山下
  - 木本 欽吾(醫師) 岡山市花畑
  - 喜多村練三(醫師) 岡山市野田屋町
  - 菊池幾次郎(岡山織布社長) 岡山市島田
  - 岸 得雄(岡山瓦斯取締役) 岡山市瓦斯取
  - 岸本亥四郎(ラヂオ店) 岡山市下田町
  - 岸本 鶴吉(消防第一部長) 岡山市下田町
  - 岸本 芳秀(醫師) 岡山市巖井
  - 北川田明二(醫師) 和氣郡和氣町
  - 北畠 謙三(村長) 兒島郡山田村
  - 北村 讓(市議) 津山市二階町
  - 北室 武雄(醫師) 兒島郡日比町
  - 北山加一郎(醫大助教授)
- 岡山市上石井
  - 清田 寂坦(大圓寺住職) 津山市西寺町
  - ||||| (ク) |||||
  - 久保 甚吉(古京局長) 岡山市古京町
  - 久保 垣平(濟世會支部主事) 岡山市六番町
  - 久山 謹一(醫大副手) 岡山市小橋町
  - 久山 峻(藥劑師) 岡山市下石井
  - ◇久山 淳一(醬油釀造業) 津山市二宮町
  - 陸 憲二(醫師) 兒島郡甲浦
  - 草加徳太郎(町長) 和氣郡片上町
  - 日下 連(半田療養所長) 岡山市七軒町
- 日下安太郎(日下商店社長) 岡山市内山下
- 日下部 求(醫師) 赤磐郡瀬戸町
- 楠見忠三郎(土木請負業) 岡山市西田町
- 國富友次郎(就實高女校長) 岡山市紙屋町
- 國富 基衛(醫博) 吉備郡總社町
- 窪谷逸次郎(辯護士) 岡山市東中山下
- 熊澤 榮(洋服商) 岡山市内山下
- 藏本 恒之(學務課長) 津山市
- 栗山 精一(辯護士) 岡山市東中山下
- 栗山 時政(酒商) 岡山市内山下

- 黒住 靜太(醫師) 岡山市門田
- 黒住 鐵太(多額納稅者) 岡山市門田
- 黒住 豊太(味野高女校長) 兒島郡味野町
- 黒住 彦正(齒科醫) 岡山市岩田町
- 黒瀬敬太郎(村長) 久米郡三保村
- 黒田 慶次(勝山高女校長) 眞庭郡勝山町
- 黒田 照太(秀實尋高校長) 久米郡倭文東
- 黒田壽太郎(商議) 岡山市濱田町
- 桑原 良馬(醫師) 岡山市五番町
- ||||| (コ) |||||
- 小池藤太郎(醫大講師)
- 岡山市大供
  - 小池寅次郎(商工會副會頭) 津山市京町
  - 小出 浦助(多額納稅者) 眞庭郡美川村
  - 小坂 猛夫(齒科醫) 岡山市大供
  - 小坂 久勝(備作製絲岡山工場長) 岡山市上伊福
  - 小島 杉門(農林技手) 津山市
  - 小寺孫三郎(洋家具商) 岡山市上之町
  - 小西 直人(醫師) 吉備郡高松町
  - 小西良之介(履物商) 岡山市榮町
  - 小橋 一男(市議) 岡山市小野田町
  - 小林嘉四郎(山長旅館)
- 岡山市上石井
  - 小林 薫(小學校長) 岡山市門田
  - 小林 健二(市議) 岡山市上西川町
  - 小林 堯太(縣議) 和氣郡香登町
  - 小林 虎治(倉敷署長) 倉敷市旭町
  - 小林 平吉(醫師) 岡山市岩田町
  - 小林孫兵衛(赤十字病院岡山支部副院長) 岡山市内山下
  - 小堀 文哉(笠商校醫) 小田郡笠岡町
  - 小山 一篤(地主) 岡山市大供
  - 小山美登四(辯護士) 岡山市上西川
- 小山 了(市視學) 岡山市野田屋町
- 小脇 芳一(辯護士) 岡山市東中山下
- 古城 昌治(醫師) 後月郡井原町
- 古谷 佐年(齒科醫) 兒島郡味野町
- 古林 隆民(醫師) 岡山市西中山下
- 兒馬重太郎(高原吳服店取締役) 岡山市上之町
- 兒島 荒太(村長) 和氣郡本莊村
- 河野稻太郎(醫師) 津山市勝間田町
- 河本乙五郎(縣育英會理事) 岡山市船着町
- 河本 一正(村長) 邑久郡幸島村